東芝デジタル複合機 / デジタル複写機

# 印刷ガイド

●このたびは東芝デジタル複合機 / デジタル複写機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
●お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

# はじめに

このたびは東芝デジタル複合機 / デジタル複写機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、本機で印刷を行うために必要なプリンタドライバの設定および印刷方法について説明しています。
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

## ■ 本書の読みかた

### □ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷[*1]を負う可能性があること」を示しています。 |
| ⚠注意 | 「誤った取り扱いをすると人が傷害[*2]を負う可能性、または物的損害[*3]のみが発生する可能性があること」を示しています。 |
| 注意 | 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。 |
| 補足 | 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。 |
| 📖 | 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。 |

＊1　重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
＊3　物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

### □ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

| 対象機種 | 本文中の表記 |
|---|---|
| e-STUDIO5540C/6540C/6550C | e-STUDIO6550C Series |
| e-STUDIO2540C/3540C/4540C | e-STUDIO4540C Series |
| e-STUDIO256/356/456/506 | e-STUDIO456 Series |
| e-STUDIO656/856 | e-STUDIO856 Series |
| e-STUDIO2050C | e-STUDIO2550C Series |
| e-STUDIO2555C/3555C/4555C/5055C | e-STUDIO5055C Series |
| e-STUDIO287CS/347CS/407CS | e-STUDIO407CS Series |
| e-STUDIO477S/527S | e-STUDIO527S Series |
| Loops LP301 | Loops Series |
| Loops LP30 | |
| e-STUDIO5560C/6560C/6570C | e-STUDIO6570C Series |
| e-STUDIO257/357/457/507 | e-STUDIO507 Series |
| e-STUDIO657/857 | e-STUDIO857 Series |

### □ オプション機器について

使用可能なオプション機器は、お使いの機種の**かんたん操作ガイド**または**セットアップガイド**のオプションについての情報をご覧ください。

## □ 画面と操作手順の説明について

- 本書に掲載している操作パネルとタッチパネル画面は、e-STUDIO4540C Seriesを例にしています。
  その他の機種の操作パネルとタッチパネル画面は、操作パネルの形状とボタンの配置、タッチパネル画面のサイズが機種によって異なりますが、各部の名称や機能は共通です。
- 本書では、Windowsでの画面および操作手順は、Windows 7を例に説明しています。
  オプション機器の装着状況、お使いのOSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。
- Windows Server 2008 R2をお使いの場合は、Windows 7の操作手順を参照してください。ただし、表示される画面やメニュー名などが異なることがあります。
- 本書では、Macintoshでの画面および操作手順は、Mac OS X 10.6.xおよびMac OS X 10.8.xを例に説明しています。オプション機器の装着状況、お使いのOSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。
- 本書では、設定項目などの初期値を下線で表記しています。

## □ 本書の表記について

本書では、東芝デジタル複合機 / デジタル複写機を総称して「複合機」と表記します。

## □ 製品に付属するインストールディスクについて

本書では、ソフトウェアをインストールするためのディスクを総称して「インストールディスク」と表記します。

## □ 商標について

- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows 7 の正式名称は、Microsoft Windows 7 Operating System です。
- Windows 8 の正式名称は、Microsoft Windows 8 Operating System です。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Windows Server 2012の正式名称は、Microsoft Windows Server 2012 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、Safari、iPhone、iPod touch、およびTrueTypeは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- AirPrint、AirPrintロゴ、iPadはApple Inc.の商標です。
- IOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Adobe、Acrobat、ReaderおよびPostScript は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の商標です。
- その他、本書および本ソフトウェアに掲載または表示されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

## ■ Loops Seriesで印刷した用紙について

Loops Seriesで印刷した用紙は、褪色する可能性がありますので、以下のような取扱は避けてください。

- 長期保管
- 車中など、高温になる場所での放置
- 直射日光の当たる場所での放置
- 印刷面を、消しゴムなどで強くこする

# エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアサプライヤーが別途提供する使用許諾契約書が適用される場合を除き、お客様は本ソフトウェアのインストールまたは使用の開始をもって、以下の契約条件に同意したとみなされます。本契約条項に同意できない場合、本ソフトウェアのインストールおよび使用はできませんので、速やかにお客様ご自身で本ソフトウェアを取得した場所にご返送ください。

### 使用許諾：

本契約は、エンドユーザ（以下「お客様」という）と東芝テック株式会社（以下「東芝テック」という）の間で締結する、法的効力を有する契約です。
本ソフトウェアならびにフォント（およびそのタイプフェイスを含む）、および関連するドキュメンテーション（以下「ソフトウェア」という）は、本ソフトウェアがインストールされた東芝テック製複合機と所定の機器（以下「システム」という）において、本契約条件に従って使用許諾されます。本ソフトウェアの著作権をはじめとするいかなる知的財産権、およびその他の権利ならびに所有権は東芝テックおよび／またはサプライヤーに帰属し、また所有されるものとします。東芝テックは本ソフトウェアのインストールおよび／または使用、ならびに本ソフトウェアを使用して得られる結果に対し責任を負いません。本ソフトウェアは単一のシステム上に単一の複製物をインストールして使用できるものとし、単一のシステム上で本ソフトウェアを使用する必要がある場合を除き、いかなる理由であっても本ソフトウェアを複製することはできません。いかなる本ソフトウェアの複製も本契約条件に従わなければなりません。お客様が本ソフトウェアの修正、適合、統合、翻訳、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングを行うことはもちろん、第三者にこれらの行為を許諾することはできません。お客様が本契約条件に従わない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。本ソフトウェアに関する知的財産権およびその他の権利はお客様には移転譲渡されないものとし、これら権利の所有権はすべて東芝テックおよび／またはサプライヤーが保持するものとします。本ソフトウェアのソースコードの使用はお客様に許諾されないものとします。お客様は本ソフトウェア（その複製を含む）の著作権表示に対し、修正、削除等を行うことができません。本ソフトウェアの著作権侵害、無許諾での移転譲渡、複製または使用に関するいかなる法的責任は、お客様に属するものとします。

### 期限：

本契約は、東芝テックにより任意に終了されるか、お客様による本契約条件の違反により終了されるまで、法的効力を有するものとします。本契約終了の場合、お客様には本ソフトウェアのすべての複製物を破棄していただきます。お客様は本ソフトウェアおよびそのすべての複製物を破棄することにより、随時、本契約を終了することができます。

### 免責事項：

本ソフトウェアは、商品市場性、特定目的との適合性、権利、権利の非侵害を含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）いかなる明示または黙示の保証をせず、現状のまま提供するものとします。東芝テックは、本ソフトウェアの品質および性能に関する保証に対し、いかなる責任も負いません。本ソフトウェアに欠陥がある場合、その修理、修正およびサービスにかかる費用はすべてお客様の負担とし、東芝テックは責任を負いません。東芝テックは、本ソフトウェアの機能がお客様の要求を満たすこと、またはソフトウェアの動作に中断、エラーが起こらないことを保証しません。

### アップデートおよび製造中止：

東芝テックはなんら制限を受けることなく、本ソフトウェアをアップデート、アップグレードし、またはその製造を中止することができます。

### 第三者ソフトウェア：

本ソフトウェア（将来のアップデート版、アップグレード版も含む）には第三者ソフトウェアが含まれる場合があります。このような第三者ソフトウェアは、そのサプライヤーが、使用許諾契約またはreadmeファイル（またはreadmeファイルに類するファイル）に別途定める、本契約とは異なる条件（「別途契約」等）により提供されます。お客様が第三者ソフトウェアを使用する際は、「別途契約」等に定められた条件に従うものとし、第三者ソフトウェアの条件以外は、本契約に定められた条件に従うものとします。

### 責任制限：

たとえ東芝テックおよびそのサプライヤーが次のような損害の可能性を示唆されていたとしても、東芝テックは本契約の記述あるいは不法行為の有無を問わず（東芝テックの過失による人身傷害または死亡を除き）、本ソフトウェアの使用または使用不能から発生する利益損失、データ損失、資産損失、あるいはその他の偶発的、特別的または間接的損害を含むいかなる損害に対しても、お客様および第三者に対し一切の責任を有さないものとします。

**一般事項：**

お客様は本ソフトウェアもしくはその使用権をサブライセンス、リース、貸与、付与譲渡または移転できないものとします。本契約に基づくいかなる権利、責務または義務に対するサブライセンス、リース、貸与、付与譲渡または移転の試みは、すべて無効とします。日本政府、米国政府および関連国政府が禁止する国または目的地への、お客様による本ソフトウェア（本ソフトウェアの複製、本ソフトウェアまたはそのメディアに含まれる技術情報、その他の関連する直接的製品を含む）の直接的または間接的出荷、送信、輸出または再輸出は、その試みを含め、許諾されないものとします。本契約は日本国の法律に準拠するものとし、また本契約に関して東芝テックのサプライヤーが関与する紛争が生じた場合は、その時々に当該サプライヤーが指定する国の法律が適用されるものとします。本契約の一部の条項が違法、無効あるいは法的強制力なしとみなされた場合でも、その他の条項はすべて効力を維持し有効であるものとします。

お客様は本契約をお読みになり、上記の条件を理解し、同意するものとします。お客様は本契約条件に従うことに同意するものとします。さらに本契約は、お客様と東芝テックおよびそのサプライヤーとの間で締結する唯一完全な契約であり、かつ本契約の主題に関するいかなる提案、事前契約、口頭または書面その他の伝達事項より優先されることに同意したものとします。

契約者および製造元：〒141-8562 東京都品川区大崎1-11-1 東芝テック株式会社

# 目次

## 第5章　操作パネルから印刷ジョブを管理する



## 第6章　その他の印刷方法



## 第7章　フォント一覧

1

# 概要

このセクションでは、印刷機能の概要を説明します。

# 特長および機能について

### サポートするクライアントプラットフォーム
本機は、IBM互換コンピュータ、Macintosh、およびUNIX/Linuxワークステーションをサポートしています。（プラットフォームによってサポートする機能は異なります。）

### 多様なポート機能
SMB、IPP、Raw TCP、WSD、LPRポートの印刷ポートをサポートしています。

### 多様な印刷ジョブ
印刷ジョブの種類を用途によって使い分けることができます。

- 通常印刷は特別な設定を必要としません。通常は、この印刷モードを使用します。
- 予約印刷では、印刷する時間や日付を指定して印刷します。
- プライベート印刷では、本機の操作パネルよりパスワードを入力するまで、ジョブを保持します。
- ホールド印刷では、本機の操作パネルより印刷操作を実行するまで、ジョブを保持します。
- お試し印刷では、複数部数を設定した印刷ジョブを１部だけ印刷します。印刷結果を確認後、残り部数の印刷を実行します。
- オーバーレイファイルで保存では、印刷ジョブをオーバーレイファイルとして保存します。保存したオーバーレイファイルは印刷する文書の背面に印刷することができます
- 本体に保存では、印刷文書を本機のファイリングボックスに保管します。
- ジョブタイプの組み合わせでは、複数のジョブタイプを組み合わせて印刷することができます。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、印刷文書を本機のファイリングボックスに保管し、さらに指定した時間に印刷させることができます。

**注 意**

以下の機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。
- 予約印刷
- プライベート印刷
- ホールド印刷
- お試し印刷
- 本体に保存
- ジョブタイプの組み合わせ

### 高度なフィニッシングオプション
装着されているフィニッシングオプションの構成によって、ソート印刷、グループ印刷、ステイプル印刷、サドルステッチ印刷、ホールパンチ印刷など、さまざまな出力機能を使用できます。使用できる機能は、機種により異なります。

### レイアウトの変更とページ組み機能
アプリケーションで作成した文書をそのまま印刷する以外に、両面左右開き印刷や複数ページを1枚の用紙に印刷するなど、レイアウトを変更して印刷を実行できます。
また、表紙印刷や裏表紙印刷、指定したページのシート印刷、ページごとに用紙を挿入する差し込み印刷なども利用することができます。

### 多様な大きさの印刷用紙に対応
アプリケーションで作成した文書を、定型サイズのほかにカスタム用紙サイズを定義して印刷することができます。

### ウォーターマークとオーバーレイファイル
ウォーターマークは、印刷する文書に指定の文字列を重ねた状態で用紙に印刷する機能です。ウォーターマークによって、印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類できます。代表的なウォーターマークとして、「コピー」、「ドラフト」、「社外秘」などがあります。いくつかのウォーターマークは用意されていますが、ウォーターマークに使用する文字は自分で作成することもできます。
オーバーレイファイルは、ウォーターマークと異なり、テキストだけでなくグラフィックなどを含んだドキュメントをオーバーレイファイルに変換し、透過した状態で印刷する文書の背景として印刷されます。グラフィックを使用するため、通常のテキストのみのウォーターマークより印刷に時間がかかってしまう場合がありますが、より文書に適応したウォーターマークを印刷したい場合に便利です。

## プリンタドライバについて

OSごとのプリンタドライバはインストールディスクに収録されています。必要なドライバのインストール方法については**インストールガイド**を参照してください。



### ■ Macintosh

Macintosh用のプリンタドライバはインストールディスクの下記フォルダに収録されています。

#### Macintosh PPDファイル

- ［インストールディスク］:MacPPD
  Mac OS X 10.4.x～10.6.xの環境からの印刷に使用するPPDファイル、Mac OS X 10.7以降の環境からの印刷に使用するPPDファイル、また印刷に使用するプラグインファイルが収録されています。

### ■ UNIX/Linux

UNIX/Linux用のプリンタドライバはインストールディスクの下記フォルダに収録されています。

#### Solarisフィルタ

Solaris v2.6/2.7/7.8/8/9/10用tarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
  ［インストールディスク］/Admin/Color_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/
- モノクロMFP
  ［インストールディスク］/Admin/BW_Unix_Linux/SolarisFilter/Usa/

#### HP-UXフィルタ/HP-UX64フィルタ

HP-UX ver.10.20/11.x用およびHP-UX64 ver.11.31用のtarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
  ［インストールディスク］/Admin/Color_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/
- モノクロMFP
  ［インストールディスク］/Admin/BW_Unix_Linux/HP-UXFilter/Usa/

#### AIXフィルタ

AIX 4.3.3用tarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
  ［インストールディスク］/Admin/Color_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/
- モノクロMFP
  ［インストールディスク］/Admin/BW_Unix_Linux/AIXFilter/Usa/

#### Linuxフィルタ

Red Hat 7.x/8.x/9.x、Red Hat Enterprise WS2、SuSE Linux 7.x/8.x/9.x、Mandrake Linux 7.x/8.x/9.x、Turbolinux 8/10用tarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
  ［インストールディスク］/Admin/Color_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/
- モノクロMFP
  ［インストールディスク］/Admin/BW_Unix_Linux/LinuxFilter/Usa/

**SCO UNIXフィルタ**

SCO UNIXWare 7およびSCO Open UNIX 8用tarファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
  ［インストールディスク］/Admin/Color_Unix_Linux/OpenUnixFilter/Usa/
- モノクロMFP
  ［インストールディスク］/Admin/BW_Unix_Linux/OpenUnixFilter/Usa/

**CUPS PPDファイル**

UNIX/LinuxのCUPS環境からの印刷に使用するPPDファイルが収録されています。
ファイルはお使いになる機種に合わせて選択してください。

- カラー MFP
  - ［インストールディスク］/Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default/
    このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
  - ［インストールディスク］/Admin/Color_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal/
    このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。
- モノクロMFP
  - ［インストールディスク］/Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/2-sided_default/
    このPPDファイルでは、デフォルトが両面印刷に設定されます。
  - ［インストールディスク］/Admin/BW_Unix_Linux/CUPS/Usa/normal/
    このPPDファイルでは、デフォルトが片面印刷に設定されます。

2

# Windowsアプリケーションから印刷する

Windowsからの印刷方法について説明します。

# プリンタドライバを使用する前に

印刷を行う前に、以下の機能を設定してください。

- **オプション構成の設定**
  本機に装着されているオプションの給紙カセット、フィニッシャ、ホールパンチユニットなどのオプション構成を設定します。装着したオプション機器を使うには、このオプション構成情報を設定する必要があります。

印刷を行う前に、必要に応じて以下の機能を設定してください。

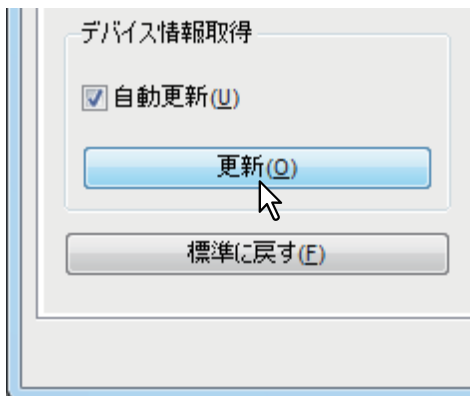
- **部門コード**
  本機は、各ジョブを部門コードで管理することができます。この機能は、ジョブカウンタ情報を部門コードごとに管理します。たとえば、ネットワーク管理者は、この機能を使って特定の部門が実行した印刷部数を確認できます。部門コード機能が有効に設定されている場合、印刷を実行するには部門コードの入力が必要となります。また、プリンタドライバの双方向通信が有効時に印刷操作を行うと部門コードの入力要求画面が表示されます。
  使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。また、あらかじめプリンタドライバの［部門コード］ボックスに部門コードを入力しておくことで、印刷するたびに部門コードを入力する手間を省くことができます。

## ■ オプション構成を設定する

本機の機能を正しくお使いいただくために、本機に装着されているオプションの構成情報を、プリンタドライバに設定する必要があります。初期設定ではプリンタドライバインストール時に、自動でオプション構成情報を取得します。本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない場合などに、オプション構成の設定を手動で行うときは、以下を参照してください。

📖 P.15 「手動でオプション構成を設定する」

補 足

本機と双方向通信できる場合は、［更新］をクリックすると本機のオプション構成情報を取得できます。

## □ 手動でオプション構成を設定する

本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない場合の手順です。

### 手動で［デバイス設定］タブを設定する

**注 意**

Administrators（管理者）でログインする必要があります。

**補 足**

Windows 8/Windows Server 2012での操作方法は、以下を参照してください。
📖 P.18 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

**1** **［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選択します。**

プリンタフォルダが表示されます。

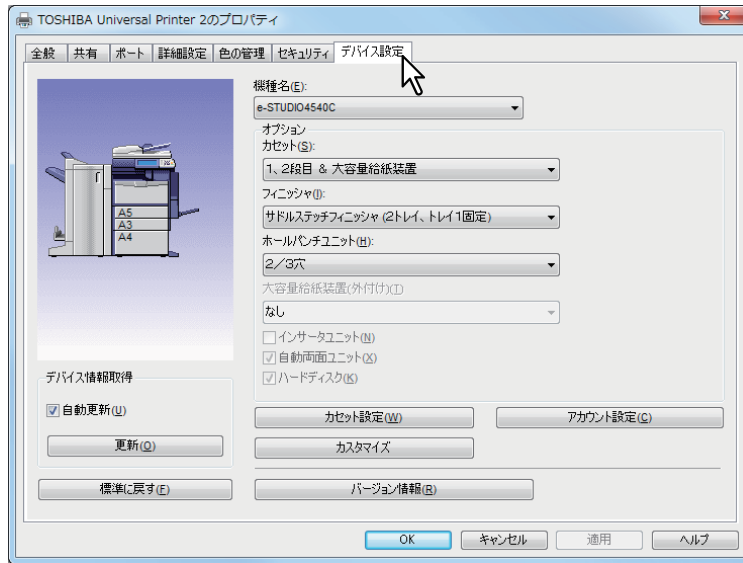
**補 足**

- Windows Vista/Windows Server 2008をお使いの場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選択します。
- Windows Server 2003をお使いの場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。

**2** **本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［プリンターのプロパティ］を選択します。**

プリンタドライバのダイアログボックスが表示されます。

- Windows Vista/Windows Server 2003/Windows Server 2008をお使いの場合は、本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。
- ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。
- プリンタのプロパティが変更できない状態で表示される場合は、次の手順を行います。
  - Windows Vistaをお使いの場合は、［ファイル］メニューから［管理者として実行］、［プロパティ］の順にクリックします。
    管理者アカウントのパスワード入力画面が表示された場合は、パスワードを入力します。
    「ユーザアカウント制御」ダイアログボックスが表示されますので、［続行］をクリックします。
  - Windows 7では、プロパティの各タブに🛡の付いたボタンがあります。
    プロパティを変更するときは、🛡の付いたボタンをクリックしてください。クリックしてもプロパティの変更ができない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ネットワークからインストールしたドライバを変更するときは、ネットワーク管理者権限が必要です。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 3 ［デバイス設定］タブを選択し、以下のオプションを設定します。

**機種名**：機種名を選択します。選択した機種名に合わせて、プリンタドライバの設定項目が切り替わります。

**注 意**

- ［共通］を選択すると、プリンタドライバ上で設定できる機能を、ネットワーク上の複数のe-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesに共通で搭載されている機能のみに絞り込むことができます。本機用にインストール済みのプリンタドライバを、e-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesなどの他機種でも利用したい場合などに便利です。
- Universal Printer 2プリンタドライバを汎用モデルとして利用する場合には機能制約があります。

**オプション**：以下のオプション機器が装着されているかを選択します。

- **カセット**：給紙ユニット（2段目カセット）、多段給紙装置（3段目カセット）、追加給紙カセット（4段目カセット）、または大容量給紙装置が装着されているかを設定します。
- **フィニッシャ**：フィニッシャ、サドルステッチフィニッシャ、ハンギングフィニッシャ、インナーフィニッシャ、インナートレイ、またはオフセットインナートレイが装着されているかを設定します。
- **ホールパンチユニット**：ホールパンチユニットが装着されているかを設定します。
- **大容量給紙装置（外付け）**：大容量給紙装置（外付け）が装着されているかを設定します。
- **インサータユニット**：インサータが装着されているかを設定します。
- **自動両面ユニット**：自動両面ユニットが装着されているかを設定します。
- **ハードディスク**：ハードディスクが装着されているかを設定します。

**補 足**

- 設定できる項目は、お使いになる機種およびオプション構成により異なります。
- 各項目の詳細については、［デバイス設定］タブの説明を参照してください。
  P.88「［デバイス設定］タブ」
- 本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない状態で、［デバイス設定］の項目を設定すると、自動的に両面印刷機能が有効になります。

## 4 ［カセット設定］をクリックします。

「カセット設定」ダイアログボックスが表示されます。

## 5 以下のオプションを設定し、[OK]をクリックします。

**1段目カセット**：1段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
**2段目カセット**：2段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
**3段目カセット**：3段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
**4段目カセット**：4段目カセットにセットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
**大容量給紙装置**：大容量給紙装置にセットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
**大容量給紙装置（外付け）**：大容量給紙装置（外付け）にセットされた用紙サイズ、用紙タイプ、および使用目的を選択します。
**手差しトレイ**：用紙タイプ、および使用目的を選択します。
**ドライバ給紙元優先**：アプリケーションの給紙元設定を適用せずに、プリンタドライバの給紙元設定を優先して使用する場合にチェックボックスをオンにします。

補 足

- 設定できる項目は、お使いになる機種およびオプション構成により異なります。
- 各項目の詳細については、カセット設定の説明を参照してください。
  P.91「カセット設定」

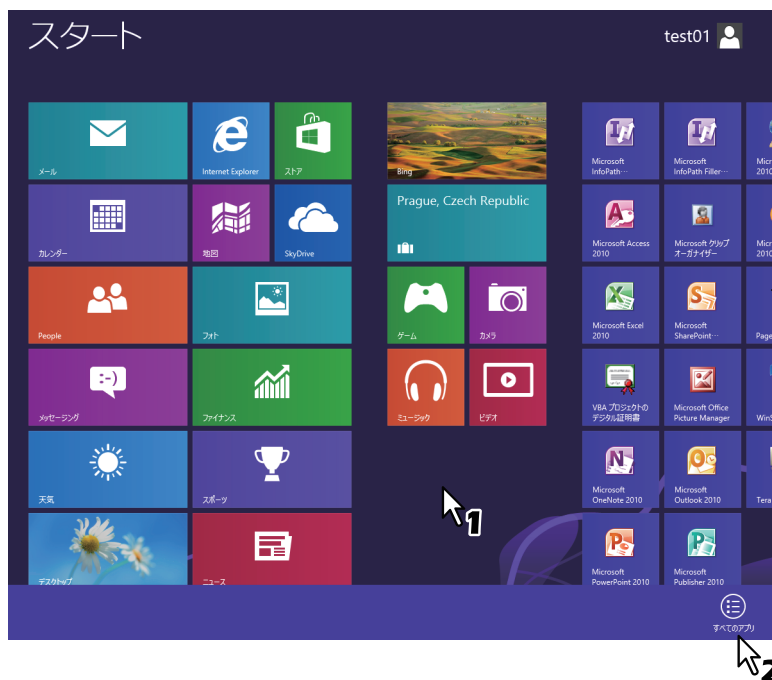
## 6 [適用]または[OK]をクリックして、設定を保存します。

## Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する

Windows 8 / Windows Server 2012をお使いの場合は、以下の手順でプリンタフォルダを表示します。

**1** **カーソルを画面の右上隅または右下隅に移動させ、表示メニューから［スタート］を選択します。**

［スタート］画面が表示されます。

**2** **［スタート］画面の空白エリアを右クリックし、表示された［すべてのアプリ］をクリックします。**

［アプリ］画面が表示されます。

**3** **［コントロールパネル］をクリックします。**

［すべてのコントロールパネル項目］画面が表示されます。

**4** **［デバイスとプリンター］をクリックします。**

［デバイスとプリンター］フォルダが表示されます。

## ■ 部門コードを設定する

本機が部門コードでカウンタ情報を管理している場合、各ユーザはプリンタドライバを介して印刷ジョブを送信する際に部門コードを入力する必要があります。ネットワーク管理者は、部門コード機能を使用し、特定の部門が実行した印刷部数を確認できます。また、各ユーザは印刷ジョブをどのユーザが送信したのかを本機のタッチパネルまたはジョブ監視ツールから確認することができます。部門コードの入力が必要であるかは管理者にご確認ください。また、必要である場合、入力すべき部門コードをあわせてご確認ください。
部門コードを入力する場合、以下の手順であらかじめプリンタドライバの［部門コード］ボックスに部門コードを入力しておくことで、印刷するたびに部門コードを入力する手間を省くことができます。

注 意

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合は、部門管理に代わってユーザ管理設定を使用して印刷ジョブを管理します。この場合は、コンピュータにログインしたときに入力したユーザ名を使用して印刷ジョブの認証を行います。したがって、プリンタドライバに部門コードを設定する必要はありませんが、あらかじめ本機にユーザ名が登録されている必要があります。ユーザ名が未登録の場合、印刷ジョブは無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。また、RAW形式で印刷ジョブが送られた場合は、RAW印刷ジョブの設定に従って処理されます。ユーザ認証強制やRAW印刷ジョブの設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- ブラック無制限機能が有効な場合は、カラーのみ部門管理ができます。［基本］タブの［カラー］ボックスで［自動カラー選択］、［フルカラー］、［2色］を選択して印刷する場合は、部門コードを入力する必要があります。［白黒］を選択して印刷する場合は部門コードを入力する必要はありません。

補 足

- TopAccess管理者設定の［部門コードなし印刷ジョブ］の設定と、本機との双方向通信が有効であるかにより、不正な部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。
  - 双方向通信が有効で、部門コードなし印刷ジョブが［不正ジョブリストに入れる］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。
  - 双方向通信が無効で、部門コードなし印刷ジョブが［不正ジョブリストに入れる］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなし印刷ジョブリストに表示されます。
  - 部門コードなし印刷ジョブが［印刷］の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。
  - 部門コードなし印刷ジョブが［削除］の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは削除されます。
- 部門コードは、印刷を実行するごとに入力できます。複数の印刷ジョブを異なる部門コードで処理する場合は、印刷を操作するときに該当する部門コードをそれぞれ入力してください。

### 部門コードを入力する

補 足

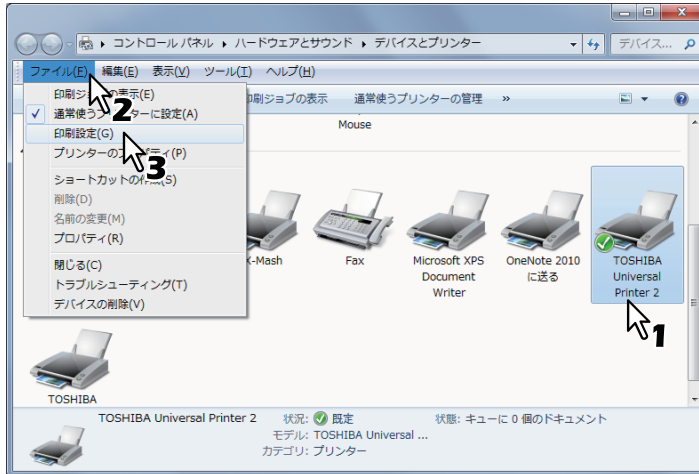
Windows 8/Windows Server 2012での操作方法は、以下を参照してください。
📖 P.18 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

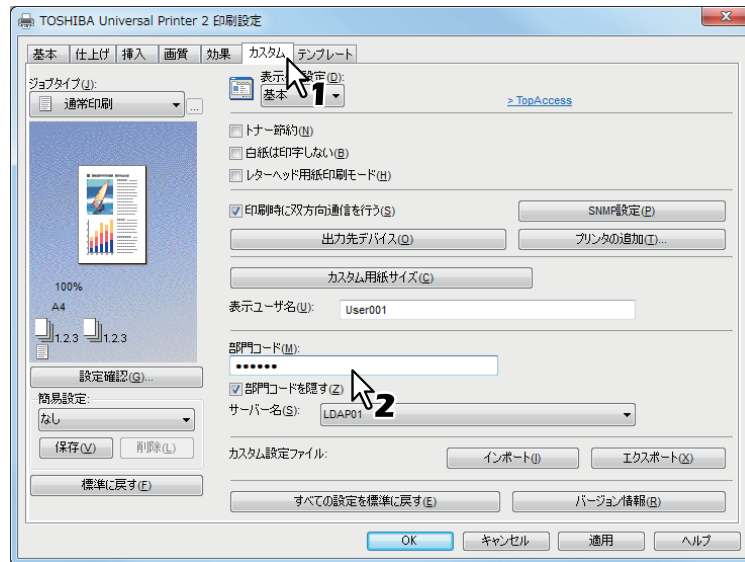
**1 ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選択します。**

プリンタフォルダが表示されます。

補 足

- Windows Vista/Windows Server 2008をお使いの場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選択します。
- Windows Server 2003をお使いの場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。

## 2 本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。

- ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。
- 印刷設定のダイアログボックスが表示されます。

## 3 ［カスタム］タブを選択し、［部門コード］ボックスに部門コードを入力します。

このボックスには、1～63桁の部門コードを入力します。

**補 足**

部門コードに入力できる文字は、0～9までの数字、a～zおよびA～Zまでのアルファベット、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ピリオド）の半角文字のみです。

## 4 ［適用］または［OK］をクリックして、設定を保存します。

## ■ Windows用PPDファイルをコピーする

インストールディスクには、印刷時にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。自動的にPPDファイルをインストールできないアプリケーションで、プリンタ固有の印刷設定を「印刷」ダイアログボックスや「用紙設定」ダイアログボックスで利用するには、PPDファイルを適切な場所にコピーしてください。PPDファイルのコピー方法については、**インストールガイド**を参照してください。

# アプリケーションから印刷する

Windowsアプリケーションからの印刷方法について説明します。

📖 P.22 「注意点と制限事項について」
📖 P.23 「印刷方法」

## ■ 注意点と制限事項について

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合は、部門管理に代わってユーザ管理設定を使用して印刷ジョブを管理します。この場合は、コンピュータにログインしたときに入力したユーザ名を使用して印刷ジョブの認証を行います。したがって、プリンタドライバに部門コードを設定する必要はありませんが、あらかじめ本機にユーザ名が登録されている必要があります。ユーザ名が未登録の場合、印刷ジョブは無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。また、RAW形式で印刷ジョブが送られた場合は、RAW印刷ジョブの設定に従って処理されます。ユーザ認証強制やRaw印刷ジョブの設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
  また、Windowsドメイン認証を使用している場合は、コンピュータがドメインにログインしている必要があります。
- ブラック無制限機能が有効な場合、［基本］タブの［カラー］ボックスで［白黒］を選択して印刷する場合は部門コードを入力する必要はありません。
- いくつかの印刷機能は、プリンタドライバとアプリケーション両方で設定できます（例：丁合機能など）。ただし、アプリケーションで丁合機能を設定すると、正しく印刷されない場合があります。この場合には、プリンタドライバのソートモード機能で設定し、アプリケーションでは設定を行わずに印刷してください。また、アプリケーションによっては、印刷の向きなど、アプリケーションでの設定が必要になる印刷機能もあります。プリンタドライバとアプリケーション両方で設定できる場合は、アプリケーションの取扱説明書で説明されている印刷方法を参照してください。

**Universal PS3プリンタドライバ使用時の注意点**

- Universal PS3プリンタドライバを使用してAdobe Acrobatから印刷する際、用紙サイズに合わせて印刷をする機能は無効になります。PostScriptで用紙サイズに合わせて印刷を行う場合は、Universal Printer 2プリンタドライバを使用し、［デバイス設定］タブの［カスタマイズ］で、［プリンタ言語設定］タブの［プリンタ言語］を［PostScript］に設定して印刷してください。
- Universal PS3プリンタドライバでは、以下の機能のいずれかを設定すると、アプリケーションのパススルー動作を無視してプリンタドライバ側で印刷データを生成するため、アプリケーション側で印刷データを生成するような場合でも、正常な印刷結果を得ることができます。
  - オーバーレイファイルで保存
  - オーバーレイイメージ付きの印刷
  - Nin1
  - マガジンソート
  - 1ページ毎に挿入（複製）
  - テンプレート
  - 印刷用紙サイズ
  - 画像倍率（拡大／縮小）
  - ポスター印刷
  - タンデム印刷

## ■ 印刷方法

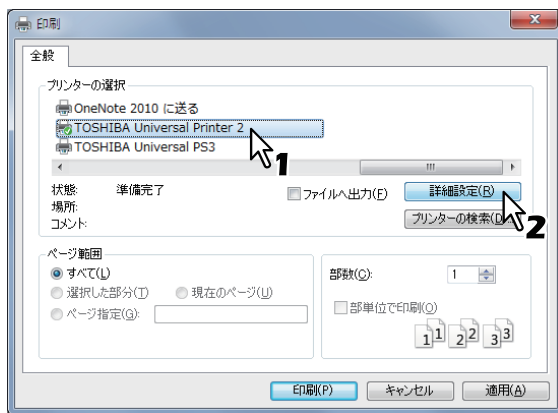
プリンタドライバをインストールし、設定を完了すれば、ほとんどのWindowsアプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選択するだけで印刷を実行できます。プリンタドライバが提供する印刷オプションを設定すると、印刷目的に合ったさまざまな印刷機能を使用することができます。

### Windowsアプリケーションから印刷する

ここでは、Windows 7のメモ帳から印刷する場合を例に説明します。

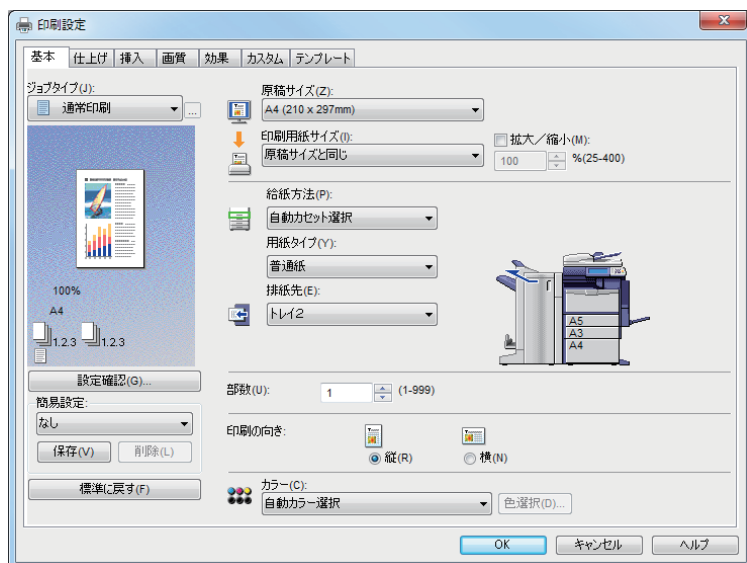
**1 印刷するファイルを開き、アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

「印刷」ダイアログボックスが表示されます。

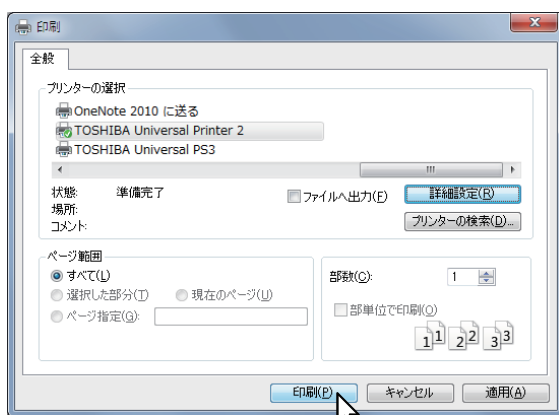
**2 プリンター一覧から使用する 本機プリンタドライバを選択し、［プロパティ］（または［詳細設定］など）をクリックします。**

プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

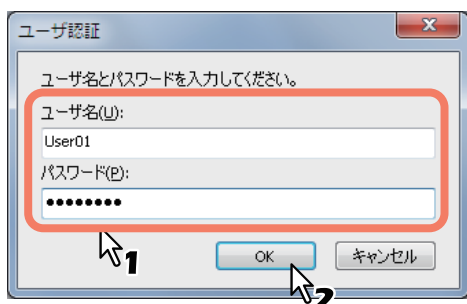
**注 意**

プリンタドライバのプロパティダイアログを表示させる手順は、お使いのアプリケーションによって異なる場合があります。詳細はアプリケーションに付属の取扱説明書を参照してください。

## 3 印刷目的に合わせ、各タブで印刷機能を設定します。

- 印刷機能の設定は、どのように印刷するかによって異なります。
  📖 P.34 「プリンタドライバの設定」
- 簡易設定を使って印刷機能を設定することもできます。
  📖 P.27 「簡易設定を使って印刷機能を設定する」

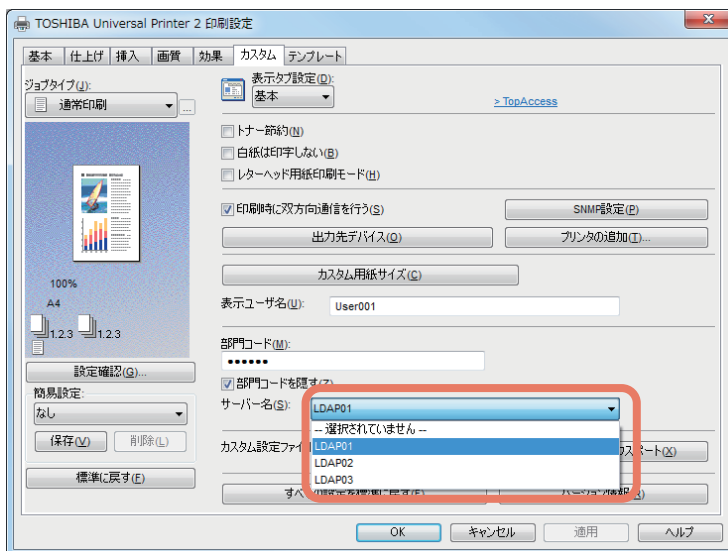
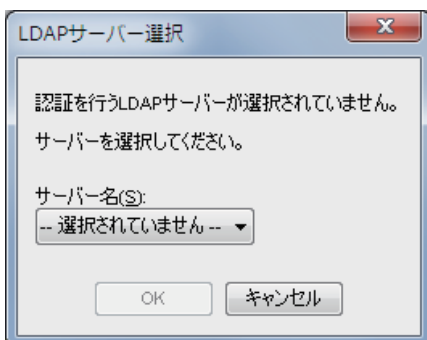
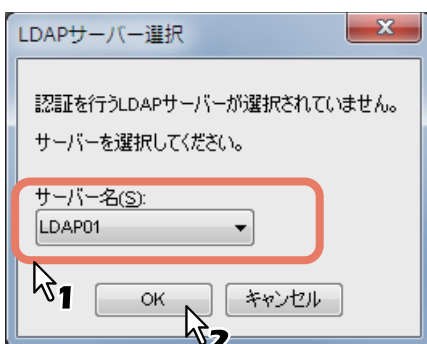
## 4 ［OK］をクリックして、設定を保存します。

## 5 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックして、文書を印刷します。

**［印刷ごとにユーザ認証のためのユーザ名とパスワードを入力する］オプション有効時の注意**

このオプションが有効に設定されている場合、印刷を実行する際に下記ダイアログボックスが表示されユーザ名とパスワードの入力を要求されます。
この場合は、ユーザ名とパスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。

補 足

- ［ユーザ名］ボックスには半角英数文字で128文字まで入力できます。また、［パスワード］ボックスには半角英数文字で64文字まで入力できます。
- 入力したユーザ名やパスワードは保存されません。印刷を実行するごとに入力することが必要です。
- このオプションの設定は、［デバイス設定］タブで行います。
  P.92 「アカウント設定」

### LDAP認証有効時の注意

LDAP認証が有効に設定されている場合、印刷を行う前に［カスタム］タブの［サーバー名］ボックスで認証を行うLDAPサーバーを指定してください。

LDAPサーバーを指定せずに印刷ジョブを送信すると、［LDAPサーバー選択］ダイアログボックスが表示され、サーバーの指定が要求されます。

この場合は、［サーバー名］ボックスでLDAPサーバーを指定し、［OK］をクリックすると印刷が実行されます。

LDAP認証の設定は、［デバイス設定］タブで行います。
P.94 「LDAPサーバー設定」

# 印刷機能をセットアップする

印刷機能では、印刷ジョブの印刷方法を設定します。たとえば、プライベート印刷やお試し印刷は本機が印刷ジョブをどのように処理するかを設定するものです。

補 足

印刷目的に合った印刷機能を確認するには、以下を参照してください。
📖 P.101 「さまざまな機能を使って目的別に印刷する」

## ■ セットアップ方法

印刷機能を設定する方法はいくつかありますが、設定が印刷にどのような効果をもたらすかは、印刷機能の設定方法によって異なります。また、プリンタプロパティのダイアログボックスに表示されるタブも、それぞれの表示方法によって異なります。

### □ 印刷機能の初期値を設定する

プリンタフォルダからプリンタプロパティのダイアログボックスを表示して設定した印刷機能は、プリンタドライバの初期値として設定されます。たとえば、ひんぱんに使う用紙サイズや本機のオプション構成の設定、ユーザ情報の設定などは、印刷するごとに変更する必要はありませんので、この方法で印刷機能を設定します。

補 足

Windows 8/Windows Server 2012での操作方法は、以下を参照してください。
📖 P.18 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

#### 表示方法：**Windows 7の場合**

**1** **［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。**

**2** **本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。**
［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。

#### 表示方法：**Windows Vista / Windows Server 2008の場合**

**1** **［スタート］をクリックし、［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］メニューの［プリンタ］を選択します。**

**2** **本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。**
［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。

#### 表示方法：**Windows Server 2003の場合**

**1** **［スタート］をクリックし、［プリンタとFAX］を選択します。**

**2** **本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。**

## □ 印刷ジョブごとに印刷機能を設定する

アプリケーションの「プリント」（印刷）ダイアログボックスからプリンタプロパティのダイアログボックスを表示して設定した印刷機能は、現在の印刷ジョブのみに適用されます。この方法で設定した内容は、アプリケーションを閉じると無効になります。

### 表示方法：

**1** **アプリケーションのファイルメニューから ［印刷］を選択します。**

**2** **プリンター覧から使用する 本機 プリンタドライバを選択し、［詳細設定］をクリックします。**

## □ 簡易設定を使って印刷機能を設定する

簡易設定では、印刷機能の設定を保存したり、保存した印刷設定を呼び出して使用することができます。

補 足

工場出荷時に5個の簡易設定が登録されています。

- 会議資料印刷（白黒）
- 小冊子印刷（自動判別）
- 配布資料印刷
- 会議資料印刷
- ファイルとじ用印刷

簡易設定を使用するには、まず印刷機能の設定を簡易設定ファイルとして保存する必要があります。
📖 P.27 「簡易設定を保存する」
簡易設定を保存すると、特定のジョブを印刷する際にいつでも適用することができます。
📖 P.29 「簡易設定を適用する」
簡易設定は必要がなくなったら削除できます。
📖 P.29 「簡易設定を削除する」

### 簡易設定を保存する

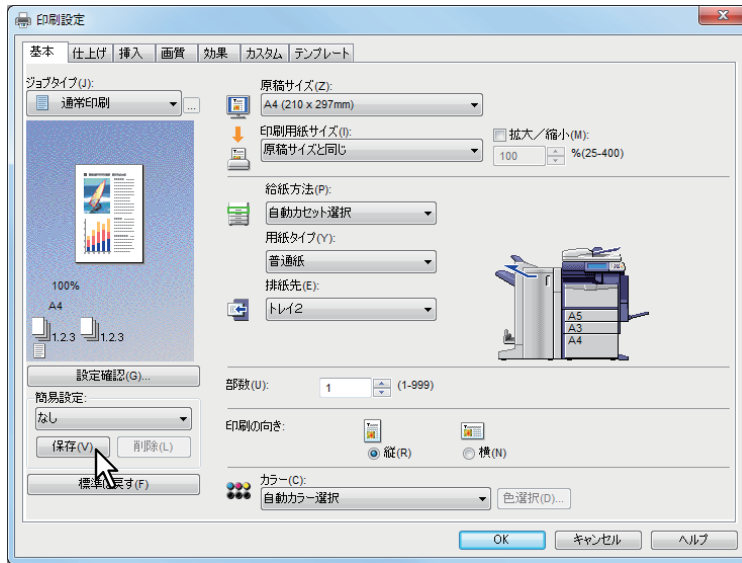
プリンタドライバの簡易設定は、あらかじめ登録されている5個を含め最大20個まで作成できます。

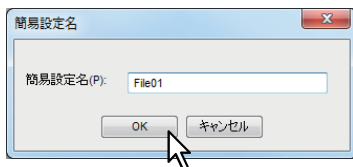
補 足

あらかじめ登録されている簡易設定は同じ名前で上書き保存、または削除することができます。

**1** **各タブで、印刷目的に合わせ印刷機能を設定します。**

印刷機能の設定は、どのように印刷するかによって異なります。
📖 P.34 「プリンタドライバの設定」

## 2 簡易設定の印刷機能の［保存］をクリックします。

「簡易設定名」ダイアログボックスが表示されます。

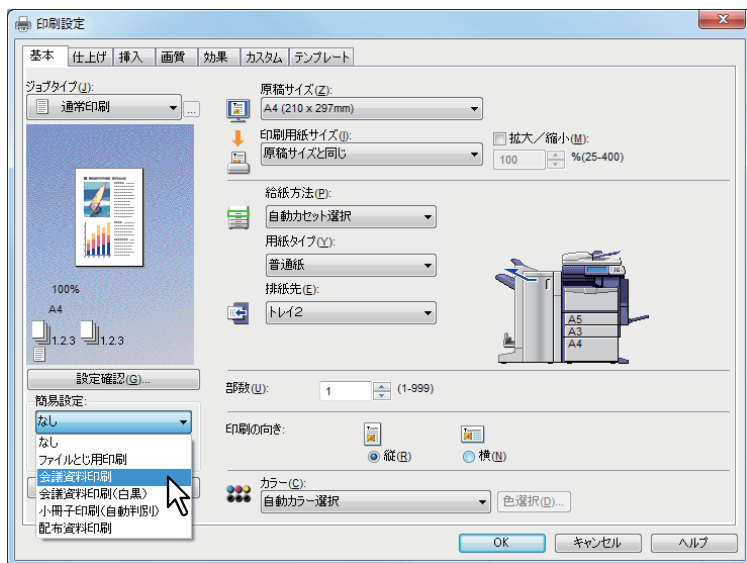
## 3 簡易設定名を入力し、［OK］をクリックします。

ファイル名は、半角・全角63文字以内で入力します。

**補 足**

- 簡易設定名がすでに使われている場合は、既存の簡易設定ファイルを上書きするかどうか確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は、［OK］をクリックします。
- 20個を超えて簡易設定を保存した場合には、「簡易設定が一杯です」というメッセージが表示され、設定内容が［一時保存］として保存されます。［一時保存］に簡易設定名を作成するには、不要な簡易設定を1つ削除し、［一時保存］を選択して［保存］をクリックします。
- 簡易設定名に［なし］を設定することはできません。

## 4 簡易設定が保存されます。

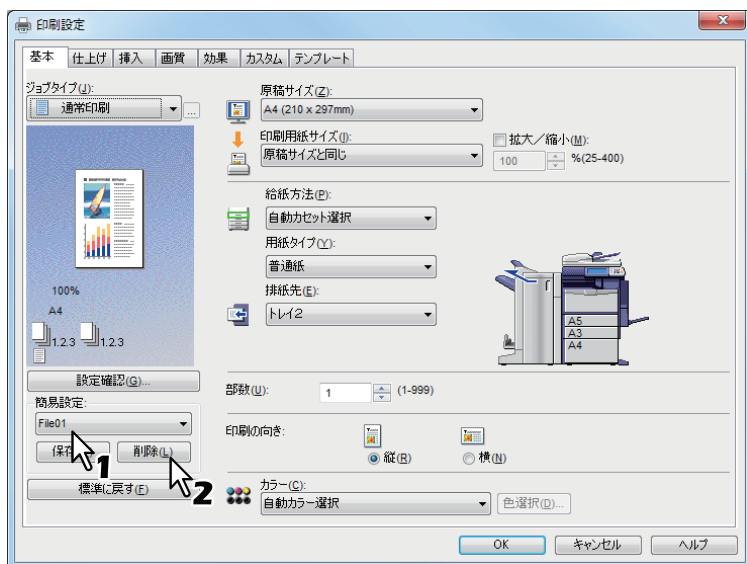
## 簡易設定を適用する

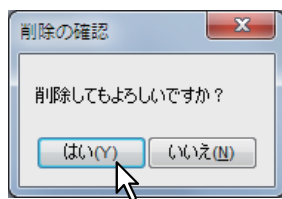
**1 ［簡易設定］ボックスで目的の簡易設定名を選択します。**

選択した簡易設定ファイルの設定が、各印刷機能タブに自動的に反映されます。

**注 意**

［簡易設定］ボックスから［なし］を選択しても、プリンタドライバの初期設定に戻すことはできません。簡易設定を選択した後に初期設定に戻す場合は、各タブの［標準に戻す］をクリックします。［デバイス設定］タブを除くすべてのタブを初期設定に戻す場合は、［カスタム］タブの［すべての設定を標準に戻す］をクリックします。

## 簡易設定を削除する

**1 ［簡易設定］ボックスで目的の簡易設定名を選択し、［削除］をクリックします。**

削除を確認するメッセージが表示されます。

**2** ［はい］をクリックし、選択した簡易設定ファイルを削除します。

## □ テンプレートボタンを使って印刷機能を設定する

簡易設定をテンプレートボタンに割り当てておくと、印刷時に「テンプレート」ダイアログボックスを自動的に表示させて、テンプレートボタンを選択するだけで、ボタンに割り当てられた簡易設定を反映させることができます。

補 足

工場出荷時に5個の簡易設定がテンプレートボタンに登録されています。
- 会議資料印刷（白黒）
- 小冊子印刷（自動判別）
- 配布資料印刷
- 会議資料印刷
- ファイルとじ用印刷

テンプレートボタンを使用するには、まず簡易設定をテンプレートボタンに割り当てる必要があります。また、印刷の実行時に、テンプレートボタンの選択画面が自動的に表示されるように設定します。
📖 P.31 「テンプレートボタンに簡易設定を割り当てる」
印刷時にテンプレートボタンを選択して、割り当てられている簡易設定を適用することができます。
📖 P.32 「テンプレートボタンで簡易設定を適用して印刷する」
テンプレートボタンは必要がなくなったら削除できます。
📖 P.33 「テンプレートボタンの割り当てを削除する」

### テンプレートボタンに簡易設定を割り当てる

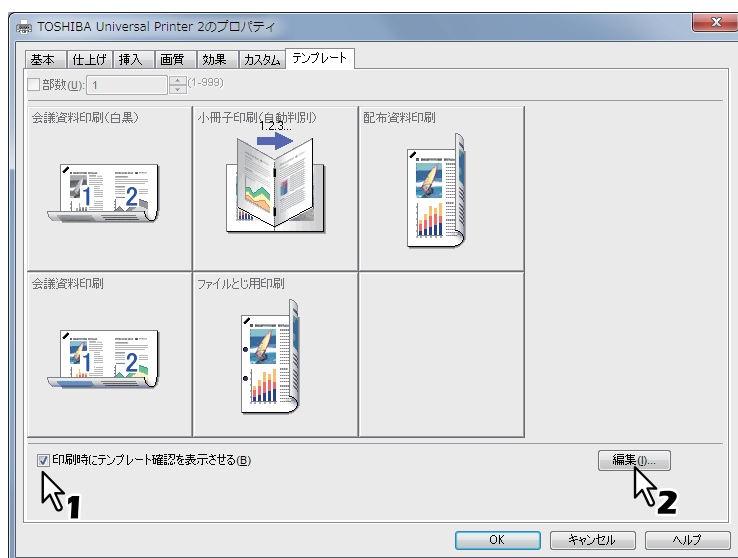
テンプレートボタンは、あらかじめ登録されている5個を含め最大6個まで作成できます。

補 足

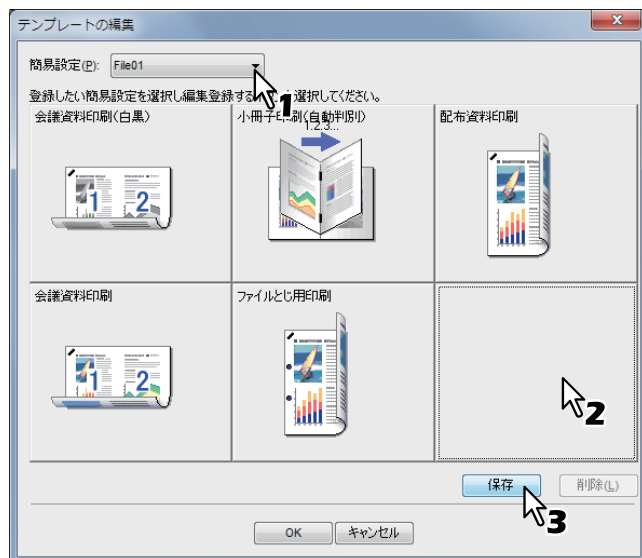
あらかじめ登録されているテンプレートボタンは削除することができます。

**1 登録したい印刷設定を簡易設定として保存します。**
📖 P.27 「簡易設定を保存する」

**2 ［テンプレート］タブを選択します。**

**3 ［印刷時にテンプレート確認を表示させる］のチェックボックスをオンにします。**

印刷の実行時にテンプレートダイアログボックスが自動的に表示されるようになります。

**4 ［編集］をクリックします。**
「テンプレートの編集」ダイアログボックスが表示されます。

**5** ［簡易設定］ボックスで、割り当てる簡易設定を選択します。

**6** 割り当てをするテンプレートボタンを選択します。

補 足

すでに登録されているテンプレートボタンを選択した場合は、割り当てられている簡易設定を変更することができます。

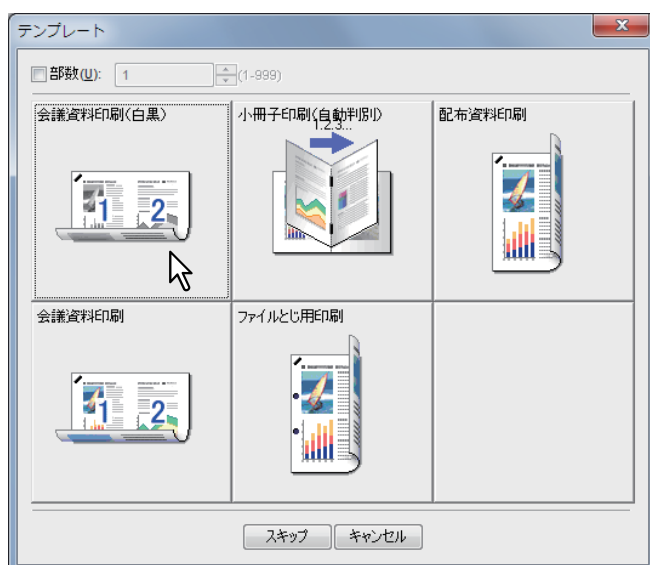
**7** ［保存］をクリックし、［OK］をクリックします。

選択した簡易設定が、選択したテンプレートボタンに割り当てられます。

**8** ［テンプレート］タブの［OK］をクリックします。

割り当てた内容が登録されます。

## テンプレートボタンで簡易設定を適用して印刷する

**1** 印刷を実行すると、自動的に「テンプレート」ダイアログボックスが表示されます。

**2** **適用するテンプレートボタンを選択します。**

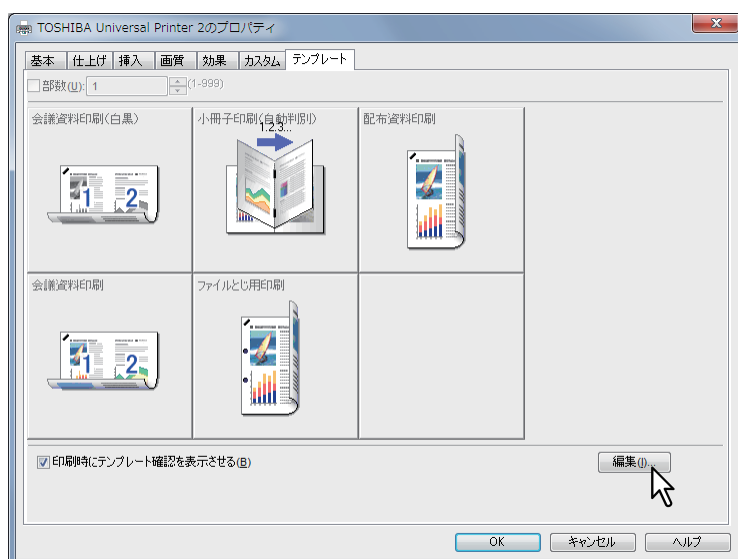
選択したテンプレートボタンに割り当てられた簡易設定で、印刷が行われます。

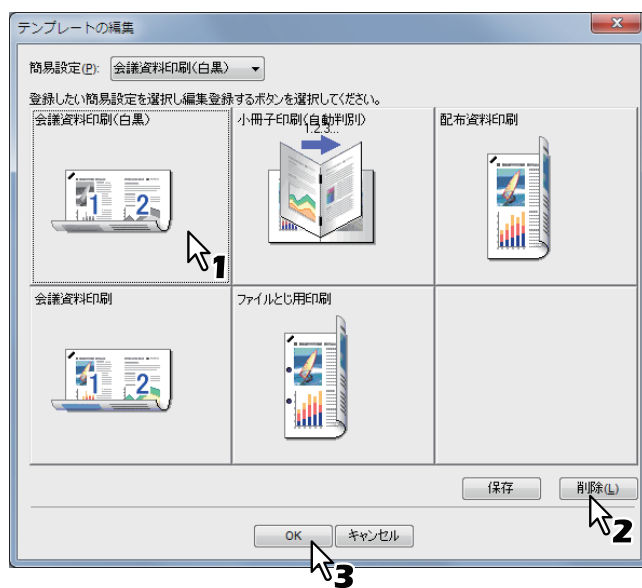
**補 足**

- ［部数］のチェックボックスをオンにすると、印刷部数を設定することができます。
- ［スキップ］をクリックすると、簡易設定を適用せずに印刷することができます。

## テンプレートボタンの割り当てを削除する

**1** **［テンプレート］タブを選択します。**

**2** **［編集］をクリックします。**

「テンプレート編集」ダイアログボックスが表示されます。

**3** **割り当てを削除するテンプレートボタンを選択します。**

**4** **［削除］をクリックし、［OK］をクリックします。**

選択したテンプレートボタンから簡易設定の割り当てが削除され、未設定の状態になります。

## ■ プリンタドライバの設定

ここでは、プリンタドライバの各タブで設定できる印刷機能について説明します。

補 足

以下のタブはOSに依存する設定項目です。これらの設定方法や詳細については、お使いになるOSの取扱説明書やヘルプを参照してください。

- ［全般］タブ
- ［共有］タブ
- ［ポート］タブ
- ［詳細設定］タブ
- ［色の管理］タブ
- ［セキュリティ］タブ

### 表示方法：

**1 ［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選択します。**

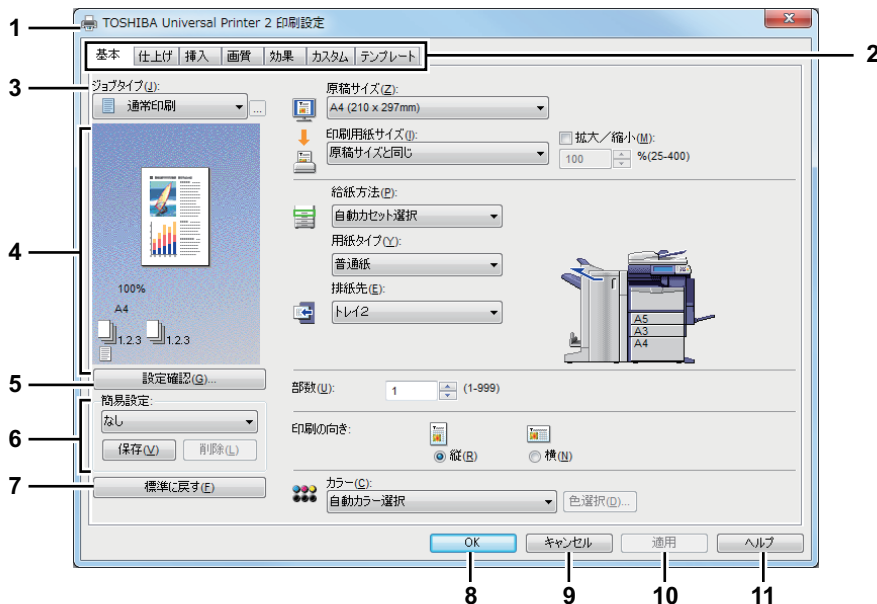
プリンタフォルダが表示されます。

補 足

- Windows Vista/Windows Server 2008をお使いの場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選択します。
- Windows Server 2003をお使いの場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。
- Windows 8/Windows Server 2012での操作方法は、以下を参照してください。

📖 P.18 「Windows 8 / Windows Server 2012でプリンタフォルダを表示する」

**2 本機プリンタドライバを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。**

- ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、［Alt］キーを押します。
- 印刷設定のダイアログボックスが表示されます。

**1) プリンタ名**

プリンタドライバ名を表示します。

**2) メニュータブ**
プリンタドライバの各メニュータブを表示します。各タブをクリックすると、選択したタブの内容をダイアログボックス上に表示します。表示されるタブの種類は、プリンタプロパティの表示方法によって異なります。

- **[基本]タブ**
  このタブでは、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙方法、用紙タイプ、排紙先、印刷の向きや印刷部数などの基本的な印刷操作に関する設定を行います。
  📖 P.38 「[基本]タブ」
- **[仕上げ]タブ**
  このタブでは、印刷方式、両面印刷、Nin1印刷、ステイプル印刷、ホールパンチ印刷などフィニッシャ機能に関する設定を行います。
  📖 P.45 「[仕上げ]タブ」
- **[挿入]タブ**
  このタブでは、表紙挿入、裏表紙挿入、指定ページに挿入、1ページごとに挿入など排出先／挿入機能に関する設定を行います。
  📖 P.54 「[挿入]タブ」
- **[画質]タブ**
  このタブでは、イメージをどのように印刷するかを設定します。文書のタイプに応じた適切な画質を簡単に選択できます。
  📖 P.61 「[画質]タブ」
- **[効果]タブ**
  このタブでは、ウォーターマーク、オーバーレイファイル印刷など印刷ジョブに効果を加える設定を行います。
  📖 P.73 「[効果]タブ」
- **[カスタム]タブ**
  このタブでは、表示タブ設定、トナー節約、白紙は印字しない、カスタム用紙サイズなど、特別な機能に関する設定を行います。
  📖 P.80 「[カスタム]タブ」
- **[テンプレート]タブ**
  このタブでは、よく使う印刷設定をテンプレートとして登録したり、登録した設定を呼び出して使用することができます。
  📖 P.99 「[テンプレート]タブ」
- **[デバイス設定]タブ**
  このタブでは、本機に装着されているオプション機器の構成を設定します。このタブはプリンタフォルダからプロパティ画面を表示した場合のみ表示されます。
  📖 P.88 「[デバイス設定]タブ」

**注 意**

[挿入]、[画質]、[効果]、[テンプレート]の各タブは、プラグイン機能で設定を有効にした場合のみ表示されます。
📖 P.95 「カスタマイズ設定：[プラグイン]タブ」

**3) ジョブタイプ**
本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。

**注 意**

以下の機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。
- 予約印刷
- プライベート印刷
- ホールド印刷
- お試し印刷
- 本体に保存
- ジョブタイプの組み合わせ

- **通常印刷**
  通常の印刷を行います。

- **予約印刷**
  指定する日付と時間に印刷します。
  選択した場合は、［ジョブタイプ］ボックス右端の［...］をクリックして、ジョブを印刷する日時を指定します。
  本機での印刷が少ない時間帯に大量印刷するときなどに便利な機能です。
- **プライベート印刷**
  プライベート印刷ジョブとして本機に保存します。本機のタッチパネルからパスワードを入力するまでジョブは保留され、実行されません。他人に見られたくない機密文書などを印刷するときに便利な機能です。
  この機能を選択した場合は、印刷設定終了後に1～63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号（0x21～0x7EまでのASCIIコードの文字）を使用できます。
- **ホールド印刷**
  ホールド印刷ジョブとして本機に保存します。印刷を実行するには、本機のタッチパネルで目的のジョブを選択し、［印刷］を押します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。
- **お試し印刷**
  複数部数の印刷を実行する前に確認用に1部だけサンプルを印刷します。サンプルの出力結果を確認した後に、本機のタッチパネルから 残り部数の印刷を実行します。間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減でき、目的に合った印刷結果を効率よく得ることができます。

**注 意**

複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。

- **オーバーレイファイルで保存**
  印刷ジョブをオーバーレイファイルとして保存します。印刷ジョブはオーバーレイファイルとして保存され、別の文書に重ねて印刷することができます。たとえば、印刷文書の背面にマスタページのイメージを印刷する場合、この機能を使ってマスタページのイメージを作成し、そのイメージを［効果］タブの［オーバーレイファイル］で選択すれば、印刷文書の背面に印刷できます。
  選択した場合は、［ジョブタイプ］ボックス右端の［...］をクリックしてオーバーレイファイル名を指定します。

**注 意**

- 複数ページの文書をオーバーレイファイルとして保存した場合、最初のページのみオーバーレイファイルとして保存されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ・用紙の向き・カラーモード・解像度で作成または印刷する必要があります。

- **本体に保存**
  印刷ジョブを本機のファイリングボックスに保存する機能です。選択した場合は、印刷設定終了後に保存先のボックスを選択します。パスワードで保護されているユーザボックスを選択した場合は、［パスワード］ボックスにボックスのパスワードを入力します。ファイリングボックスに保存したジョブは、本機のタッチパネルから印刷を実行できます。また、Webベースの文書編集アプリケーションである ファイリングボックスWebユーティリティを使って別の文書と合成するなどの編集作業を行うこともできます。保存と同時に印刷を行うときは、［印刷］チェックボックスをオンにします。

**注 意**

- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピュータに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- プリンタドライバを使用してファイリングボックスに保管された文書は、画像としてファイリングボックスに保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

- **ジョブタイプの組み合わせ**
「予約印刷」、「プライベート印刷」、「ホールド印刷」、「お試し印刷」、「お試し＋プライベート印刷」、「お試し＋ホールド印刷」のいずれかのジョブタイプと、「本体に保存」のジョブタイプを組み合わせて印刷できる機能です。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、指定した時間に、指定したファイリングボックスに印刷ジョブを保存することができます。
選択した場合は、［ジョブタイプ］ボックス右端の［...］をクリックして組み合わせるジョブタイプを選択します。

補 足

- ファイリングボックスに関する操作については、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。
- ［ジョブタイプ］の詳しい印刷方法については、以下を参照してください。
📖 P.101 「印刷ジョブタイプ」

**4) プレビューウィンドウ**
プレビューウィンドウでは、プリンタドライバの現在の設定でページがどのように印刷されるかを表示します。設定した印刷機能を反映したページイメージが表示されます。

**5) ［設定確認］**
設定した印刷機能の詳細を一覧で表示します。

**6) 簡易設定**
設定した印刷機能を簡易設定ファイルとして保存します。［保存］をクリックすると、印刷機能の設定が保存されます。保存した設定ファイルは、［簡易設定］ボックスで選択し呼び出すことができます。
📖 P.27 「簡易設定を使って印刷機能を設定する」

補 足

工場出荷時に5個の簡易設定が登録されています。

**7) ［標準に戻す］**
表示しているタブの印刷機能をプリンタドライバのインストール時の状態に戻します。

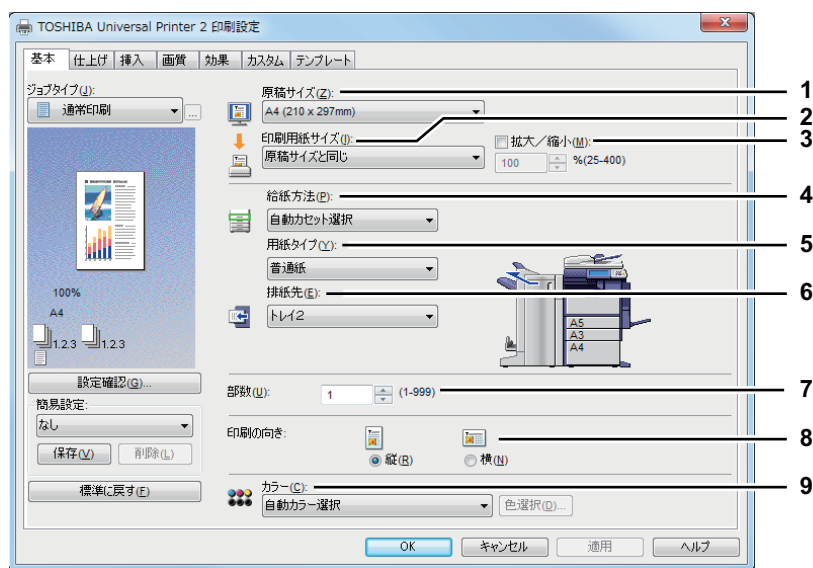
**8) ［OK］**
変更した印刷機能の設定を保存し、プリンタプロパティを閉じます。

**9) ［キャンセル］**
変更した印刷機能の設定をキャンセルし、プリンタプロパティを閉じます。

**10) ［適用］**
プリンタプロパティを閉じずに、変更した印刷機能の設定を保存します。プリンタフォルダからプリンタプロパティを表示した場合にのみ表示されます。このボタンは、設定を変更するまで使用することはできません。

**11) ［ヘルプ］**
プリンタドライバのヘルプを表示します。

## □ [基本] タブ

このタブでは、基本的な印刷操作に関する設定を行います。設定項目には、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙方法、用紙タイプ、排紙先、印刷の向き、印刷部数などがあります。

**1) 原稿サイズ**

原稿のサイズを選択します。使用できる原稿サイズは、次のとおりです：

**A3サイズ用紙モデル**

- A4（210 x 297 mm）
- A5（148 x 210 mm）
- A3（297 x 420 mm）
- B4（257 x 364 mm）
- B5（182 x 257 mm）
- Folio（210 x 330 mm）
- 305 x 457 mm
- 12 x 18"
- はがき（100 x 148 mm）
- Letter（8 1/2 x 11"）
- Legal（8 1/2 x 14"）
- Ledger（11 x 17"）
- Statement（5 1/2 x 8 1/2"）
- Computer（10 1/8 x 14"）
- 13" LG（8 1/2 x 13"）
- 8.5" SQ（8 1/2 x 8 1/2"）
- A3ノビ（13 x 19"）
- 16K（195 x 270 mm）
- 8K（270 x 390 mm）
- 320 x 450 mm
- 320 x 460 mm
- 封筒 COM10（4 1/8 x 9 1/2"）
- 封筒 Monarch（3 7/8 x 7 1/2"）
- 封筒 DL（110 x 220 mm）
- 封筒 長形3号（120 x 235 mm）
- 封筒 洋形4号（105 x 235 mm）

**A4サイズ用紙モデル**

- A4（210 x 297 mm）
- A5（148 x 210 mm）
- B5（182 x 257 mm）
- Folio（210 x 330 mm）
- A6（105 x 148 mm）
- はがき（100 x 148 mm）
- 往復はがき（200 x 148 mm）
- Letter（8 1/2 x 11"）
- Legal（8 1/2 x 14"）
- Statement（5 1/2 x 8 1/2"）
- 13" LG（8 1/2 x 13"）
- 8.5" SQ（8 1/2 x 8 1/2"）
- 16K（195 x 270 mm）
- 13.5" LG (8 1/2 x 13.5")
- IndexCard（3 x 5"）
- Executive（7 1/4 x 10 1/2"）
- 封筒 COM10（4 1/8 x 9 1/2"）
- 封筒 COM9 (3 7/8 x 8 7/8")
- 封筒 Monarch（3 7/8 x 7 1/2"）
- 封筒 DL（110 x 220 mm）
- 封筒 長形3号（120 x 235 mm）
- 封筒 長形4号（90 x 205 mm）
- 封筒 洋形4号（105 x 235 mm）
- 封筒 C5 (162 x 229mm)

注 意

- ［原稿サイズ］ボックスには、上記原稿サイズ以外にも40個のカスタム原稿サイズが表示されます。カスタム原稿サイズは、［カスタム］タブで設定します。
  P.80 「［カスタム］タブ」
- ［305 x 457mm］および［12 x 18"］は、Windowsの地域の設定に従ってどちらか片方だけが表示されます。［日本］などA4系サイズが通常使用される地域が設定されている場合は、［305 x 457mm］を表示します。［英語（米国）］など、LT系サイズが通常使用される地域が設定されている場合は、［12 x 18"］を表示します。
- ［A3ノビ（13 x 19"）］は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
  - e-STUDIO6570C Series
  - e-STUDIO6550C Series
- ［305 x 457mm］、［12 x 18"］、［320 x 450 mm］および［320 x 460 mm］は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
  - e-STUDIO6570C Series
  - e-STUDIO6550C Series
  - e-STUDIO5055C Series
  - e-STUDIO4550C Series
- ［封筒 COM10（4 1/8 x 9 1/2"）］、［封筒 Monarch（3 7/8 x 7 1/2"）］、［封筒 DL（110 x 220 mm）］、［封筒 長形3号（120 x 235 mm）］および［封筒 洋形4号（105 x 235 mm）］は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
  - e-STUDIO5055C Series
  - e-STUDIO507 Series
  - e-STUDIO456 Series
  - e-STUDIO2550C Series
  - e-STUDIO407CS Series
  - e-STUDIO527S Series
- ［往復はがき（148 x 200mm）］、［封筒 COM9（3 7/8 x 8 7/8"）］、［封筒 長形4号（90 x 205 mm）］および［封筒 C5（162 x 229mm）］は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
  - e-STUDIO407CS Series
  - e-STUDIO527S Series
- 設定できる項目は、お使いになる機種により異なります。

**2) 印刷用紙サイズ**

印刷に使用する用紙サイズを選択します。原稿サイズと同じサイズで印刷するときは、［原稿サイズと同じ］を選択します。
タブ紙印刷を行う場合は、ここで［A4 Tab］または［Letter Tab］を選択します。［A4 Tab］または［Letter Tab］を選択すると、「タブ紙設定」ダイアログボックスが表示されます。
P.43 「タブ紙設定」

注 意

- お使いの機種によっては、タブ紙印刷は利用できません。
- カスタム用紙サイズを使用する場合、カセットにセットされているカスタム用紙サイズを手動で選択する必要があります。

補 足

［印刷用紙サイズ］ボックスには、標準用紙サイズ以外にも最大40個のカスタム用紙サイズが表示されます。定義できるカスタム用紙サイズの数は、機種によって異なります。カスタム用紙サイズは、［カスタム］タブで設定します。
P.80 「［カスタム］タブ」

**3) 拡大／縮小**

このチェックボックスをオンにして、ページイメージを拡大または縮小する倍率を入力します。倍率は、25～400（%）の範囲で設定できます。

補 足

［拡大／縮小］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。

📖 P.114 「用紙に収まるように印刷する」

**4) 給紙方法**

印刷に使用する用紙の給紙元を選択します。用紙サイズに合った給紙元を選択します。右横の本機プレビューで、各給紙元に設定されている用紙サイズが確認できます。また、給紙元を選択すると、選択した給紙元が緑色の囲みで表示されます。

補 足

右横の本機プレビュー上で、給紙元に設定したいカセットを直接クリックして選択することもできます。

- **自動カセット選択**：印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
- **1段目カセット**：用紙を1段目カセットから給紙します。
- **2段目カセット**：用紙を2段目カセットから給紙します。
- **3段目カセット**：用紙を3段目カセットから給紙します。
- **4段目カセット**：用紙を4段目カセットから給紙します。
- **大容量給紙装置**：用紙を大容量給紙装置から給紙します。（大容量給紙装置装着時のみ有効）
- **手差しトレイ**：用紙を手差しトレイから給紙します。手差しを選択して印刷した場合は、印刷すると本機のタッチパネルの［状況確認］が点滅しますので、［状況確認］を押して印刷ジョブで用紙サイズを確認後、用紙をセットして［スタート］ボタンを押してください。
- **大容量給紙装置（外付け）**：用紙を大容量給紙装置（外付け）から給紙します。（大容量給紙装置（外付け）装着時のみ有効）

注 意

- 手差しトレイから給紙する場合、原稿の向きと手差しトレイにセットした用紙の向きが違っていても、原稿と用紙のサイズが同じならば、原稿の内容が90度回転して原稿どおりに印刷されます（A4、B5、Letter、16Kサイズのみ）。たとえば、A4縦向きの原稿を印刷するとき、手差しトレイにA4横向き（A4-R）の用紙がセットされていれば、正しく印刷されます。
- 選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および［デバイス設定］タブの設定によって異なります。
- 特殊紙やタブ紙など、手差しトレイからの給紙が必要となる用紙タイプが設定された場合、［給紙方法］の設定が自動的に［手差しトレイ］に変更され、確認のダイアログボックスが表示されることがあります。
- ［デバイス設定］タブのカセット用紙サイズが本機にセットされた用紙サイズと異なる場合、［給紙方法］の設定を無視し、タッチパネルの［状況確認］が点滅して、正しいサイズの用紙を手差しトレイにセットするよう求めるメッセージが表示されることがあります。

**5) 用紙タイプ**
印刷に使用する用紙の種類を選択します。
- **普通紙（自動選択）**：普通紙に印刷する場合に選択します。
- **普通紙（やや薄い）**：薄い普通紙に印刷する場合に選択します。
- **普通紙**：普通紙に印刷する場合に選択します。
- **再生紙**：再生紙に印刷する場合に選択します。
- **厚紙1**：厚紙1に印刷する場合に選択します。
- **厚紙2**：厚紙2に印刷する場合に選択します。
- **厚紙3**：厚紙3に印刷する場合に選択します。
- **厚紙4**：厚紙4に印刷する場合に選択します。
- **厚紙5**：厚紙5に印刷する場合に選択します。
- **特殊紙1**：特殊紙1に印刷する場合に選択します。
- **特殊紙2**：特殊紙2に印刷する場合に選択します。
- **特殊紙3**：特殊紙3に印刷する場合に選択します。
- **特殊紙4**：特殊紙4に印刷する場合に選択します。
- **特殊紙5**：特殊紙5に印刷する場合に選択します。
- **特殊紙6**：特殊紙6に印刷する場合に選択します。
- **OHP用紙**：OHP用フィルムに印刷する場合に選択します。
- **普通紙1**：普通紙1に印刷する場合に選択します。
- **普通紙2**：普通紙2に印刷する場合に選択します。
- **薄紙**：薄紙に印刷する場合に選択します。
- **封筒**：封筒に印刷する場合に選択します。
- **封筒1**：封筒1に印刷する場合に選択します。
- **封筒2**：封筒2に印刷する場合に選択します。
- **封筒3**：封筒3に印刷する場合に選択します。
- **封筒4**：封筒4に印刷する場合に選択します。
- **普通紙（うら）**：普通紙の裏面に印刷する場合に選択します。
- **再生紙（うら）**：再生紙の裏面に印刷する場合に選択します。
- **厚紙1（うら）**：厚紙1の裏面に印刷する場合に選択します。
- **厚紙2（うら）**：厚紙2の裏面に印刷する場合に選択します。
- **厚紙3（うら）**：厚紙3の裏面に印刷する場合に選択します。
- **厚紙4（うら）**：厚紙4の裏面に印刷する場合に選択します。
- **特殊紙1（うら）**：特殊紙1の裏面に印刷する場合に選択します。
- **特殊紙2（うら）**：特殊紙2の裏面に印刷する場合に選択します。
- **特殊紙3（うら）**：特殊紙3の裏面に印刷する場合に選択します。
- **薄紙（うら）**：薄紙の裏面に印刷する場合に選択します。
- **封筒（うら）**：封筒の裏面に印刷する場合に選択します。

**注 意**

- 各用紙タイプが対応する用紙坪量は、お使いになる機種によって異なります。用紙坪量の詳細については、各機種の**かんたん操作ガイド / ユーザーズマニュアル セットアップ編**を参照してください。
- ［特殊紙3］、［特殊紙3（うら）］、［薄紙（うら）］は以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
  - e-STUDIO5055C Series
- ［特殊紙1］、［特殊紙2］、［特殊紙3］、［特殊紙4］、［特殊紙5］、［特殊紙6］で使用できる用紙については、サービスエンジニアにお問い合わせください。
- ［印刷用紙サイズ］ボックスで［A4 Tab］または［Letter Tab］を選択すると、［用紙タイプ］ボックスには［タブ紙］が表示されます。この場合、ほかの用紙タイプは選択できません。
- ［印刷用紙サイズ］ボックスで［封筒］を選択すると、［用紙タイプ］ボックスには［封筒］、［封筒］および［封筒（うら）］、もしくは［封筒1］、［封筒2］、［封筒3］および［封筒4］が表示されます。この場合、ほかの用紙タイプは選択できません。
- 選択できる項目は、お使いになる機種により異なります。

補 足

各用紙タイプに対する推奨紙については、**かんたん操作ガイド / ユーザーズマニュアル セットアップ編**を参照してください。

**6) 排紙先**

印刷ジョブが出力される排紙先トレイを選択します。右横の本機プレビューに、設定されている排紙先が矢印で表示されます。

- **排紙トレイ**：本体の排紙トレイに排紙します。
- **上トレイ**：本体上面の排紙トレイに排紙します。
- **インナー上トレイ**：インナートレイの上段排紙トレイに排紙します。
- **インナー下トレイ**：インナートレイの下段排紙トレイに排紙します。
- **横トレイ**：本体横のトレイに排紙します。
- **トレイ1**：フィニッシャの上段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ2**：フィニッシャの下段排紙トレイに排紙します。
- **サドルトレイ**：サドルステッチフィニッシャのサドルステッチトレイに排紙します。

注 意

- 選択できる項目は、お使いになる機種、用紙サイズおよびオプションの装着状態によって異なります。
- サドルステッチフィニッシャを使用して、中折り印刷やサドルステッチ印刷を行う場合、排紙先は［サドルトレイ］に固定されます。

補 足

- 右横の本機プレビュー上で、排紙先に設定したいトレイを直接クリックして選択することもできます。
- フィニッシャ装着時、イニシャライズ動作を抑えたい場合は、［トレイ1］に設定してください。

**7) 部数**

印刷部数を指定します。

注 意

指定できる部数の範囲は、お使いになる機種によって異なります。

- **e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesの場合**
  1～9999（部）の範囲で指定します。
- **その他の機種**
  1～999（部）の範囲で指定します。

**8) 印刷の向き**

給紙方法で選択した給紙元の用紙の向きと印刷する文書の向きに合わせて、印刷の向きを選択します。

- **縦**：文書を用紙に対して縦方向に印刷します。
- **横**：文書を用紙に対して横方向に印刷します。

**9) カラー**

印刷ジョブをカラーで印刷するか、白黒で印刷するかを選択します。

- **自動カラー選択**：原稿に応じて、カラー印刷または白黒印刷を自動で選択します。
- **フルカラー**：フルカラーで印刷するときに選択します。
- **白黒**：白黒で印刷するときに選択します。
- **2色**：2色印刷するときに選択します。選択した場合は、［色選択］をクリックして、黒以外の箇所を何色で印刷するかを選択します。［レッド］、［グリーン］、［ブルー］、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［ホワイト］いずれかを指定できます。

補 足

［白黒］や［2色］の設定を利用して、カラー文書を白黒や2色で印刷する手順については、以下を参照してください。

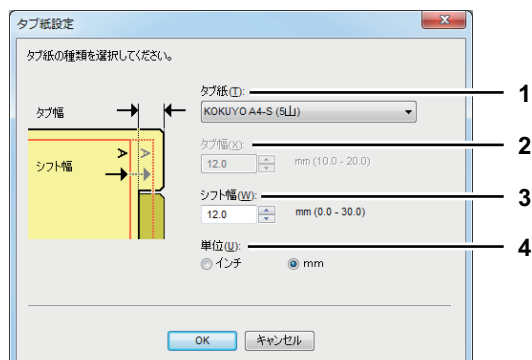
📖 P.116 「カラー文書を白黒印刷する」
📖 P.116 「カラー文書を2色印刷する」

**注意**

［カラー］で設定した内容は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。



### タブ紙設定

**注意**

お使いの機種によっては、タブ紙印刷は利用できません。

**1) タブ紙**

タブ紙の製品名を選択します。

| | |
|---|---|
| A4 Tabを選択した場合: | KOKUYO A4-S （5山） |
| | King JIM A4-S （5山） |
| Letter Tabを選択した場合: | Blanks USA copy Tabs （5山）LT + 1/2" Tab |
| | Blanks USA copy Tabs （8山）LT + 1/2" Tab |

**注意**

上記以外のタブ紙を使ってタブ紙印刷を行う場合は、［カスタム］を選択しタブ幅を手動で設定します。

**2) タブ幅**

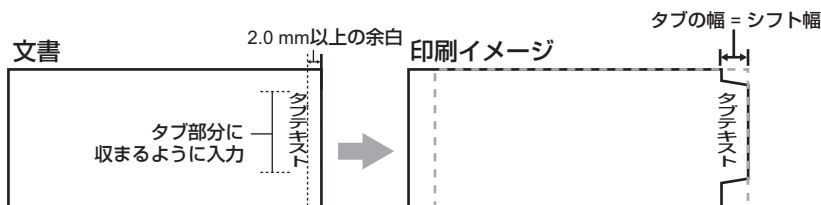
タブ部分の幅を入力します。［タブ紙］欄で［カスタム］を選択した場合に入力します。

**3) シフト幅**

印刷イメージをシフトする幅を入力します。たとえば、A4 Tab用紙のタブにテキストを印刷する場合は、A4サイズの文書を作成し、右端にタブに印刷したいテキストを配置します。配置したテキストをタブの目的の位置までどのくらい移動させるかをシフト幅で指定します。

注 意

- 文書に配置するテキストの縦位置は、使用するタブ紙のタブに収まるように調整して入力してください。
- お使いになる機種により、用紙の端から印刷できる範囲が異なります。印刷する際は以下のように設定してください。
  - **e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO4540C Series、e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesの場合**
    用紙の端から4.2 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで4.2 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、タブ紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

  - **e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesの場合**
    用紙の端から2.0 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで2.0 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、タブ紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

上記以外の機種をお使いの場合は、各機種の**印刷ガイド**を参照してください。

**4) 単位**

タブ幅およびシフト幅の単位を選択します。

注 意

- タブ紙は手差しトレイから給紙します。タブが外側になるように手差しトレイにタブ紙をセットしてください。なお、手差しトレイの形状はお使いになる機種により異なります。

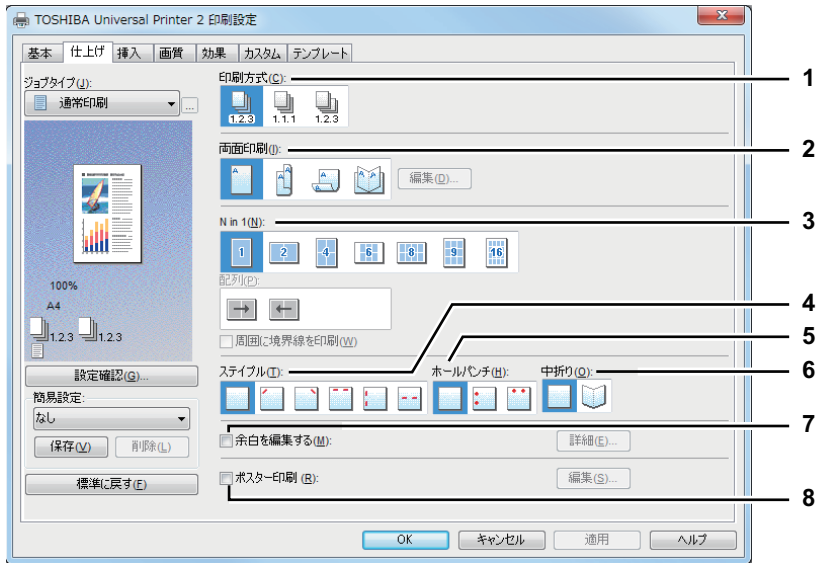
- タブ紙は大容量給紙装置またはカセットから給紙することはできません。
- タブ紙印刷を行う文書が適切に作成されていない場合、またはシフト幅が適切に設定されていない場合は、タブの正しい位置に印刷されません。タブ紙印刷を行う前に、文書が適切に作成されているか、適切なシフト幅が設定されているか確認してください。
- 複数枚のタブ紙を一度に印刷し、印刷イメージがタブの正しい位置に印刷されずに、はみ出てしまった場合などは、2枚目以降のタブ紙の裏面に汚れが付着することがあります。これを回避するため、タブ紙印刷は1枚ずつ別ジョブとして印刷することをお勧めします。
- タブ紙印刷を行うと、タブを送るローラーがないため、本体の排紙トレイに用紙が引っ掛かったまま残ってしまうことがあります。この場合は、次のジョブを印刷する前にタブ紙を取り除いてください。

補 足

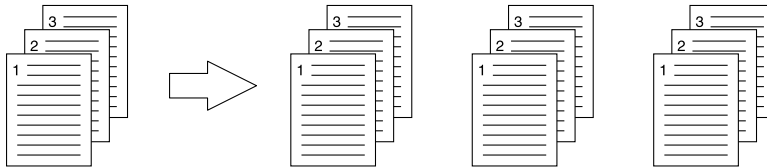
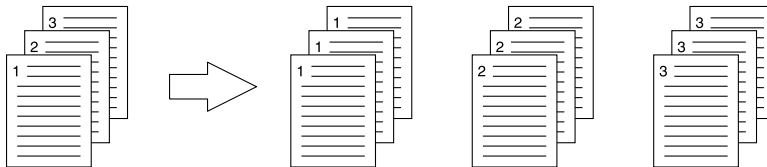
タブ紙に印刷する場合の詳しい手順については、以下を参照してください。

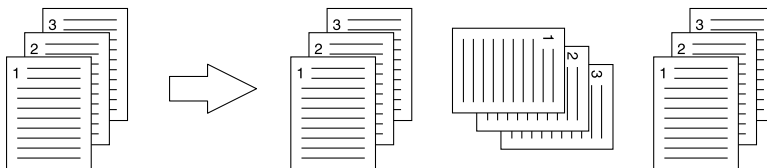
P.134 「タブ紙に印刷する」

## □ ［仕上げ］タブ

このタブでは、印刷方式や両面印刷、Nin1印刷、ステイプル印刷、ホールパンチ印刷、ポスター印刷などフィニッシャ機能に関する設定を行います。

**1) 印刷方式**

複数部数の印刷を行うときに、印刷ページをどのようにソートするかを設定します。

- **ソート**：ソート印刷を選択します（部ごとに仕分けして排紙します）。

- **グループ**：グループ印刷を選択します（ページごとにグループ分けして排紙します）。

- **縦横交互**：1部ずつ縦横交互に排紙します。

**注 意**

- お使いの機種によっては、［縦横交互］は設定できません。
- ［グループ］および［縦横交互］は、印刷部数を2部以上指定したときにのみ有効です。
- ［縦横交互］は、用紙サイズに［Letter］、［A4］、［B5］、［16K］を選択したときにのみ有効です。あらかじめ［Letter］、［A4］、［B5］、［16K］サイズの異なる方向の用紙をカセットまたは、大容量給紙装置にセットしておきます。

**補 足**

［印刷方式］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。

📖 P.117 「1部またはページごとに分けて印刷する」

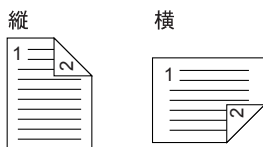
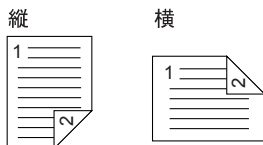
**2) 両面印刷**

用紙の両面に印刷をします。両面印刷をする場合は、とじしろの位置を選択します。

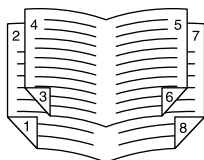
- なし：片面に印刷します。
- 長辺：用紙の長い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。

縦　横

- 短辺：用紙の短い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。

縦　横

- マガジンソート：本や雑誌のようなページ構成で印刷します。選択した場合は、［編集］をクリックしてどのようにマガジンソート印刷するかを設定します。

📖 P.52 「マガジンソート設定」

**注 意**

- この機能は、本機に自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。
- ［基本］タブの［印刷用紙サイズ］ボックスで以下の用紙サイズが選択されている場合、両面印刷は実行できません。
  - はがき
  - 往復はがき
  - A6
  - IndexCard 3x5"
  - 封筒 COM10
  - 封筒 COM9
  - 封筒 Monarch
  - 封筒 DL
  - 封筒 長形3号
  - 封筒 長形4号
  - 封筒 洋形4号
  - 封筒 C5
  - A4 Tab
  - Letter Tab
  - A3ノビ（13 x 19"）
  - カスタム用紙サイズ（機種およびサイズによっては両面印刷できます。）
- ［基本］タブの［用紙タイプ］ボックスで以下の用紙タイプが選択されている場合、両面印刷は実行できません。ただし、お使いになる機種やフィニッシャの装着状況により異なる場合があります。
  - OHP用紙
  - 厚紙4
  - 厚紙4（うら）
  - 厚紙5
  - 特殊紙 1～6
  - 封筒 1～4

補 足

- 両面印刷した用紙にステイプル留めやとじ穴を開けて出力したい場合は、各機能を別途設定します。
P.124 「ステイプル留めする」
P.124 「ホールパンチ印刷」
- ［両面印刷］設定を利用した印刷の詳しい手順については以下を参照してください。
P.119 「両面印刷する」



**3) Nin1**

複数のページを１枚の用紙に印刷します。印刷イメージは指定した用紙サイズに収まるように印刷イメージを自動的に縮小して印刷します。
- なし：1ページを1枚の用紙に印刷します。
- **2 in 1**：2ページを1枚の用紙に印刷します。
- **4 in 1**：4ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **6 in 1**：6ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **8 in 1**：8ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **9 in 1**：9ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **16 in 1**：16ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

**配列**

Nin1印刷を行う際の配列を選択します。
- **左から右**：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **右から左**：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **縦列で左から右**：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **縦列で右から左**：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。

**周囲に境界線を印刷**

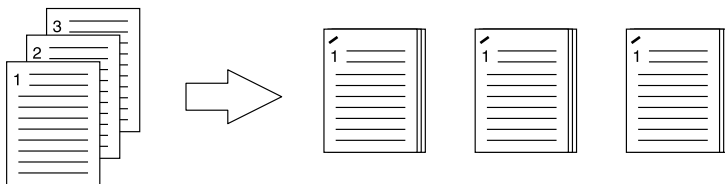
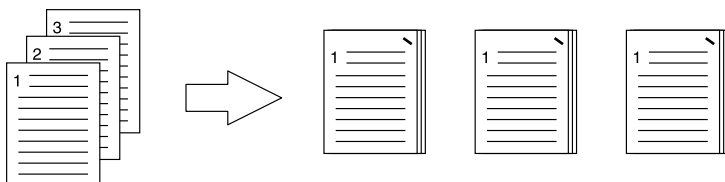
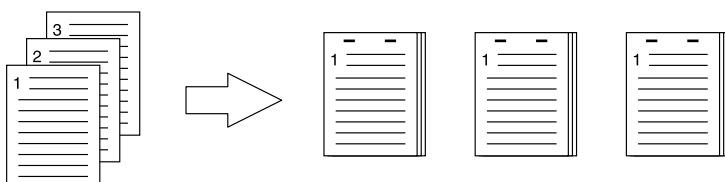
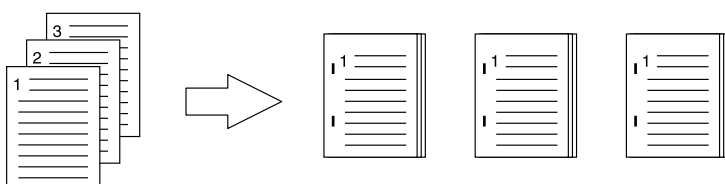
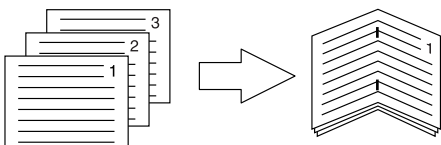
このチェックボックスをオンにすると、ページごとに境界線を印刷します。

補 足

- 両面印刷で［マガジンソート］を設定した場合は、［2 in 1］設定のみ選択することができます。
- ［Nin1］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
P.123 「複数ページを1ページにまとめて印刷する」

**4) ステイプル**

部ごとに用紙をステイプル留めする場合は、留め位置を選択します。

- **なし**：ステイプル留めをしません。
- **上段左**：部ごとに用紙の左上をステイプル留めして出力します。

- **上段右**：部ごとに用紙の右上をステイプル留めして出力します。

- **上段（2か所）**：部ごとに用紙の上部2か所をステイプル留めして出力します。

- **左（2か所）**：部ごとに用紙の左側2か所をステイプル留めして出力します。

- **サドルステッチ**：用紙の中央2か所をステイプル留めし中折りして出力します。この設定を選択すると、ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、単純に中折りとじして出力します。

補 足

［サドルステッチ］は、すでにデータ上でマガジンソートされた文書に対してサドルステッチ印刷を行う場合に使用します。通常のページ順の文書からマガジンソート印刷を行う場合は、［両面印刷］で［マガジンソート］を設定します。サドルステッチを使用した場合は、「マガジンソート設定」ダイアログボックスの［サドルステッチを使用する］チェックボックスをオンにしてください。

注 意

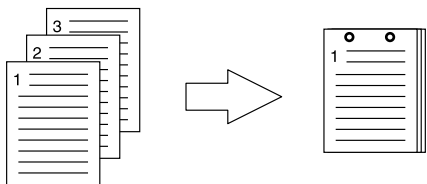
- 選択できる機能は、お使いの機種、用紙サイズおよび印刷の向きによって異なります。
- ステイプル印刷は、フィニッシャ装着時のみ実行できます。
- ［サドルステッチ］は、サドルステッチフィニッシャ装着時のみ有効です。
- グループ印刷やマガジンソート印刷が設定されている場合、ステイプル印刷は実行できません。
- ［基本］タブの［印刷用紙サイズ］ボックスで以下の用紙サイズが選択されている場合、ステイプル印刷は実行できません。
  - A5
  - A6
  - はがき
  - 往復はがき
  - IndexCard 3x5"
  - 305 x 457 mm
  - Statement
  - 12x18"
  - A4 Tab
  - Letter Tab
  - 320 x 450 mm
  - 320 x 460 mm
  - A3ノビ（13 x 19"）
  - 封筒 COM10
  - 封筒 COM9
  - 封筒 Monarch
  - 封筒 DL
  - 封筒 長形3号
  - 封筒 長形4号
  - 封筒 洋形4号
  - 封筒 C5
  - カスタム用紙サイズ
- ［基本］タブの［用紙タイプ］ボックスで以下の用紙タイプが選択されている場合、ステイプル印刷は実行できません。ただし、お使いになる機種やフィニッシャの装着状況により異なる場合があります。
  - 厚紙4
  - 厚紙5
  - 特殊紙1～6
  - OHP用紙
  - 封筒1～4
  - 厚紙4（うら）
  - 特殊紙1（うら）
  - 特殊紙2（うら）
  - 特殊紙3（うら）

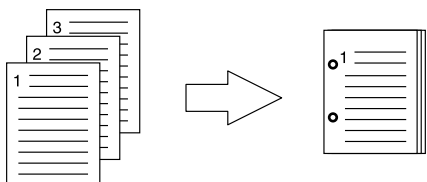
補 足

［ステイプル］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
📖 P.124 「ステイプル留めする」

**5) ホールパンチ**

印刷文書にホールパンチ処理（とじ用の穴開け）を行う場合は、ホールパンチ位置を選択します。

- **なし**：ホールパンチ処理をしません。
- **上段**：用紙の上部2か所に綴じ穴を開けて排紙します。

- **左**：用紙の左側2か所に綴じ穴を開けて排紙します。

注 意

- ホールパンチ印刷は、ホールパンチユニット装着時のみ実行できます。
- マガジンソート印刷が設定されている場合、ホールパンチ印刷は実行できません。
- 選択できるホールパンチ位置は、用紙サイズによって異なります。

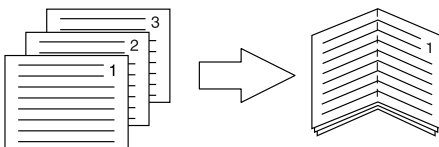
補 足

［ホールパンチ］設定を利用した印刷の詳しい手順については以下を参照してください。

P.124 「ホールパンチ印刷」

**6) 中折り**

用紙を中折りして出力します。ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷した後、用紙の中央で中折りして排紙します。

- **なし**：用紙の中折りをしません。
- **中折り**：用紙の中央で中折りします。

補 足

［中折り］は、あらかじめデータ上でマガジンソートされた文書に対して、中折り印刷を行う場合に使用します。通常のページ順の文書からマガジンソート印刷を行う場合は、［両面印刷］で［マガジンソート］を設定します。中折りを使用した場合は、［両面印刷］で［マガジンソート］を設定して［編集］をクリックし、「マガジンソート設定」ダイアログボックスを開き、［中折り］チェックボックスをオンにしてください。

注 意

［中折り］は、以下の機種にサドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。

- e-STUDIO6570C Series
- e-STUDIO6550C Series
- e-STUDIO4540C Series
- e-STUDIO507 Series（MJ-1108装着時のみ）
- e-STUDIO456 Series（MJ-1106装着時のみ）
- e-STUDIO5055C Series

補 足

［中折り］設定を利用した印刷の詳しい手順については以下を参照してください。
P.120 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する」

**7) 余白を編集する**

ページの余白を設定する場合にチェックボックスをオンにします。オンにした場合は、［詳細］をクリックして、上下左右の余白を設定します。
余白の設定範囲は、お使いになる機種により異なります。

- **e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO4540C Series、e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Series、e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Series、e-STUDIO407CS Series、e-STUDIO527S Series、Loops Seriesの場合**
  余白の設定範囲は、4.2 mm～100 mmとなります。4.2 mm以下に設定することはできません。

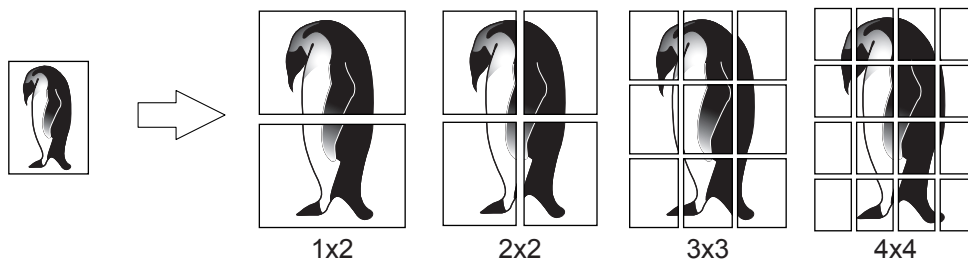
上記以外の機種をお使いの場合は、各機種の**印刷ガイド / ユーザーズマニュアル 応用機能編**を参照してください。

注 意

- ［両面印刷］で［マガジンソート］が設定されている場合は、この機能は無効です。
- この機能は、アプリケーションが余白機能をサポートしていない場合にご使用ください。アプリケーションで余白が設定できる場合は、この機能は使用せずにアプリケーションの機能をご使用ください。
- この機能では、マガジンソート印刷のとじしろは設定できません。

**8) ポスター印刷**

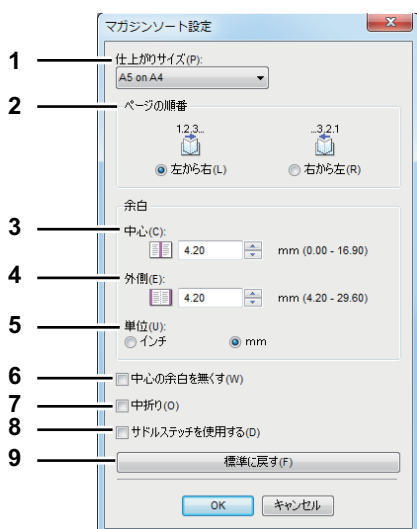
1つの印刷ジョブを複数の用紙に分割して印刷します。分割して印刷された用紙をつなぎあわせれば、ポスターのように大きな用紙の印刷物を作成することができます。この機能をオンにした場合は［詳細］をクリックして、分割枚数を設定します。

1x2
2x2
3x3
4x4

注 意

- カスタム用紙サイズ、Nin1印刷、両面印刷、ウォーターマーク、オーバーレイ、シート挿入の各機能を設定している場合、ポスター印刷を実行することはできません。
- ポスター印刷は、［基本］タブの［印刷用紙サイズ］が以下のサイズを選択した場合にのみ設定できます。ただし、お使いになる機種により選択できる用紙サイズは異なります。
  A4、A3、B4、B5、LT、LD
- ［1x2］は、印刷用紙サイズをA4、A3、B4またはB5にした場合のみ選択できます。

補 足

［ポスター印刷］設定を利用した印刷の詳しい手順については以下を参照してください。
P.125 「1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）」

## マガジンソート設定

**1) 仕上がりサイズ**

出力される仕上がりサイズを選択します。

- **A5 on A4**：各ページをA5サイズに縮小し、A4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **A4 on A3**：各ページをA4サイズに縮小し、A3サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **B5 on B4**：各ページをB5サイズに縮小し、B4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **B6 on B5**：各ページをB6サイズに縮小し、B5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 Folio on Folio**：各ページをFolio用紙の半分に収まるように縮小し、Folioサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **A6 on A5**：各ページをA6サイズに縮小し、A5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **Letter - Half on Letter**：各ページをLetter用紙の半分に収まるように縮小し、Letterサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **LT on LD**：各ページをLetterサイズに縮小し、Ledgerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 LG on LG**：各ページをLegal用紙の半分に収まるように縮小し、Legalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 Statement on Statement**：各ページをStatement用紙の半分に収まるように縮小し、Statementサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 Comp on Comp**：各ページをComputer用紙の半分に収まるように縮小し、Computerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 13LG on 13LG**：各ページを13インチLegal用紙の半分に収まるように縮小し、13インチLegalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 8.5SQ on 8.5SQ**：各ページを8.5インチSQ用紙の半分に収まるように縮小し、8.5インチSQサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **32K on 16K**：各ページを32Kサイズに縮小し、16Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **16K on 8K**：各ページを16Kサイズに縮小し、8Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 13.5LG on 13.5LG**：各ページを13.5インチLegal用紙の半分に収まるように縮小し、13.5インチLegalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 Executive on Executive**：各ページをExecutive用紙の半分に収まるように縮小し、Executiveサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 (Custom) on (Custom)**：各ページをカスタムサイズの半分に縮小し、カスタムサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

**注 意**

お使いになる機種により選択できる用紙サイズは異なります。

**2) ページの順番**

ページを左から右の順序で印刷するか、右から左の順序で印刷するかを選択します。

**3) 余白 - 中心**
見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。0～16.90 mm（0～0.67インチ）の範囲で入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。

**4) 余白 - 外側**
ページの上下左右の余白を設定します。4.20～29.60 mm（0.17～1.17インチ）の範囲で入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。

**5) 余白 - 単位**
中心の余白および外側の余白の単位を選択します。

**6) 中心の余白を無くす**
このチェックボックスをオンにすると、用紙の中央の余白を0 mm（0インチ）に設定します。
このとき［余白-中心］に設定されていた値は、無効となります。

**7) 中折り**
このチェックボックスをオンにすると、用紙の中央部分で中折りして出力します。

注 意

- ［中折り］は、以下の仕上がりサイズを指定したときにのみ使用できます。
  ［A5 on A4］、［A4 on A3］、［B5 on B4］、［Letter - Half on Letter］、［LT on LD］、［1/2 LG on LG］、［16K on 8K］
- ［中折り］は、以下の機種にサドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。
  - e-STUDIO6570C Series
  - e-STUDIO6550C Series
  - e-STUDIO4540C Series
  - e-STUDIO507 Series（MJ-1108装着時のみ）
  - e-STUDIO456 Series（MJ-1106装着時のみ）
  - e-STUDIO5055C Series

**8) サドルステッチを使用する**
このチェックボックスをオンにすると、用紙の中央部分を2か所ステイプル留めして出力します。

注 意

- ［サドルステッチを使用する］は、以下の仕上がりサイズを指定したときにのみ使用できます。
  ［A5 on A4］、［A4 on A3］、［B5 on B4］、［Letter - Half on Letter］、［LT on LD］、［1/2 LG on LG］、［16K on 8K］
- ［サドルステッチを使用する］は、サドルステッチフィニッシャ装着時のみ有効です。

**9) ［標準に戻す］**
「マガジンソート設定」ダイアログボックスで表示されている設定を工場出荷時の状態に戻します。

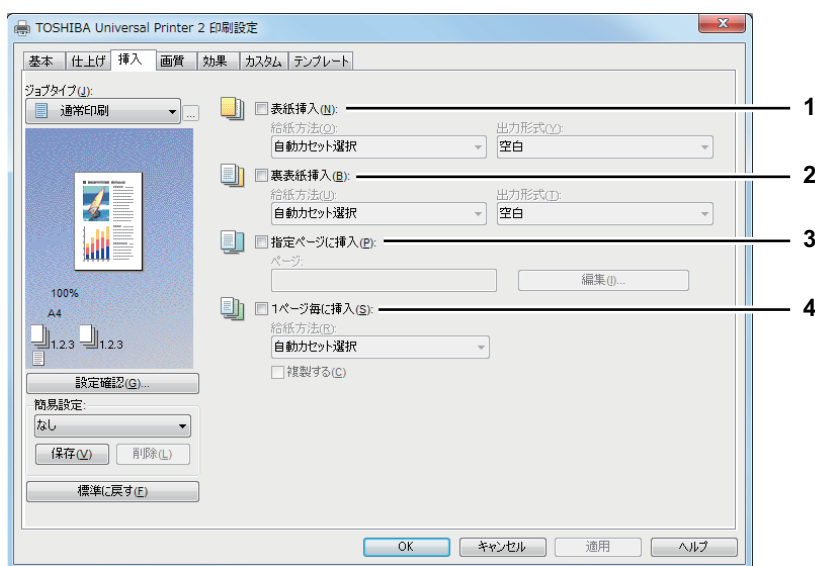
補 足

［マガジンソート］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
📖 P.120 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する」

## □［挿入］タブ

このタブでは、表紙や裏表紙の印刷または挿入、ページ間への空白シートの挿入や、指定したページを別シートに印刷する設定を行います。

**注 意**

- タブ紙印刷が設定されている場合、［表紙挿入］、［裏表紙挿入］、［指定ページに挿入］、［1ページ毎に挿入］は実行できません。
- 同じサイズの用紙を挿入するときは、本機の給紙元カセットの用紙タイプを変更するか、［基本］タブで給紙方法を選択しないと、挿入するカセットからすべて印刷されてしまいますので注意してください。
- ジョブタイプで［本体に保存］を選択した場合、［表紙挿入］、［裏表紙挿入］、［指定ページに挿入］、［1ページ毎に挿入］の設定は無効となります。

**1) 表紙挿入**

表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書のはじめのページを印刷することができます。表紙印刷を設定する場合は、［表紙挿入］チェックボックスをオンにし、給紙方法と出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

**補 足**

［表紙挿入］設定を利用した印刷の詳しい手順については以下を参照してください。

📖 P.126 「表紙など異なる用紙を挿入する」

**給紙方法**

表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

**注 意**

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および［デバイス設定］タブの設定によって異なります。

**出力形式**
表紙の印刷方法を選択します。
- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **片面印刷**：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。
- **両面印刷**：文書の最初の２ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。この機能は、［仕上げ］タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。

**注 意**

［仕上げ］タブで両面印刷を設定したときに［片面印刷］を選択すると、表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

**2) 裏表紙挿入**
裏表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、裏表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書の最後のページを印刷することができます。裏表紙印刷を設定する場合は、［裏表紙挿入］チェックボックスをオンにし、給紙方法と出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

**補 足**

［表紙挿入］設定を利用した印刷の詳しい手順については以下を参照してください。
📖 P.126 「表紙など異なる用紙を挿入する」

**給紙方法**
裏表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

**注 意**

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および［デバイス設定］タブの設定によって異なります。

**出力形式**
裏表紙の印刷方法を選択します。
- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **片面印刷**：文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。
- **両面印刷**：文書の最後の２ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。この機能は、［仕上げ］タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択することができます。

**注 意**

- ［仕上げ］タブで両面印刷を設定したときに［片面印刷］を選択すると、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。
- ［両面印刷］を選択したときに裏表紙に印刷するページが1ページしかない場合は、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

**3) 指定ページに挿入**

ページ間へのシート挿入印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、指定したページの間に違うトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うトレイから給紙した用紙に指定したページを印刷することができます。この機能は、印刷文書の各章の間に空白シートを挿入するときや、章の扉ページを本文とは違う用紙に印刷するときなどに便利です。シート挿入印刷を設定する場合は、［指定ページに挿入］チェックボックスをオンにし、［編集］をクリックして挿入方法を設定します。

📖 P.57 「指定ページに挿入」

**注 意**

- ［1ページ毎に挿入］と同時に設定することはできません。
- 挿入できるページ数は、最大50ページまでです。

**補 足**

［指定ページに挿入］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。

📖 P.126 「表紙など異なる用紙を挿入する」

**4) 1ページ毎に挿入**

印刷ジョブの各ページの間にそれぞれ用紙を挿入します。この機能を設定すると、印刷ジョブの各ページの間に、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入することができます。たとえば、OHP用紙の間に色シートをそれぞれ挿入するときなどに便利な機能です。この機能を設定する場合は、［1ページ毎に挿入］チェックボックスをオンにし、用紙の給紙方法を選択します。

**注 意**

- ［表紙挿入］［裏表紙挿入］と組み合わせて1ページごとに挿入を行った場合、表紙および裏表紙の後ろには用紙は挿入されません。
- ［指定ページに挿入］と同時に設定することはできません。

**補 足**

［1ページ毎に挿入］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。

📖 P.128 「1ページごとに用紙を挿入する」

**給紙方法**

挿入シートに使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

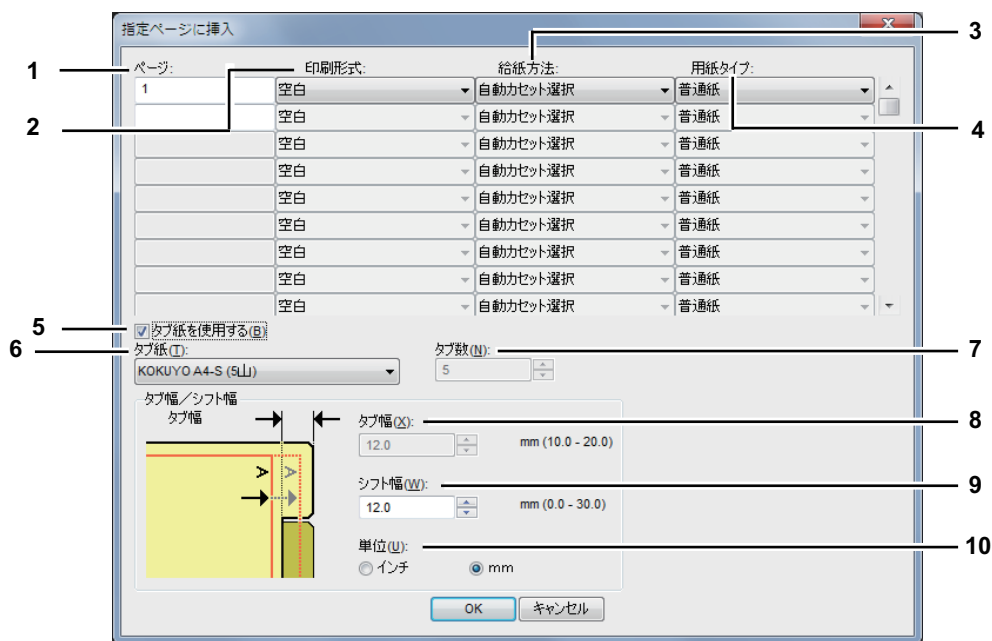
**注 意**

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および［デバイス設定］タブの設定によって異なります。

**複製する**

このチェックボックスをオンにすると、挿入シートすべてにそれぞれの前ページと同じページイメージが印刷されます。OHP用紙の間の紙にそれぞれ印刷するときなどに便利な機能です。

## 指定ページに挿入

**注 意**

お使いの機種によっては、タブ紙印刷は利用できません。

**1) ページ**

シートを挿入するページ番号を入力します。
［印刷形式］ボックスで［空白］が選択されていると、白紙シートが入力したページ番号の前にそれぞれ挿入されます。
［片面印刷］が選択されている場合は、指定したページが挿入シートに印刷されます。
［両面印刷］が選択されている場合は、指定したページおよび次のページが挿入シートの両面に印刷されます。

**2) 印刷形式**

挿入シートの印刷方法を選択します。
- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を指定したページに挿入します。
- **片面印刷**：指定したページを別の用紙の表面にのみ印刷します。
- **両面印刷**：指定したページを別の用紙に両面印刷します。たとえば、［ページ］ボックスに［5］を入力した場合、文書の5ページ目と6ページ目を指定した給紙元の用紙に印刷します。この機能は、［仕上げ］タブで両面印刷が有効に設定されているときに選択できます。

**3) 給紙方法**

挿入シートに使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

**注 意**

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および［デバイス設定］タブの設定によって異なります。

**4) 用紙タイプ**

指定した挿入ページに使用する用紙タイプを選択します。

**5) タブ紙を使用する**

指定したページの間にタブ紙を挿入したり、タブ紙に指定したページを印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

**注 意**

お使いの機種によっては、タブ紙印刷は利用できません。

**6) タブ紙**

タブ紙の製品名を選択します。

| | |
|---|---|
| A4 Tabを選択した場合: | KOKUYO A4-S （5山） |
| | King JIM A4-S （5山） |
| Letter Tabを選択した場合: | Blanks USA copy Tabs （5山）LT + 1/2" Tab |
| | Blanks USA copy Tabs （8山）LT + 1/2" Tab |

**注 意**

上記以外のタブ紙を使ってタブ紙印刷を行う場合は、［カスタム］ を選択しタブ幅を手動で設定します。

**7) タブ数**

タブ紙のタブの総数を1～10で選択します。たとえば、タブが上から下まで5個ある場合は、5を選択します。［タブ紙］欄で［カスタム］を選択した場合に入力します。

**8) タブ幅**

タブの幅を入力します。［タブ紙］欄で［カスタム］を選択した場合に入力します。

**9) シフト幅**

印刷イメージをシフトする幅を入力します。

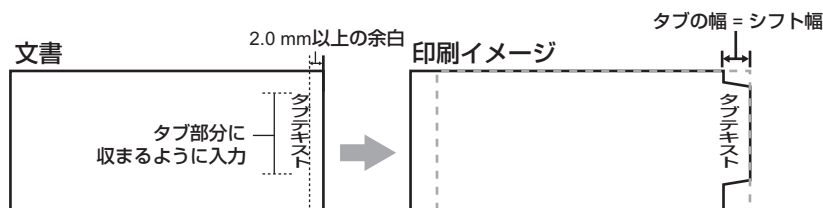
たとえば、A4 Tab用紙のタブにテキストを印刷する場合は、A4サイズの文書を作成し、右端にタブに印刷したいテキストを配置します。配置したテキストをタブの目的の位置までどのくらい移動させるかをシフト幅で指定します。

**注 意**

- 文書に配置するテキストの縦位置は、使用するタブ紙のタブに収まるように調整して入力してください。
- お使いになる機種により、用紙の端から印刷できる範囲が異なります。印刷する際は以下のように設定してください。
  - **e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO4540C Series、e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesの場合**

    用紙の端から4.2 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで4.2 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、タブ紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

  - **e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesの場合**

    用紙の端から2.0 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで2.0 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、タブ紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

上記以外の機種をお使いの場合は、各機種の**印刷ガイド**を参照してください。

**10) 単位**

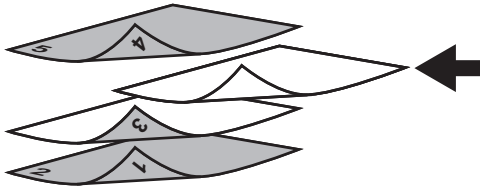
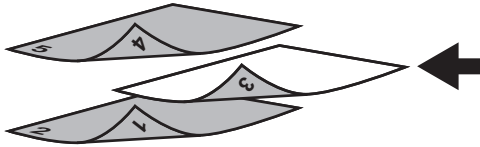
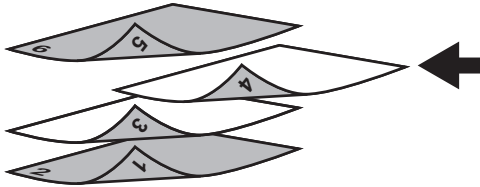
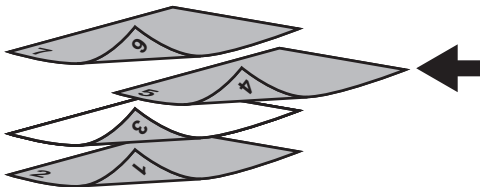
タブ幅およびシフト幅の単位を選択します。

**注 意**

- タブ紙は手差しトレイから給紙します。タブが外側になるように手差しトレイにタブ紙をセットしてください。なお、手差しトレイの形状はお使いになる機種により異なります。

- タブ紙は大容量給紙装置またはカセットから給紙することはできません。
- タブ紙印刷を行う文書が適切に作成されていない場合、またはシフト幅が適切に設定されていない場合は、タブの正しい位置に印刷されません。タブ紙印刷を行う前に、文書が適切に作成されているか、適切なシフト幅が設定されているか確認してください。
- 複数枚のタブ紙を一度に印刷し、印刷イメージがタブの正しい位置に印刷されずに、はみ出てしまった場合などは、2枚目以降のタブ紙の裏面に汚れが付着することがあります。これを回避するため、タブ紙印刷は1枚ずつ別ジョブとして印刷することをお勧めします。
- タブ紙印刷を行うと、タブを送るローラーがないため、本体の排紙トレイに用紙が引っ掛かったまま残ってしまうことがあります。この場合は、次のジョブを印刷する前にタブ紙を取り除いてください。

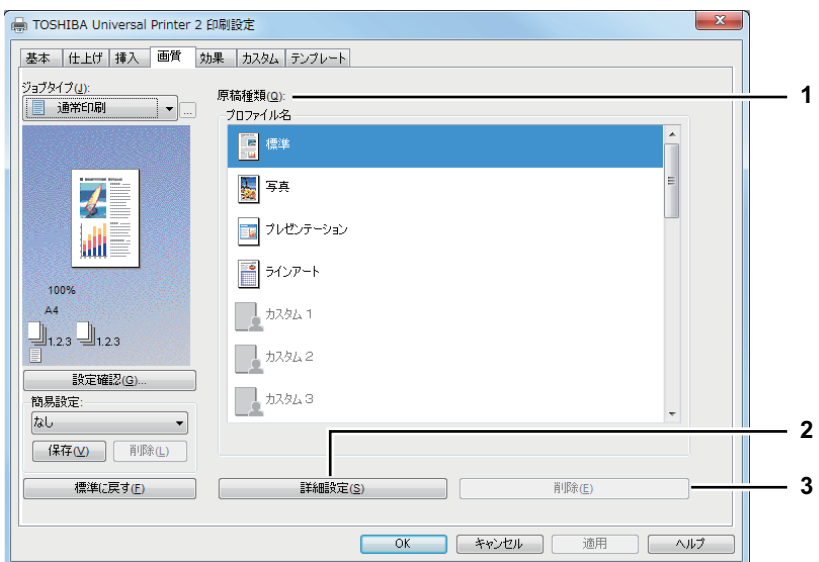
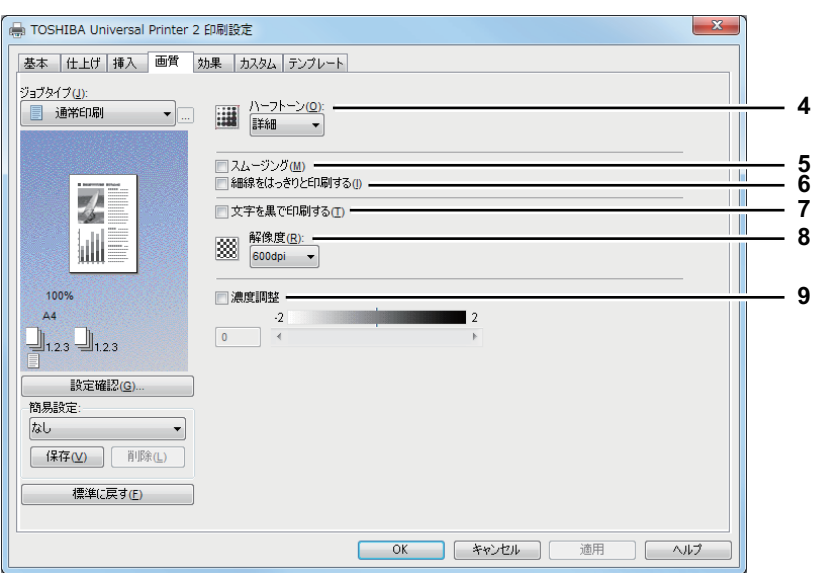
注 意

- 両面印刷を設定時に、印刷形式で［空白］を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずブランクページとなり、次に白紙シートが挿入され、その次の表面から引き続き印刷されます。

- 両面印刷を設定時に、印刷形式で［片面印刷］を選択すると、指定したページ（下図の例：3 ページ）は挿入シートの表面に印刷され、シートの裏面はブランクとなります。

- 両面印刷を設定時に、印刷形式で［片面印刷］を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずブランクページとなり、挿入された用紙の表面に指定したページが印刷され、その次の表面から引き続き印刷されます。

- 両面印刷を設定時、印刷形式で［両面印刷］を選択し、偶数ページ（用紙の裏面に印刷されるページ、下図の例：4ページ）を指定した場合、指定したページ（用紙の裏面）は印刷されずブランクページとなり、挿入された用紙の両面に指定したページと次のページが印刷され、それ以降のページはその次の表面から引き続き印刷されます。

## □ [画質] タブ

このタブでは、ページイメージをどのように印刷するかを設定します。文書の種類に応じた適切な画質を選択できます。

**注 意**

この機能は、お使いになる機種がカラー MFPかモノクロMFPかによって設定できる項目が異なります。

### カラー MFPの場合

### モノクロMFPの場合

**1) 原稿種類**

ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。プリンタドライバは、ジョブタイプによって適切なイメージ品質を自動的に適用します。あらかじめ登録されている原稿種類を選択するか、または作成したカスタム原稿種類を選択することができます。カスタム原稿種類の作成は、［詳細設定］をクリックして行います。

- **標準**：通常のカラー文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
- **写真**：写真を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
- **プレゼンテーション**：プレゼンテーション資料を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
- **ラインアート**：多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
- **カラープロファイル**：カラースペースを調整するプロファイルを適用します。以下のプリンタドライバをお使いの場合のみ表示されます。
  - Universal Printer 2（PostScript）
  - Universal PS3
  - Universal XPS

注 意

- この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。
- ［基本］タブの［カラー］ボックスで［白黒］または［2色］を選択した場合は、［標準］の設定となります。

**2) ［詳細設定］**

原稿種類をカスタマイズします。クリックすると「画質詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。最大20個まで、カスタム原稿種類を作成することができます。

P.65 「画質詳細設定：［基本］タブ」
P.69 「画質詳細設定：［カラーバランス］タブ」
P.70 「画質詳細設定：［画質調整］タブ」
P.71 「画質詳細設定：［カラープロファイル］タブ」

注 意

- この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。
- 新しいカスタム原稿種類は、［デバイスとプリンター］フォルダ（Windows Vista/Windows Server 2008では［プリンタ］フォルダ、Windows Server 2003では［プリンタとFAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ作成できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、新しいカスタム原稿種類を作成することはできません。

**3) ［削除］**

選択したカスタム原稿種別を削除します。クリックすると削除を確認するダイアログボックスが表示されるので、削除する場合は、［はい］をクリックします。

注 意

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

**4) ハーフトーン**
ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
- **自動選択**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

注 意

- この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。
- 以下の機種で、Universal Printer 2（PCL6）プリンタドライバを使用している場合、［自動選択］は選択できません。なお、初期値は［詳細］となります。
  - e-STUDIO857 Series
  - e-STUDIO856 Series
  - e-STUDIO507 Series
  - e-STUDIO456 Series
  - Loops Series

**5) スムージング**
テキストやグラフィックスをなめらかに印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

注 意

- この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。
- お使いの機種によっては、［解像度］を［1200 dpi］に設定すると［スムージング］は設定できません。

**6) 細線をはっきりと印刷する**
細線をはっきりと印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

注 意

- お使いの機種がカラー MFPの場合は、以下の項目で設定ができます。
  P.65 「画質詳細設定：［基本］タブ」
- お使いの機種によっては、この機能は利用できません。

**7) 文字を黒で印刷する**
白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

注 意

- お使いの機種がカラー MFPの場合は、以下の項目で設定ができます。
  P.65 「画質詳細設定：［基本］タブ」
- お使いの機種によっては、この機能は利用できません。

**8) 解像度**
印刷の解像度を設定します。
- **600 dpi**：600 x 600 dpiの解像度で印刷します。
- **1200 dpi**：1200 x 1200 dpiの解像度で印刷します。

注 意

- お使いの機種がカラー MFPの場合は、以下の項目で設定ができます。
  P.65 「画質詳細設定：［基本］タブ」
- ［解像度］は、以下の機種で印刷をする場合に表示されます。
  - e-STUDIO527S Series
- ［1200 dpi］は、Universal Printer 2（PostScript）/ Universal PS3プリンタドライバを使用した場合のみ有効となります。

補 足

［1200 dpi］について

- 小さい文字や図形・細線のアウトラインのジャギー（ギザギザ）を抑え、よりなめらかに印刷することができます。
- 写真画像などを印刷する場合は、階調性の高い600 dpi設定をお勧めします。
- 1200 dpi印刷は扱うデータ量が大きくなるため、600 dpi印刷より印刷処理に時間がかかります。

**9) 濃度調整**

チェックボックスをオンにしてスライドバーを左へ動かすと明るく印刷し、右へ動かすと暗く印刷します。印刷濃度は-2から2まで5段階に調整できます。

注 意

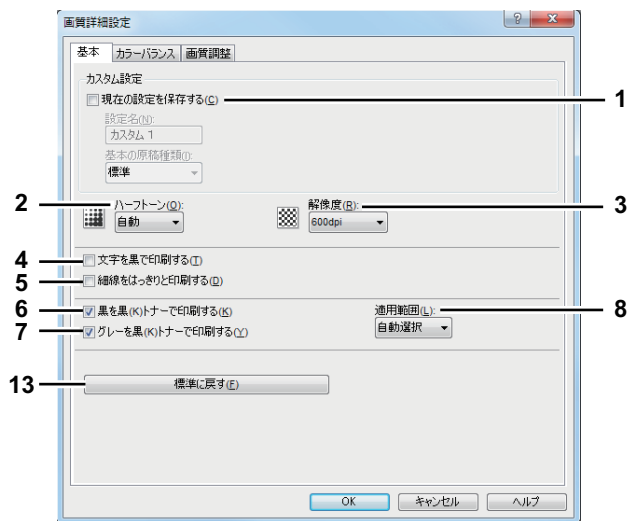
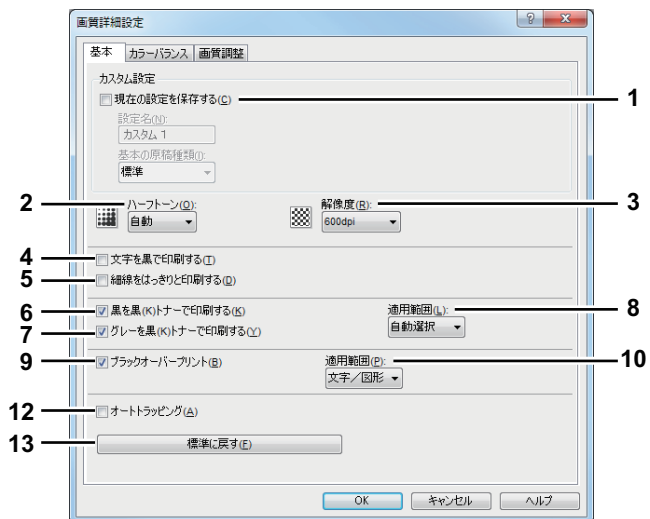
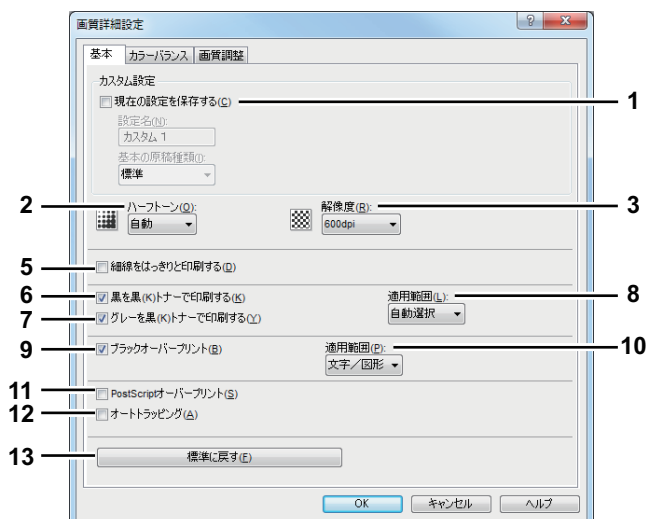
- この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。
- お使いの機種によっては、この機能は利用できません。

### 画質詳細設定：[基本] タブ

「画質詳細設定」ダイアログボックスの［基本］タブでは、以下の機能を設定できます。

**注 意**

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。また、お使いの機種によって設定できる項目が異なります。下記以外の設定項目については、各機種の**印刷ガイド / ユーザーズマニュアル 応用機能編**を参照してください。

#### [基本] タブ（Universal Printer 2（PCL6） / Universal XPS）

#### [基本] タブ（Universal Printer 2（PostScript））

### ［基本］タブ（Universal PS3）

**1) 現在の設定を保存する**

設定をカスタム原稿種類として保存したい場合にチェックボックスをオンにします。オフにした場合は、選択したカスタム原稿種類を未定義の状態に戻します。カスタム原稿種類は最大で20個まで作成することができます。

**注 意**

このチェックボックスは、［デバイスとプリンター］フォルダ（Windows Vista/Windows Server 2008では［プリンタ］フォルダ、Windows Server 2003では［プリンタとFAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ有効です。

**設定名**

［現在の設定を保存する］のチェックボックスをオンにした場合に、保存するカスタム原稿種類の設定名を入力します。

**補 足**

- 既存のカスタム原稿種類を編集しているときに、設定名を変更せずに保存した場合は、既存のカスタム原稿種類の設定が上書き保存されます。
- 既存のカスタム原稿種類を編集しているときに、設定名を変更して保存した場合は、新しいカスタム原稿種類として保存されます。
- あらかじめ登録されている原稿種類の設定名（［標準］［写真］［プレゼンテーション］［ラインアート］［カラープロファイル］）を入力しても、あらかじめ登録されている原稿種類の設定は上書きされません。指定した名前で、新規のカスタム原稿種類として保存されます。

**基本の原稿種類**

設定するカスタム原稿種類のベースとなる原稿種類を選択します。

**2) ハーフトーン**

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

- **自動**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。

**3) 解像度**

印刷の解像度を設定します。

- **600 dpi**：600 x 600 dpiの解像度で印刷します。
- **1200 dpi**：1200 x 1200 dpiの解像度で印刷します。
- **600 x 1200 dpi**：600 x 1200 dpiの解像度で印刷します。

注 意

- ［1200 dpi］は、Universal Printer 2（PostScript）/ Universal PS3プリンタドライバを使用し、以下の機種で印刷をする場合のみ有効となります。
  - e-STUDIO6570C Series
  - e-STUDIO6550C Series
- ［600 x 1200 dpi］は、Universal Printer 2（PostScript）/ Universal PS3プリンタドライバを使用し、以下の機種で印刷をする場合のみ有効となります。
  - e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Series、e-STUDIO407CS Series
- ［画質］タブの［原稿種類］で［写真］または［プレゼンテーション］を選択した場合、［1200 dpi］、［600 x 1200 dpi］は表示されません。
- ［600 x 1200 dpi］で印刷する場合、以下の機能を使用して印刷することはできません。
  - 縦横交互排紙
  - オートカセットチェンジ
  - オートトラッピング
- A3サイズ用紙モデルの場合、［600 x 1200 dpi］で印刷するときは、印刷に使用するカセットや用紙の向きに合わせて印刷データを確定した後、そのカセットにセットされた用紙の向きが変更されても、印刷データの向きは自動的に回転されません。たとえば、1段目カセットにセットされたA4縦向きの用紙を指定してホールド印刷を行い、印刷待ちの状態（本機で印刷データが確定された状態）となった後、1段目カセットの用紙の向きをA4縦向きからA4横向きに変更して印刷すると、印刷データは自動的に回転されずA4縦向きのままで印刷されます。

補 足

［1200 dpi］、［600 x 1200 dpi］について

- 小さい文字や図形・細線のアウトラインのジャギー（ギザギザ）を抑え、よりなめらかに印刷することができます。
- 写真画像などを印刷する場合は、階調性の高い600 dpi設定をお勧めします。
- 1200 dpi印刷は扱うデータ量が大きくなるため、600 dpi印刷より印刷処理に時間がかかります。

**4) 文字を黒で印刷する**

白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

注 意

この機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。
- Universal Printer 2
- Universal XPS

**5) 細線をはっきりと印刷する**

細線をはっきりと印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

**6) 黒を黒（K）トナーで印刷する**

黒の箇所を黒トナーで印刷します。

**7) グレーを黒（K）トナーで印刷する**

グレースケールの箇所を黒トナーで印刷します。

注 意

［黒を黒（K）トナーで印刷する］が無効の場合、この機能も無効です。

**8) 適用範囲**

［黒を黒（K）トナーで印刷する］と［グレーを黒（K）トナーで印刷する］を適用する範囲を選択します。

- **自動選択**：原稿の黒（または、黒およびグレー）の部分を黒トナーで印刷する際の、適用範囲を自動で選択します。自動を選択した場合、原稿種類に応じて最適な範囲を黒トナーで印刷します。
- **文字**：黒、または黒およびグレーの文字部分のみを黒トナーで印刷します。
- **文字／図形**：黒、または黒およびグレーの文字と図形部分のみを黒トナーで印刷します。
- **全体**：黒、または黒およびグレーの全部分を黒トナーで印刷します。

**9) ブラックオーバープリント**

黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントする場合にチェックボックスをオンにします。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。

注 意

この機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。

- Universal Printer 2（PostScript）
- Universal PS3

**10) 適用範囲**

［ブラックオーバープリント］を適用する範囲を選択します。

- **文字**：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキストを出力します。
- **文字/図形**：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、図形を出力します。

注 意

この機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。

- Universal Printer 2（PostScript）
- Universal PS3

**11) PostScriptオーバープリント**

アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトを、オーバープリントを有効にして印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

注 意

この機能は、Universal PS3プリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。

**12) オートトラッピング**

版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぐ場合にチェックボックスをオンにします。隣接する色の接触部だけを重ねて印刷し版ズレを目立たなくします。

注 意

- この機能は、e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Series、e-STUDIO407CS Seriesで以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。
  - Universal Printer 2（PostScript）
  - Universal PS3
- この機能は、［基本］タブの［カラー］ボックスで［自動カラー選択］または［フルカラー］を選択して印刷する場合に有効です。
- この機能を有効にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。

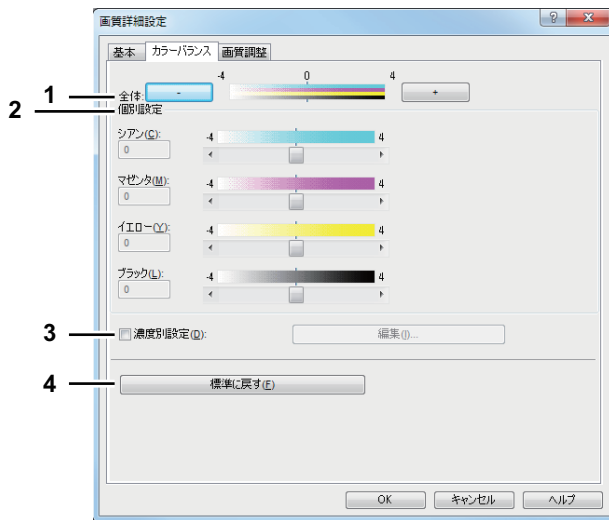
**13) ［標準に戻す］**

［標準］タブで表示されている画質詳細設定を、工場出荷時の状態に戻します。

## 画質詳細設定：[カラーバランス]タブ

「画質詳細設定」ダイアログボックスの［カラーバランス］タブでは、以下の機能を設定できます。数値の調整は、左右の矢印ボタン、スクロールバーでそれぞれ行います。

**注 意**

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。また、お使いの機種によって設定できる項目が異なります。下記以外の設定項目については、各機種の**印刷ガイド / ユーザーズマニュアル 応用機能編**を参照してください。

**1) 全体**

全色の印字濃度をまとめて調整します。

**2) 個別設定**

各トナーの印字濃度を設定します。-4（薄い）から4（濃い）の範囲で調整できます。

**3) 濃度別設定**

各色の濃度をより詳細に設定したい場合にチェックボックスをオンにします。オンにした場合は、［編集］をクリックして「濃度別カラーバランス設定」ダイアログボックスを表示し、濃度別の設定を行います。

**■「濃度別カラーバランス設定」ダイアログボックス**

低濃度カラー、中濃度カラー、高濃度カラーの印字濃度を調整します。

- **低濃度**：低濃度の色の印字濃度を調整します。
- **中濃度**：中濃度の色の印字濃度を調整します。
- **高濃度**：高濃度の色の印字濃度を調整します。
- **［標準に戻す］**：「濃度別カラーバランス設定」ダイアログボックスで表示されている画質詳細設定を、工場出荷時の状態に戻します。

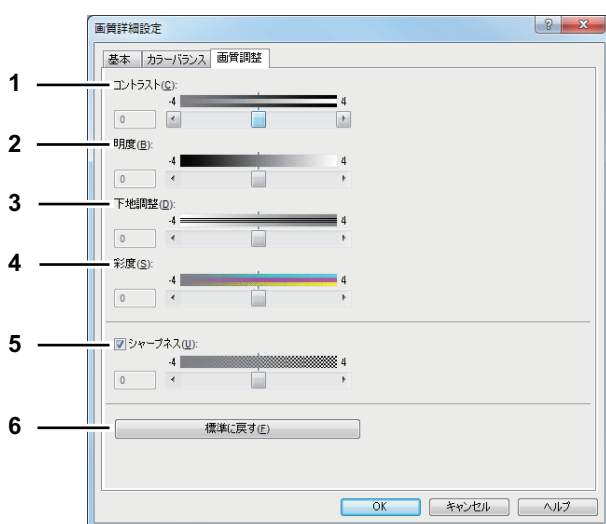
**4) ［標準に戻す］**

［カラーバランス］タブで表示されている画質詳細設定を、工場出荷時の状態に戻します。

## 画質詳細設定：［画質調整］タブ

「画質詳細設定」ダイアログボックスの［画質調整］タブでは、以下の機能を設定できます。数値の調整は、左右の矢印ボタン、スクロールバーでそれぞれ行います。

**注 意**

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。また、お使いの機種によって設定できる項目が異なります。下記以外の設定項目については、各機種の**印刷ガイド / ユーザーズマニュアル 応用機能編**を参照してください。

**1) コントラスト**

印字のコントラストを調整します。-4（低）から4（高）の範囲で調整できます。

**2) 明度**

印字の明るさを調整します。-4（暗）から4（明）の範囲で調整できます。

**3) 下地調整**

下地濃度を調整します。-4（薄くなる）から4（濃くなる）の範囲で調整できます。

**4) 彩度**

印字の彩度を調整します。-4（淡い）から4（鮮やか）の範囲で調整できます。

**5) シャープネス**

シャープネスフィルタを使用する場合にチェックボックスをオンにします。-4（ソフト）から4（シャープ）の範囲で調整できます。

**6) ［標準に戻す］**

［画質調整］タブで表示されている画質詳細設定を、工場出荷時の状態に戻します。

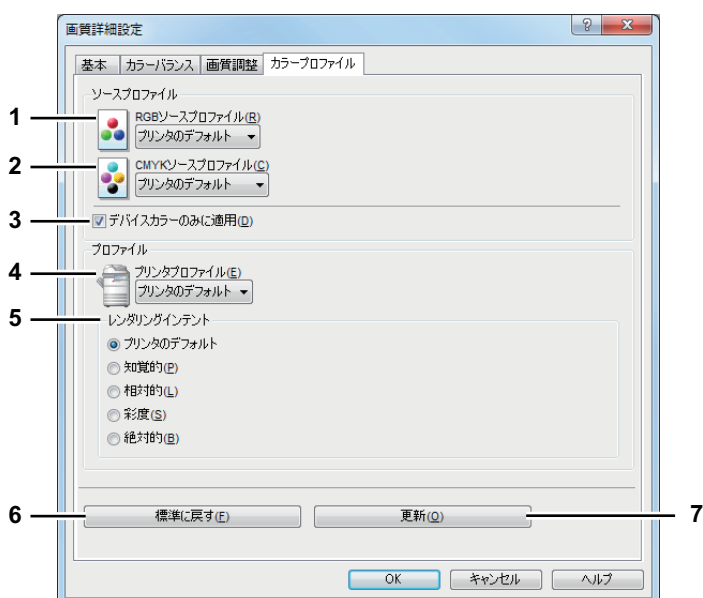
## 画質詳細設定：[カラープロファイル] タブ

「画質詳細設定」ダイアログボックスの［カラープロファイル］タブでは、以下の機能を設定できます。
本機のカラープロファイル情報は更新されている場合があります。本機と双方向通信ができる場合は、［カラープロファイル］タブを開いたら［更新］をクリックしてカラープロファイル情報を更新してください。

注 意

- この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。また、お使いの機種によって設定できる項目が異なります。下記以外の設定項目については、各機種の**印刷ガイド / ユーザーズマニュアル 応用機能編**を参照してください。
- ［原稿種類］で［カラープロファイル］を選択した場合に［カラープロファイル］タブは表示されます。［カラープロファイル］は、以下のプリンタドライバをお使になる場合のみ表示されます。
  - Universal Printer 2（PostScript）
  - Universal PS3
  - Universal XPS

補 足

カラープロファイルはTopAccessから設定できます。詳しい設定方法については**TopAccessガイド**を参照してください。

1) **RGBソースプロファイル**
RGBソースプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のRGBソースプロファイルを表示します。

2) **CMYKソースプロファイル**
CMYKソースプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のCMYKソースプロファイルを表示します。

3) **デバイスカラーのみに適用**
画像に埋め込まれているカラープロファイルを優先する場合にチェックボックスをオンにします。

4) **プリンタプロファイル**
プリンタプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のプリンタプロファイルを表示します。

**5) レンダリングインテント**

印刷時のカラースペース変換を、どのような方法で処理するか選択します。

- **プリンタのデフォルト：**本機に設定されたデフォルトプロファイルに従って、カラースペース変換が行われます。
- **知覚的：**写真画像に適しています。
- **相対的**：［知覚的］よりも多くの画像のオリジナルの色を保持できます。
- **彩度**：色の正確さよりも、画像の鮮明な色の再現を重視します。グラフや図表などのグラフィックに適しています。
- **絶対的**：用紙の色を考慮して色を保持できます。

**6) ［標準に戻す］**

［カラープロファイル］タブで表示されている画質詳細設定を、工場出荷時の状態に戻します。

**7) ［更新］**

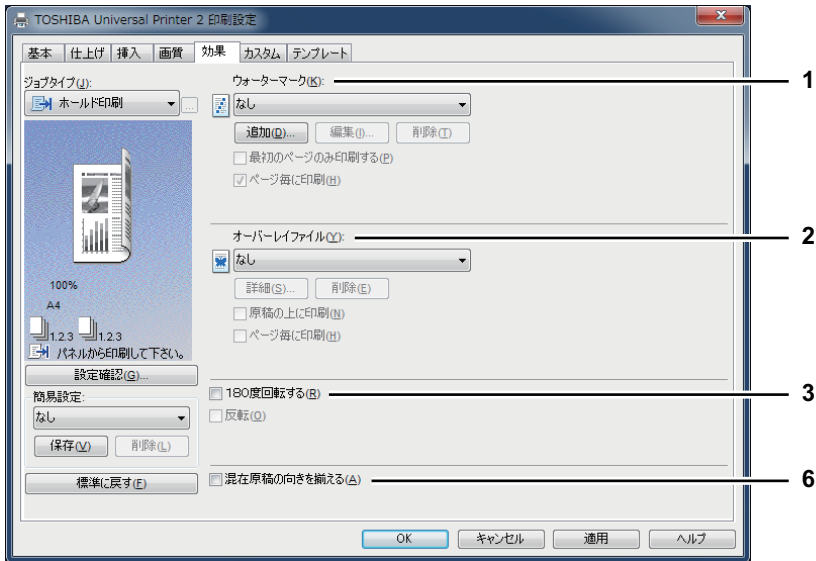
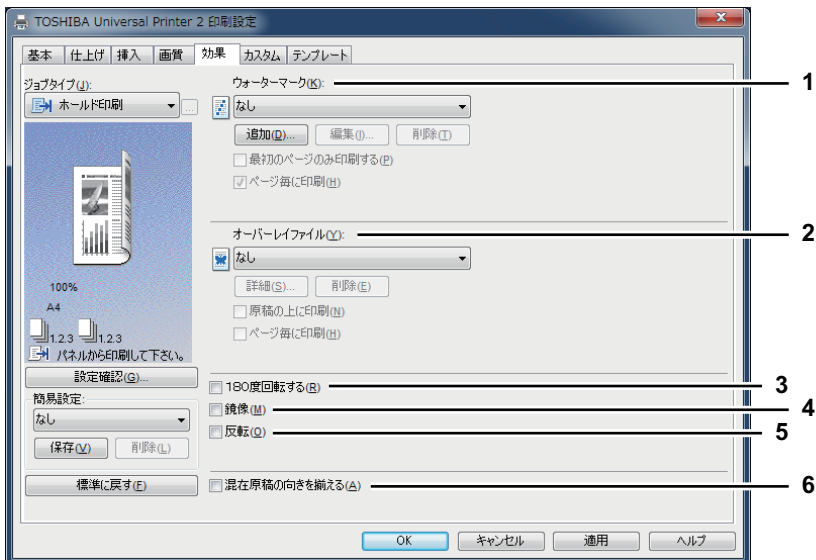
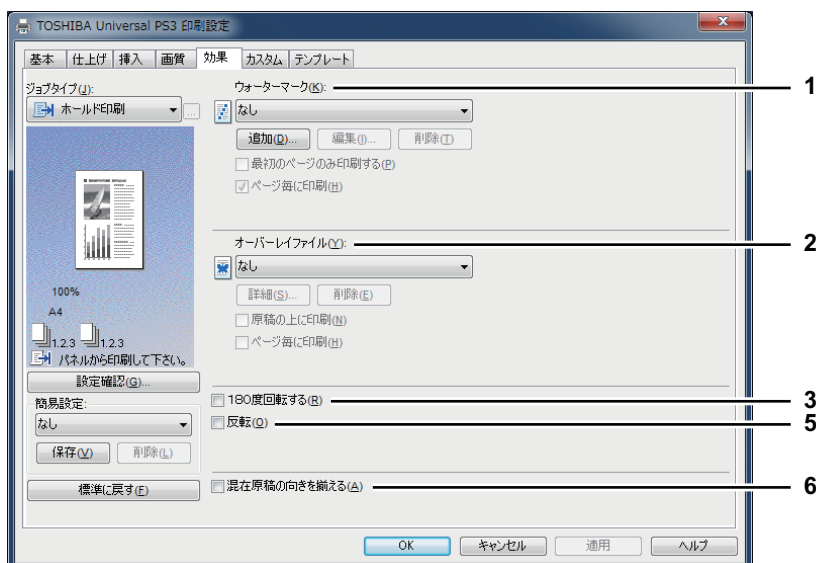
クリックすると、本機に設定された最新のカラープロファイル情報を取得し、情報を更新します。本機と双方向通信できる場合のみ有効です。

**注 意**

RGBソースプロファイル、CMYKソースプロファイル、プリンタプロファイル、およびレンダリングインテントの初期設定では、［プリンタのデフォルト］が選択されています。［プリンタのデフォルト］を選択した場合は、本機に設定されたデフォルトプロファイル（TopAccess管理者設定の［セットアップ］メニューにある［ICCプロファイル］サブメニューで、デフォルトプロファイルに設定されたプロファイル）に従って、カラースペース変換が行われます。

## □ [効果] タブ

このタブでは、ウォーターマーク、オーバーレイファイル印刷、回転印刷、鏡像印刷、白黒反転印刷など印刷ジョブの体裁をより整える設定を行います。

[効果] タブ（Universal Printer 2（PCL6））

[効果] タブ（Universal Printer 2（PostScript）/ Universal XPS）

### ［効果］タブ（Universal PS3）

**1) ウォーターマーク**

使用または編集するウォーターマークを選択します。プリンタドライバには、標準で［極秘］［社外秘］［ドラフト］［オリジナル］［コピー］のウォーターマークが登録されています。また、新たに作成したウォーターマークを最大15個まで保存することもできます。

- **なし**：ウォーターマークを印刷しないときに選択します。
  標準で登録されている以下のウォーターマークが、ボックスに表示されます。
- **極秘**
- **社外秘**
- **ドラフト**
- **オリジナル**
- **コピー**

**補 足**

［ウォーターマーク］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
📖 P.129「ウォーターマークを入れて印刷する」

**［追加］**

新しいウォーターマークを作成します。クリックすると、「ウォーターマーク」ダイアログボックスが表示されます。
📖 P.77「ウォーターマーク」

**［編集］**

［ウォーターマーク］ボックスで選択したウォーターマークを編集します。クリックすると、「ウォーターマーク」ダイアログボックスが表示されます。
📖 P.77「ウォーターマーク」

**［削除］**

［ウォーターマーク］ボックスで選択したウォーターマークを削除します。
📖 P.131「ウォーターマークを削除する」

**注 意**

- 標準で登録されているウォーターマークも削除することができます。ただし、削除した場合、元に戻すことはできません。
- ［なし］は削除できません。

**最初のページのみ印刷する**

選択したウォーターマークを文書の最初のページにのみ印刷する場合に、チェックボックスをオンにします。

**ページ毎に印刷**
ウォーターマークを各ページ毎に印刷する場合に、チェックボックスをオンにします。この機能をオンにすると、Nin1印刷時にウォーターマークを縮小された各ページに印刷します。Nin1印刷時にウォーターマークを用紙に印刷する場合は、この機能をオフにします。

**2) オーバーレイファイル**
文書にオーバーレイファイルを印刷します。ウォーターマークはテキストのみですが、この機能は印刷文書の背面にグラフィックなどのイメージを印刷することができます。

注 意

- Nin1印刷時にオーバーレイファイルを選択した場合は、1ページのレイアウトに対してオーバーレイファイルが印刷されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。

補 足

- 印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するときは、最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。オーバーレイファイルを作成するには、［ジョブタイプ］で［オーバーレイファイルで保存］を選択します。
📖 P.107 「オーバーレイファイルとして保存する」
- ［オーバーレイファイル］設定を利用した印刷の詳しい手順については、以下を参照してください。
📖 P.132 「オーバーレイファイルを使用する」

**［詳細］**
偶数と奇数ページでオーバーレイファイルの種類を変えたり、指定したページにだけオーバーレイファイルを使用したい場合など、どのオーバーレイファイルをどのページに使用するかを設定します。
［オーバーレイファイル］ボックスで［マルチオーバーレイ］を選択しているときにクリックすると、「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスが表示されます。
📖 P.78 「マルチオーバーレイ」

**［削除］**
［オーバーレイファイル］ボックスで選択したオーバーレイファイルを削除します。

注 意

［なし］、［マルチオーバーレイ］は削除できません。

**原稿の上に印刷**
印刷文書に重ねてオーバーレイファイルを印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

**ページ毎に印刷**
Nin1やマガジンソートで複数のページを1枚の用紙に印刷する際に、オーバーレイファイルをページ単位で印刷するか、用紙単位で印刷するかを設定します。ページ単位でオーバーレイファイルを印刷する場合は、チェックボックスをオンにします。

**3) 180度回転する**
ページ全体を180度回転させて印刷します。

**4) 鏡像**
ページ全体を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

注 意

この機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。
- Universal Printer 2（PostScript）
- Universal XPS

**5) 反転**

印刷イメージを白黒反転させて印刷します。

**注 意**

- この機能は、［基本］タブの［カラー］ボックスで［白黒］を選択した場合のみ有効です。
- この機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。
  - Universal Printer 2（PostScript）
  - Universal PS3
  - Universal XPS

**6) 混在原稿の向きを揃える**

原稿の用紙サイズと原稿の縦横の向きが混在する場合、チェックボックスをオンにすると印刷結果の縦横の向きを揃えることができます。

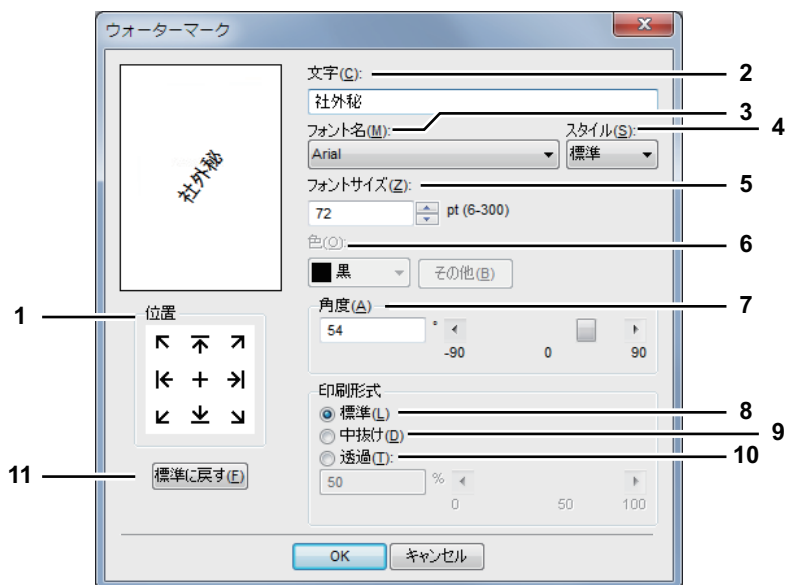
原稿が以下の組み合わせの場合にチェックボックスをオンにしてください。

- A4サイズ縦向きとA3サイズ横向き
- A4サイズ横向きとA3サイズ縦向き
- LTサイズ縦向きとLDサイズ横向き
- LTサイズ横向きとLDサイズ縦向き
- B5サイズ縦向きとB4サイズ横向き
- B5サイズ横向きとB4サイズ縦向き
- 16Kサイズ縦向きと8Kサイズ横向き
- 16Kサイズ横向きと8Kサイズ縦向き

**注 意**

- この機能は以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。
  - Universal Printer 2（PCL6）
  - Universal Printer 2（PostScript）
  - Universal PS3
- この機能は、以下の機種をお使いになる場合のみ有効です。
  - e-STUDIO2550C Series
  - e-STUDIO5055C Series
  - e-STUDIO6570C Series
  - e-STUDIO507 Series
  - e-STUDIO857 Series
  - Loops Series

### ウォーターマーク

［追加］または［編集］をクリックすると、「ウォーターマーク」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、ウォーターマークの新規作成や既存のウォーターマークの編集をします。

**1) 位置**

ウォーターマークの位置を調整します。矢印ボタンまたは［＋］ボタン（中央に配置）をクリックすると、ウォーターマークの位置を変更することができます。

**2) 文字**

ウォーターマークに使用するテキストを入力します。半角・全角63文字以内で入力します。
ウォーターマークを編集している場合は、選択したウォーターマークのテキストが表示されます。
入力したテキストは、左側にサンプル画像として表示されます。

**3) フォント名**

ウォーターマークテキストのフォントを選択します。

**4) スタイル**

ウォーターマークテキストのスタイルを選択します。

**5) フォントサイズ**

ウォーターマークテキストのフォントサイズを指定します。6〜300（pt）の範囲を1pt単位で設定できます。

**6) 色**

ウォーターマークテキストの色を選択します。ボックスに希望する色がない場合は、［その他］をクリックして新たな色を追加します。

**注 意**

- この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。
- ［基本］タブの［カラー］ボックスで［白黒］を選択している場合は、この機能は無効です。

**7) 角度**

ウォーターマークテキストの回転角度を指定します。-90〜 90（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

**8) 標準**

ウォーターマークを指定した色で塗りつぶして印刷します。

**9) 中抜け**

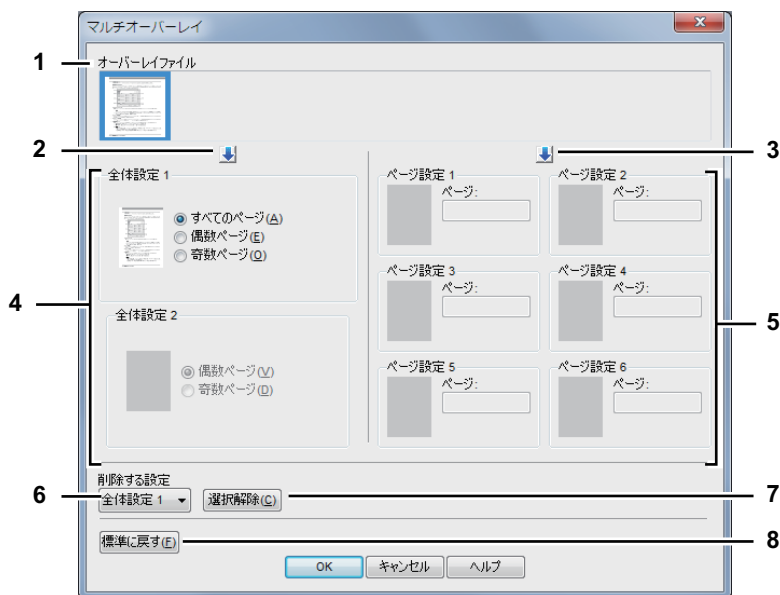
ウォーターマークを中抜きのフォントスタイルで印刷します。

**10) 透過**

ウォーターマークが文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。透過率は、0〜 100（%）の範囲を1%単位で設定できます。スクロールバーを使って透過率を設定することもできます。

**11) [標準に戻す]**
「ウォーターマーク」ダイアログボックスで表示されている設定を工場出荷時の状態に戻します。

## マルチオーバーレイ

［オーバーレイファイル］ボックスで［マルチオーバーレイ］を選択するか、任意のオーバーレイを選択しているときに［詳細］をクリックすると、「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、どのオーバーレイファイルをどのページに使用するかを設定します。

**1) オーバーレイファイル**
登録したオーバーレイファイルがサムネイル表示されます。使用するオーバーレイファイルを選択します。

**補 足**

オーバーレイファイルのサムネイル表示を、使用したいオーバーレイのグループ（全体設定 1/2、ページ設定 1〜6）にドラッグアンドドロップして、直接設定することもできます。ドロップしたグループにオーバーレイファイルがすでに設定されていた場合は、上書きされます。

**2) ［↓］（全体設定）**
［オーバーレイファイル］で選択したオーバーレイファイルを、［全体設定］欄に設定します。クリックするごとに、［全体設定 1］→［全体設定 2］の順に設定します。

**3) ［↓］（ページ設定）**
［オーバーレイファイル］で選択したオーバーレイファイルを、［ページ設定］欄に設定します。クリックするごとに、［ページ設定 1］→［ページ設定 2］・・・→［ページ設定 6］の順に設定します。

**4) 全体設定 1/2**

選択したオーバーレイファイルの使用ページを、全ページ、または偶数・奇数ページごとに設定します。

- **すべてのページ** ：選択したオーバーレイファイルを、全ページに使用します。
- **偶数ページ** ：選択したオーバーレイファイルを、偶数ページに使用します。
- **奇数ページ** ：選択したオーバーレイファイルを、奇数ページに使用します。

注 意

- 複数の全体設定を使用し、オーバーレイの指定ページが重複した場合、［すべてのページ］の設定よりも、［偶数ページ］/［奇数ページ］の設定が優先されます。
- ［全体設定］と［ページ設定］で設定内容が重複した場合、［ページ設定］の設定が優先されます。

**5) ページ設定 1/2/3/4/5/6**

選択したオーバーレイファイルの使用ページを、ページ番号で設定します。複数のページを指定する場合は「1,3,5」のように「,」で区切ります。ページ範囲で指定する場合は「6-10」のように最初のページと最後のページを「-」でつなぎます。

- **ページ** ：選択したオーバーレイファイルを、指定したページに使用します。

注 意

複数のページ設定を使用し、オーバーレイの指定ページが重複した場合、後から設定した内容が優先されます。

**6) 削除する設定**

削除したいオーバーレイファイルの設定を選択します。

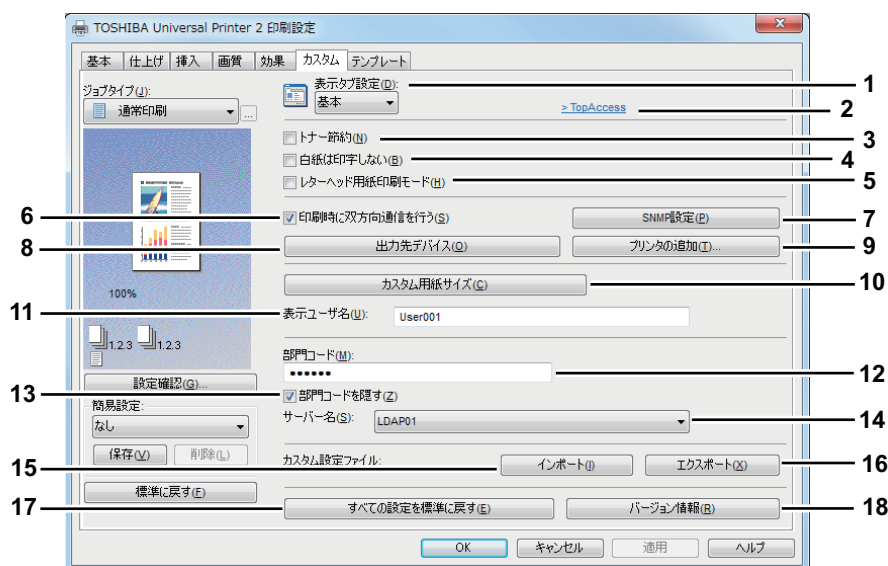
**7) ［選択解除］**

［削除する設定］ボックスで選択したオーバーレイファイルの設定を削除します。

**8) ［標準に戻す］**

「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスで表示されている設定を工場出荷時の状態に戻します。

## □［カスタム］タブ

このタブでは、表示タブ設定やトナー節約、白紙は印字しない、カスタム用紙サイズなど、特殊な機能について設定します。

**1) 表示タブ設定**

プリンタドライバを開いたときに、最初に表示されるタブを設定します。よく使う機能のタブを設定しておくと便利です。

**注 意**

アプリケーションの印刷設定から［カスタム］タブを開いて設定した場合、設定はプリンタドライバを閉じると消去され初期設定に戻ります。設定を保持したい場合はプリンタフォルダからプリンタドライバの設定をしてください。

📖 P.26 「印刷機能の初期値を設定する」

**2) TopAccess（リンク）**

クリックすると、Webブラウザを起動してTopAccessを表示します。

**3) トナー節約**

トナー節約モードで印刷します。

**注 意**

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなることがあります。

**4) 白紙は印字しない**

印刷原稿の白紙ページを印刷しません。
ウォーターマークが設定されている場合は、白紙もすべて印字されます。

**注 意**

ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合、内容がないページも印刷されます。

**5) レターヘッド用紙印刷モード**
片面にイラストが印刷されているなど、表と裏を使い分けたい用紙で両面印刷を行う場合にチェックボックスをオンにします。

**注 意**

この機能は、以下の機種をお使いになる場合のみ有効です。
- e-STUDIO6570C Series
- e-STUDIO6550C Series
- e-STUDIO4540C Series
- e-STUDIO507 Series
- e-STUDIO456 Series
- e-STUDIO2550C Series
- e-STUDIO5055C Series
- e-STUDIO407CS Series
- e-STUDIO527S Series
- Loops Series

**6) 印刷時に双方向通信を行う**
印刷時に本機との双方向通信を行い、情報を取得する場合にチェックボックスをオンにします。

**注 意**

本機と双方向通信ができない場合、TopAccessDocMonによるイベント通知は行われません。

**7) ［SNMP設定］**
SNMP設定の変更または確認を行う場合にクリックします。
📖 P.84 「SNMP設定」

**注 意**

［SNMP設定］は、［デバイスとプリンター］フォルダ（Windows Vista/Windows Server 2008では［プリンタ］フォルダ、Windows Server 2003では［プリンタとFAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、設定できません。

**8) ［出力先デバイス］**
印刷に使用する機体を変更したり、1つの印刷ジョブを2台の機体に分散させて印刷（タンデム印刷）することができます。
📖 P.140 「印刷に使用する機体を変更する」
📖 P.142 「1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）」

**9) ［プリンタの追加］**
ネットワーク上にあるe-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesの機体を検索して、［プリンタ］に追加することができます。
📖 P.85 「プリンタの追加」

**10)［カスタム用紙サイズ］**

カスタム用紙サイズを定義します。クリックすると「カスタム用紙サイズ」ダイアログボックスが表示されます。

P.86 「カスタム用紙サイズ」

**注 意**

- ［カスタム用紙サイズ］は、［デバイスとプリンター］フォルダ（Windows Vista/Windows Server 2008では［プリンタ］フォルダ、Windows Server 2003では［プリンタとFAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、設定できません。
- ［カスタム用紙サイズ］は、管理者権限で操作する場合のみ設定が可能です。

**11) 表示ユーザ名**

必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧やホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザ名を入力します。ユーザ自身が任意のユーザ名を設定できるので、本機のタッチパネルから印刷を実行する際に自分が登録したジョブを容易に見つけることができます。

**補 足**

- ［表示ユーザ名］は、半角・全角31文字まで入力できます。
- ［表示ユーザ名］の初期値は、コンピュータのログインユーザ名です。［表示ユーザ名］を入力しない場合は、ログインユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧／ホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。
- ［表示ユーザ名］は、プライベート印刷ジョブ一覧およびホールド印刷ジョブ一覧にのみ適用されます。その他のジョブ一覧画面（お試し印刷／部門コードなし）や印刷ログ画面には、コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

**12) 部門コード**

ユーザの部門コードを入力します。部門コードの入力は、本機が部門コードで管理されているときに必要となります。使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。

**注 意**

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合は、部門管理に代わってユーザ管理設定を使用して印刷ジョブを管理します。この場合は、コンピュータにログインしたときに入力したユーザ名を使用して印刷ジョブの認証を行います。したがって、プリンタドライバに部門コードを設定する必要はありませんが、本機に使用したユーザ名が登録されている必要があります。ユーザ名が未登録の場合、印刷ジョブは無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。また、RAW形式で印刷ジョブが送られた場合は、RAW印刷ジョブの設定に従って処理されます。ユーザ認証強制やRAW印刷ジョブの設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- ブラック無制限機能が有効な場合、［基本］タブの［カラー］ボックスで［白黒］を選択して印刷する場合は部門コードを入力する必要はありません。
- 印刷ジョブの印刷枚数が部門コードに設定された制限枚数を超えた場合は、印刷せずに［部門コードなし印刷ジョブ］リストに保留されます。この印刷ジョブを印刷したい場合は、タッチパネルの［状況確認］から［部門コードなし印刷ジョブ］リストを表示し、印刷枚数以上の制限枚数が設定された部門コードを入力して印刷してください。
- ［部門コード］には、1～63桁の部門コードを入力します。

補 足

TopAccess管理者設定の［部門コードなし印刷ジョブ］の設定と、本機との双方向通信が有効であるかにより、不正な部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。

- 双方向通信が有効で、部門コードなし印刷ジョブが［不正ジョブリストに入れる］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。
- 双方向通信が無効で、部門コードなし印刷ジョブが［不正ジョブリストに入れる］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなし印刷ジョブリストに表示されます。
- 部門コードなし印刷ジョブが［印刷］の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。
- 部門コードなし印刷ジョブが［削除］の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは削除されます。

**13) 部門コードを隠す**

部門コードを伏せ字で表示する場合に、チェックボックスをオンにします。

**14) サーバー名**

必要に応じて指定したいLDAPサーバーを選択します。LDAPサーバーは、［デバイス設定］タブから［アカウント設定］－［LDAPサーバー設定］ダイアログボックスを開いて設定します。

📖 P.88 「［デバイス設定］タブ」

**15) ［インポート］**

テンプレート、ウォーターマーク、オーバーレイ、原稿種類、カスタム用紙サイズ、簡易設定のカスタム設定内容をプリンタドライバにインポートします。

**インポート方法**

- ［インポート］をクリックします。
- 「ファイルを指定」ダイアログボックスが表示されますので、インポートするファイル（*.cfu：Universal Printer 2、*.cfp：Universal PS3、*.cfv：Universal XPS）を選択し、［開く］をクリックします。
- ファイルの上書きを確認するメッセージが表示されますので［OK］をクリックします。

注 意

［インポート］は、［デバイスとプリンター］フォルダ（Windows Vista/Windows Server 2008では［プリンタ］フォルダ、Windows Server 2003では［プリンタとFAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定・実行できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、設定・実行できません。

**16) ［エクスポート］**

テンプレート、ウォーターマーク、オーバーレイ、原稿種類、カスタム用紙サイズ、簡易設定のカスタム設定内容をエクスポートします。

**エクスポート方法**

- ［エクスポート］をクリックします。
- 「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されるので、保存先とファイル名を指定し、［保存］をクリックします。

注 意

［エクスポート］は、［デバイスとプリンター］フォルダ（Windows Vista/Windows Server 2008では［プリンタ］フォルダ、Windows Server 2003では［プリンタとFAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定・実行できます。アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスからプリンタドライバのプロパティを表示した場合は、設定・実行できません。

**17) [すべての設定を標準に戻す]**

［デバイス設定］タブを除くすべてのタブの印刷設定を初期値に戻します。クリックすると、設定を初期値に戻すことを確認するメッセージが表示され、［はい］を押すと印刷設定がすべてのタブで初期値に戻ります。

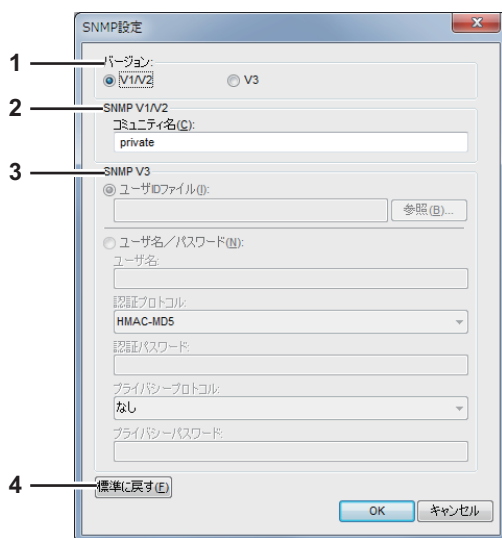
**注 意**

［デバイス設定］タブを変更するには、プリンタフォルダから管理者権限で操作する必要があります。詳細については以下を参照してください。

P.88 「［デバイス設定］タブ」

**18) [バージョン情報]**

クリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

## SNMP設定

**1) バージョン**

お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンを確認し、以下の中から選択してください。

- **V1/V2**：SNMPV1およびV2を有効にします。
- **V3**：SNMPV3を有効にします。
- **V1/V2/V3（「検索設定」ダイアログボックスのみ）**：SNMPV1、V2、およびV3を有効にします。

**2) SNMP V1/V2**

**コミュニティ名**：お使いの東芝複合機に「private」（初期値）以外のSNMPコミュニティ名が設定されている場合に、コミュニティ名を変更します。

**注 意**

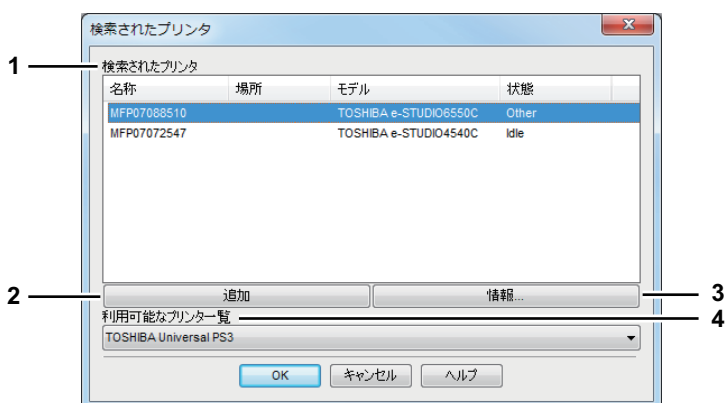
- SNMPV1/V2環境下でお使いの東芝複合機を検出するには、複合機に設定されているSNMPコミュニティ名を正しく指定することが必要です。詳しくは、管理者にお問い合わせください。
- コミュニティ名を変更するには、管理者の権限が必要です。Administrators（管理者）でログインし、プリンタドライバのプロパティを開く必要があります。
- コミュニティ名は、31文字以内で入力してください。入力できる文字は、半角英数字と以下の記号です。
  ! " # $ % & ' ( ) * + , - / : ; < = > ? @ [ ¥ ] ^ _ ` { | } ~

**3) SNMP V3**
SNMP V3を有効にした場合、以下の項目を選択して認証方法を設定します。
**ユーザIDファイル：**ユーザIDファイルでの認証を行います。［参照］をクリックしてユーザIDファイルを指定してください。
**ユーザ名 / パスワード：**ユーザ名およびパスワードでの認証を行います。この認証方法を使用する場合は、以下の項目を入力または選択してください。
- **ユーザ名**
- **認証プロトコル**
- **認証パスワード**
- **プライバシープロトコル**
- **プライバシーパスワード**

**注 意**

- SNMP V3を有効にする場合は、事前にネットワーク管理者から認証方法についての確認を行ってください。
- ユーザ名、認証パスワード、およびプライバシーパスワードは、それぞれ31文字以内で入力してください。入力できる文字は、半角英数字と以下の記号です。
  ! $ % & ' ( ) - , < > @ [ ] ^ _ ` { } ~

**4) ［初期設定値に戻す］**
クリックすると、設定値をすべてリセットしてデフォルトに戻します。

## プリンタの追加

**1) 検索されたプリンタ**
ネットワーク上で検索されたe-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesの機体が表示されます。名称、設置場所、モデル名、状態を確認することができます。

**2) ［追加］**
［検索されたプリンタ］で選択したプリンタを、プリンタフォルダに追加します。

**3) ［情報］**
［検索されたプリンタ］で選択したプリンタの基本情報を表示します。カラー印刷機能の有無、両面印刷機能の有無、ステイプル機能の有無、印刷速度、解像度、およびセットされている用紙の種類を確認することができます。

**4) 利用可能なプリンター覧**
プリンタフォルダに登録されているe-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesのプリンタが表示されます。

## カスタム用紙サイズ

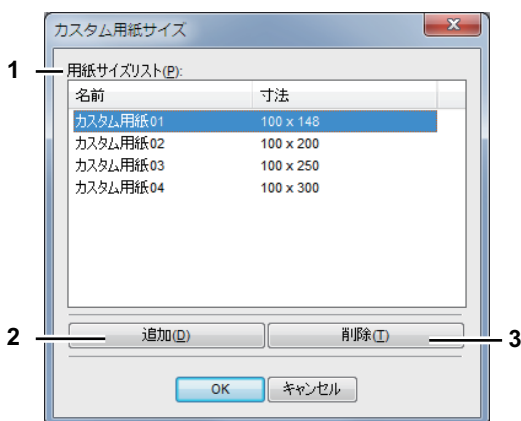
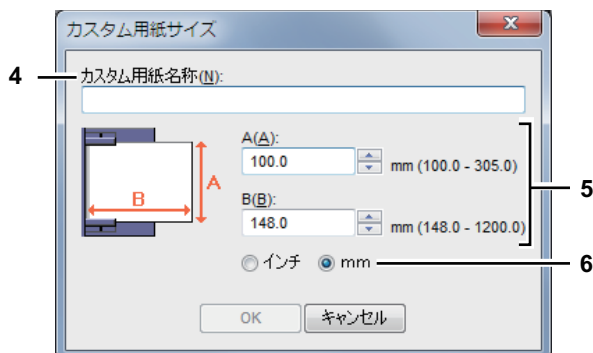
「カスタム用紙サイズ」ダイアログボックスでは、カスタムサイズの用紙設定を最大40個まで定義することができます。ここで定義したカスタム用紙サイズは、［基本］タブの［原稿サイズ］および［印刷用紙サイズ］で選択できます。

**注 意**

定義できるカスタム用紙サイズとその数は、機種によって異なります。

**補 足**

定義したカスタム用紙サイズの設定は、Universal Printer 2（PCL6）/ Universal PS3 / Universal XPS プリンタドライバの間で共用できます。

### 「カスタム用紙サイズ－用紙サイズリスト」ダイアログボックス

### 「カスタム用紙サイズ－カスタム用紙名称」ダイアログボックス

**1) 用紙サイズリスト**
定義するカスタム用紙名称を選択します。

**2) ［追加］**
クリックすると、「カスタム用紙サイズ－カスタム用紙名称」ダイアログボックスが表示されます。

**3) ［削除］**
［用紙サイズリスト］で選択したカスタム用紙サイズを削除し、初期値の状態に戻します。クリックすると削除を確認するメッセージが表示されるので、削除する場合は［はい］をクリックします。

**4) カスタム用紙名称**
カスタム用紙サイズの名称を入力します。半角・全角63文字まで入力できます。ここで設定した名前が、［基本］タブの［原稿サイズ］および［印刷用紙サイズ］に表示されます。

**5) 用紙寸法**

用紙の横幅（A）および縦幅（B）を指定します。

**注 意**

機種により、横幅（A）と縦幅（B）の設定可能範囲が異なります。各寸法の右側に表示される設定範囲内で指定してください。

**6) 単位**

用紙寸法の単位を切り替えます。

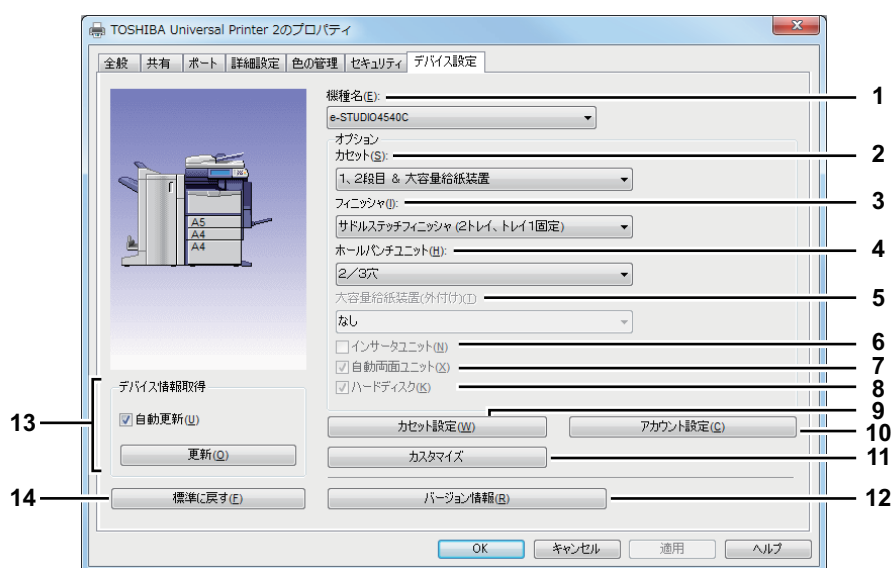
**注 意**

- 横幅（A）または縦幅（B）いずれかは、定型サイズより7 mm以上異なる値で登録してください。横幅（A）と縦幅（B）いずれも定型サイズとの差異が7 mm未満だった場合、定型サイズとして扱われます。
- 横幅（A）が縦幅（B）よりも長い用紙サイズは登録できません。そのような文書を印刷したい場合は、用紙の向きを［横］に変更して印刷してください。
- 最大定型サイズより長いカスタムサイズの用紙を定義した場合は、印刷時の用紙の扱いに注意が必要です。詳細については以下を参照してください。
📖 P.138 「定型サイズより長いカスタムサイズの用紙に印刷する」

## □［デバイス設定］タブ

このタブでは、本機に装着されているオプション機器の構成を設定します。装着されたオプション機器の機能を実行するには、［デバイス設定］タブでオプション構成を設定することが必要です。［デバイス設定］タブは、プリンタドライバのプロパティをプリンタフォルダから表示したときに表示されます。アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプロパティを表示した場合には、表示されません。

**注 意**

［デバイス設定］タブは、［デバイスとプリンター］フォルダ（Windows Vista/Windows Server 2008では［プリンタ］フォルダ、Windows Server 2003では［プリンタとFAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを表示した場合のみ設定できます。デバイス設定タブの表示方法については、次のページを参照してください。
📖 P.15 「手動でオプション構成を設定する」

**1) 機種名**

お使いになる機体のモデル名を選択します。

**注 意**

［共通］を選択すると、プリンタドライバ上で設定できる機能を、ネットワーク上の複数のe-STUDIO Seriesに共通で搭載されている機能のみに絞り込むことができます。本機用にインストール済みのプリンタドライバを、e-STUDIO Seriesの他機種でも利用したい場合などに便利です。

**2) オプション**
以下のオプション機器が装着されているかを選択します。

注 意

設定できるオプションは、お使いの機種によって異なります。

**カセット**
お使いになる機体の構成に合わせて、カセットの装着状態を設定します。
- **1段目**：1段目カセットのみが装着されている場合に選択します。
- **1段目＆大容量給紙装置**：1段目カセットと、大容量給紙装置が装着されている場合に選択します。
- **1段目＆3段目**：1、3段目カセットが装着されている場合に選択します。
- **1段目＆3、4段目**：1、3、4段目カセットが装着されている場合に選択します。
- **1、2段目**：1、2段目カセットが装着されている場合に選択します。
- **1、2段目＆3段目**：1、2、3段目カセットが装着されている場合に選択します。
- **1、2段目＆3、4段目**：1～4段目カセットが装着されている場合に選択します。
- **1、2段目＆大容量給紙装置**：1、2段目カセットと、大容量給紙装置が装着されている場合に選択します。

**3) フィニッシャ**
フィニッシャの装着を設定します。
- **なし**：フィニッシャを装着していない場合に選択します。
- **ハンギングフィニッシャ**：ハンギングフィニッシャを装着している場合に選択します。
- **フィニッシャ**：フィニッシャを装着している場合に選択します。
- **インナーフィニッシャ**：インナーフィニッシャを装着している場合に選択します。
- **サドルステッチフィニッシャ**：サドルステッチフィニッシャを装着している場合に選択します。
- **インナートレイ**：インナートレイを装着している場合に選択します。
- **オフセットインナートレイ**：オフセットインナートレイを装着している場合に選択します。

**4) ホールパンチユニット**
ホールパンチユニットの装着を設定します。
- **なし**：ホールパンチユニットを装着していない場合に選択します。
- **2穴**：2穴ホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **2／3穴**：2／3穴ホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **4穴（F）**：4穴（F）ホールパンチユニットを装着している場合に選択します。
- **4穴（S）**：4穴（S）ホールパンチユニットを装着している場合に選択します。

注 意

［2／3穴］［4穴（F）］［4穴（S）］は国内では対応しておりません。

**5) 大容量給紙装置（外付け）**
大容量給紙装置（外付け）の装着を設定します。
- **なし**：大容量給紙装置（外付け）を装着していない場合に選択します。
- **大容量給紙装置（外付け）**：大容量給紙装置（外付け）が装着されている場合に選択します。

**6) インサータユニット**
インサータが装着されている場合に、チェックボックスをオンにします。

注 意

この設定は、機種名で［共通］を選択した場合にのみ設定することができます。

**7) 自動両面ユニット**
自動両面ユニットが装着されている場合に、チェックボックスをオンにします。

注 意

自動両面ユニットが装着されている機種では、常にオンとなります。

**8) ハードディスク**
ハードディスクが装着されている場合に、チェックボックスをオンにします。

**注 意**

この設定は、機種名で以下の機種を選択した場合にのみ設定することができます。
- e-STUDIO2550C Series

**9) [カセット設定]**
各カセットの用紙サイズ、用紙タイプ、使用目的を設定します。クリックすると、「カセット設定」ダイアログボックスが表示されます。
P.91 「カセット設定」

**10) [アカウント設定]**
ユーザ認証の有効／無効、およびプライベート／ホールド印刷限定機能を設定します。クリックすると、「アカウント設定」ダイアログボックスが表示されます。
P.92 「アカウント設定」

**11) [カスタマイズ]**
PCL6やPostScript固有の機能を設定したり、プラグイン設定やプリンタドライバの表示言語を変更することができます。クリックすると「カスタマイズのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
P.95 「カスタマイズ設定：[プラグイン] タブ」
P.96 「カスタマイズ設定：[言語] タブ」
P.97 「カスタマイズ設定：[プリンタ言語設定] タブ」
P.98 「カスタマイズ設定：[エコ設定] タブ」

**注 意**

プリンタ言語設定機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。
- Universal Printer 2
- Universal PS3

**12) [バージョン情報]**
クリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

**13) デバイス情報取得**
本機と双方向通信を行い、オプション構成の情報を取得します。

**自動更新**
チェックボックスをオンにすると、プリンタドライバの[デバイス設定]タブを開くたびにオプション構成の情報を自動で更新します。

**[更新]**
クリックすると、本機からシステム構成の情報を直ちに取得し、情報を更新します。

**補 足**

- 本機と双方向通信ができない場合、または接続がまだセットアップされていない場合は、「プリンタのアドレスが不明です。検索しますか？」というメッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、「ローカル検索」ダイアログボックスが表示されます。本機を検索すると、双方向通信によるオプション構成の取得が可能となります。
- 本機とお使いのコンピュータが双方向通信できない状態で、[デバイス設定] の項目を設定すると、自動的に両面印刷機能が有効になります。

**注 意**

本機と双方向通信ができない場合、TopAccessDocMonによるイベント通知は行われません。

**14) [標準に戻す]**
[デバイス設定] タブで表示されている本機の構成を、工場出荷時の状態に戻します。

## カセット設定

**1) 用紙サイズ**
各カセットにセットされている用紙サイズを選択します。

**2) 用紙タイプ**
各カセットにセットされている用紙の用紙タイプを選択します。

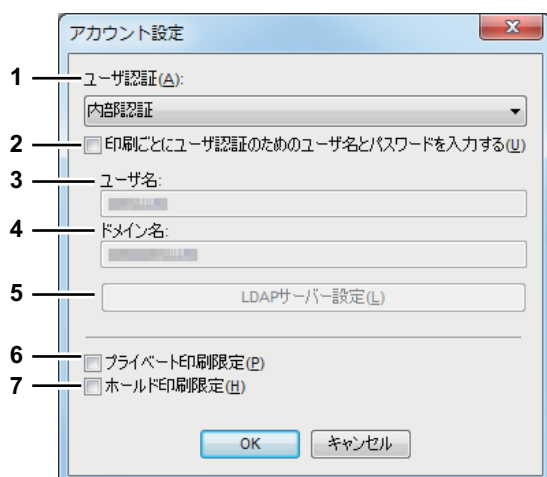
**3) 使用目的**
各カセットにセットされている用紙の使用目的を選択します。使用目的を選択すると、印刷設定に従って、設定した使用目的のカセットを優先的に使用します。

**4) ドライバ給紙元優先**
アプリケーションの給紙元設定を適用せずに、プリンタドライバの給紙元設定を優先して使用する場合にチェックボックスをオンにします。

**5) ［標準に戻す］**
「カセット設定」ダイアログボックスで表示されている設定を工場出荷時の状態に戻します。

補 足

設定できるカセットは、お使いになる機種およびオプション構成により異なります。

## アカウント設定

補 足

本機との双方向通信が有効な場合、下記アカウント情報は本機から自動的に取得され、「アカウント設定」ダイアログボックスに表示されます。

**1) ユーザ認証**
ユーザ認証機能の設定状況を選択します。お使いの東芝複合機の設定に合わせてください。
- **オフ**：ユーザ認証を行いません。
- **内部認証**：内部認証を行います。
- **Windowsドメイン認証**：Windowsドメイン認証を行います。
- **LDAP認証**：LDAP認証を行います。

**2) 印刷ごとにユーザ認証のためのユーザ名とパスワードを入力する**
このチェックボックスをオンにすると、印刷を実行する際にはユーザ名とパスワードの入力が必要となります。このオプションは、［ユーザ認証］ボックスでいずれかのユーザ認証機能を選択した場合に有効です。

補 足

このオプションは、すべてのユーザ認証機能（内部認証、Windowsドメイン認証、LDAP認証）と組み合わせて使用できます。

**3) ユーザ名**
コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

**4) ドメイン名**
本機が属するドメイン名が表示されます。

**5) LDAPサーバー設定**
クリックすると［LDAPサーバー設定］ダイアログボックスが表示されます。このオプションは、［ユーザ認証］ボックスで［LDAP認証］を選択した場合に有効です。
P.94 「LDAPサーバー設定」

**6) プライベート印刷限定**
プライベート印刷限定機能を有効にする場合に、チェックボックスをオンにします。

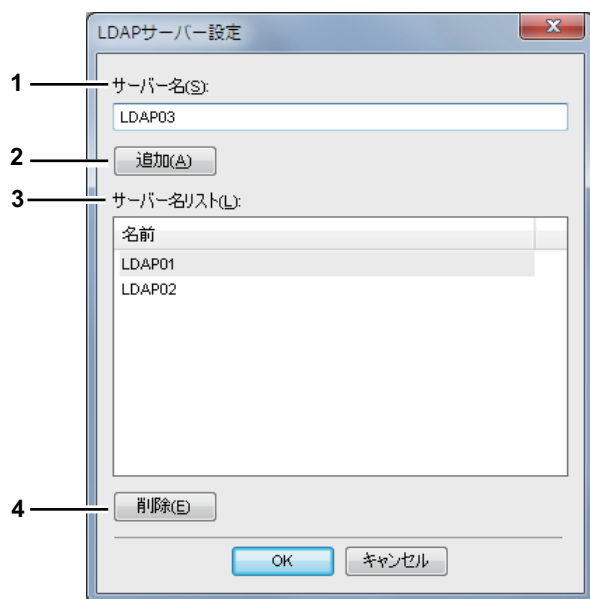
**7) ホールド印刷限定**
ホールド印刷限定機能を有効にする場合に、チェックボックスをオンにします。

補 足

- プライベート印刷限定機能およびホールド印刷限定機能の詳細や設定については、**TopAccess ガイド**を参照してください。
- ［デバイス設定］タブでアカウント設定を変更した後、プリンタフォルダから印刷設定を開いて設定の確認を行ってください。または、アプリケーションから印刷する際に印刷プロパティを開いて内容を確認してください。

注 意

以下の機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。
- プライベート印刷限定
- ホールド印刷限定

## LDAPサーバー設定

**1) サーバー名**

任意のLDAPサーバーを指定する場合は、［サーバー名］ボックスにサーバー名を入力します。

補 足

［サーバー名］は、半角・全角64文字まで入力できます。ただし、以下の文字を入力することはできません。

# ； ￥ =

**2) ［追加］**

［サーバー名］ボックスに入力したLDAPサーバーを［サーバー名リスト］に登録します。

**3) サーバー名リスト**

登録されたLDAPサーバーが表示されます。［サーバー名リスト］には最大16個のLDAPサーバーを登録できます。

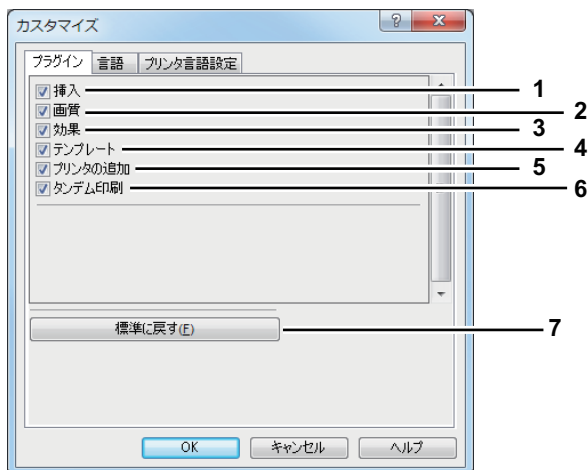
**4) ［削除］**

サーバー名リストからLDAPサーバーを削除します。削除したいサーバーを選択し、このボタンをクリックしてください。

## カスタマイズ設定：［プラグイン］タブ

プラグイン設定の有効／無効を切り替えることができます。

**注 意**

設定項目の掲載順序は機種によって異なります。

**1) 挿入**

［挿入］タブを有効にする場合、チェックボックスをオンにします。

📖 P.54 「［挿入］タブ」

**2) 画質**

［画質］タブを有効にする場合、チェックボックスをオンにします。

📖 P.61 「［画質］タブ」

**3) 効果**

［効果］タブを有効にする場合、チェックボックスをオンにします。

📖 P.73 「［効果］タブ」

**4) テンプレート**

［テンプレート］タブを有効にする場合、チェックボックスをオンにします。

📖 P.99 「［テンプレート］タブ」

**5) プリンタの追加**

［カスタム］タブの［プリンタの追加］設定を有効にする場合、チェックボックスをオンにします。

📖 P.80 「［カスタム］タブ」
📖 P.85 「プリンタの追加」

**6) タンデム印刷**

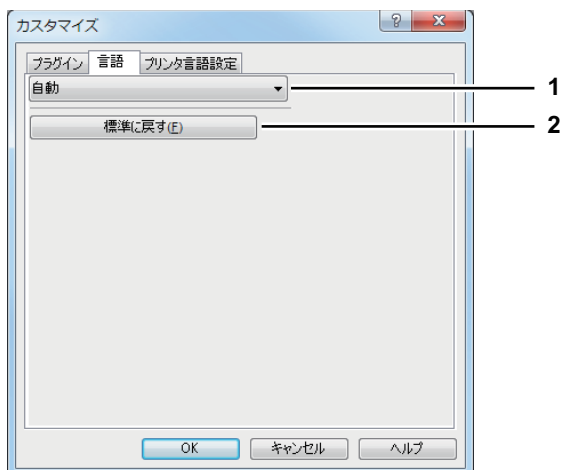
［カスタム］タブの［出力先デバイス］設定を有効にする場合、チェックボックスをオンにします。

📖 P.80 「［カスタム］タブ」
📖 P.140 「印刷に使用する機体を変更する」
📖 P.142 「1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）」

**7) ［標準に戻す］**

［プラグイン］タブで表示されている設定を、工場出荷時の状態に戻します。

### カスタマイズ設定：[言語] タブ

プリンタドライバの表示言語を切り替えることができます。

**1) 言語**

お使いになる言語を選択します。

- 自動/イタリア語/オランダ語/スウェーデン語/スペイン語/デンマーク語/ドイツ語/ノルウェー語、ニーノシュク/フィンランド語/フランス語/ポーランド語/ロシア語/中国語（簡体字）/中国語（繁体字）/日本語/英語（米国）/英語（英国）/トルコ語/ハンガリー語/ポルトガル語/チェコ語

補 足

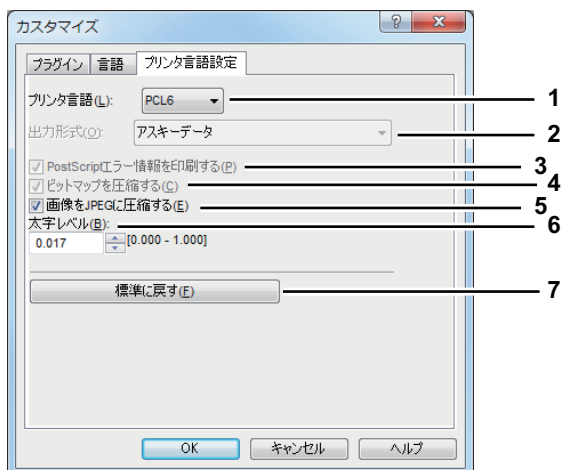
初期値は［自動］に設定されています。［自動］は、Windowsの地域の設定から最適な言語を自動的に判別して表示します。

**2) ［標準に戻す］**

［言語］タブで表示されている設定を、工場出荷時の状態に戻します。

## カスタマイズ設定：[プリンタ言語設定] タブ

**注 意**

プリンタ言語設定機能は、以下のプリンタドライバをお使いになる場合のみ有効です。
- Universal Printer 2
- Universal PS3

**1) プリンタ言語**

印刷に使用するPDLを選択します。Universal Printer 2プリンタドライバを使用している場合のみ、設定を変更することができます。Universal PS3プリンタドライバを使用している場合は［PostScript］に固定となります。

- **PCL6**
  PCL6で印刷する場合に選択します。
- **PostScript**
  PostScriptで印刷する場合に選択します。

**注 意**

Universal Printer 2プリンタドライバで［PostScript］を選択した場合は、アプリケーションからのPostScriptパススルー出力による印刷はできません。PostScriptはGDIを経由して生成されるので、RGBカラースペース限定となります。Adobe IllustratorなどPostScriptを直接生成できるアプリケーションからパススルー印刷を行いたい場合は、Universal PS3プリンタドライバを使用してください。

**2) 出力形式**

PostScript印刷の出力形式を選択します。［プリンタ言語］で［PostScript］を選択した場合のみ、設定を変更することができます。

- **アスキーデータ**
  ジョブをアスキーデータ形式（テキストエディタやワープロでPostScriptコード編集可能）で送信します。
- **Encapsulated PostScript （EPS）形式**
  ジョブをEPS形式（PostScript対応プリンタ用ファイル）の画像ファイルとして出力することができます
- **PostScript（ポータビリティーADSC用に最適化）**
  印刷処理でエラーが少なくなるように最適化されたPostScript形式でジョブを送信します 。

**注 意**

EPS形式は、通常は文書に取り込むための画像を作成する場合に使用する形式です。したがって、［Encapsulated PostScript（EPS）形式］を選択すると、文書の1ページのみしか印刷されません。また、排紙先は管理者によって設定されていますので管理者にご確認ください。

**3) PostScriptエラー情報を印刷する**

印刷中に発生したPostScriptエラー情報を出力します。［プリンタ言語］で［PostScript］を選択した場合のみ、設定を変更することができます。

**4) ビットマップを圧縮する**
圧縮したビットマップデータを本機へ送信します。Universal Printer 2プリンタドライバをお使いの場合のみ表示され、さらに［プリンタ言語］で［PostScript］を選択した場合のみ、設定を変更することができます。

**5) 画像をJPEGに圧縮する**
圧縮したJPEGデータを本機へ送信します。Universal Printer 2プリンタドライバをお使いの場合のみ表示され、さらに［プリンタ言語］で［PCL6］を選択した場合のみ設定を変更することができます。

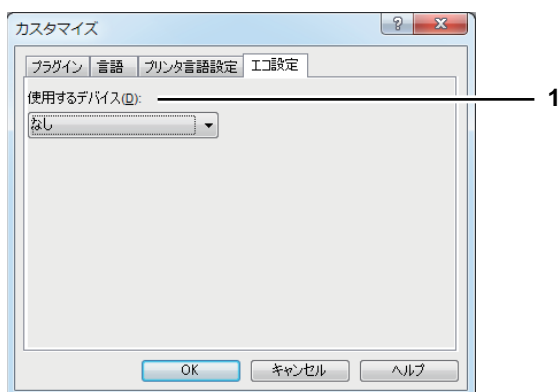
**6) 太字レベル**
文字の太さを調整します。太字のレベルは、0.000 ～ 1.000の間で任意の値に調整できます。デフォルトは、「0.017」です。

**注 意**

お使いのフォントによっては、出力結果に正しく反映されない場合があります。

**7) ［標準に戻す］**
［プリンタ言語設定］タブで表示されている設定を、工場出荷時の状態に戻します。

## カスタマイズ設定：［エコ設定］タブ

用紙を節約するために出力先のデバイスを切り替えられます。
たとえば、ネットワーク上にLoops Seriesが存在する場合、印刷時にデバイスの切り替え画面が表示され、Loops Seriesに出力するかどうかを選択できます。

**1) 使用するデバイス**
用紙を節約するために使用する出力先のデバイスを選択します。

**注 意**

- 使用するデバイスはプリントサーバまたはクライアントコンピュータに追加しておく必要があります。
- 使用するデバイスをプリントサーバに追加する場合は、追加するデバイスを共有する必要があります。または、追加するデバイスのプロパティ画面から［セキュリティ］タブを選択し、［このプリンターの管理］を許可してください。詳しくは、サービスエンジニアまたは弊社販売店へお問い合わせください。
- ［出力先デバイス］画面で［選択したデバイス］としてデバイスが選択されている場合、印刷時にデバイスの切り替え画面は表示されません。
- 使用するデバイスが対応していない印刷機能が印刷ジョブに設定されていた場合、印刷が正しく行われない場合があります。
- 印刷時、使用するデバイスに対して部門コードの確認は行われません。［カスタム］タブの［部門コード］に設定した部門コードが使用するデバイスで認められていなかった場合、その印刷ジョブの部門管理は行われません。

**補 足**

本機能は出力先のデバイスを切り替えるものであり、印刷時には、ジョブを送信したプリンタドライバの印刷設定とプリンタ言語設定が使用されます。

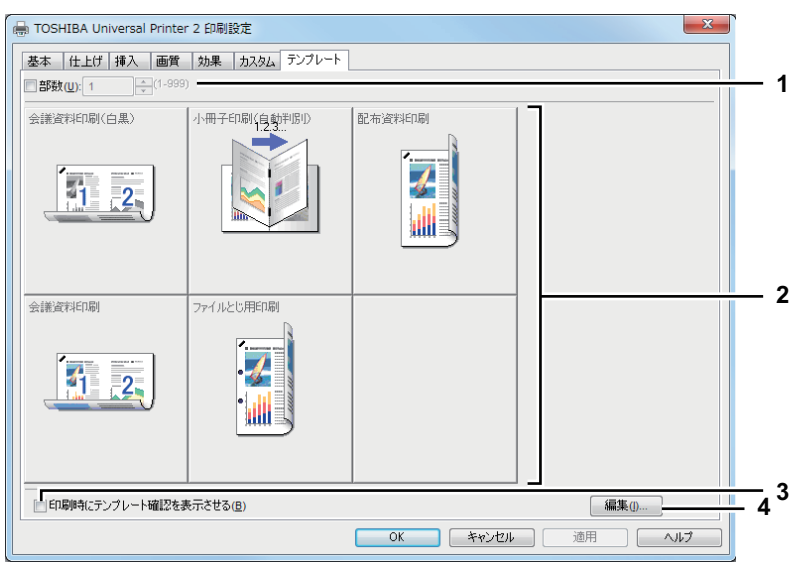
## □ [テンプレート] タブ

本機では、よく使う印刷設定などを簡易設定として登録しておくことができます。このタブでは、登録されている簡易設定をテンプレートボタンに割り当てて使用することができます。印刷の実行時に自動的にテンプレートボタンの選択画面を表示させることもできるので、より手軽に簡易設定を使用して印刷することができます。

📖 P.31 「テンプレートボタンを使って印刷機能を設定する」

**補 足**

テンプレートボタンを利用するには、簡易設定の登録が必要です。簡易設定の登録方法については、以下の説明を参照してください。

📖 P.27 「簡易設定を使って印刷機能を設定する」

**1) 部数**

印刷部数を指定します。

**注 意**

指定できる部数の範囲は、お使いになる機種によって異なります。

- **e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesの場合**
  1～ 9999（部）の範囲で指定します。
- **その他の機種**
  1～ 999（部）の範囲で指定します。

**2) テンプレートボタン**

クリックすると、ボタンに割り当てられた簡易設定がプリンタドライバの各設定に反映されます。
ボタン上には、割り当てられた簡易設定の名称と印刷結果のイメージが表示されます。工場出荷時には以下の5個の簡易設定が登録されており、最大6個まで登録することができます。

- 会議資料印刷(白黒)
- 小冊子印刷(自動判別)
- 配布資料印刷
- 会議資料印刷
- ファイルとじ用印刷

**3) 印刷時にテンプレート確認を表示させる**

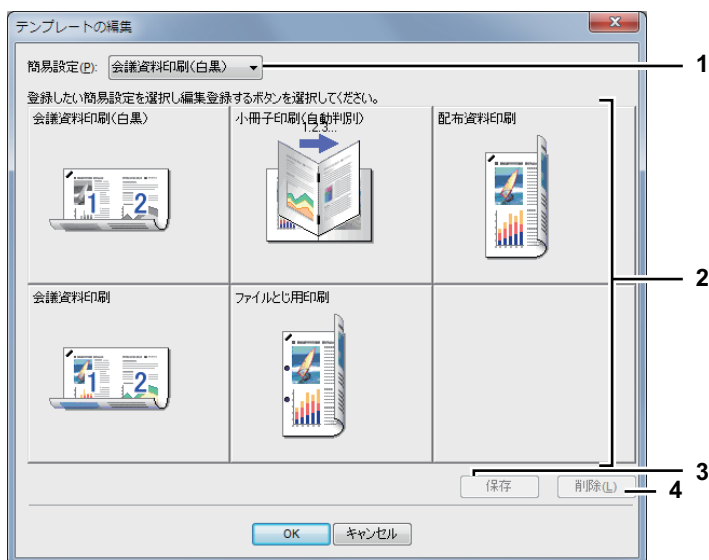
チェックボックスをオンにすると、印刷の実行時に「テンプレート」ダイアログボックスが自動的に表示されるようになります。「テンプレート」ダイアログボックスにはテンプレートボタンが表示され、選択することができます。簡易設定をひんぱんに利用する場合など、プリンタドライバを開いて設定する手間を省くことができます。

**4) [編集]**

テンプレートボタンを編集します。クリックすると「テンプレートの編集」ダイアログボックスが表示されます。

📖 P.100 「テンプレートの編集」

## テンプレートの編集

テンプレートボタンの設定内容を編集します。

**1) 簡易設定**
テンプレートボタンに割り当てる簡易設定を選択します。

**2) テンプレートボタン**
編集するテンプレートボタンを選択します。

**3) [登録]**
選択した簡易設定を、選択したテンプレートボタンに割り当てます。

**4) [削除]**
選択したテンプレートボタンの設定内容を削除します。

**注 意**

[削除] をクリックしても、簡易設定の登録内容は削除されません。

# さまざまな機能を使って目的別に印刷する

ここでは、プリンタドライバが提供する印刷ジョブの処理方法や、レイアウトおよび仕上げ機能など、高度な印刷機能について説明します。このセクションをよくお読みになり、目的に合った印刷方法をご活用ください。

📖 P.101 「印刷ジョブタイプ」
📖 P.114 「[基本] タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能」
📖 P.117 「[仕上げ] タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能」
📖 P.126 「[挿入] タブで設定する仕上げ機能」
📖 P.129 「[効果] タブで設定する仕上げ機能」
📖 P.134 「さまざまな用紙を使って印刷する」
📖 P.140 「印刷に使用する機体を変更する」
📖 P.142 「1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）」

## ■ 印刷ジョブタイプ

印刷ジョブを処理する方法には、通常印刷のほかに、[予約印刷]、[プライベート印刷]、[ホールド印刷]、[お試し印刷]、[オーバーレイファイルで保存]、[本体に保存]、[ジョブタイプの組み合わせ] があります。

📖 P.102 「予約印刷」
📖 P.103 「プライベート印刷」
📖 P.105 「ホールド印刷」
📖 P.106 「お試し印刷」
📖 P.107 「オーバーレイファイルで保存」
📖 P.108 「本体に保存」
📖 P.111 「ジョブタイプの組み合わせ」

**注 意**

以下の機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。

- 予約印刷
- プライベート印刷
- ホールド印刷
- お試し印刷
- 本体に保存
- ジョブタイプの組み合わせ

## □ 予約印刷

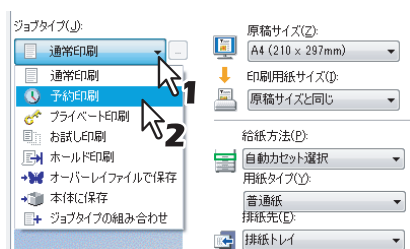
予約印刷機能を使用して、ジョブを印刷する日付と時間を指定することができます。特に、混雑時を避けて後で印刷を行う場合に便利です。

**注 意**

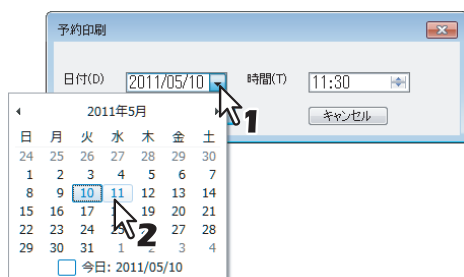
- この機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。
- 予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピュータの日時を合わせておいてください。

### 指定した日時にジョブを印刷する

**1** ［基本］タブを選択します。

**2** ［ジョブタイプ］ボックスで［予約印刷］を選択します。

**3** ［ジョブタイプ］ボックス右端の［...］をクリックします。

「予約印刷」ダイアログボックスが表示されます。

**4** ［日付］ボックスをクリックし、カレンダー画面を表示させます。そのカレンダーから印刷を行う日付を指定します。

**5** ［時間］ボックスを選択し、［▲］または［▼］をクリックし、印刷を行う時間を指定します。

時を変更するには、時の値を選択し、［▲］、［▼］をクリックします。分を変更するには、分の値を選択し、［▲］、［▼］をクリックします。

**6** ［OK］をクリックします。

**7** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**8** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブがジョブキューに保存され、指定した日時に印刷が実行されます。

## □ プライベート印刷

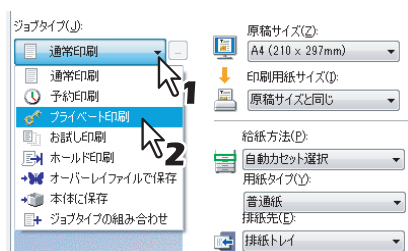
プライベート印刷機能は、ほかの人に見られたくない機密文書などを印刷するときに使用します。

**注 意**

この機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。

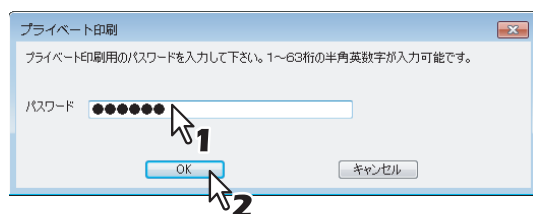
### 機密文書を印刷する

**1** ［基本］タブを選択します。

**2** ［ジョブタイプ］ボックスで［プライベート印刷］を選択します。

**3** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**4** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブがタッチパネルのプライベートジョブ一覧に保存されます。

**5** パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。

**注 意**

- 1〜63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号（0x21 〜 0x7E までのASCIIコードの文字）を使用できます。
- ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。このパスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。

**6** 操作パネルの［プリント］ボタンを押します。

**7** タッチパネルで［プライベート印刷］を選択します。

**補 足**

プライベート印刷ジョブ一覧画面が表示されていない場合のみ、ジョブタイプの選択ボックスで［プライベート印刷］を選択します。

## 8 目的のユーザ名を選択し、［OK］を押します。

補 足

［カスタム］タブの［表示ユーザ名］ボックスに任意のユーザ名を入力して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧に表示されます。入力せずに送信した場合には、初期値のログインユーザ名が表示されます。

## 9 コンピュータで設定したプライベート印刷のパスワードを入力し、［OK］を押します。

- ［表示ユーザ名］に初期値のログインユーザ名を使用した場合：
  同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。
- ［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を入力した場合：
  同じユーザ名かつ同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。

## 10 プライベート印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブ（文書名）を選択し、［印刷］を押します。

## □ ホールド印刷

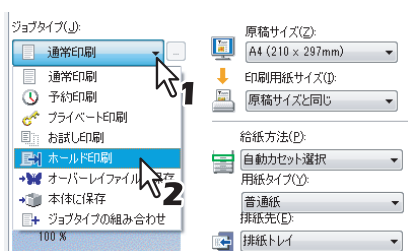
ホールド印刷機能は、本機のタッチパネルから印刷を実行するまで印刷ジョブを保留します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。

注 意

この機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。

### ジョブを印刷する

**1 ［基本］タブを選択します。**

**2 ［ジョブタイプ］ボックスで［ホールド印刷］を選択します。**

**3 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

**4 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。

**5 操作パネルの［プリント］ボタンを押します。**

**6 タッチパネルで［ホールド印刷］を選択します。**

**7 目的のユーザ名を選択します。**

補 足

［カスタム］タブの［表示ユーザ名］ボックスに任意のユーザ名を入力して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。入力せずに送信した場合には、コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

**8 ホールド印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、［印刷］を押します。**

補 足

- ［表示ユーザ名］に初期値のログインユーザ名を使用した場合：
  選択したユーザが登録したホールド印刷ジョブが一覧表示されます。
- ［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を入力した場合：
  同じユーザ名を使って登録したホールド印刷ジョブがすべて一覧表示されます。

## □ お試し印刷

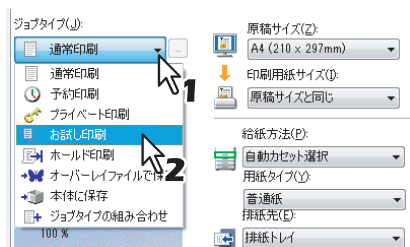
お試し印刷は、複数部数の印刷を行う前に確認用に1部だけサンプルを印刷する機能です。この機能を使用すれば、間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減でき、希望する印刷結果を効率よく得ることができます。お試し印刷された出力結果を確認したうえで、ジョブをそのまま印刷するか削除するかを選択します。

**注 意**

- この機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。
- 複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。

### お試し印刷を行う

**1** [基本] タブを選択します。

**2** [ジョブタイプ] ボックスで [お試し印刷] を選択します。

**3** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

**4** [プリント](または [印刷]、[OK] など)をクリックし、印刷ジョブを送信します。

サンプルが1部印刷され、印刷ジョブ(残り部数)は本機に保存されます。

**5** 操作パネルの [プリント] ボタンを押します。

**6** タッチパネルで [お試し印刷] を選択します。

**7** お試し印刷ジョブ一覧画面より印刷したいジョブを選択し、[印刷] を押します。

## □ オーバーレイファイルで保存

プリンタドライバを介して文書をオーバーレイファイルとして最大20個まで保存できます。作成したオーバーレイファイルは、ほかの印刷文書の背面または前面に印刷することができます。

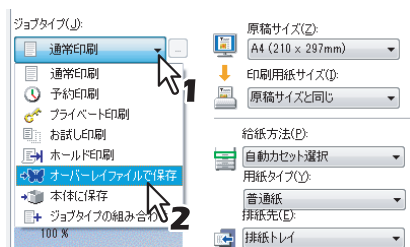
📖 P.132 「オーバーレイファイルを使用する」

**注 意**

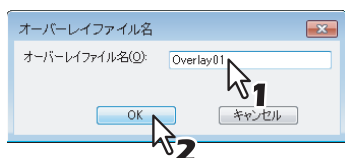
- 複数ページの文書をオーバーレイファイルとして保存した場合は、最初のページのみオーバーレイファイルとして保存されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。

### オーバーレイファイルとして保存する

**1** **［基本］タブを選択します。**

**2** **［ジョブタイプ］ボックスで［オーバーレイファイルで保存］を選択します。**

**3** **［ジョブタイプ］ボックス右端の［...］をクリックします。**

「オーバーレイファイル名」ダイアログボックスが表示されます。

**4** **オーバーレイファイルの名前を入力し、［OK］をクリックします。**

半角・全角63文字まで入力できます。

**5** **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

**6** **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

文書がオーバーレイファイルとして保存されます。

**補 足**

作成したオーバーレイファイルは、文書を印刷するときに使用することができます。

📖 P.132 「オーバーレイファイルを使用する」

## □ 本体に保存

この機能は、印刷ジョブをお使いのアプリケーションから本機のハードディスクへ送信し、保存する機能です。保存したジョブは、タッチパネルから印刷出力したり、ファイリングボックスWebユーティリティを使って、ほかの文書と合成することもできます。ジョブの保存先には、共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。また、ボックス内に作成したフォルダを指定することもできます。共有ボックスは、ネットワーク上で共有されており、どのユーザでもこれにアクセスすることができます。ユーザボックスは、ユーザが任意に作成できるボックスで、パスワードを設定してアクセスを制限できます。

注 意

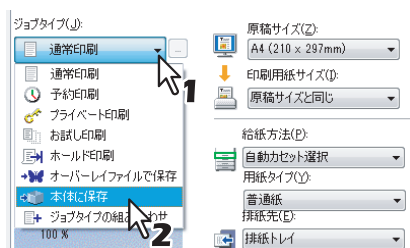
- この機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。
- 原稿サイズや印刷用紙サイズに以下の用紙サイズを選択した場合、［本体に保存］は使用できません。また、文書の一部にこれらのサイズの用紙が含まれている場合も、印刷ジョブはファイリングボックスに保管されません。
  - カスタム用紙
  - 手差しトレイ不定サイズ用紙
  - タブ紙
  - IndexCard (3 x 5")
  - 封筒 COM10（4 1/8 x 9 1/2"）
  - 封筒 COM9（3 7/8 x 8 7/8"）
  - 封筒 Monarch（3 7/8 x 7 1/2"）
  - 封筒 DL（110 x 220 mm）
  - 封筒 長形3号（120 x 235 mm）
  - 封筒 長形4号（90 x 205 mm）
  - 封筒 洋形4号（105 x 235 mm）
  - 封筒 C5（162 x 229 mm）
- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピュータに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- プリンタドライバを使用してファイリングボックスに保管された文書は、画像としてファイリングボックスに保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

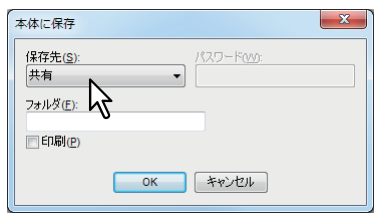
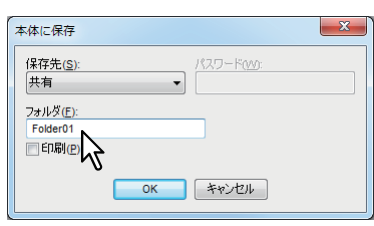
補 足

- 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。管理方法については、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。
- また、保存ファイルの管理は、ファイリングボックスWebユーティリティを使って行うこともできます。ファイリングボックスWebユーティリティを使った管理方法については、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。

### 共有ボックスに印刷ジョブを保存する

**1** ［基本］タブを選択します。

**2** ［ジョブタイプ］ボックスで［本体に保存］を選択します。

**3** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**4** ［保存先］ボックスで［共有］を選択します。

**5** 共有ボックス内のフォルダを指定する場合は、［フォルダ］ボックスにフォルダ名を入力します。

**注 意**

- 入力したフォルダ名が存在しない場合、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダの数が100に到達した場合は、新規に作成することはできません。

**6** 保存と同時に印刷を行う場合は、［印刷］チェックボックスをオンにします。

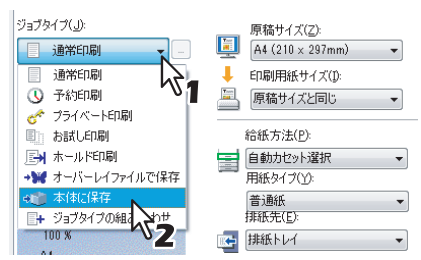
**7** ［OK］をクリックします。

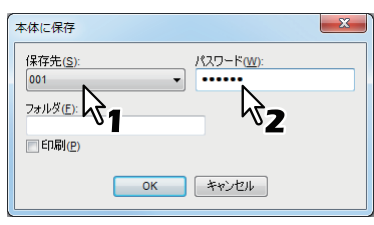
**8** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

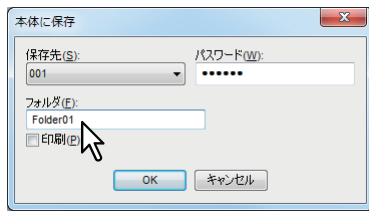
印刷ジョブが共有ボックスに保存されます。

## ユーザボックスに印刷ジョブを保存する

**1** ［基本］タブを選択します。

**2** ［ジョブタイプ］ボックスで［本体に保存］を選択します。

**3** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**4** ［保存先］ボックスで保存先のユーザボックスを選択し、必要に応じて［パスワード］ボックスにユーザボックスのパスワード（最大20桁）を入力します。

**5** ユーザボックス内のフォルダを指定する場合は、[フォルダ]ボックスにフォルダ名を入力します。

**注 意**

- 入力したフォルダ名が存在しない場合は、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダの数が100に到達した場合は、新規に作成することはできません。

**6** 保存と同時に印刷を行う場合は、[印刷]チェックボックスをオンにします。

**7** [OK]をクリックします。

**8** [プリント](または[印刷]、[OK]など)をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブが指定したユーザボックスに保存されます。

## □ ジョブタイプの組み合わせ

この機能は、「予約印刷」、「プライベート印刷」、「ホールド印刷」、「お試し印刷」、「お試し＋プライベート印刷」、「お試し＋ホールド印刷」のいずれかのジョブタイプと、「本体に保存」のジョブタイプを組み合わせて印刷できる機能です。たとえば、「予約印刷」と「本体に保存」を組み合わせれば、印刷ジョブをファイリングボックスに保存しつつ、指定した時間に印刷することができます。
選択した場合は、［ジョブタイプ］ボックス右端の［...］をクリックして組み合わせるジョブタイプを選択します。

**注 意**

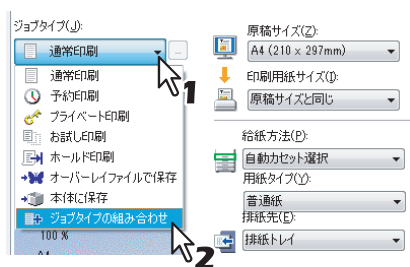
- この機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。
- 予約印刷を行う前に、本機とお使いのコンピュータの日時を合わせておいてください。
- 複数部数の印刷ジョブを別々の印刷ジョブとして送信するアプリケーションを使用している場合は、お試し印刷を設定しても、指定した部数すべてが印刷されてしまいます。この場合は、印刷する部数を1部に設定しお試し印刷した後、タッチパネルで部数を変更して印刷してください。
- 印刷によりファイリングボックスに保管された文書は、出力に適した画質で保管されます。より高画質な画像をコンピュータに取り込みたい場合は、原稿をスキャンしファイリングボックスに保管してください。
- プリンタドライバを使用してファイリングボックスに保管された文書は、画像としてファイリングボックスに保管されます。元の文書をそのままファイリングボックスに保管することはできません。

**補 足**

- 本体に保存されているファイルは、タッチパネルから管理することができます。管理方法については、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。
- また、保存ファイルの管理は、ファイリングボックスWebユーティリティを使って行うこともできます。ファイリングボックスWebユーティリティを使った管理方法については、**ファイリングボックスガイド**を参照してください。

### ジョブタイプの組み合わせで印刷する

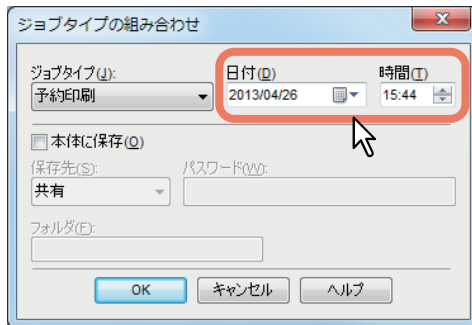
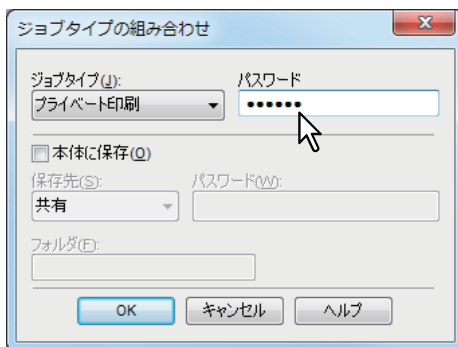
**1** ［基本］タブを選択します。

**2** ［ジョブタイプ］ボックスで［ジョブタイプの組み合わせ］を選択します。

**3** ［ジョブタイプ］ボックス右端の［...］をクリックします。

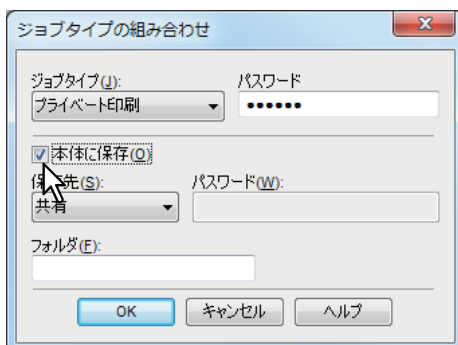
「ジョブタイプの組み合わせ」ダイアログボックスが表示されます。

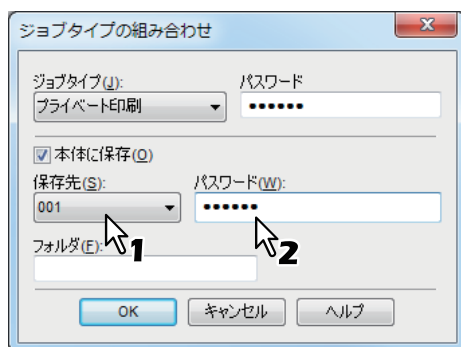
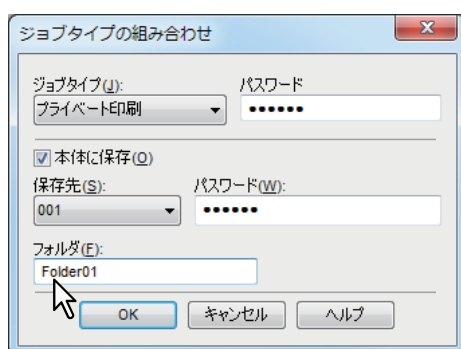
## 4 ［ジョブタイプ］ボックスで、ジョブタイプを選択します。

選択したジョブタイプにより設定画面が切り替わります。

- ［予約印刷］を選択した場合は、［日付］と［時間］を設定します。

- ［プライベート印刷］［お試し＋プライベート印刷］を選択した場合は、パスワードを入力します。

**注 意**

- 1～63文字のパスワードを入力します。パスワードには、半角の英数字および記号（0x21 ～ 0x7E までのASCIIコードの文字）を使用できます。
- ここで設定したパスワードを本機のタッチパネルから入力すると、ジョブの印刷が実行されます。このパスワードを忘れてしまうと、ジョブを印刷することができなくなるのでご注意ください。

## 5 印刷と同時にファイルを本体に保存する場合は、［本体に保存］チェックボックスをオンにします。

**6** ［保存先］ボックスで、保存先を選択します。

- ユーザーボックスを選択した場合は、必要に応じてパスワードを入力します。

**7** 選択したボックス内のフォルダを指定する場合は、［フォルダ］ボックスにフォルダ名を入力します。

**注 意**

- 入力したフォルダ名が存在しない場合、新規のフォルダとしてボックス内に作成されます。
- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダの数が100に到達した場合は、新規に作成することはできません。

**8** ［OK］をクリックします。

**9** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

- ［予約印刷］を選択した場合は、指定した日時に印刷が実行されます。
- ［プライベート印刷］［お試し＋プライベート印刷］を選択した場合は、プライベート印刷ジョブとして本機に保存されます。本機の操作パネルを操作し、プライベート印刷ジョブを印刷してください。
  📖 P.103 「プライベート印刷」
- ［ホールド印刷］［お試し＋ホールド印刷］を選択した場合は、ホールド印刷ジョブとして本機に保存されます。本機の操作パネルを操作し、ホールド印刷ジョブを印刷してください。
  📖 P.105 「ホールド印刷」
- ［お試し印刷］［お試し＋プライベート印刷］［お試し＋ホールド印刷］を選択した場合は、サンプルが1部印刷され、残りの部数はお試し印刷ジョブとして本機に保存されます。本機の操作パネルを操作し、お試し印刷ジョブを印刷してください。
  📖 P.106 「お試し印刷」
- ［本体に保存］のチェックボックスをオンにした場合は、印刷ジョブが指定したボックスに保存されます。

## ■［基本］タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能

印刷目的に合わせてレイアウト機能や仕上げ機能を適切に設定すれば、より効果的に文書を印刷することができます。ここでは、［基本］タブで設定できる下記機能について説明します。

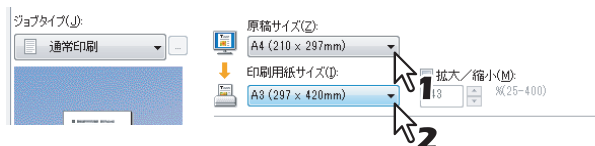
📖 P.114「用紙に収まるように印刷する」
📖 P.116「カラー文書を白黒印刷する」
📖 P.116「カラー文書を2色印刷する」

### □ 用紙に収まるように印刷する

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。倍率は手動で設定することもできます。また、用紙サイズと倍率の設定を組み合わせて印刷することもできます。

#### 自動で変倍印刷を行う

**1** ［基本］タブを選択します。

**2** ［原稿サイズ］ボックスから文書のサイズを選択します。［印刷用紙サイズ］ボックスから使用する用紙のサイズを選択します。

選択した原稿および用紙のサイズに応じて、ページイメージが変倍されます。

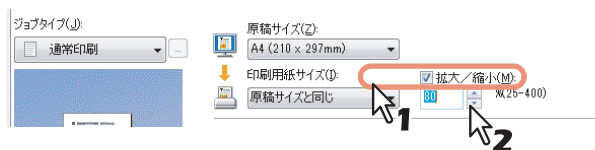
**3** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**4** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

指定した用紙サイズに収まるように変倍されたページイメージが印刷されます。

#### 手動で変倍印刷を行う

**1** ［基本］タブを選択します。

**2** ［拡大／縮小］チェックボックスをオンにして、倍率を入力します。

倍率は、25～ 400（%）の範囲を1%単位で設定することができます。

**3** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

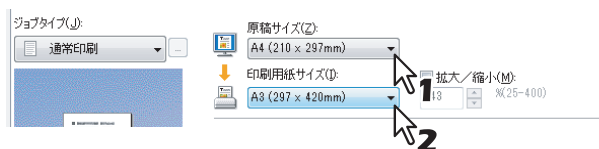
**4** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

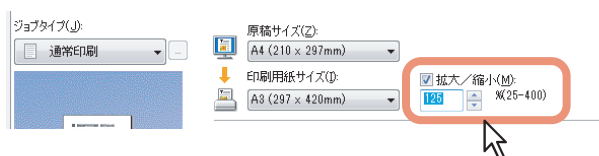
指定した倍率で変倍されたページイメージが印刷されます。

## 用紙サイズと倍率の設定を組み合わせて印刷する

用紙サイズと倍率の設定は、組み合わせて使うこともできます。たとえば、A4の原稿をA3の用紙に、倍率を変えず100%のままで印刷することができます。

**1** **[基本] タブを選択します。**

**2** **[原稿サイズ] ボックスから文書のサイズを選択します。[印刷用紙サイズ] ボックスから使用する用紙のサイズを選択します。**

選択した原稿および用紙のサイズに応じて、ページイメージが変倍されます。

**3** **[拡大／縮小] チェックボックスをオンにして、倍率を入力します。**

倍率は、25～ 400（%）の範囲を1%単位で設定することができます。

**4** **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。**

**5** **[プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

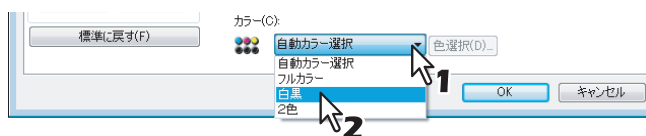
指定した用紙サイズに、指定した倍率で変倍されたページイメージが印刷されます。

## □ カラー文書を白黒印刷する

本機は、カラー印刷同様、白黒印刷を行うこともできます。
プリンタドライバは、印刷文書のカラーモードを自動認識し、カラー文書はカラーで、白黒文書は白黒でそれぞれ印刷します。
さらに、印刷費やカラートナーの消費を抑えるために、手動で白黒モードを選択し、カラー文書を白黒で印刷することもできます。

### カラー文書を白黒で印刷する

**1** **［基本］タブを選択します。**

**2** **［カラー］ボックスで［白黒］を選択します。**

**3** **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

**4** **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

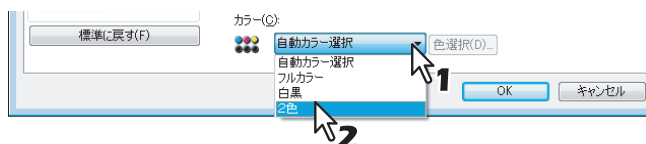
印刷ジョブが白黒で印刷されます。

## □ カラー文書を2色印刷する

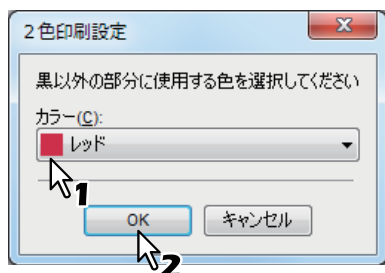
本機は、カラー文書を2色印刷することもできます。
2色印刷を行うと、文書の黒い部分は黒色で印刷し、そのほかのカラー部分を指定した色で印刷することができます。

### カラー文書を2色印刷する

**1** **［基本］タブを選択します。**

**2** **［カラー］ボックスで［2色］を選択します。**

**3** **［色選択］をクリックします。**

「2色印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

**4** **黒以外の部分に使用する色を選択し、［OK］をクリックします。**

**5** **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

**6** **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷ジョブが2色印刷されます。

## ■［仕上げ］タブで設定するレイアウトおよび仕上げ機能

印刷目的に合わせてレイアウト機能や仕上げ機能を適切に設定すれば、より効果的に文書を印刷することができます。ここでは、［仕上げ］タブで設定できる下記機能について説明します。

📖 P.117「1部またはページごとに分けて印刷する」
📖 P.119「両面印刷する」
📖 P.120「本や雑誌のようなページ構成で印刷する」
📖 P.123「複数ページを1ページにまとめて印刷する」
📖 P.124「ステイプル留めする」
📖 P.124「ホールパンチ印刷」
📖 P.125「1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）」

### □ 1部またはページごとに分けて印刷する

複数部数のジョブを印刷するときのソート方法を選択します。1部ごと出力する［ソート］、ページごとにグループ分けして出力する［グループ］、および縦横交互に出力する［縦横交互排紙］を選択することができます。

#### 1部ごと仕分けして排紙する

**1** ［基本］タブを選択します。

**2** ［部数］ボックスに印刷部数を入力します。

**3** ［仕上げ］タブを選択します。

**4** ［印刷方式］で［ソート］アイコンを選択します。

**5** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**6** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブを1部ごと仕分けして排紙します。

## ページごとにグループ分けして排紙する

**1** ［基本］タブを選択します。

**2** ［部数］ボックスに印刷部数を入力します。

**3** ［仕上げ］タブを選択します。

**4** ［印刷方式］で［グループ］アイコンを選択します。

**5** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**6** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブをページごとにグループ分けして出力します。

## 印刷ジョブを縦横交互に出力する

**注 意**

- お使いの機種によっては、縦横交互出力は利用できません。
- 縦横交互出力は、Letter、A4、B5、または16K用紙を使って印刷するときに有効です。
- 縦横交互出力する場合は、使用する用紙が縦／横の両方の向き（例：A4とA4-R）でセットされている必要があります。

**1** ［基本］タブを選択します。

**2** ［部数］ボックスに印刷部数を入力します。

**3** ［仕上げ］タブを選択します。

**4** ［印刷方式］で［縦横交互］アイコンを選択します。

**5** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**6** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブを1部ごと、縦横交互に排紙します。

## □ 両面印刷する

用紙の両面に印刷します。

### 両面印刷を行う

**1** **［仕上げ］タブを選択します。**

**2** **［両面印刷］から印刷文書のとじ向きを選択します。**

**長辺**：用紙の長い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。
**短辺**：用紙の短い辺の方にとじしろを設定し、両面印刷します。

補 足

両面印刷では、マガジンソート印刷を設定することもできます。マガジンソート印刷の設定方法については、以下の説明を参照してください。
📖 P.120 「本や雑誌のようなページ構成で印刷する」

**3** **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

**4** **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷ジョブを指定したとじ向きで両面印刷します。

## □ 本や雑誌のようなページ構成で印刷する

マガジンソート印刷を選択して印刷を行うと、本や雑誌と同じような印刷物を作成することができます。また、ステイプル機能を使用して印刷した文書の中央をステイプル留め（サドルステッチ処理）し、中折り機能で用紙の中央を中折りすれば、自動的に中折りとじを出力できます。たとえば、B4 サイズで文書をマガジンソート印刷した場合、B5 サイズの中折りとじを作成します。各ページが指定の用紙の半分に収まるように文書サイズを自動調節し、中折りにとじたときにページの順番が正しくなるようにページを並べ替えて印刷を行います。
文書サイズを変更せずにマガジンソート印刷を行う場合は、印刷する用紙サイズを文書サイズの2倍のサイズの用紙を設定します。たとえば、B5 サイズで作成した文書をB4 サイズの用紙にマガジンソート印刷すると、B4 サイズの中折りとじを作成します。文書サイズと同じサイズの中折りとじを作成するには、次のようなサイズで文書を作成し用紙サイズを指定します。

- A4（文書サイズ）／A3（用紙サイズ）
- A5（文書サイズ）／A4（用紙サイズ）
- B5（文書サイズ）／B4（用紙サイズ）
- Letter（文書サイズ）／Ledger（用紙サイズ）

**注 意**

利用できる用紙サイズは、お使いの機種によって異なります。

### マガジンソート印刷を行う

**1** ［仕上げ］タブを選択します。

**2** ［両面印刷］から［マガジンソート］アイコンを選択します。

**3** ［編集］をクリックします。

「マガジンソート設定」ダイアログボックスが表示されれます。

# 4 ［仕上がりサイズ］より仕上がりサイズを選択します。

**A5 on A4**：各ページをA5サイズに縮小し、A4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**A4 on A3**：各ページをA4サイズに縮小し、A3サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**B5 on B4**：各ページをB5サイズに縮小し、B4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**B6 on B5**：各ページをB6サイズに縮小し、B5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**1/2 Folio on Folio**：各ページをFolio用紙の半分に収まるように縮小し、Folioサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**A6 on A5**：各ページをA6サイズに縮小し、A5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**Letter - Half on Letter**：各ページをLetter用紙の半分に収まるように縮小し、Letterサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**LT on LD**：各ページをLetterサイズに縮小し、Ledgerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**1/2 LG on LG**：各ページをLegal用紙の半分に収まるように縮小し、Legalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**1/2 Statement on Statement**：各ページをStatement用紙の半分に収まるように縮小し、Statementサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**1/2 Comp on Comp**：各ページをComputer用紙の半分に収まるように縮小し、Computerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**1/2 13LG on 13LG**：各ページを13インチLegal用紙の半分に収まるように縮小し、13インチLegalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**1/2 8.5SQ on 8.5SQ**：各ページを8.5インチSQ用紙の半分に収まるように縮小し、8.5インチSQサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**32K on 16K**：各ページを32Kサイズに縮小し、16Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**16K on 8K**：各ページを16Kサイズに縮小し、8Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**1/2 13.5LG on 13.5LG**：各ページを13.5インチLegal用紙の半分に収まるように縮小し、13.5インチLegalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**1/2 Executive on Executive**：各ページをExecutive用紙の半分に収まるように縮小し、Executiveサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
**1/2 (Custom) on (Custom)**：各ページをカスタムサイズの半分に縮小し、カスタムサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

**注 意**

お使いになる機種により選択できる用紙サイズは異なります。

# 5 ［ページの順番］よりページの印刷順序を選択します。

## 6 ［余白］より余白幅の設定をします。

**［中心］**：見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。16.90 mm（0.67インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。
**［外側］**：ページの上下左右の余白を設定します。29.60 mm（1.17インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。
**［単位］**：中心の余白および外側の余白の単位を選択します。

補 足

［中心の余白を無くす］のチェックボックスをオンにすると、［中心］の設定値が無効となり、中央の余白を0 mm（0インチ）に設定できます。

## 7 用紙の中央部分で中折りして出力する場合は、［中折り］チェックボックスをオンにします。

注 意

［中折り］は、以下の機種にサドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。
- e-STUDIO6570C Series
- e-STUDIO6550C Series
- e-STUDIO4540C Series
- e-STUDIO507 Series（MJ-1108装着時のみ）
- e-STUDIO456 Series（MJ-1106装着時のみ）

## 8 用紙の中央部分を2か所ステイプル留めして出力する場合は、［サドルステッチを使用する］チェックボックスをオンにします。

注 意

［サドルステッチを使用する］は、サドルステッチフィニッシャ装着時のみ有効です。

## 9 ［OK］をクリックして「マガジンソート設定」ダイアログボックスを閉じます。

## 10 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

## 11 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブをマガジンソート印刷します。

注 意

サドルステッチフィニッシャが装着されており、［中折り］を有効にした場合、印刷ジョブは中折りされて出力されます。サドルステッチフィニッシャが装着されていない場合には、手動で出力紙の中央に折り目を入れてください。

## □ 複数ページを1ページにまとめて印刷する

Nin1印刷は、複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷する機能です。ページの多い文書の体裁を確認したい場合などに便利です。たとえば、ページが長いWeb ページや、プレゼンテーション用ドキュメントなどにNin1印刷を使用すると、効率的に文書の全体を確認することができます。また、用紙の使用量を削減することもできます。

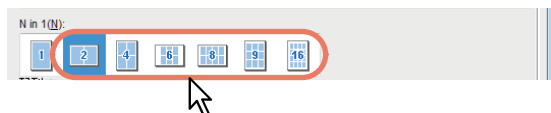
補 足

Nin1印刷時にオーバーレイを選択すると、複数のページがレイアウトされる用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされる各ページイメージにオーバーレイファイルを印刷したい場合は、[効果] タブの [オーバーレイファイル] 設定で、[ページ毎に印刷] をオンにします。

P.73 「[効果] タブ」

### 複数ページを1枚の用紙に印刷する

**1** **[仕上げ] タブを選択します。**

**2** **[Nin1] からレイアウト方法を選択します。**

**2 in 1**：2ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
**4 in 1**：4ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
**6 in 1**：6ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
**8 in 1**：8ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
**9 in 1**：9ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
**16 in 1**：16ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

**3** **[配列] で、用紙にページをどのように並べるかを選択します。**

**左から右**：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
**右から左**：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
**縦列で左から右**：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
**縦列で右から左**：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。

補 足

[配列] で選択できる項目の種類は、[Nin1] で選択したページのレイアウト方法により異なります。

**4** **ページごとに境界線を印刷するときは、[周囲に境界線を印刷] チェックボックスをオンにします。**

**5** **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。**

**6** **[プリント] (または [印刷]、[OK] など) をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷ジョブをNin1印刷します。

## □ ステイプル留めする

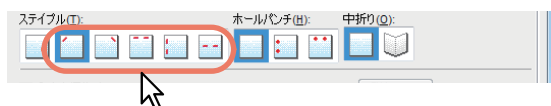
部ごとに用紙をステイプル留めして出力することができます。

**注 意**

フィニッシャが装着されている場合のみ、ステイプル印刷は有効です。

### ステイプル印刷を行う

**1 ［仕上げ］タブを選択します。**

**2 ［ステイプル］から留める位置を選択します。**

**上段左**：部ごとに用紙の左上をステイプル留めして排紙します。
**上段右**：部ごとに用紙の右上をステイプル留めして排紙します。
**上段（2か所）**：部ごとに用紙の上部2か所をステイプル留めして排紙します。
**左（2か所）**：部ごとに用紙の左側2か所をステイプル留めして排紙します。
**サドルステッチ**：用紙の中央2か所をステイプル留めし中折りして排紙します。

**注 意**

- 選択できる項目は、お使いの機種、用紙サイズおよび用紙の向きによって異なります。
- ［サドルステッチ］は、サドルステッチフィニッシャ装着時に有効です。

**3 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

**4 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

部ごとに用紙をステイプル留めして出力します。

## □ ホールパンチ印刷

印刷用紙にとじるための穴を開けて排紙することができます。

**注 意**

ホールパンチユニットが装着されている場合のみ、ホールパンチ印刷は有効です。

### ホールパンチ印刷を行う

**1 ［仕上げ］タブを選択します。**

**2 ［ホールパンチ］から穴の位置を選択します。**

**左**：用紙の左側2か所に綴じ穴を開けて出力します。
**上段**：用紙の上部2か所に綴じ穴を開けて出力します。

**3 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

**4 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

用紙に綴じ穴を開けて出力します。

## □ 1ページを複数枚の用紙に分割して印刷する（ポスター印刷）

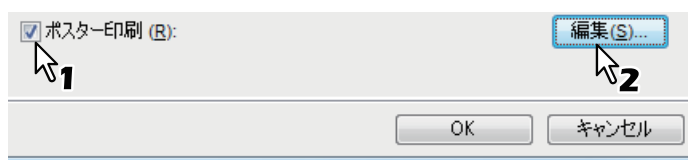
1つの印刷ジョブを複数の用紙に分割して印刷します。分割して印刷された用紙をつなぎあわせれば、ポスターのように大きな用紙の印刷物を作成することができます。

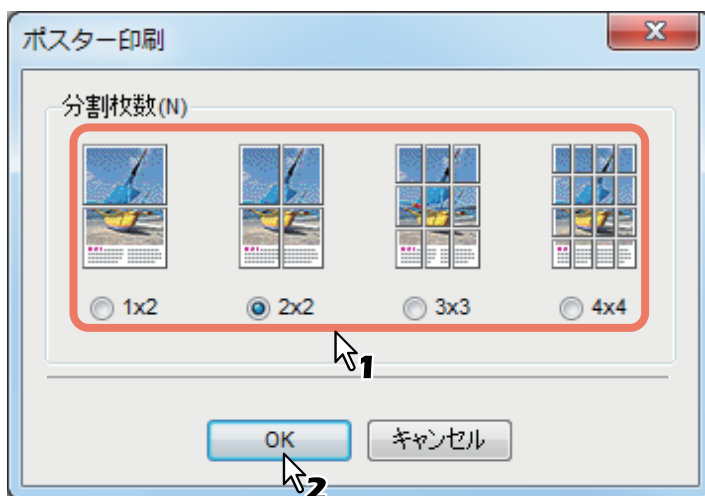
**注 意**

- ポスター印刷は、カスタム用紙サイズ、Nin1 印刷、両面印刷、ウォーターマーク、オーバーレイ、シート挿入の各機能を設定している場合、実行できません。
- ポスター印刷は、[基本] タブの [印刷用紙サイズ] で以下のサイズを選択した場合にのみ設定できます。ただし、お使いになる機種により選択できる用紙サイズは異なります。
  A4、A3、LT、LD

### ポスター印刷を行う

**1** [仕上げ] タブを選択します。

**2** [ポスター印刷] チェックボックスをオンにし、[編集] をクリックします。

「ポスター印刷」ダイアログボックスが表示されます。

**3** [分割枚数] で、何枚の用紙に分割するかを選択し、[OK] をクリックします。

**1x2**：印刷ジョブを2枚の用紙に分割して印刷します。
**2x2**：印刷ジョブを4枚の用紙に分割して印刷します。
**3x3**：印刷ジョブを9枚の用紙に分割して印刷します。
**4x4**：印刷ジョブを16枚の用紙に分割して印刷します。

**注 意**

- [1x2] は、印刷用紙サイズをA4またはA3にした場合のみ選択できます。
- ポスター印刷を行う場合は、[カスタム] タブの [白紙は印字しない] のチェックボックスをオフにしてください。オンのままでポスター印刷を行うと、分割した結果、白紙となったページは印刷されません。

**4** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、[OK] をクリックします。

**5** [プリント]（または [印刷]、[OK] など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブが設定した枚数の用紙に分割して印刷されます。

## ■［挿入］タブで設定する仕上げ機能

印刷目的に合わせて仕上げ機能を適切に設定すれば、より効果的に文書を印刷することができます。ここでは、［挿入］タブで設定できる下記機能について説明します。

P.126「表紙など異なる用紙を挿入する」
P.128「1ページごとに用紙を挿入する」

### □ 表紙など異なる用紙を挿入する

シート挿入は、原稿の指定したページに表紙や裏表紙、用紙シートを挿入する機能です。種類の違う文書内容を区切るときなどに、色紙や索引用紙などを指定して挿入できます。また、空白シートを挿入することも、印刷したシートを挿入することもできます。

#### 表紙および裏表紙を印刷、挿入する

**1** ［挿入］タブを表示します。

**2** 表紙を印刷または挿入するときは、［表紙挿入］チェックボックスをオンにし、［給紙方法］ボックスから表紙に使用する用紙の給紙元を選択します。［出力形式］ボックスから表紙の印刷方法を選択します。

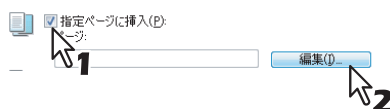
**空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
**片面印刷**：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。
**両面印刷**：文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。

**注 意**

- ［給紙方法］ボックスで［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
- 厚紙を挿入する場合は、手差しトレイを選択し、プリンタドライバの［デバイス設定］タブのカセット設定で、手差しトレイの用紙種別に厚紙を設定します。
- ［仕上げ］タブで両面印刷が有効に設定されているときに、［両面印刷］を選択することができます。

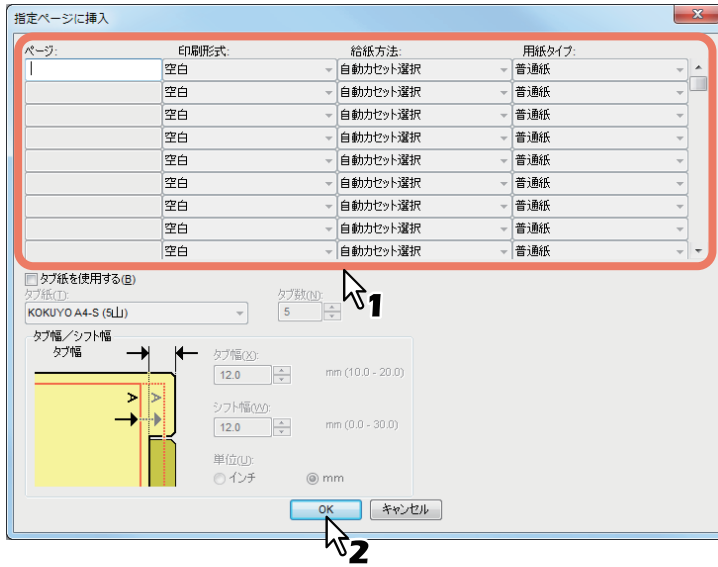
**3** 裏表紙を印刷または挿入するときは、［裏表紙挿入］チェックボックスをオンにし、目的の［給紙方法］および［出力形式］を設定します。

設定内容は、上記［表紙挿入］と同じです。

**4** ページの間にシートを挿入するときは、［指定ページに挿入］チェックボックスをオンにし、［編集］をクリックします。

「指定ページに挿入」ダイアログボックスが表示されます。

**注 意**

挿入できるページ数は、最大50ページまでです。

**5** ［ページ］ボックスにページを挿入するページ番号を入力し、挿入ページに適用する［印刷形式］［給紙方法］［用紙タイプ］をそれぞれ選択して、［OK］をクリックします。

**6** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**注 意**

設定できる機能は、お使いの機種によって異なります。

**7** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

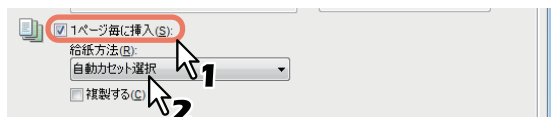
印刷文書に表紙や裏表紙を挿入して出力します。

## □ 1ページごとに用紙を挿入する

［1ページ毎に挿入］は、印刷ジョブの各ページの間にそれぞれ用紙を挿入する機能です。たとえば、OHP用紙の間に空白シートや色紙などをそれぞれ挿入するときなどに便利です。

### 印刷ジョブの各ページの間にシートを挿入する

**1** ［挿入］タブを表示します。

**2** ［1ページ毎に挿入］チェックボックスをオンにし、［給紙方法］ボックスから、挿入シートに使用する用紙の給紙元を選択します。

注 意

- ［給紙方法］ボックスで［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。
- 厚紙を挿入する場合は、手差しトレイを選択し、プリンタドライバの［デバイス設定］タブのカセット設定で、手差しトレイの用紙種別に厚紙を設定します。

**3** 各挿入シートに印刷文書の前ページを印刷する場合は、［複製する］チェックボックスをオンにします。

挿入シートすべてにそれぞれの前ページと同じページイメージが印刷されます。

**4** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**5** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブの各ページの間にシートが挿入されます。

## ■［効果］タブで設定する仕上げ機能

印刷目的に合わせて仕上げ機能を適切に設定すれば、より効果的に文書を印刷することができます。ここでは、［効果］タブで設定できる下記機能について説明します。

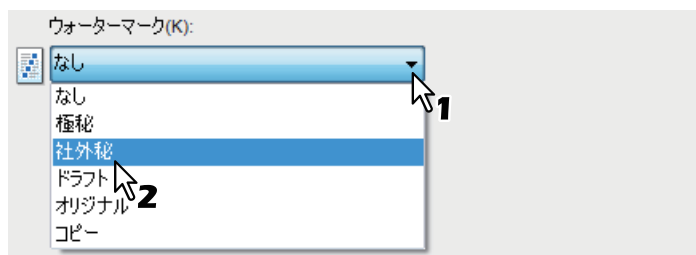
📖 P.129「ウォーターマークを入れて印刷する」
📖 P.132「オーバーレイファイルを使用する」

### □ ウォーターマークを入れて印刷する

ウォーターマークは、「極秘」、「社外秘」、「ドラフト」、「オリジナル」、「コピー」などの文字列を印刷する文書に重ねた状態で用紙に印刷する機能です。ウォーターマークによって印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。上記5つのウォーターマークは標準で登録されていますが、ウォーターマークに使用する文字は自分で作成することもできます。ウォーターマークはテキストだけです。グラフィックスなどを使う場合は、オーバーレイファイルを使用してください。

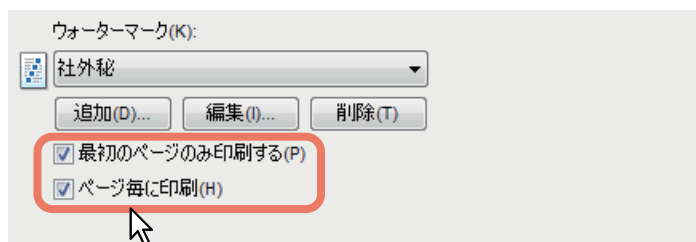
#### ウォーターマークを印刷する

**1** ［効果］タブを表示します。

**2** ［ウォーターマーク］ボックスで印刷するウォーターマークを選択します。

**注 意**

ボックスに目的のウォーターマークがない場合は、ウォーターマークを新たに作成することができます。

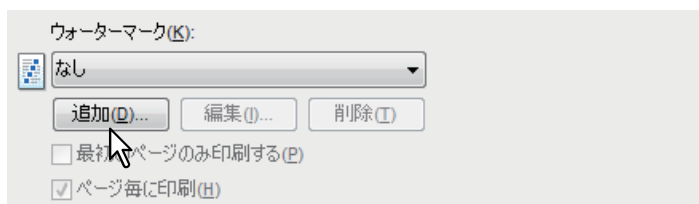
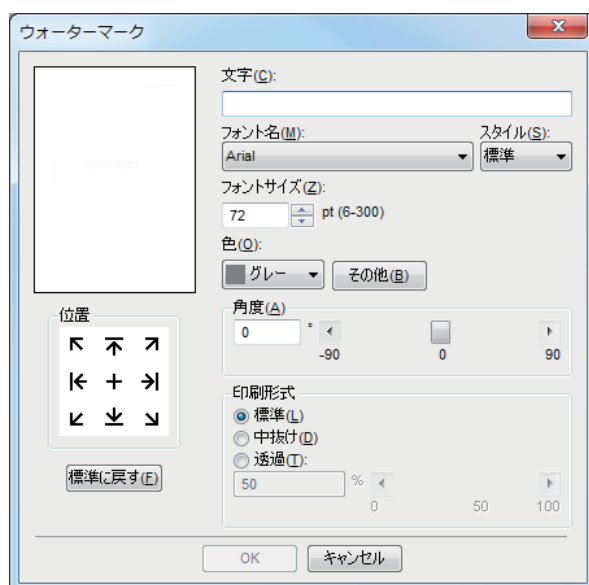
📖 P.130「ウォーターマークを作成する／編集する」

**3** 選択したウォーターマークを文書の最初のページにのみ印刷する場合は、［最初のページのみ印刷する］チェックボックスをオンにします。選択したウォーターマークを各ページ毎に印刷する場合は、［ページ毎に印刷］チェックボックスをオンにします。

**4** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**5** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブにウォーターマークが印刷されます。

## ウォーターマークを作成する／編集する

**1** **新規ウォーターマークを作成するときは、［追加］をクリックします。既存のウォーターマークを編集する場合は、目的のウォーターマークを選択し、［編集］をクリックします。**

「ウォーターマーク」ダイアログボックスが表示されます。

**2** **［文字］ボックスに、ウォーターマークに使用するテキストを入力します。**

半角・全角63文字まで入力することができます。ただし、文字数が多いとウォーターマークが大き過ぎるため、正しく印刷することができない場合があります。

**3** **［位置］でウォーターマークの位置を選択します。**

アイコンを選択してウォーターマークを配置します。

**4** **［フォント名］ボックスで、ウォーターマークテキストのフォントを選択します。**

**5** **［スタイル］ボックスで、ウォーターマークテキストのスタイルを選択します。**

**6** **［フォントサイズ］ボックスにウォーターマークテキストのフォントサイズを入力します。**

6ptから300ptの範囲を1pt単位で設定できます。

**7** **［色］ボックスで、ウォーターマークテキストの色を選択します。**

ボックスに希望する色がない場合は、［その他］をクリックして新たな色を追加します。

**注 意**

- この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。
- ［基本］タブの［カラー］ボックスで［白黒］を選択している場合は、［色］ボックスは無効です。

**8** **［角度］ボックスにウォーターマークテキストの回転角度を入力します。**

-90～90（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

## 9 ［印刷形式］でウォーターマークテキストの印刷方法を選択します。

**標準**：ウォーターマークを指定した色で塗りつぶして印刷します。
**中抜け**：ウォーターマークを中抜きのフォントスタイルで印刷します。
**透過**：ウォーターマークが文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。透過率は、0〜100（%）の範囲を1%単位で設定できます。スクロールバーを使って透過率を設定することもできます。

## 10 ［OK］をクリックし、ウォーターマーク設定を保存します。

新規ウォーターマークが追加、または変更内容が適用されます。

### ウォーターマークを削除する

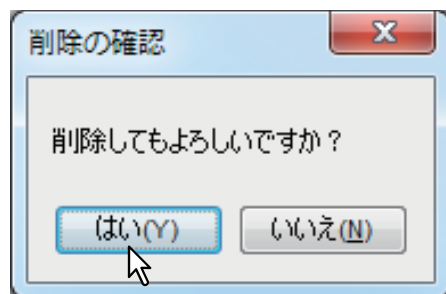
注 意

標準で登録されているウォーターマークも削除することができます。ただし、削除した場合、［標準に戻す］をクリックしても元に戻すことはできません。

## 1 ［ウォーターマーク］ボックスで、削除するウォーターマークを選択します。

## 2 ［削除］をクリックします。

削除の確認メッセージが表示されます。

## 3 ［はい］をクリックします。

ウォーターマークが削除されます。

## □ オーバーレイファイルを使用する

テキスト、グラフィックス、チャート、表などによって構成された単ページ文書（または画像）を指定し、印刷文書の背面に印刷する機能です。グラフィックスを使用するため、通常のウォーターマークより印刷に時間がかかってしまう場合がありますが、より適応したウォーターマークを印刷するときに便利です。印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するには、最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。

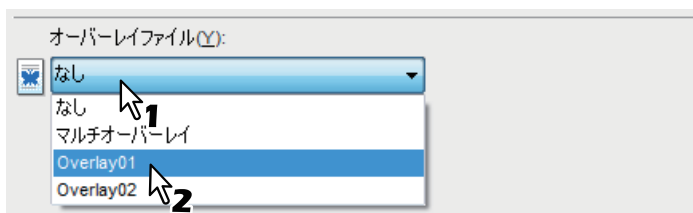
P.107「オーバーレイファイルで保存」

**注 意**

- Nin1 印刷時にオーバーレイを選択すると、複数のページがレイアウトされる用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされる各ページイメージにオーバーレイファイルを印刷したい場合は、[効果] タブの［オーバーレイファイル］設定で、［ページ毎に印刷］をオンにします。
  P.73「[効果] タブ」
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、カラーモード、解像度で作成または印刷する必要があります。

### オーバーレイファイルを使用する

**1** ［効果］タブを表示します。

**2** ［オーバーレイファイル］ボックスから使用するオーバーレイファイル名を選択します。

**注 意**

奇数ページと偶数ページに異なるオーバーレイファイルを使用したり、指定したページ範囲にのみオーバーレイファイルを使用したい場合は、［マルチオーバーレイ］を選択し、「マルチオーバーレイ」ダイアログボックスで設定します。

P.78「マルチオーバーレイ」

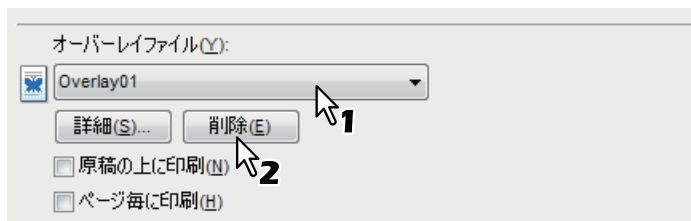
**3** 選択したオーバーレイファイルを印刷文書に重ねて印刷する場合は、［原稿の上に印刷］チェックボックスをオンにします。選択したオーバーレイファイルを各ページ毎に印刷する場合は、［ページ毎に印刷］チェックボックスをオンにします。

**4** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

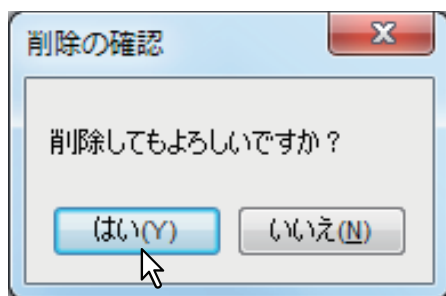
**5** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブにオーバーレイファイルが印刷されます。

## オーバーレイファイルを削除する

**1** [オーバーレイファイル] ボックスで、削除するオーバーレイファイルを選択します。

**2** [削除] をクリックします。

削除の確認メッセージが表示されます。

**3** [はい] をクリックします。

オーバーレイファイルが削除されます。

## ■ さまざまな用紙を使って印刷する

本機では、さまざまな種類の用紙に印刷することができます。ここでは、用紙をセットする際に注意が必要となる印刷の手順を説明します。

P.134 「タブ紙に印刷する」
P.136 「はがきに印刷する」
P.138 「定型サイズより長いカスタムサイズの用紙に印刷する」

### □ タブ紙に印刷する

タブ紙のタブ部分に印刷するタブ紙印刷をサポートしています。

注 意

- お使いの機種によっては、タブ紙印刷は利用できません。
- A4サイズまたはLetterサイズのタブ紙のみサポートしています。
- 複数枚のタブ紙を一度に印刷し、印刷イメージがタブ部分の正しい位置に印刷されずに、はみ出てしまった場合などは、2枚目以降のタブ紙の裏面に汚れが付着することがあります。これを回避するため、タブ紙印刷は1枚ずつ別ジョブとして印刷することをお勧めします。
- タブ紙印刷を行うと、タブを送るローラーがないため、本体の排紙トレイに用紙が引っ掛かったまま残ってしまうことがあります。この場合は、次のジョブを印刷する前にタブ紙を取り除いてください。

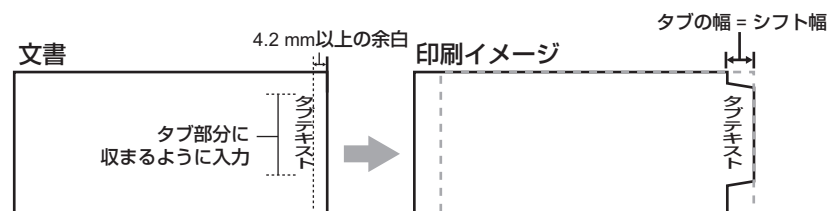
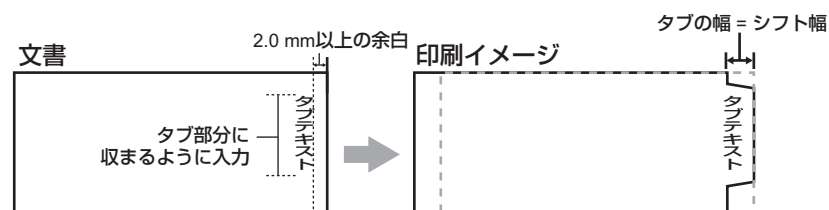
#### 文書をタブ紙に印刷する

**1** **タブ紙に印刷するA4サイズまたはLetterサイズの文書を作成します。**

タブ紙印刷用の文書を作成する場合は、タブに印刷するテキストを文書の右端に配置します。入力するテキストの縦位置は、使用するタブ紙のタブに収まるように調整して入力してください。

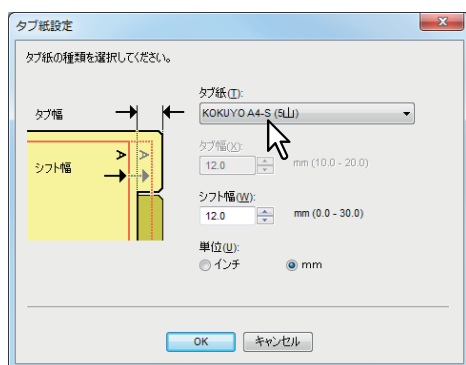
注 意

お使いになる機種により、用紙の端から印刷できる範囲が異なります。印刷する際は以下のように設定してください。

- **e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO4540C Series、e-STUDIO2550C Seriesの場合**
  用紙の端から4.2 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで4.2 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、タブ紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

- **e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesの場合**
  用紙の端から2.0 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで2.0 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、タブ紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

上記以外の機種をお使いの場合は、各機種の**印刷ガイド**を参照してください。

**2** **印刷するときに、プリンタドライバのプロパティを表示し、［基本］タブの［印刷用紙サイズ］で［A4 Tab］または［Letter Tab］を選択します。**

「タブ紙設定」ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［タブ紙］ボックスで、使用するタブ紙の製品名を選択するか、または［カスタム］を選択します。**

**4** **［カスタム］を選択した場合は、［タブ幅］ボックスにタブ幅を入力します。**

**5** **［シフト幅］ボックスに印刷イメージをシフトする幅を入力します。**

手順1で説明されているように文書を作成した場合は、［タブ幅］ボックスに入力した値と同じ値を［シフト幅］ボックスに入力します。

**注 意**

お使いになる機種により、用紙の端から印刷できる範囲が異なります。印刷する際は以下のように設定してください。

- **e-STUDIO6570C Series、e-STUDIO6550C Series、e-STUDIO4540C Series、e-STUDIO2550C Seriesの場合**
  用紙の端から4.2 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで4.2 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、タブ紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

- **e-STUDIO507 Series、e-STUDIO456 Series、e-STUDIO857 Series、e-STUDIO856 Seriesの場合**
  用紙の端から2.0 mmの範囲には印刷できないため、テキストの文書右端まで2.0 mm以上の余白を残しておく必要があります。印刷する際には、タブ紙幅と同じ数値をシフト幅に入力します。

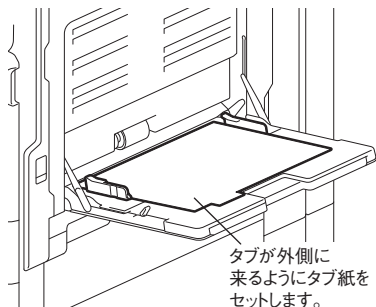
上記以外の機種をお使いの場合は、各機種の**印刷ガイド**を参照してください。

**6** **［OK］をクリックします。**

**7** **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

**8** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

**9** タブ紙を手差しトレイにセットします。

手差しトレイにタブ紙をセットする場合は、タブが外側になるようにセットします。

**10** タッチパネルの［状況確認］を押します。

印刷状況画面が表示されます。

**11** ［スタート］ボタンを押します。

- 印刷ジョブがタブ紙に印刷されます。

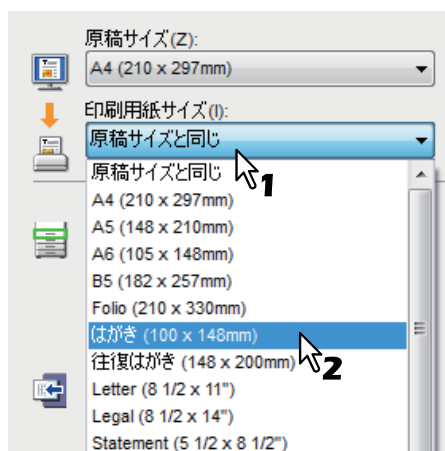
## □ はがきに印刷する

手差しトレイよりはがきを印刷する方法を説明します。

**注 意**

- 郵便はがきまたは往復はがきに印刷できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、折り目付き往復はがき、私製はがきには印刷できません。
- お使いの機種によっては、はがき印刷は利用できません。
- 往復はがきは、以下のA4サイズ用紙モデルの機種をお使いの場合にのみ利用できます。
  - e-STUDIO407CS Series
  - e-STUDIO527S Series

### はがきに印刷する

**1** 印刷するときに、プリンタドライバのプロパティを表示し、［基本］タブの［印刷用紙サイズ］で［はがき］または［往復はがき］を選択します。

**2** ［用紙タイプ］で［厚紙2］を選択します。

**3** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

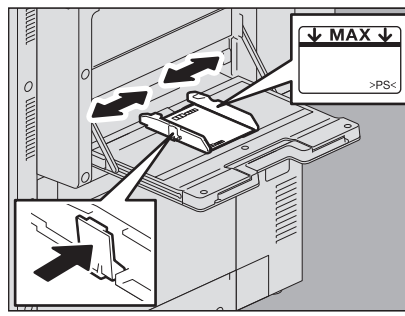
**4** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

**5** はがき、または往復はがきをセットして、サイドガイドをはがきの幅に合わせます。

はがき

| 機種 | セットする向き | 印刷面 |
|---|---|---|
| e-STUDIO6570C Series<br>e-STUDIO6550C Series<br>e-STUDIO4540C Series<br>e-STUDIO507 Series<br>e-STUDIO456 Series<br>e-STUDIO2550C Series<br>e-STUDIO5055C Series<br>Loops Series | はがきの下側（後端）を機体の方に向けます。 | 印刷したい面を下にします。 |
| e-STUDIO857 Series<br>e-STUDIO856 Series | はがきの上側（先端）を機体の方に向けます。 | 印刷したい面を下にします。 |
| e-STUDIO407CS Series<br>e-STUDIO527S Series | はがきの下側（後端）を機体の方に向けます。 | 印刷したい面を上にします。 |

往復はがき

| 機種 | セットする向き | 印刷面 |
|---|---|---|
| e-STUDIO407CS Series<br>e-STUDIO527S Series | はがきの左側（短辺）を機体の方に向けます。 | 印刷したい面を上にします。 |

注 意

- はがきのセット可能な最大枚数は、機種によって異なります。
- はがきがカールしている場合は、平らに伸ばしてからセットしてください。

**6** タッチパネルの［状況確認］を押します。

印刷状況の用紙タイプ選択画面が表示されます。

**7** 用紙タイプの選択画面で、［用紙2］を押します。

**8** ［スタート］ボタンを押します。

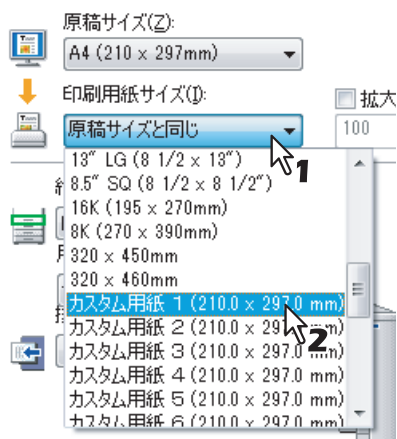
- 印刷ジョブがはがきに印刷されます。

## □ 定型サイズより長いカスタムサイズの用紙に印刷する

最大定型サイズより長いカスタムサイズの用紙に印刷する方法を説明します。カスタム用紙サイズは［カスタム］タブより定義することができ、最大カスタムサイズは機種によって異なります（例：313.4 x 1200 mmまたは215.9 x 1320.8 mm）。

P.86「カスタム用紙サイズ」

### 長いカスタムサイズの用紙に印刷する

**1** **印刷するときに、プリンタドライバのプロパティを表示し、［基本］タブの［印刷用紙サイズ］でカスタム用紙サイズを選択します。**

**2** **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

**3** **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

**4** **定型サイズより長いサイズの用紙を手差しトレイにセットします。**

**注 意**

長いカスタムサイズの用紙を使用するときは、以下の注意を参照してください。

P.139「印刷時の注意」
P.139「排出時の注意」

**5** **タッチパネルの［状況確認］を押します。**

印刷状況の用紙タイプ選択画面が表示されます。

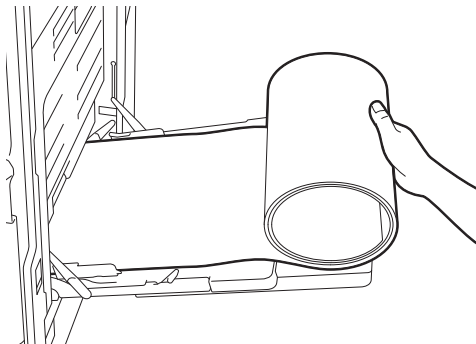
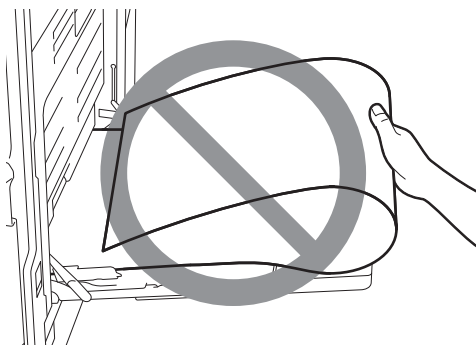
**6** **セットした用紙に合わせて、用紙タイプを選択します。**

**7** **［スタート］ボタンを押します。**

- 印刷ジョブが定型サイズより長いサイズの用紙に印刷されます。

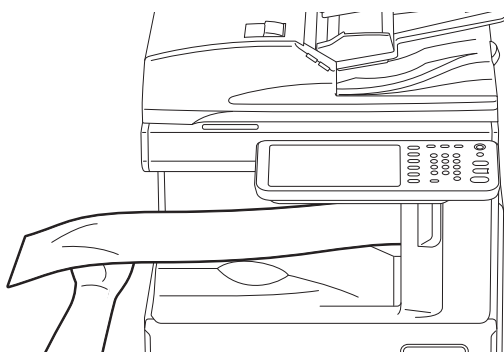
### 印刷時の注意

注 意

- サイズを混在させて印刷しないでください。
- 印刷部数で複数枚指定しても印刷時は1枚ずつ手差しトレイから挿入してください。
- 手差しトレイ上で用紙を軽く丸め、手で軽く押さえながら印刷してください。

- 用紙を押さえているときに紙で手を切らないように気を付けてください。
- 紙を押さえながら印刷が進むと用紙の後端が巻き込まれやすくなりますので注意してください。

- 最大定型サイズより長いカスタムサイズの用紙（例：最大313.4 x 1200 mm）への印刷は、300 dpiで印刷されます。
- e-STUDIO527S Series：最大定型サイズより長いカスタムサイズの用紙（最大215.9 x 1320.8 mm）への印刷は、600 dpiで印刷されます。解像度で1200dpiを選択している場合も、600dpiに変換されます。

### 排出時の注意

注 意

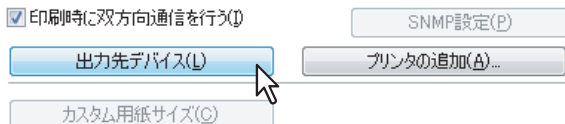
- 用紙が排紙されてきましたら軽く手を添えて受け止めてください。

- 用紙を受け止めているときに紙で手を切らないように気を付けてください。
- 排紙の途中で無理に用紙を引っ張らないでください。

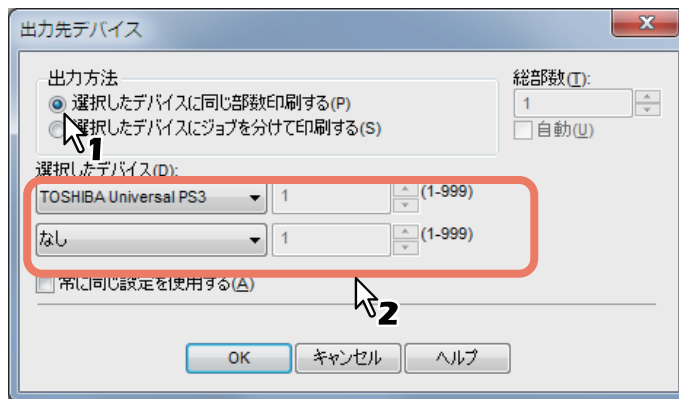
## ■ 印刷に使用する機体を変更する

ネットワーク上に複数のe-STUDIO SeriesおよびLoops Seriesの機体が存在している場合、印刷に使用する機体をプリンタドライバ上で変更することができます。
たとえば、印刷に使おうとした機体が大量のジョブで使用中になってしまった場合、空いている別のe-STUDIO SeriesまたはLoops Seriesの機体に印刷ジョブを送信してすぐに印刷することができます。

### 印刷に使用する機体を変更する

**1** ［カスタム］タブを表示します。

**2** ［出力先デバイス］をクリックします。

「出力先デバイス」ダイアログボックスが表示されます。

**3** ［選択したデバイスに同じ部数印刷する］を選択します。

**4** ［選択したデバイス］で印刷に使用したいプリンタを選択します。

**注 意**

- ［選択したデバイス］で、複数のプリンタを選択することもできます。この場合、選択したすべてのプリンタにおいて、同じ部数で印刷が行われます。
- ［選択したデバイス］でプリンタを選択する場合は、印刷ジョブに対応する機能が搭載されたプリンタを選択してください。
  - ステイプル印刷を行う場合は、ステイプル機能が搭載されたプリンタを選択してください。
  - ホールパンチ印刷を行う場合は、ホールパンチ機能が搭載されたプリンタを選択してください。
  - 大容量給紙装置（外付け）から印刷を行う場合は、大容量給紙装置（外付け）が装着されたプリンタを選択してください。
  - フルカラーまたは2色印刷を行う場合は、カラー印刷に対応したプリンタを選択してください。

**補 足**

- ［常に同じ設定を使用する］のチェックボックスをオンにすると、次回以降の印刷時に「出力先デバイス」ダイアログボックスによる出力先の設定を省略することができます。
- ［選択したデバイス］で選択できるプリンタは、プリンタフォルダに登録されたプリンタの中から選択する必要があります。［カスタム］タブにある［プリンタの追加］を使うと、プリンタドライバ上からプリンタを追加することができます。
  P.85「プリンタの追加」

**5** ［OK］をクリックして「出力先デバイス」ダイアログボックスを閉じます。

**6** **必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。**

**7** **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

選択したプリンタで印刷が行われます。

注 意

- 選択したプリンタが対応していない印刷機能が印刷ジョブに設定されていた場合、印刷が正しく行われない場合があります。
- 印刷時、選択したプリンタに対して部門コードの確認は行われません。［カスタム］タブの［部門コード］に設定した部門コードが選択したプリンタで認められていなかった場合、その印刷ジョブの部門管理は行われません。

## ■ 1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）

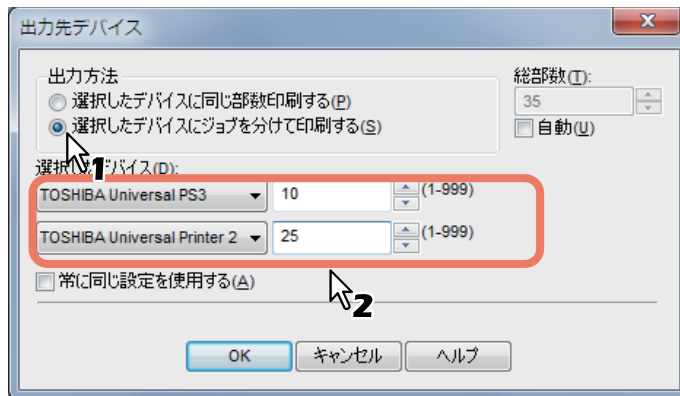
この機能は、1つの印刷ジョブを部数ごとに2台の機体に分散させて印刷する機能です。
たとえば、枚数の多い資料を何十部も印刷しなければならない場合、ネットワーク上に存在するe-STUDIO Seriesおよび Loops Seriesの機体に部数単位で印刷を割り振ることで、2台の機体の同時印刷により短時間で処理することができます。

### 1つの印刷ジョブを2台の機体に振り分けて印刷する（タンデム印刷）

**1** ［カスタム］タブを表示します。

**2** ［出力先デバイス］をクリックします。

「出力先デバイス」ダイアログボックスが表示されれます。

**3** ［選択したデバイスにジョブを分けて印刷する］を選択します。

**4** ［選択したデバイス］で印刷に使用したいプリンタを2台選択し、それぞれの印刷部数を設定します。

**注 意**

- ［自動］のチェックボックスをオンにすると、［総部数］に設定した印刷部数が、選択したプリンタで均等に印刷されるよう自動的に振り分けられます。
- ［選択したデバイス］でプリンタを選択する場合は、印刷ジョブに対応する機能が搭載されたプリンタを選択してください。
  - ステイプル印刷を行う場合は、ステイプル機能が搭載されたプリンタを選択してください。
  - ホールパンチ印刷を行う場合は、ホールパンチ機能が搭載されたプリンタを選択してください。
  - 大容量給紙装置（外付け）から印刷を行う場合は、大容量給紙装置（外付け）が装着されたプリンタを選択してください。
  - フルカラーまたは2色印刷を行う場合は、カラー印刷に対応したプリンタを選択してください。

**補 足**

- ［常に同じ設定を使用する］のチェックボックスをオンにすると、次回以降の印刷時に「出力先デバイス」ダイアログボックスによる出力先の設定を省略することができます。
- ［選択したデバイス］で選択できるプリンタは、プリンタフォルダに登録されたプリンタの中から選択する必要があります。［カスタム］タブにある［プリンタの追加］を使うと、プリンタドライバ上からプリンタを追加することができます。
  P.85「プリンタの追加」

**5** ［OK］をクリックして「出力先デバイス」ダイアログボックスを閉じます。

**6** 必要に応じてほかの印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。

**7** ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

選択したプリンタで印刷が行われます。

**注 意**

- 選択したプリンタが対応していない印刷機能が印刷ジョブに設定されていた場合、印刷が正しく行われない場合があります。
- 印刷時、選択したプリンタに対して部門コードの確認は行われません。［カスタム］タブの［部門コード］に設定した部門コードが選択したプリンタで認められていなかった場合、その印刷ジョブの部門管理は行われません。

# 3

# Macintoshアプリケーションから印刷する

Macintoshからの印刷方法について説明します。

# アプリケーションから印刷する（Mac OS X 10.4.x 〜 Mac OS X 10.10.x）

**インストールガイド**の「プリンタのインストール（Mac OS X 10.4.x 〜 Mac OS X 10.10.x)」で説明している手順でPPDファイルのインストールを完了すれば、ほとんどのMac OS Xのアプリケーションからそのまま印刷を行うことができます。

## ■ 注意点と制限事項について

- 印刷を実行する際のユーザ名、文書名に全角文字が含まれている場合、本機のタッチパネルの印刷ジョブに「OSX User」および「OSX Document」と表示されます。半角文字の場合には、実際のユーザ名、文書名が表示されます。
- プリンタ機能のカバーページメニューと表紙機能を同時に使用することはできません。
- e-Filing機能は、カスタム用紙、マガジンソート、2色印刷、1200 dpi印刷、600 x 1200 dpi印刷、ホールド印刷、お試し印刷、およびプライベート印刷と同時に使用することはできません。
- e-Filing機能でステイプルやホールパンチ機能を利用できる機種の場合、以下の設定は使用することができません。これらの設定を選択しても解除されます。
  - ステイプル：
    ［右側（縦置き）／下側（横置き）］、［右下側（縦置き）／左下側（横置き）］、［下側（縦置き）／左側（横置き）］
  - ホールパンチ：
    ［長尺側へ穴あけ（画像180回転）］、［短尺側へ穴あけ（画像180回転）］
- Mac OS X 10.5から、お試し印刷、プライベート印刷、ホールド印刷、スケジュール印刷を行う場合、およびe-Filing機能を使用する場合は、LPR、AppleTalk、Bonjourを使用してください。
- Mac OS X 10.6.x 〜 10.10.xから、お試し印刷、プライベート印刷、ホールド印刷、スケジュール印刷を行う場合、およびe-Filing機能を使用する場合は、LPRまたはBonjourを使用してください。
- Mac OS X 10.4.xでユーザ認証機能を使用するには、［アプリケーション］→［ユーティリティー］→［ディレクトリアクセス］でBSDフラットファイルおよびNISにドメインの設定を行ってください。
- Mac OS X 10.5でユーザ認証機能を使用するには、［アプリケーション］→［ユーティリティー］→［ディレクトリユーティリティ］→［サービス］でBSDフラットファイルおよびNISにドメインの設定を行ってください。
- Mac OS X 10.6.x 〜 10.10.xでユーザ認証機能を使用するには、［アカウント］→［ログインオプション］→［ネットワークアカウントサーバ］→［ディレクトリユーティリティを開く］→［サービス］でBSDフラットファイルおよびNISにドメインの設定を行ってください。

## ■ 印刷方法（Mac OS X 10.4.x 〜 Mac OS X 10.10.x）

すべてのプリンタはシステム環境設定のプリンタとファクスで管理されており、プリンタを印刷前に切り替える必要はありません。
プリンタリストにプリンタを追加すれば、「ページ設定」ダイアログボックスまたは「プリント」ダイアログボックスからすべてのプリンタを直接選択できます。



### □ Macintoshコンピュータから印刷機能の設定や印刷を行う

Mac OSアプリケーションから印刷する場合は、印刷機能を「ページ設定」ダイアログボックスおよび「プリント」ダイアログボックスで設定し、印刷します。

注 意

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。また、アプリケーションによっては［ファイル］メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

#### アプリケーションから印刷する

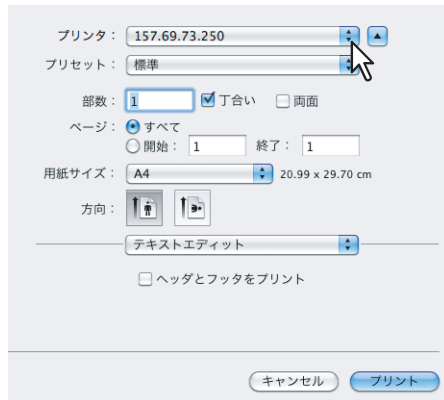
**1** 文書を開き、アプリケーションの［ファイル］メニューをクリックして［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

**2** ［対象プリンタ］ボックスから本機を選択し、印刷ジョブのページ設定を設定します。

ページ設定は、どのように印刷するかによって異なります。
P.149 「ページ属性」

**3** ［OK］をクリックし、設定を保存します。

**4** ［ファイル］メニューをクリックして［プリント］を選択します。

## 5 ［プリンタ］ボックスから本機を選択し、印刷設定をセットアップします。

印刷設定は、どのように印刷するかによって異なります。

📖 P.154 「「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.4.x ～ Mac OS X 10.10.x）」

**注 意**

「プリント」ダイアログボックスの表示はアプリケーションによって異なることがあります。

## 6 ［プリント］をクリックし、印刷を実行します。

**注 意**

「プリント」ダイアログボックスで設定した内容を［プリセット］ボックスより［保存する］を選択し、名前を付けて保存することができます。印刷時にプリセットに保存した設定内容を初期値として使用する場合は、［プリセット］ボックスより使用するプリセットを選択します。

## ■ ページ設定ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.4.x 〜 Mac OS X 10.10.x）

ページ設定は、アプリケーションの［ファイル］メニューにある［ページ設定］を選択して表示します。「ページ設定」ダイアログボックスでは、ページ属性およびカスタム用紙サイズを操作します。

**注 意**

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なることがあります。また、アプリケーションによっては［ファイル］メニューには存在せず、「プリント」ダイアログボックスに設定が含まれている場合があります。

### □ ページ属性

**1) 対象プリンタ**
印刷に使用するプリンタを選択します。

**2) 用紙サイズ**

印刷に使用する用紙サイズを選択します。使用できる用紙サイズは、次のとおりです：

**A3サイズ用紙モデル**

- A4（210 x 297 mm）
- A5（148 x 210 mm）
- A3（297 x 420 mm）
- B4（257 x 364 mm）
- B5（182 x 257 mm）
- Folio（210 x 330 mm）
- 305 x 457 mm
- 12 x 18"
- はがき（100 x 148 mm）
- Letter（8 1/2 x 11"）
- Legal（8 1/2 x 14"）
- Ledger（11 x 17"）
- Statement（5 1/2 x 8 1/2"）
- Computer（10 1/8 x 14"）
- 13" LG（8 1/2 x 13"）
- 8.5" SQ（8 1/2 x 8 1/2"）
- A3ノビ（13 x 19"）
- 16K（195 x 270 mm）
- 8K（270 x 390 mm）
- 320 x 450 mm
- 320 x 460 mm
- 封筒 COM10（4 1/8 x 9 1/2"）
- 封筒 Monarch（3 7/8 x 7 1/2"）
- 封筒 DL（110 x 220 mm）
- 封筒 長形3号（120 x 235 mm）
- 封筒 洋形4号（105 x 235 mm）

**A4サイズ用紙モデル**

- A4（210 x 297 mm）
- A5（148 x 210 mm）
- B5（182 x 257 mm）
- Folio（210 x 330 mm）
- A6（105 x 148 mm）
- はがき（100 x 148 mm）
- 往復はがき（200 x 148 mm）
- Letter（8 1/2 x 11"）
- Legal（8 1/2 x 14"）
- Statement（5 1/2 x 8 1/2"）
- 13" LG（8 1/2 x 13"）
- 8.5" SQ（8 1/2 x 8 1/2"）
- 16K（195 x 270 mm）
- 13.5" LG (8 1/2 x 13.5")
- IndexCard（3 x 5"）
- Executive （7 1/4 x 10 1/2"）
- 封筒 COM10（4 1/8 x 9 1/2"）
- 封筒 COM9 (3 7/8 x 8 7/8")
- 封筒 Monarch（3 7/8 x 7 1/2"）
- 封筒 DL（110 x 220 mm）
- 封筒 長形3号（120 x 235 mm）
- 封筒 長形4号（90 x 205 mm）
- 封筒 洋形4号（105 x 235 mm）
- 封筒 C5 (162 x 229mm)

注 意

- ［A3ノビ（13 x 19")］は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
  - e-STUDIO6570C Series
  - e-STUDIO6550C Series
- ［305 x 457mm］、［12 x 18"］、［320 x 450 mm］および［320 x 460 mm］は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
  - e-STUDIO6570C Series
  - e-STUDIO6550C Series
  - e-STUDIO4550C Series
  - e-STUDIO5055C Series
- ［封筒 COM10（4 1/8 x 9 1/2")］、［封筒 Monarch（3 7/8 x 7 1/2")］、［封筒 DL（110 x 220 mm）］、［封筒 長形3号（120 x 235 mm）］および［封筒 洋形4号（105 x 235 mm）］は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
  - e-STUDIO5055C Series
  - e-STUDIO507 Series
  - e-STUDIO456 Series
  - e-STUDIO2550C Series
  - e-STUDIO407CS Series
  - e-STUDIO527S Series
- ［往復はがき（148 x 200mm）］、［封筒 COM9（3 7/8 x 8 7/8")］、［封筒 長形4号（90 x 205 mm）］および［封筒 C5（162 x 229mm）］は、以下の機種をお使いの場合にのみ有効となります。
  - e-STUDIO407CS Series
  - e-STUDIO527S Series
- 設定できる項目は、お使いになる機種により異なります。

**3) 方向**

給紙方向で選択した給紙元の用紙の向きと印刷する文書の向きに合わせて、印刷の向きを選択します。
- **縦**：文書を用紙に対して縦方向に印刷します。
- **横（90度）**：文書を用紙に対して横方向に左から印刷します。
- **横（270度）**：文書を用紙に対して横方向に右から印刷します。Mac OS X 10.4.xをお使いの場合のみ有効です。

**4) 拡大縮小**

印刷イメージを拡大または縮小して印刷する場合に、倍率を指定します。1～10000（%）の範囲を1%単位で設定することができます。Mac OS X 10.4.xをお使いの場合、拡大縮小の範囲は25～400（%）となります。

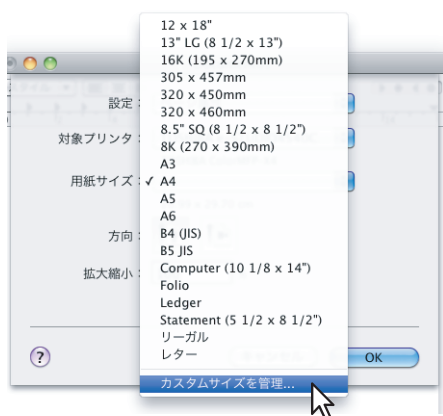
## □ カスタム用紙サイズ

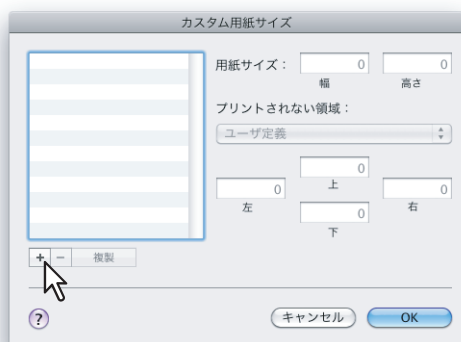
本機のPPDファイルは、カスタム用紙サイズをサポートしています。

**注 意**

- 定型サイズより長いサイズの用紙を設定した場合は、印刷するときに、用紙サイズを混在させずに1枚ずつ印刷してください。
  P.138 「定型サイズより長いカスタムサイズの用紙に印刷する」
- カスタム用紙サイズで設定できる用紙サイズは、お使いになる機種により異なります。

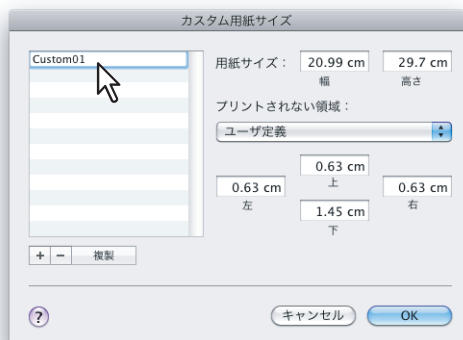
### カスタム用紙サイズを作成する（Mac OS X 10.4.x ～ Mac OS 10.10.x）

**1 ［用紙サイズ］ボックスで［カスタムサイズを管理］を選択します。**

「カスタム・ページ・サイズ」ダイアログボックスが表示されます。Mac OS X 10.6.x ～ 10.10.xをお使いの場合は、「カスタム用紙サイズ」ダイアログボックスが表示されます。

**2 ［+］をクリックします。**

新しいカスタム用紙サイズ名が一覧に追加されます。

**補 足**

既存のカスタム用紙サイズの設定を複製して、新しいカスタム用紙サイズを作成する場合は、カスタム用紙サイズを選択し、［複製］をクリックします。

## 3 追加されたカスタム用紙サイズ名をダブルクリックし、カスタム用紙サイズ名を変更します。

## 4 ［用紙サイズ］ボックスに幅と高さを入力し、［プリンタの余白］ボックスで本機プリンタ名を選択します。

補 足

- Mac OS X 10.6.x ～ 10.7.xをお使いの場合は、［用紙サイズ］ボックスに幅と高さを入力し、［プリントされない領域］ボックスで本機プリンタ名を選択します。
- 余白設定は、［プリンタの余白］ボックスで本機プリンタ名を選択したときに自動的に入力される値を使用してください。
- 作成したカスタム用紙サイズは、［—］をクリックすると削除することができます。

## 5 ［OK］をクリックします。

カスタム用紙サイズの設定が保存され、［ページ属性］メニューの［用紙サイズ］ボックスで選択できるようになります。

## ■「プリント」ダイアログボックスの設定（Mac OS X 10.4.x ～ Mac OS X 10.10.x）

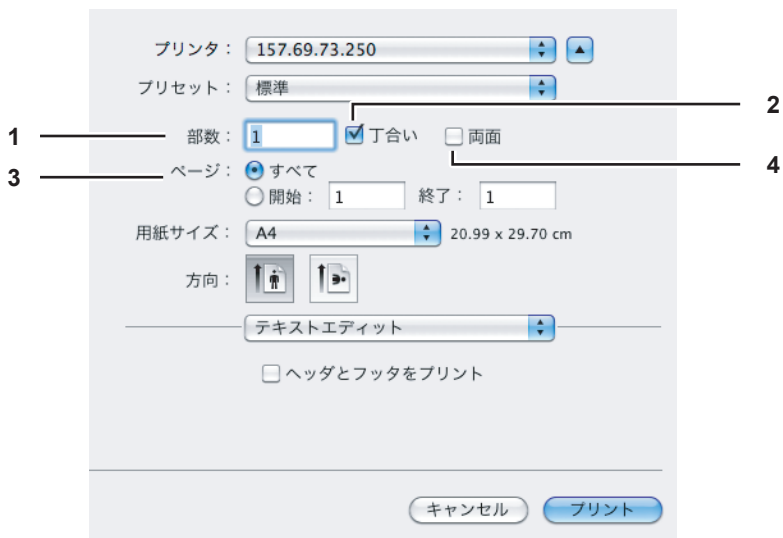
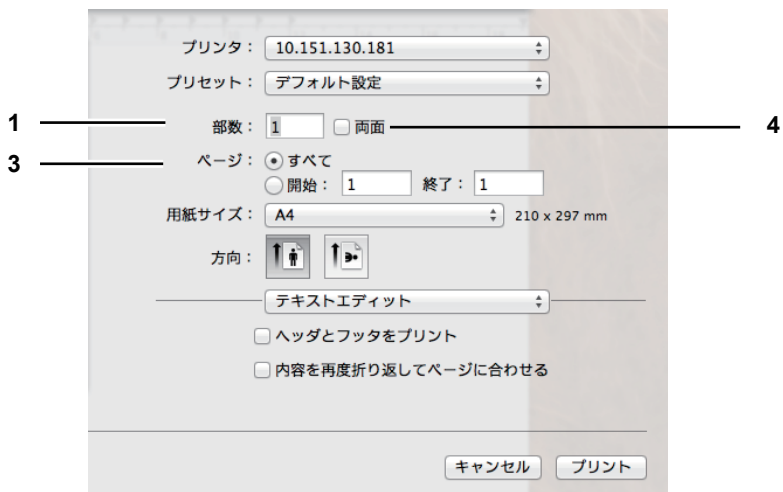
印刷設定は、アプリケーションの［ファイル］メニューにある［プリント］を選択して表示します。「プリント」ダイアログボックスでは、以下の設定を操作します。

注意

- 「プリント」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なることがあります。
- 各設定項目の並び方は、お使いになるMac OSの種類により異なることがあります。

### □ 印刷部数と印刷ページ

このメニューでは、印刷部数やソート印刷などの一般的な印刷機能を設定することができます。

**Mac OS X 10.6.xの場合**

**Mac OS X 10.8.xの場合**

**1) 印刷部数**
印刷する部数を設定します。

**2) 丁合い**
2部以上を印刷する場合に、部単位に仕分けして印刷します（ソート印刷）。

**3) ページ**

印刷するページを指定します。

- **すべて**：すべてのページを印刷します。
- **開始**：印刷するページを指定して印刷します。選択した場合は、印刷するはじめのページと終わりのページをそれぞれ入力します。

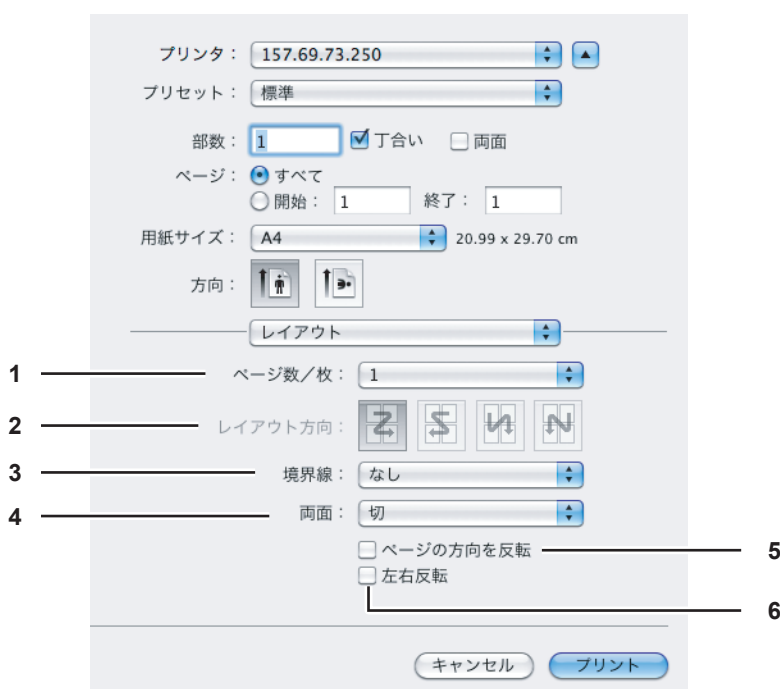
**4) 両面**

両面印刷を設定します。チェックボックスをオンにした場合、レイアウトメニューの［両面］が［長辺とじ］となります。Mac OS X 10.5.x ～ Mac OS X 10.10.xをお使いの場合に表示されます。

**注 意**

この機能は、本機に自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。

## □ レイアウト

レイアウトメニューでは、Nin1印刷を設定することができます。

**1) ページ数／枚**

複数ページを1枚の用紙に印刷します。印刷イメージは指定した用紙サイズに収まるように印刷イメージを自動的に縮小して印刷します。

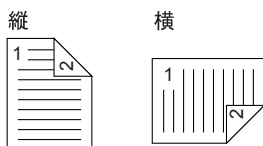
- **1**：通常印刷します。
- **2**：2ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **4**：4ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **6**：6ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **9**：9ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **16**：16ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

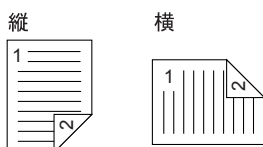
**2) レイアウト方向**

ページをレイアウトする方向を設定します。［ページ／数］ボックスでNin1印刷を選択したときに設定することができます。

- **左上から右下へ（横方向優先）**：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **右上から左下へ（横方向優先）**：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **左上から右下へ（縦方向優先）**：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **右上から左下へ（縦方向優先）**：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。

**3) 境界線**
各ページに枠線を付けてNin1印刷するかを選択します。
- **なし**：枠線を付けずにNin1印刷します。
- **極細線**：各ページに極細の枠線を付けてNin1印刷します。
- **細線**：各ページに細い枠線を付けてNin1印刷します。
- **極細2本線**：各ページに極細の二重枠線を付けてNin1印刷します。
- **細2本線**：各ページに細い二重枠線を付けてNin1印刷します。

**4) 両面**
両面印刷を設定します。
- **切**：両面印刷を無効にします。
- **長辺とじ**：用紙の長い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

- **短辺とじ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

**注 意**

この機能は、本機に自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。

**5) ページの方向を反転**
排紙される用紙の向きを逆にします。用紙の上端が本機タッチパネル側に排紙されます。Mac OS X 10.5.x 〜 Mac OS X 10.10.xをお使いの場合に表示されます。

**6) 左右反転**
ページ全体の左右を反転させて印刷します。Mac OS X 10.6.x 〜 10.10.xをお使いの場合のみ表示されます。

## □ スケジューラ

スケジューラメニューでは、いつ印刷ジョブを本機に送信するかを設定することができます。

**1) 書類をプリント**

印刷ジョブを本機にいつ送信するかを設定します。

- **今すぐプリント**：印刷ジョブを今すぐ本機に送信します。
- **後でプリント**：印刷ジョブを指定した時間に本機に送信します。これを選択した場合は、印刷ジョブを送信する時間を指定します。印刷ジョブは指定した時間またはMac OSのキューから印刷ジョブの実行を操作するまでMac OSのキューに保留されます。
- **保留**：印刷ジョブをMac OSのキューに保留します。これを選択した場合は、Mac OSのキューから印刷ジョブの実行を操作するまでMac OSのキューに保留されます。

**2) 優先順位**

印刷ジョブの優先順位を選択します。印刷ジョブが複数ある場合に、優先順位が高いものから印刷されます。優先順位は、［至急］、［高］、［中］、［低］の4段階で設定することができます。

## □ 用紙処理

用紙処理メニューでは、逆順印刷や奇数ページまたは偶数ページ印刷を設定することができます。用紙処理メニューに表示される設定は、お使いのMac OS Xのバージョンによって異なります。

**Mac OS X 10.4.xの場合**

**1) ページの順序**

ページを印刷する順序を選択します。

**2) プリント**

すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

**3) 出力用紙サイズ**

出力用紙サイズを選択します。

- **使用する出力用紙サイズ**：文書のサイズと同じサイズで出力する場合に選択します。
- **用紙サイズに合わせる**：変倍印刷をする場合に選択します。選択した場合は、ボックスで用紙サイズを選択します。選択した用紙サイズに収まるように拡大または縮小して印刷を行います。文書サイズより大きい用紙に印刷する場合に、拡大せずに印刷したい場合は、［縮小のみ］チェックボックスをオンにします。

**Mac OS X 10.5.xの場合**

**1) プリントするページ**

すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

**2) 出力用紙サイズ**

出力用紙サイズを選択します。「ページ設定」ダイアログボックスで設定した用紙サイズが初期値として表示されます。

- **用紙サイズに合わせる**：変倍印刷をする場合にチェックボックスをオンにします。オンにした場合は、ボックスで用紙サイズを選択します。選択した用紙サイズに収まるように拡大または縮小して印刷を行います。文書サイズより大きい用紙に印刷する場合に、拡大せずに印刷したい場合は、［縮小のみ］チェックボックスをオンにします。

**3) ページの順序**

ページを印刷する順序を選択します。

### Mac OS X 10.6.x の場合

**1) プリントするページ**

すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

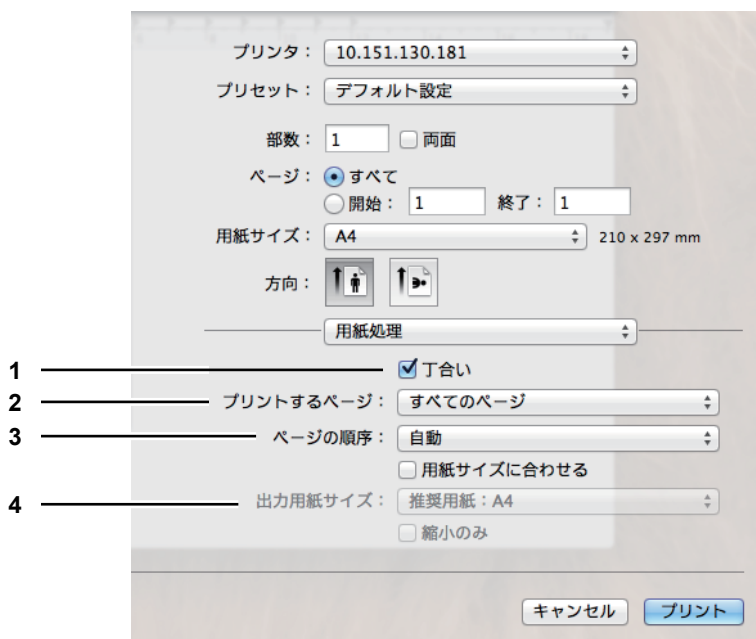
**2) ページの順序**

ページを印刷する順序を選択します。

**3) 出力用紙サイズ**

出力用紙サイズを選択します。「ページ設定」ダイアログボックスで設定した用紙サイズが初期値として表示されます。

- **用紙サイズに合わせる**：変倍印刷をする場合にチェックボックスをオンにします。オンにした場合は、ボックスで用紙サイズを選択します。選択した用紙サイズに収まるように拡大または縮小して印刷を行います。文書サイズより大きい用紙に印刷する場合に、拡大せずに印刷したい場合は、［縮小のみ］チェックボックスをオンにします。

### Mac OS X 10.8.x の場合

**1) 丁合い**
2部以上を印刷する場合に、部単位に仕分けして印刷します（ソート印刷）。

**2) プリントするページ**
すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

**3) ページの順序**
ページを印刷する順序を選択します。

**4) 出力用紙サイズ**
出力用紙サイズを選択します。「ページ設定」ダイアログボックスで設定した用紙サイズが初期値として表示されます。

- **用紙サイズに合わせる**：変倍印刷をする場合にチェックボックスをオンにします。オンにした場合は、ボックスで用紙サイズを選択します。選択した用紙サイズに収まるように拡大または縮小して印刷を行います。文書サイズより大きい用紙に印刷する場合に、拡大せずに印刷したい場合は、［縮小のみ］チェックボックスをオンにします。

## □ ColorSync

ColorSyncメニューでは、印刷時のカラー調整を行うことができます。

**注 意**

ColorSyncメニューは Mac OS X 10.4.xのみ表示されます。

**1) カラー変換**

カラーマネジメントの制御方法を選択します。

- **標準**：印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のアプリケーションから制御します。
- **プリンタのカラー**：印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のプリンタから制御します。

**2) Quartzフィルタ**

Quartzフィルタを選択します。

## □ カラー・マッチング

カラー・マッチングメニューでは、印刷時のカラー調整を行うことができます。

**注 意**

カラー・マッチングメニューはMac OS X 10.5.x ～ Mac OS X 10.10.xで表示されます。

**1) ColorSync**
印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のアプリケーションから制御する場合に選択します。

**2) プリンタのカラー**
印刷される出力のカラーマネジメントを、使用中のプリンタから制御する場合に選択します。

**3) プロファイル**
［ColorSync］を選択した場合に、適用するカラープロファイルを選択します。

## □ 表紙

表紙メニューでは、印刷ジョブにバナーページを付けて印刷するかを設定します。バナーページには、jobID、Title、Requesting User、Billing Infoなどの情報が印刷されます。ジョブ名に、ひらがな、カタカナ、漢字を使用すると文字化けしますので、英数字を使用することを推奨します。

**1) 表紙をプリント**

バナーページを印刷するかを設定します。

- **なし**：バナーページ印刷を無効にします。
- **書類の前**：文書の前にバナーページを挿入する場合はチェックボックスをオンにします。
- **書類の後**：文書の最後にバナーページを挿入する場合はチェックボックスをオンにします。

**2) 表紙のタイプ**

［表紙をプリント］で［書類の前］または［書類の後］を選択した場合に、挿入する表紙の種類を選択します。

**3) 課金情報**

バナーページに課金情報を印刷したい場合は、課金情報を入力します。

**注 意**

Mac OSの制限により、［課金情報］ボックスへ入力した内容はすべて表示されるわけではなく、フィールドの長さを超えた部分については表示されません。

## □ エラー処理

エラー処理メニューでは、PostScriptエラーが発生したときにどのようにエラーを通知するかを設定します。

**注 意**

エラー処理メニューはMac OS X 10.4.xのみ表示されます。

**1) PostScriptエラー**

PostScriptエラーレポートを印刷するかを設定します。

- **特にレポートは行わない**：PostScriptエラー情報を印刷しません。
- **詳細レポートをプリント**：PostScriptエラー情報を印刷します。

**2) トレイの切り替え**

この機能は、本機ではサポートしていません。

## □ 給紙

給紙メニューでは、印刷に使用する給紙元を選択できます。はじめのページと残りのページに異なった給紙元を設定することもできます。

**1) 全体**

すべてのページに同じ給紙元を使用する場合は、右のボックスで使用する給紙元を選択します。［自動選択］を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。［手差しトレイ］を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いて印刷してください。

**補 足**

Mac OS X 10.9.x以降では、［全体］は［すべてのページ］と表示されます。

**2) 先頭ページのみ／残りのページ**

先頭ページとそのほかのページに異なる給紙元を使用する場合は、［先頭ページのみ］および［残りのページ］ボックスで給紙元を選択します。［自動選択］を選んだ場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。［手差しトレイ］を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いて印刷してください。

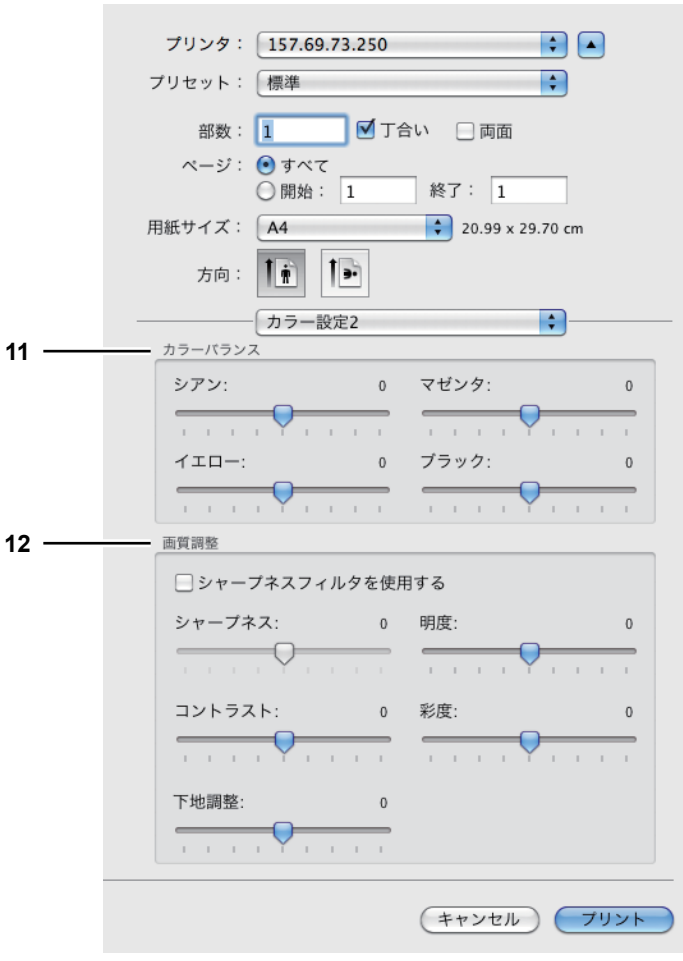
## □ カラー設定

カラー設定1およびカラー設定2メニューでは、印刷のカラー設定を調整できます。

**注 意**

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

**カラー設定1**

### カラー設定2

**1) カラーの種類**

印刷ジョブをカラーで印刷するか、白黒で印刷するかを選択します。

- **自動カラー選択**：原稿に応じて、カラー印刷または白黒印刷を自動で選択します。
- **カラー**：カラーで印刷するときに選択します。
- **白黒**：白黒で印刷するときに選択します。
- **2色ーブラック／レッド**：黒と赤で2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は赤色で印刷します。
- **2色ーブラック／グリーン**：黒と緑で2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は緑色で印刷します。
- **2色ーブラック／ブルー**：黒と青で2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は青色で印刷します。
- **2色ーブラック／シアン**：黒とシアンで2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所はシアン色で印刷します。
- **2色ーブラック／マゼンタ**：黒とマゼンタで2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所はマゼンタ色で印刷します。
- **2色ーブラック／イエロー**：黒と黄で2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は黄色で印刷します。
- **2色ーブラック／ホワイト**：黒と白で2色印刷するときに選択します。文書の黒色の箇所は黒色で、そのほかの色の箇所は空白で印刷します。

**2) ハーフトーン**

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

- **自動**：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムース**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

**3) トナー節約**
トナーを節約して印刷する場合はチェックボックスをオンにします。

**注 意**

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなることがあります。

**4) 原稿種類**
ジョブタイプの選択に応じて画像をどのように印刷するかを設定します。プリンタドライバは、ジョブタイプによって適切なイメージ品質を自動的に適用します。
- **標準**：通常のカラー文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
- **写真**：写真を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
- **プレゼンテーション**：プレゼンテーション資料を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
- **ラインアート**：多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。
- **カラープロファイル設定**：カラースペースを調整するプロファイルを適用します。カラープロファイルの設定については、以下の説明を参照してください。
  P.170「カラープロファイル設定」

**5) ブラックオーバープリント**
黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを選択します。テキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。
- **オフ**：オーバープリントをせずに印刷します。
- **文字**：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキストを出力します。
- **文字/図形**：フルカラー背景部分をすべて出力してから、カラー背景上に黒色のテキスト、図形を出力します。

**6) PostScriptオーバープリント**
アプリケーション上でオーバープリントの設定をしたオブジェクトを、オーバープリント印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

**注 意**

カラー設定1メニューの［カラーの種類］ボックスで［自動］、［カラー］を選択した場合のみ、設定をすることができます。

**7) オートトラッピング**
版ズレにより用紙の下地が見えてしまうことを防ぐ場合にチェックボックスをオンにします。隣接する色の接触部だけを重ねて印刷し版ズレを目立たなくします。

**注 意**

- この機能は、e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Seriesまたはe-STUDIO407CS Seriesをお使いになる場合のみ有効です。
- この機能を有効にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。

**8) 黒とグレーの印刷方法**
文書の黒とグレースケール部分を黒トナーで印刷するかを選択します。
- **オフ**：文書をカラーモードで印刷します。
- **黒を黒トナー：自動**：原稿の黒の部分を黒トナーで印刷する際の、適用範囲を自動で選択します。自動を選択した場合、原稿種類に応じて最適な範囲を黒トナーで印刷します。
- **黒を黒トナー：文字**：黒の文字部分のみを黒トナーで印刷します。
- **黒を黒トナー：文字/図形**：黒の文字と図形部分のみを黒トナーで印刷します。
- **黒を黒トナー：全体**：黒の全部分を黒トナーで印刷します。
- **黒とグレーを黒トナー：自動**：原稿の黒およびグレーの部分を黒トナーで印刷する際の、適用範囲を自動で選択します。自動を選択した場合、原稿種類に応じて最適な範囲を黒トナーで印刷します。
- **黒とグレーを黒トナー：文字**：黒およびグレーの文字部分のみを黒トナーで印刷します。
- **黒とグレーを黒トナー：文字/図形**：黒およびグレーの文字と図形部分のみを黒トナーで印刷します。
- **黒とグレーを黒トナー：全体**：黒およびグレーの全部分を黒トナーで印刷します。

9) **解像度**

印刷の解像度を設定します。

- **600 dpi**：600 x 600 dpiの解像度で印刷します。
- **1200 dpi**：1200 x1200 dpiの解像度で印刷します。
- **600 x 1200 dpi**：600 x 1200 dpiの解像度で印刷します。

**注 意**

- ［1200 dpi］は、以下の機種で印刷をする場合のみ有効となります。
  - e-STUDIO6570C Series
  - e-STUDIO6550C Series
  - e-STUDIO527S Series
- ［600 x 1200 dpi］は、以下の機種で印刷をする場合のみ有効となります。
  - e-STUDIO2550C Series、e-STUDIO5055C Series、e-STUDIO407CS Series
- ［600 x 1200 dpi］で印刷する場合、以下の機能を使用して印刷することはできません。
  - マガジンソート印刷
  - オートカセットチェンジ
  - オートトラッピング
- A3サイズ用紙モデルの場合、［600 x 1200 dpi］で印刷するときは、印刷に使用するカセットや用紙の向きに合わせて印刷データを確定した後、そのカセットにセットされた用紙の向きが変更されても、印刷データの向きは自動的に回転されません。たとえば、1段目カセットにセットされたA4縦向きの用紙を指定してホールド印刷を行い、印刷待ちの状態（本機で印刷データが確定された状態）となった後、1段目カセットの用紙の向きをA4縦向きからA4横向きに変更して印刷すると、印刷データは自動的に回転されずA4縦向きのままで印刷されます。

10) **朱印再現**

朱肉を用いた朱印などの色再現性を高めたいときにチェックボックスをオンに選択します。

11) **カラーバランス**

各トナーの印字濃度を設定します。-4（薄い）から4（濃い）の範囲で調整できます。

**注 意**

カラー設定1メニューの［カラーの種類］ボックスで［自動］、［カラー］、［2色］を選択した場合のみ、設定をすることができます。

12) **画質調整**

シャープネス、明るさ、コントラスト、彩度を設定します。

- **シャープネス**
  印字のなめらかさを調整します。［シャープネスフィルタを使用する］のチェックボックスをオンにした場合、-4（ソフト）から4（シャープ）の範囲で調整できます。
- **明度**
  印字の明るさを調整します。-4（暗）から4（明）の範囲で1単位間隔で調整できます。
- **コントラスト**
  印字のコントラストを調整します。-4（低）から4（高）の範囲で調整できます。
- **彩度**
  印字の彩度を調整します。-4（淡い）から4（鮮やか）の範囲で調整できます。
- **下地調整**
  下地濃度を調整します。-4（薄くなる）から4（濃くなる）の範囲で調整できます。

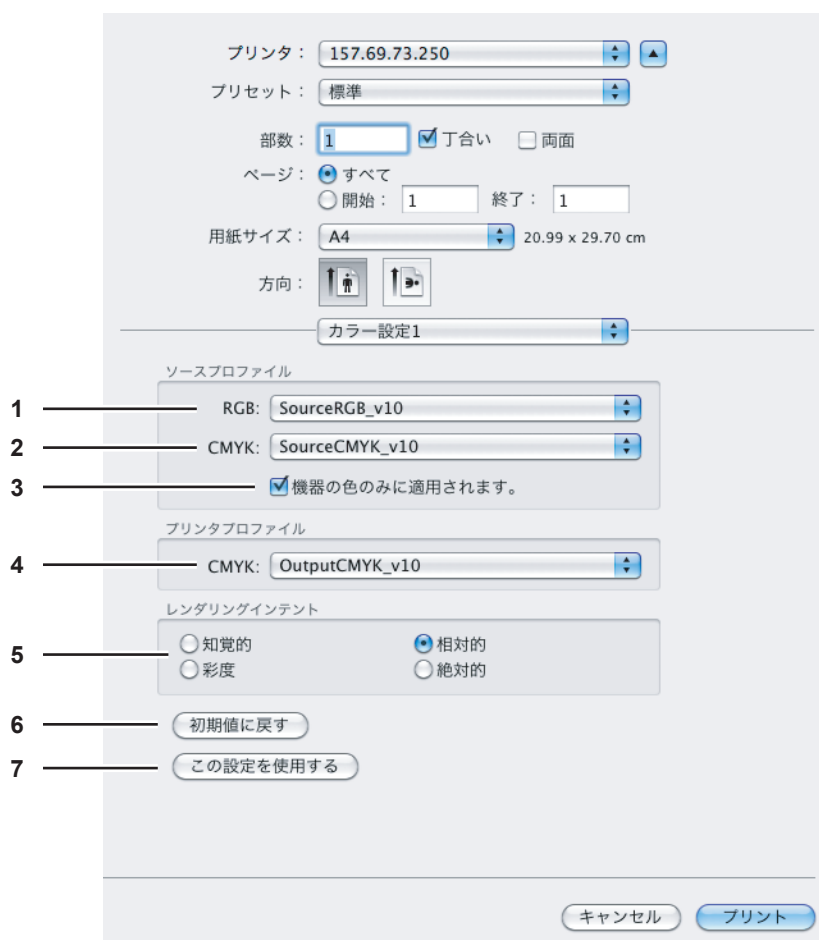
## カラープロファイル設定

カラープロファイル設定メニューは、カラー設定 1 メニューの［原稿種類］で［カラープロファイル設定］を選択すると表示されます。

**注 意**

この機能は、お使いの機種がカラー MFPの場合にのみ設定できます。

**補 足**

カラープロファイルはTopAccessから設定できます。詳しい設定方法についてはTopAccessガイドを参照してください。

**1) RGB**

RGBソースプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のRGBソースプロファイルを表示します。

**2) CMYK**

CMYKソースプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のCMYKソースプロファイルを表示します。

**3) 機器の色のみに適用されます。**

画像に埋め込まれているカラープロファイルを優先する場合にチェックボックスをオンにします。

**4) プリンタプロファイル**

プリンタプロファイルを選択します。本機よりカラープロファイル情報を取得した場合は、本機のプリンタプロファイルを表示します。

**5) レンダリングインテント**

印刷時のカラースペース変換を、どのような方法で処理するか選択します。

- 知覚的：写真画像に適しています。
- 相対的：［知覚的］よりも多くの画像のオリジナルの色を保持できます。
- 彩度：色の正確さよりも、画像の鮮明な色の再現を重視します。グラフや図表などのグラフィックに適しています。
- 絶対的：用紙の色を考慮して色を保持できます。

**6) 初期値に戻す**

カラープロファイル設定を、工場出荷時の状態に戻します。

**7) この設定を使用する**

クリックするとカラープロファイル設定を保存し、カラー設定1メニューに戻ります。

## □ 仕上げ

このメニューでは、排紙先、用紙タイプ、ステイプル処理、ホールパンチ処理を設定できます。

**1)** **排出先**
排紙先を選択します。
- **プリンタのデフォルト**：本機のデフォルト排紙トレイ（TopAccessのプリンタ設定ページにある［Raw印刷ジョブ＿排紙トレイ］に設定された排紙先）に排紙します。
- **排紙トレイ**：本機の排紙トレイに排紙します。
- **上トレイ**：本機上部の排紙トレイに排紙します。
- **横トレイ**：本機の横排紙トレイに排紙します。
- **インナー上トレイ**：インナートレイの上段排紙トレイに排紙します。
- **インナー下トレイ**：インナートレイの下段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ1**：フィニッシャの上段排紙トレイに排紙します。
- **トレイ2**：フィニッシャの下段排紙トレイに排紙します。

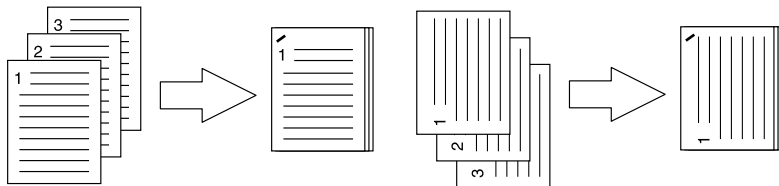
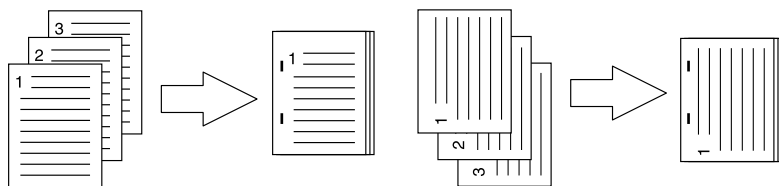
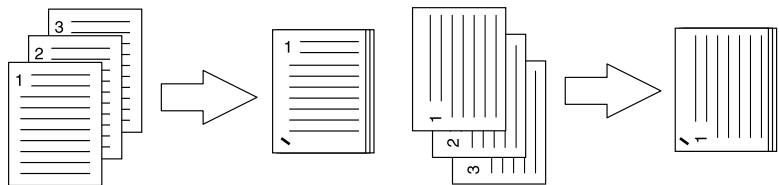
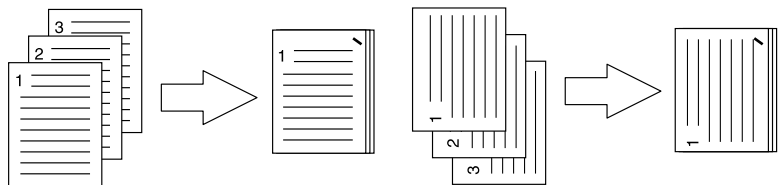
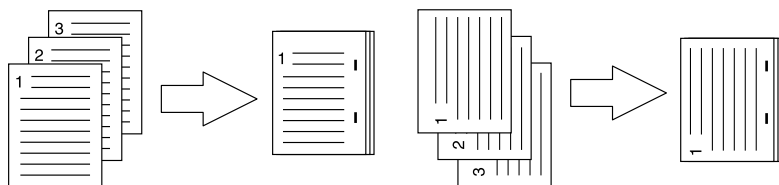
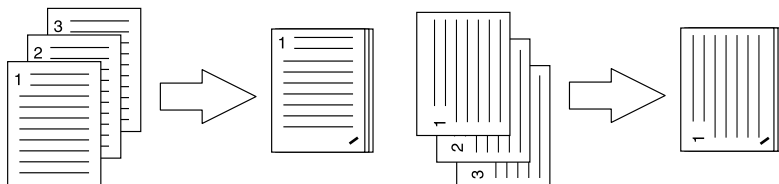
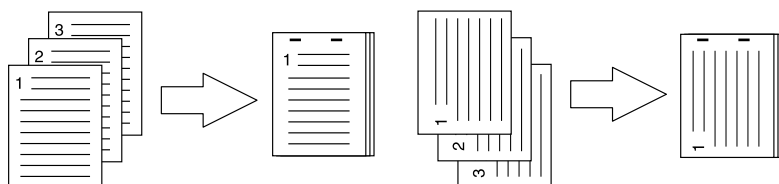
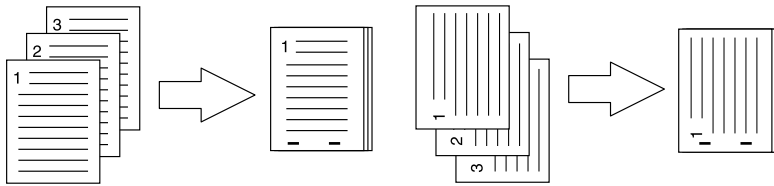
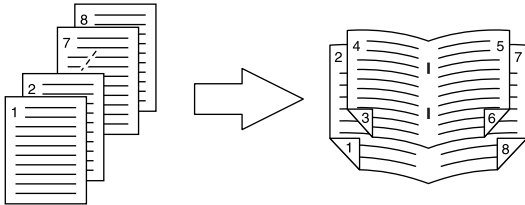
**注 意**

- 選択できる排紙先は、お使いになる機種、およびオプションの装着状態によって異なります。
- フィニッシャの種類によって、指定した排出先でステイプルやホールパンチがされない場合があります。
- 出力先に［プリンタのデフォルト］を選んだ場合、本機の設定により、ステイプルやホールパンチのされないトレイに排出されることがあります。
- ［トレイ1］および［トレイ2］は、フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ装着時のみ有効です。
- ［横トレイ］は、フィニッシャまたはサドルステッチフィニッシャ未装着時のみ有効です。

**2)** 用紙タイプ
印刷に使用する用紙タイプを選択できます。はじめのページと残りのページに異なった用紙タイプを設定することもできます。

**3)　ステイプル**

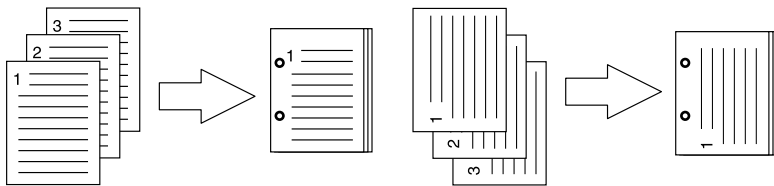
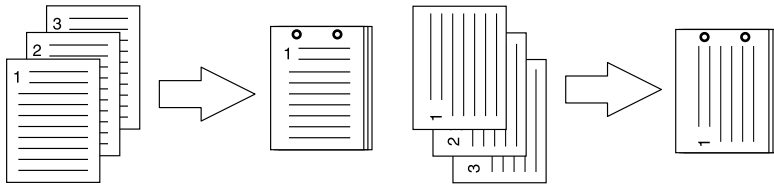
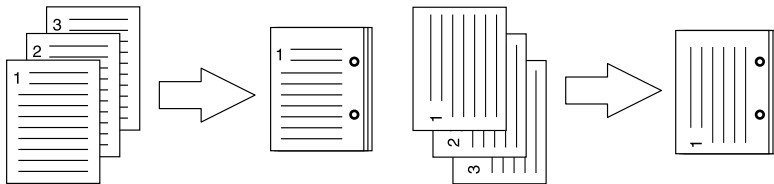
印刷文書を1部ごとにステイプル留めして出力するかを設定します。

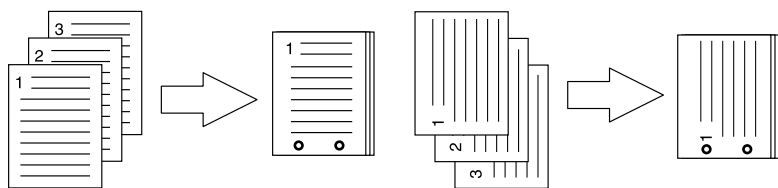
- **オフ**：ステイプル留めをしません。
- **左上側（縦置き）／右上側（横置き）**：縦型文書の左上部をステイプル留めします。または、横型文書の右上部をステイプル留めします。

- **左側（縦置き）／上側（横置き）**：縦型文書の左側を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の上部を2か所ステイプル留めします。

- **左下側（縦置き）／左上側（横置き）**：縦型文書の左下部をステイプル留めします。または、横型文書の左上部をステイプル留めします。

- **右上側（縦置き）／右下側（横置き）**：縦型文書の右上部をステイプル留めします。または、横型文書の右下部をステイプル留めします。

- **右側（縦置き）／下側（横置き）**：縦型文書の右側を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の下部を2か所ステイプル留めします。

- **右下側（縦置き）／左下側（横置き）**：縦型文書の右下部をステイプル留めします。または、横型文書の左下部をステイプル留めします。

- **上側（縦置き）／右側（横置き）**：縦型文書の上部を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の右側を2か所ステイプル留めします。

- **下側（縦置き）／左側（横置き）**：縦型文書の下部を2か所ステイプル留めします。または、横型文書の左側を2か所ステイプル留めします。

- **中央（縦置き）／中央（横置き）**：マガジンソート印刷を行う際に、用紙の中央を2か所ステイプル留めします。この機能は、マガジンソート印刷を実行するときにのみ選択してください。

注 意

- ステイプル印刷は、フィニッシャ装着時のみ有効です。
- ［中央（縦置き）／中央（横置き）］は、サドルステッチフィニッシャ装着時にのみ有効です。

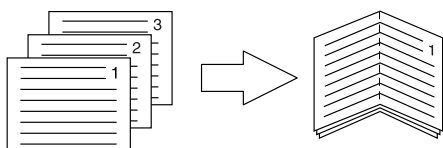
**4) ホールパンチユニット**

印刷文書にホールパンチ処理（綴じ用の穴開け）をするかを設定します。

- **オフ**：ホールパンチ処理をしません。
- **長尺側へ穴あけ**：縦型文書の左側にホールパンチ処理をします。または、横型文書の上部にホールパンチ処理をします。

- **短尺側へ穴あけ**：縦型文書の上部にホールパンチ処理をします。または、横型文書の右側にホールパンチ処理をします。

- **長尺側へ穴あけ（画像180回転）**：縦型文書の右側にホールパンチ処理をします。または、横型文書の下部にホールパンチ処理をします。

- **短尺側へ穴あけ（画像180回転）**：縦型文書の下部にホールパンチ処理をします。または、横型文書の左側にホールパンチ処理をします。

注 意

ホールパンチ印刷は、ホールパンチユニット装着時のみ有効です。

**5) 中折り**

チェックボックスをオンにすると、ほかの印刷設定に基づき文書を用紙に印刷し、用紙の中央で中折りして出力します。

注 意

［中折り］は、以下の機種にサドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。

- e-STUDIO6570C Series
- e-STUDIO6550C Series
- e-STUDIO4540C Series
- e-STUDIO507 Series（MJ-1108装着時のみ）
- e-STUDIO456 Series（MJ-1106装着時のみ）
- e-STUDIO5055C Series

## □ ジョブタイプ

ジョブタイプメニューでは、本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。ジョブタイプにはプライベート印刷、お試し印刷、ホールド印刷などがあります。

**1) 部門コード**

印刷を実行するのに部門コードを必要とするかを選択します。本機が部門コードで管理されている場合は、チェックボックスをオンにしてこの機能を有効にします。この機能を有効にした場合は、右横のボックスに部門コードを指定します。使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。

**補 足**

- 部門コードを1～63桁の英数字で指定します。
- 部門コードに入力できる文字は、0～9までの数字、a～zおよびA～Zまでのアルファベット、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、.（ピリオド）の半角文字のみです。

**2) 表示ユーザ名**

必要に応じて、プライベート印刷ジョブ一覧やホールド印刷ジョブ一覧に表示されるユーザ名を入力します。ユーザ自身が任意のユーザ名を設定できるので、本機のタッチパネルから印刷を実行する際に自分が登録したジョブを容易に見つけることができます。

**補 足**

- ［表示ユーザ名］は、半角31文字まで入力できます。
- ［表示ユーザ名］を入力しない場合は、ログインユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧／ホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。
- ［表示ユーザ名］は、プライベート印刷ジョブ一覧およびホールド印刷ジョブ一覧にのみ適用されます。その他のジョブ一覧画面（お試し印刷／部門コードなし）や印刷ログ画面には、コンピュータのログインユーザ名が表示されます。

**3) ジョブタイプ**

印刷ジョブの処理方法を設定します。

- **通常印刷**：通常の印刷を行います。
- **お試し印刷**：複数部数の印刷を実行する前に確認用に1部だけサンプルコピーを印刷します。サンプルの出力結果を確認した後に、本機のタッチパネルから残り部数の印刷を実行します。この機能を使用すれば、間違った印刷設定などによる用紙の無駄遣いなどを削減でき、目的に合った印刷結果を効率よく得ることができます。

- **プライベート印刷**：ジョブをプライベート印刷として処理します。これを選択した場合は、右横のボックスに5桁のパスワード（文書パスワード）を指定します。送信した印刷ジョブは、本機のプライベートジョブ一覧に保存され、タッチパネルからパスワードを入力するまでジョブは保留され、実行されません。この機能は、他人に見られたくない機密文書を印刷するときに有効な機能です。
- **ホールド印刷**：ジョブをホールド印刷として処理します。送信した印刷ジョブは、本機のホールドジョブ一覧に保存されます。印刷を実行するには、タッチパネルで目的のジョブを選択し、［印刷］を押します。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。

**4) 細線をはっきりと印刷する**
細線をはっきりと印刷するかを選択します。

**5) 白紙は印字しない**
白紙ページを印刷するかを選択します。

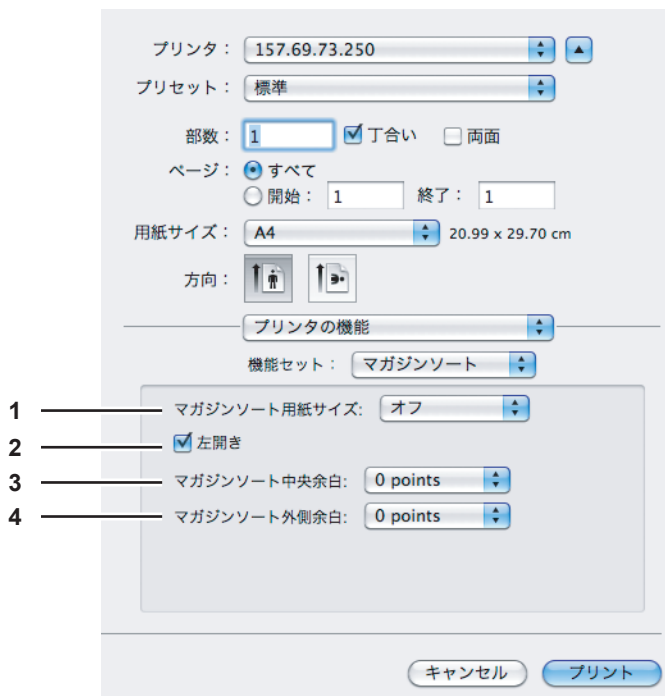
**注 意**

- レイアウトメニューの［ページ数／枚］で2以上が選択されている場合は、白紙ページは印刷されます。
- ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合は、ヘッダやフッタが含まれているため内容がないページも印刷されます。

## □ プリンタの機能

プリンタの機能メニューでは、本機が提供する特殊な印刷機能を設定します。

### マガジンソート

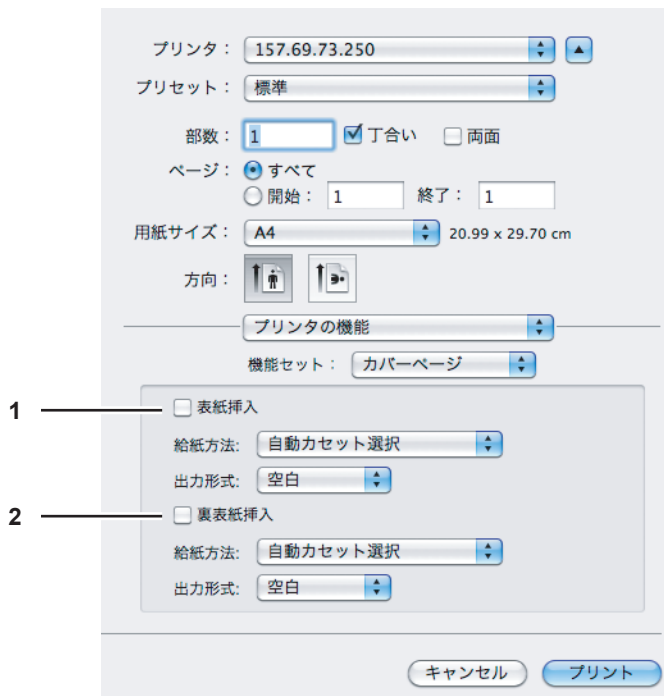
マガジンソートメニューでは、マガジンソート印刷を設定できます。

**1) マガジンソート用紙サイズ**
マガジンソート印刷に使用する用紙サイズを選択します。各用紙の片面に2ページずつ印刷されます。出力サイズは、用紙サイズの半分になります。

**2) 左開き**
左から右に読むように印刷を行う場合はチェックボックスをオンにします。

**3) マガジンソート中央余白（0～36 points）**
見開き印刷されるページの中央の余白を選択します。（1 point = 0.353 mm）

**4) マガジンソート外側余白（0～72 points）**
ページの上下左右の余白を選択します。（1 point = 0.353 mm）

## カバーページ

カバーページメニューでは、カバーページ機能を設定できます。

**1) 表紙挿入**

表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書のはじめのページを印刷することができます。表紙印刷を設定する場合は、［表紙挿入］のチェックボックスをオンにし、給紙方法と出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

**給紙方法**

表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

**注 意**

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および給紙メニューの設定によって異なります。

**出力形式**

表紙の印刷方法を選択します。

- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **印刷する**：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときは、文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。
- **片面印刷**：レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときに文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。裏面は空白となります。

**2) 裏表紙挿入**

裏表紙印刷を設定します。この印刷機能を設定すると、裏表紙に違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うカセットまたは手差しトレイから給紙した用紙に文書の最後のページを印刷することができます。裏表紙印刷を設定する場合は、［裏表紙挿入］チェックボックスをオンにし、給紙方法と出力形式をそれぞれのボックスから選択します。

**給紙方法**

裏表紙に使用する用紙を給紙する給紙元カセットを選択します。［自動カセット選択］を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、同じ用紙サイズが設定されたカセットから給紙します。

**注 意**

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション機器および給紙メニューの設定によって異なります。

**出力形式**
裏表紙の印刷方法を選択します。
- 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **印刷する**：文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときは、文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。
- **片面印刷**：レイアウトメニューで両面印刷が有効に設定されているときに文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。裏面は空白となります。

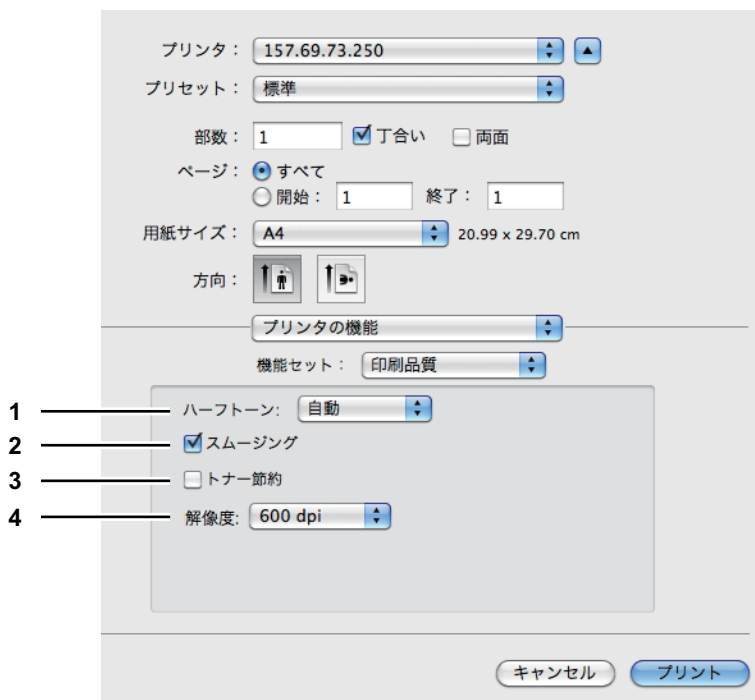
補 足

両面印刷を選択したときに裏表紙に印刷するページが1ページしかない場合は、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

## 印刷品質

印刷品質メニューでは、イメージ品質に関する機能を設定できます。

注 意

この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。

**1) ハーフトーン**
ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
- 自動：自動的に適したハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムース**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

**2) スムージング**
文字やグラフィックスをなめらかに印刷する場合にチェックボックスをオンにします。

注 意

- この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。
- お使いの機種によっては、［解像度］を［1200 dpi］に設定すると［スムージング］は設定できません。

**3) トナー節約**

トナーを節約して印刷する場合はチェックボックスをオンにします。

**注 意**

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなることがあります。

**4) 解像度**

印刷の解像度を設定します。

- **600 dpi**：600 x 600 dpiの解像度で印刷します。
- **1200 dpi**：1200 x 1200 dpiの解像度で印刷します。

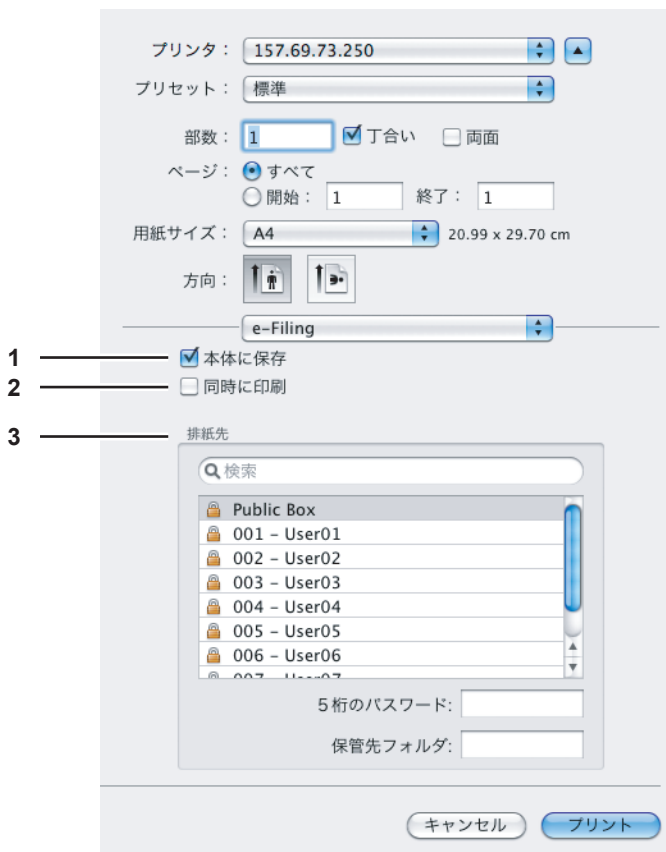
**注 意**

［解像度］および選択項目はお使いの機種によっては利用できません。

## □ 本体に保存

本体に保存メニューでは、印刷ジョブをお使いのアプリケーションから本機のハードディスクへ送信し、保存することができます。保存したジョブは、タッチパネルから印刷出力できます。ジョブの保存先には、共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。また、ボックス内に作成したフォルダを指定することもできます。共有ボックスは、ネットワーク上で共有されており、どのユーザでもこれにアクセスすることができます。ユーザボックスは、ユーザが任意に作成できるボックスで、パスワードを設定してアクセスを制限できます。

**注 意**

- この機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。
- プラグインのインストールについては**インストールガイド**を参照してください。

**1) 本体に保存**
印刷ジョブを本機に保存する場合は、チェックボックスをオンにします。

**2) 同時に印刷**
保存と同時に印刷を行う場合は、チェックボックスをオンにします。

**3) 排紙先**
保存先を選択します。共有ボックスまたはユーザボックスを選択できます。

**5桁のパスワード**
ユーザボックスにパスワードが設定されている場合は、ユーザボックスのパスワード（5桁）を入力します。

**保管先フォルダ**
保存先に共有ボックスまたはユーザボックス内のフォルダを指定する場合は、フォルダ名を入力します。

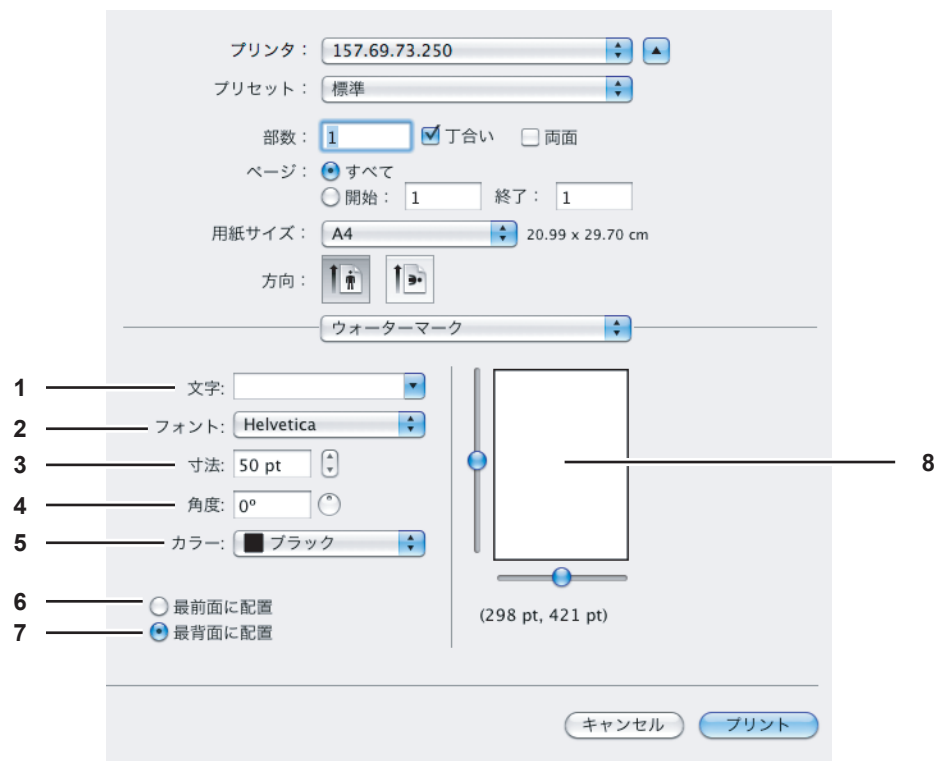
**注 意**

- フォルダ名は最大64文字まで入力できます。
- フォルダの数が100に到達した場合は、新規に作成することはできません。

## □ ウォーターマーク

ウォーターマークメニューでは､｢Confidential｣､｢Draft｣､｢Proof｣､｢Top Secret｣などの文字列を印刷する文書に重ねた状態で用紙に印刷できます｡ウォーターマークによって印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。上記4つのウォーターマークは標準で登録されていますが、ウォーターマークに使用する文字は自分で作成することもできます。ウォーターマークはテキストだけです。

**注 意**

プラグインをインストールした場合に表示されます。プラグインのインストールについては**インストールガイド**を参照してください。

**1) 文字**
印刷するウォーターマークを選択します。ボックスに目的のウォーターマークがない場合はテキストを入力し、ウォーターマークを新たに作成することができます。

**注 意**

半角・全角63文字まで入力することができます。ただし、文字数が多いと、ウォーターマークが大き過ぎるため正しく印刷することができない場合があります。

**2) フォント**
ウォーターマークテキストのフォントを選択します。

**3) 寸法**
ウォーターマークテキストのフォントサイズを入力します。
6ptから300ptの範囲を1pt単位で設定できます。スクロールバーを使ってフォントサイズを設定することもできます。

**4) 角度**
ウォーターマークテキストの回転角度を入力します。
0～360（度）の範囲を1度単位で設定できます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

**5) カラー**
ウォーターマークテキストの色を選択します。

注 意

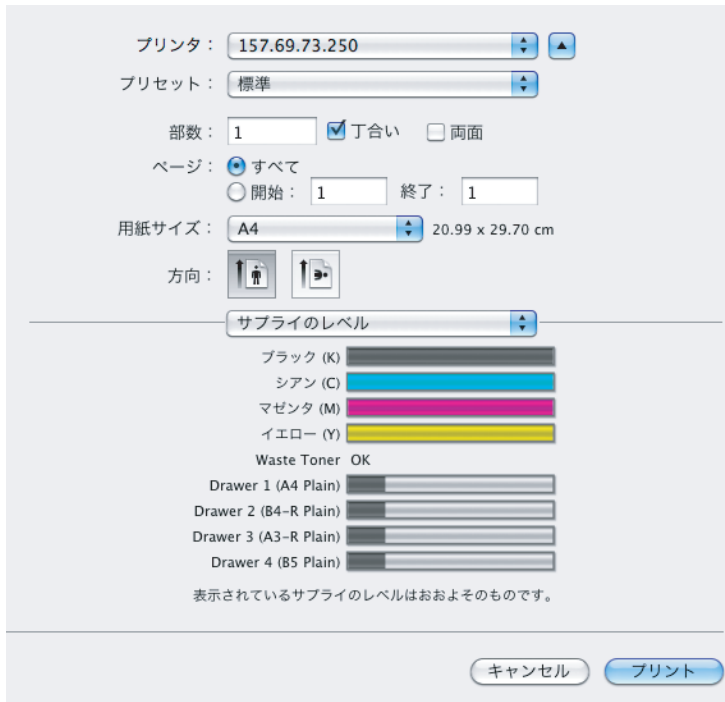
カラー設定1メニューの「カラーの種類」で［白黒］を選択している場合は選択した色ではなく、グレーの濃淡で印刷します。

**6) 最前面に配置**
ウォーターマークテキストを前面に配置して印刷します。

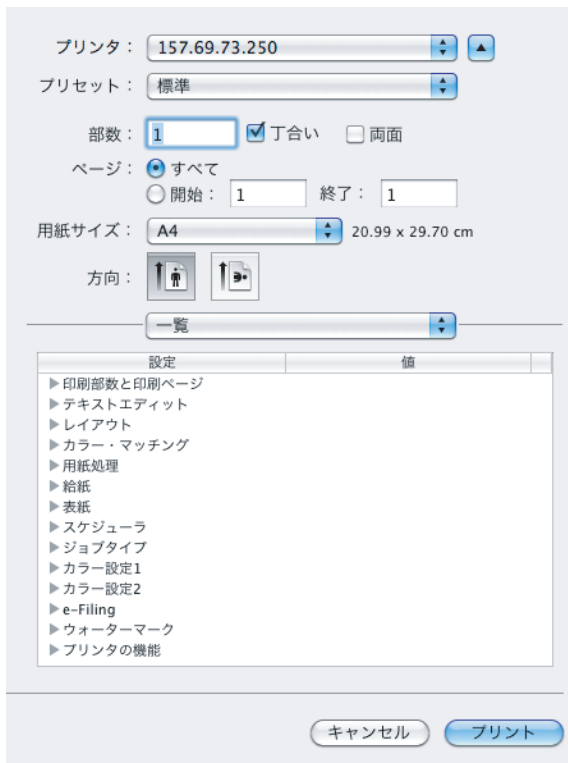
**7) 最背面に配置**
ウォーターマークテキストを背面に配置して印刷します。

**8) 位置**
ウォーターマークの位置を調整します。

## □ サプライのレベル

サプライのレベルメニューでは、トナーカートリッジや用紙の残量を確認できます。

## □ 一覧

一覧メニューでは、現在の印刷設定を確認できます。

4

# UNIX/Linux環境から印刷する

UNIX/Linux環境からの印刷方法について説明します。

# アプリケーションから印刷する

ここでは、UNIX/Linuxワークステーションから 印刷を行う方法を説明します。

注 意

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合、UNIX/Linux ワークステーションから送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。ユーザ認証強制の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- UNIX/Linuxワークステーションから印刷を実行する前に、すべてのUNIX/Linuxフィルタがワークステーションにインストールされているかを確認してください。UNIX/Linuxフィルタの設定については、**インストールガイド**の「プリンタドライバのインストール（UNIX/Linux）」を参照してください。

補 足

CUPSのインストールおよび設定については**インストールガイド**を参照してください。

## ■ 注意点と確認事項について

- 本機はUNIX/Linux用のフィルタ印刷のみサポートしています。ドライバのサポートはしておりません。印刷ページのサイズや順序を変更することはできません。
- UNIX/Linux用フィルタでは、以下の機能はサポートされておりません。
  - 変倍印刷
  - 縦横交互
  - Nin1印刷
  - ウォーターマーク
  - 表紙・裏表紙挿入
  - シート挿入
  - 予約印刷
  - オーバーレイで保存
  - 本体に保存
  - オーバーレイファイルを使用
- Linuxではlpコマンドはサポートされておりませんので、代わりにlptapコマンドを使って ファイルを本機へ送信して印刷を行ってください。
- AIXでは、qdaemonを使った印刷をサポートしています。qdaemonを使用して印刷するには、lp、lprまたはqprtコマンドを使って印刷を行ってください。また、UNIX/Linuxフィルタを利用して印刷する場合は、lpコマンドまたはqprtコマンドを使って印刷を行ってください。

## ■ LPコマンドを使用して印刷する

lpコマンド（LinuxではIptapコマンド）を使ってファイルを本機へ送信し印刷します。lpコマンドでは、-oオプションを使って本機特有の機能を指定することができます。また、さまざまなパラメータを利用して印刷機能を設定することもできます。印刷出力に使用できるさまざまな機能やパラメータを確認するには、［man net_estcolor］コマンドを実行し、オンラインドキュメントを表示してください。すべての設定は印刷ジョブの先頭に付加されて本機へ送信されるため、送信したファイル自体に印刷機能の設定が含まれている場合は、lpコマンドで指定した印刷機能を上書きして印刷することがあります。

## ■ 一般的なlpおよびlptapオプション

### □ ファイルの印刷方法

プリンタを指定してファイルを印刷するlpコマンドは以下となります。
lp -d <queuename> <filename>

### □ 印刷部数

印刷ジョブの印刷部数は、lpコマンドを使って［-n <value>］パラメータで指定します。初期値は、lpコマンドにより決定され常に［1］となります。印刷は常にページ順をそろえて出力されます。

### □ タイトル

バナーページに印刷されるタイトルは、lpコマンドを使って［-t <title>］パラメータで指定することができます。タイトルを指定しない場合は、印刷ファイルの名称がバナーページのタイトルになります。同じlpコマンドを使って複数のファイルを印刷する場合、初期設定のタイトルがlpコマンドによって最初のファイルの名称に設定されます。

## ■ 一般的なオプション

下記オプションは、本機で印刷するすべての印刷ファイルに適用されます。

注 意

- オプションの構成や使用できる用紙サイズなどの違いにより、お使いの機種では設定できないオプションコマンドがあります。
- オプションコマンドは大文字・小文字の区別がありますので、以下の説明のとおりに正しく入力してください。
- 本機の仕様が優先されるため、オプションコマンドの組み合わせによっては無効となる場合があります。

### □ 印刷言語

［net_estcolor］プログラムは、印刷する各ファイルにどのプリンタ言語が使用されているかを把握する必要があります。この情報に従って、正しいコマンドを実行することができます。印刷言語の有効なオプションは、次のとおりです。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| auto | | 印刷する各ファイルが［%!］シーケンスで始まっているかを確認します。始まっている場合は、PostScriptファイルと判断します。そうでない場合は、プレーンテキストファイル、PCL5eまたはPCL6ファイルと判断します。 |
| pcl | | 印刷ファイルを常にプレーンテキストファイル、PCL5eまたはPCL6ファイルとして扱います。 |
| postscript | ps | ファイルを常にPostScriptファイルとして扱います。 |
| raw | | ファイルを必要なすべてのコマンドを含んだ完全にフォーマットされたファイルとして扱います。ファイルに何らかの変更を加えることなく本機へ送信します。このモードでは、オプションは無効であり、またバナーページも印刷されません。 |

すべてのPCL5eジョブは、LFキャラクタを［復帰］シーケンスに変換する［<esc>&k2G］コマンドを自動で送信します。PCL5eジョブにジョブ自身のエスケープシーケンスが含まれていると、上記設定が上書きされてしまう場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（auto）が使用されます。
［例］ファイルをPostScriptとして指定するコマンド：lp -o ps <filename>

## □ ステイプル

部ごとに用紙をステイプル留めして排紙するかを設定します。
フィニッシャが装着されている場合、下記オプションを使用してステイプル位置を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| staple=0 | | ステイプル機能を無効にします。 |
| staple=1 | | 縦型ページの左上部をステイプル処理します。横型ページの場合は、右上部をステイプル処理します。 |
| staple=2 | | 縦型ページの左側を2か所ステイプル処理します。または、長手方向に給紙された横型ページの上部を2か所ステイプル処理します。このコマンドは、短手方向に給紙されるページには適用されません。 |
| staple=3 | | 縦型ページの左下部をステイプル処理します。横型ページの場合は、左上部をステイプル処理します。 |
| staple=4 | | 縦型ページの右上部をステイプル処理します。横型ページの場合は、右下部をステイプル処理します。 |
| staple=5 | | 縦型ページの右側を2か所ステイプル処理します。または、長手方向に給紙された横型ページの下部を2か所ステイプル処理します。このコマンドは、短手方向に給紙されるページには適用されません。 |
| staple=6 | | 縦型ページの右下部をステイプル処理します。横型ページの場合は、左下部をステイプル処理します。 |
| staple=7 | | 縦型ページの上側を2か所ステイプル処理します。または、短手方向に給紙された横型ページ（A3またはLedgerの大型サイズの用紙）の右側を2か所ステイプル処理します。このコマンドは、長手方向に給紙されるページ、または小型サイズの用紙には適用されません。 |
| staple=8 | | 縦型ページの下側を2か所ステイプル処理します。または、短手方向に給紙された横型ページ（A3またはLedgerの大型サイズの用紙）の左側を2か所ステイプル処理します。このコマンドは、長手方向に給紙されるページ、または小型サイズの用紙には適用されません。 |
| staple=9 | | 横型ページの中央を2か所ステイプル処理（サドルステッチ処理）し、中折りとじを出力します。このコマンドはブックレット印刷に関連するものであり、長手方向に給紙されるページには適用されません。 |

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（staple=0）が使用されます。
［例］長手方向に給紙された縦型ページの左上部にステイプルするときのコマンド：
lp -o staple=1 <filename>
ステイプル位置の値は、用紙サイズ、給紙方向や印刷の向きにより決定されます。この機能はすべての用紙サイズに使用できるわけではなく、対応する用紙サイズについては**コピーガイド**または**ユーザーズマニュアル 基本操作編**を参照してください。特に、A5、A6およびStatement用紙には、この機能を使用することはできません。

**注 意**

フィニッシャ、サドルステッチフィニッシャでステイプル印刷を行う場合は、［トレイ2］を指定してください。

## □ 中折り

下記オプションを使用して中折り印刷をするかを設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| folding=off | OFF | 中折りを無効にします。 |
| folding=on | ON | 中折りを有効にします。 |

本機にサドルステッチフィニッシャが装着されていない場合や、このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（folding=off）が使用されます。
［例］中折りを有効にするコマンド：lp -o folding=on <filename>

注 意

［中折り］は、以下の機種にサドルステッチフィニッシャを装着した場合にのみ有効です。
- e-STUDIO6570C Series
- e-STUDIO6550C Series
- e-STUDIO4540C Series
- e-STUDIO507 Series（MJ-1108装着時のみ）
- e-STUDIO456 Series（MJ-1106装着時のみ）
- e-STUDIO5055C Series



## □ 出力トレイ

下記オプションを使用して出力トレイを指定することができます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| inner | | 本体トレイを選択します（フィニッシャ未装着時）。 |
| bin1 | | フィニッシャの上段排紙トレイを選択します。 |
| bin2 | | フィニッシャの下段排紙トレイを選択します。 |

本機にフィニッシャが装着されていない場合や、このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（inner）が使用されます。
［例］上部出力トレイ（bin 1）を指定するコマンド：lp -o bin1 <filename>

## □ ホールパンチ

印刷文書にホールパンチ処理（とじ用の穴開け）をするかを設定します。
ホールパンチユニットが装着されている場合、下記オプションを使用してホールパンチ処理を行うことができます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| punch=0 | nopunch | ホールパンチ機能を無効にします。 |
| punch=1 | | 長手ホールパンチ（回転なし） |
| punch=2 | | 短手ホールパンチ（回転なし） |
| punch=3 | | 長手ホールパンチ（180度回転） |
| punch=4 | | 短手ホールパンチ（180度回転） |

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（nopunch）が使用されます。この機能はすべての用紙サイズに使用できるわけではなく、対応する用紙サイズについては**コピーガイド**を参照してください。特に、A5、A6および Statement用紙には、この機能を使用することはできません。
［例］長手方向に給紙した縦型ページにホールパンチ処理するコマンド：
lp -o punch=1 <filename>

## □ 用紙タイプ

下記オプションを使用して、用紙タイプを指定することにより給紙元を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| mtype=Plain | | 普通紙のセットされた給紙元を指定します。 |
| mtype=Transparency | | OHPフィルムのセットされた給紙元を指定します。 |
| mtype=Thick1 | | 厚紙1がセットされた給紙元を指定します。 |
| mtype=Thick2 | | 厚紙2がセットされた給紙元を指定します。 |
| mtype=Thick3 | | 厚紙3がセットされた給紙元を指定します。 |

PostScriptでは［メディア選択の据え置き］が常時有効なため、用紙サイズが用紙タイプや給紙元より優先されます。PCL5eでは、用紙サイズが常時用紙タイプや給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（mtype=Plain）が使用されます。
［例］普通紙を指定するコマンド：lp -o mtype=Plain <filename>

## □ 給紙元

下記オプションを使用して用紙の給紙元を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| auto-source | | 自動で給紙元を指定します。 |
| manual | | 手差しトレイを指定します。 |
| drawer1 | upper<br>cas1 | 1段目カセットを指定します。 |
| drawer2 | lower<br>cas2 | 2段目カセットを指定します。 |
| drawer3 | pedupper<br>cas3 | 3段目カセットを指定します。 |
| drawer4 | pedlower<br>cas4 | 4段目カセットを指定します。 |
| LCF | lcf | 大容量給紙装置を指定します。 |
| external | | 大容量給紙装置（外付け）を指定します。 |

PostScriptでは［メディア選択の据え置き］が常時有効なため、用紙サイズが給紙元より優先されます。PCL5eでは、用紙サイズが常に給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（auto-source）が使用されます。
［例］大容量給紙装置を指定するコマンド：lp -o lcf <filename>

**注 意**

この機能は、本機で使用できる給紙元を指定した場合のみ有効となります。

## □ 両面印刷

下記オプションを使用して両面印刷モードを指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| simplex | | 両面印刷機能を無効にします。 |
| duplex | lduplex<br>duplex_long<br>duplex=long<br>hduplex | 両面印刷（長手とじ） |
| sduplex | duplex_short<br>duplex=short<br>vduplex | 両面印刷（短手とじ） |

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（simplex）が使用されます。ブックレットモードを選択すると、［sduplex］（両面印刷：短手とじ－有効）が自動的に選択されます。 個別に行った両面印刷設定は、ブックレットモード設定よりも優先されます。
［例］両面印刷（長手とじ）を指定するコマンド：lp -o duplex <filename>

**注 意**

この機能は、本機に自動両面ユニットが装着されている場合のみ使用できます。

## □ 用紙サイズ

下記オプションを使用して用紙サイズを指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| letter | lt<br>LT | Letterサイズ用紙を選択します。 |
| A4 | a4 | A4サイズ用紙を選択します。 |
| legal | lg<br>LG | Legalサイズ用紙を選択します。 |
| statement | st<br>ST | Statementサイズ用紙を選択します。 |
| ledger | ld<br>LD | Ledgerサイズ用紙を選択します。 |
| ledgerwide | ldwide<br>LDWIDE | Ledger-Wideサイズ用紙を選択します。 |
| folio | folio-japan | Folioサイズ用紙を選択します。 |
| A3 | a3 | A3サイズ用紙を選択します。 |
| A3WIDE | a3wide | A3-Wideサイズ用紙を選択します。 |
| A5 | a5 | A5サイズ用紙を選択します。 |
| A6 | a6 | A6サイズ用紙を選択します。 |
| B4 | b4b4-jis<br>B4-JIS | JIS B4 サイズ用紙を選択します。 |
| B5 | b5b5-jis<br>B5-JIS | JIS B5サイズ用紙を選択します。 |
| computer | co<br>CO | Computerサイズ用紙を選択します。 |
| legal13 | lg13<br>LG13 | 13インチLGサイズ用紙を選択します。 |
| sq85 | letter-square | 8.5SQサイズ用紙を選択します。 |
| postcard | | はがき用紙を選択します。 |
| 8K | 8k | 8Kサイズ用紙を選択します。 |
| 16K | 16k | 16Kサイズ用紙を選択します。 |
| 13.5" Legal | lg13.5<br>lg135<br>LG135 | 13.5インチLGサイズの用紙を選択します。 |
| Executive | exec<br>EXEC<br>executive<br>EXECUTIVE | Executiveサイズ用紙を選択します。 |
| IndexCard | | IndexCardサイズ用紙を選択します。 |

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］A4サイズ用紙を選択するコマンド：lp -o a4 <filename>

## □ 印刷モード

下記オプションを使用して印刷モードを選択できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| normal | | 通常の印刷ジョブとして処理します。 |
| hold | | ホールド印刷ジョブとして処理します。 |
| proof | | お試し印刷ジョブとして処理します。 |
| private=din | | プライベート印刷ジョブとして処理します。[din ] は1～63文字のパスワード（文書パスワード）です。 |

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（normal）が使用されます。
プライベート印刷を行うには、最大63文字のパスワードを指定します。
64文字以上のパスワードを指定した場合は、64文字以上の文字を省いて印刷ジョブを送信します。
以下の文字は、パスワードに指定することはできません。

" & ' ( ) ; < > ^ ` | ~ @ # % * !

**注 意**

以下の機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。
- プライベート印刷
- ホールド印刷
- お試し印刷

## □ 部門コード

下記オプションを使用して部門コードを設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| dept=code | | 部門コードを設定します。[code] は1～63文字の部門コードです。 |

最大63文字の部門コードを指定します。
64文字以上の部門コードを指定した場合は、64文字以上の文字を省いて印刷ジョブを送信します。
以下の文字は、部門コードに指定することはできません。

" & ' ( ) ; < > ^ ` | ~ @ # % * !

**注 意**

以下の機種以外をお使いになる場合、部門コードは5桁の数字で指定します。
- e-STUDIO6570C Series
- e-STUDIO6550C Series
- e-STUDIO4540C Series
- e-STUDIO507 Series
- e-STUDIO456 Series
- e-STUDIO857 Series
- e-STUDIO856 Series
- e-STUDIO2550C Series
- e-STUDIO5055C Series
- Loops Series

補 足

- TopAccess管理者設定の［部門コードなし印刷ジョブ］の設定と、本機との双方向通信が有効であるかにより、不正な部門コードを入力して印刷した場合の印刷ジョブの処理は変わります。
  - 双方向通信が有効で、部門コードなし印刷ジョブが［不正ジョブリストに入れる］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。
  - 双方向通信が無効で、部門コードなし印刷ジョブが［不正ジョブリストに入れる］に設定されている場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなし印刷ジョブリストに表示されます。
  - 部門コードなし印刷ジョブが［印刷］の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブもそのまま印刷されます。
  - 部門コードなし印刷ジョブが［削除］の場合は、不正な部門コードを入力した印刷ジョブは削除されます。
- 使用する部門コードについては、管理者にご確認ください。

## □ スムージング

文字やグラフィックをなめらかに印刷するか選択します。
下記オプションを使用してスムージングモードを設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| smoothing=on | ON | スムージングモードを設定します。 |
| smoothing=off | OFF | スムージングモードを解除します。 |

［例］スムージングモードを指定するコマンド：lp -o smoothing=on <filename>

注 意

- この機能は、お使いの機種がモノクロMFPの場合にのみ設定できます。
- お使いの機種によっては、［解像度］を［1200 dpi］に設定すると［スムージング］は設定できません。

## □ 細線モード

細線をはっきりと印刷するかを設定します。
下記オプションを使用して細線モードを設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| thinlinelimit=on | ON | 細線モードを設定します。 |
| thinlinelimit=off | OFF | 細線モードを解除します。 |

［例］細線モードを指定するコマンド：lp -o thinlinelimit=on <filename>

## □ 白紙は印字しない

白紙ページを印刷するか設定します。
下記オプションを使用して白紙印字モードを設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| blankpage=0 | | 白紙ページを印字します。 |
| blankpage=1 | | 白紙ページを印字しません。 |

［例］白紙印字モードを指定するコマンド：lp -o blankpage=0 <filename>

## □ トナー節約

下記オプションを使用してトナー節約モードを設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| tonersave=on | ON | トナー節約モードを設定します。 |
| tonersave=off | OFF | トナー節約モードを解除します。 |

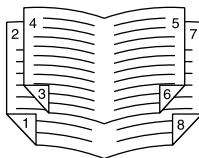
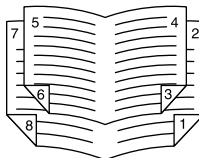
［例］トナー節約モードを指定するコマンド：lp -o tonersave=on <filename>

## □ マガジンソート印刷

下記オプションを使用してマガジンソート印刷を選択できます。

**注 意**

マガジンソート印刷はPostScriptデータのみに適用されます。PCLデータをマガジンソート印刷した場合は、印刷が無効になります。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| booklet=letter | lt<br>LT | Letterサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=A4 | a4 | A4 サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=legal | lg<br>LG | Legalサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=statement | st<br>ST | Statement サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=ledger | ld<br>LD | Ledgerサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=folio | folio-japan | Folioサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=A3 | a3 | A3サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=A5 | a5 | A5サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=B4 | b4<br>B4-JIS<br>b4-jis | JIS B4サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=B5 | b5<br>B5-JIS<br>b5-jis | JIS B5サイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=computer | co<br>CO | Computerサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=legal13 | lg13<br>LG13 | 13インチLGサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=SQ85 | sq85<br>letter-square | 8.5SQサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=8K | 8k | 8Kサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |
| booklet=16K | 16k | 16Kサイズ用紙を使用してマガジンソート印刷を行います。 |

このオプションの値、およびページ記述言語のデータが［LT］の場合、Letter 用紙を使用したブックレットが出力されます。一方、このオプションの値が［A4］でページ記述言語のデータが［A5］の場合には、A4用紙を使用したA5サイズのブックレットが出力されます。ブックレットモードオプションを選択すると、対応する用紙サイズが自動的に設定されます。この機能は、A4とLetter用紙にのみ使用することができます。また、ブックレットモードを選択すると、［sduplex］（両面印刷：短手とじ−有効）が自動で選択されます。個別に行った両面印刷設定は、ブックレットモード設定よりも優先されます。
［例］Letterサイズ用紙を使用してブックレット印刷を行うコマンド：
lp -o booklet=letter <filename>

## □ ページレイアウト

下記オプションを使用してマガジンソート印刷でのページレイアウトを選択できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| left2right=off | OFF | 右から左方向のページレイアウトでマガジンソート印刷を行います。この値は、マガジンソートのページレイアウトを決定します。この値が［OFF］の場合、右から左方向のページレイアウトは下図のように出力されます。 |
| left2right=on | ON | 左から右方向のページレイアウトでマガジンソート印刷を行います。この設定が初期値です。この値が［ON］の場合、左から右方向のページレイアウトは下図のように出力されます。 |

［left2right=off］の場合、長手とじ（左右開き）が選択されます。一方、［left2right=on］の場合、短手とじ（上下開き）が選択されます。
［例］左から右方向のページレイアウトでマガジンソート印刷を行うコマンド：
lp -o left2right=on <filename>

## □ 中央マージン

下記オプションを使用してマガジンソート印刷を行う際のページの中央マージンを指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| centermargin=value | | マガジンソート印刷を行う際のページの中央マージンを指定します。アプリケーションで指定済みの中央マージンに加えて、中央マージンまたは［のどあき］をピクセル単位で設定することができます。［value］はピクセルの単位で、0～300の範囲で設定することができます。初期値は、0です。 |

［例］マガジンソート印刷の中央マージンを指定するコマンド：
lp -o centermargin=value <filename>

## □ 外側マージン

下記オプションを使用してマガジンソート印刷を行う際のページの外側マージンを設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| outermargin=value | | マガジンソート印刷を行う際のページの外側マージンを指定します。マガジンソート印刷を出力中に各ページに設ける外側マージンまたは［クリープ］をピクセル単位で設定します。［value］はピクセルの単位で、0～600の範囲で設定することができます。初期値は、0です。 |

［例］マガジンソート印刷の外側マージンを指定するコマンド：
lp -o outermargin=value <filename>

## □ 部単位印刷

下記オプションを使用して部単位印刷を設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| collate=off | OFF | 部単位印刷を無効にします。 |
| collate=on | ON | 部単位印刷を有効にします。 |

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（collate=on）が使用されます。
［例］部単位印刷を無効にするコマンド：lp -o collate=off <filename>

## □ 印刷向き

下記オプションを使用して印刷の向きを指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| portrait | | ドキュメントを縦向きで印刷します。 |
| landscape | | ドキュメントを横向きで印刷します。 |

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］印刷向きに横向きを指定するコマンド：lp -o landscape <filename>

## □ フォントピッチ

ピッチを指定すると、［net_estcolor］プログラムは常時［Courier］を選択します。そのほかの場合は、初期値のフォントが使用されます。下記オプションを使用して、フォントのピッチを選択できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| c | pitch=16.67 | 文字ピッチを16.67文字／インチに設定します。 |
| 10 | pitch=10 | 文字ピッチを10文字／インチに設定します。 |
| 12 | pitch=12 | 文字ピッチを12文字／インチに設定します。 |
| pitch=value | | 文字ピッチを入力した［value］／インチに設定します。 |

上記すべての場合において、［Courier］が選択されます。ピッチを変更すると、フォントサイズは自動的に適切なサイズに変更されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］文字ピッチを8文字／インチに設定するコマンド：lp -o pitch=8 <filename>

## □ ページ長

下記オプションを使用してページの印字行数を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| pl=value | | 印字行数を入力した［value］に設定します。 |

本機はページプリンタであり、用紙の物理的な長さを変更することはできません。このため、インチ当たりの行数を変更するこのコマンドを使用し、目的の行数でページを印刷します。上部マージンやテキスト長オプションが使用されている場合、実際のページ長はこの値と異なる場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。指定できる最小のページ長は［5］です。［5］未満の値を指定した場合、ページ長は［5］に設定されます。
［例］1ページの印刷行数を66行に指定するコマンド：lp -o pl=66 <filename>

## □ カラーモード

印刷ジョブをカラーで印刷するか、白黒で印刷するか、2色印刷するかを選択します。
下記オプションを使用してカラーモードを設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| colormode=<br>COLOR | color | カラーモードを設定します。 |
| colormode=<br>GRAYSCALE | grayscale | グレースケールモードを設定します。 |
| colormode=<br>AUTO | auto | オートカラーモードを設定します。 |
| colormode=<br>2KR | 2kr | 2色カラーモード（黒と赤）を設定します。 |
| colormode=<br>2KG | 2kg | 2色カラーモード（黒と緑）を設定します。 |
| colormode=<br>2KB | 2kb | 2色カラーモード（黒と青）を設定します。 |
| colormode=<br>2KC | 2kc | 2色カラーモード（黒とシアン）を設定します。 |
| colormode=<br>2KM | 2km | 2色カラーモード（黒とマゼンタ）を設定します。 |
| colormode=<br>2KY | 2ky | 2色カラーモード（黒とイエロー）を設定します。 |
| colormode=<br>2KW | 2kw | 2色カラーモード（黒と白）を設定します。 |

［例］カラーモードを設定するコマンド：lp -o colormode=COLOR <filename>

**注 意**

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

## □ 黒とグレーを黒（K）トナーで印刷する

黒とグレーの部分をKトナーで印字するかを設定します。
下記オプションを使用して黒とグレーの印字方法を設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| pureblackgray=0 | | 黒とグレーの黒トナー印刷を無効にします。 |
| pureblackgray=1 | | 黒を黒トナーで印刷します。 |
| pureblackgray=2 | | 黒とグレーを黒トナーで印刷します。 |

［例］黒とグレーを黒トナーで印刷するコマンド：lp -o pureblackgray=1 <filename>

**注 意**

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

## □ 原稿種類

下記オプションを使用して原稿種類を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| iqnormal | | 通常のカラー文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。 |
| iqphoto | | 写真を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。 |
| iqpresen | | プレゼンテーション資料を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。 |
| iqlineart | | 多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。 |

［例］通常の原稿種類で印刷するコマンド：lp -o iqnormal <filename>

**注 意**

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

## □ ハーフトーン

印刷時にハーフトーン処理を行うか設定します。
下記オプションを使用してハーフトーンの印字方法を設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| halftone=AUTO | | 画像部分は写真に合ったハーフトーンで印刷し、文字部分は文字に合ったハーフトーンで印刷します。 |
| halftone=DETAIL | | ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。 |
| halftone=SMOOTH | | ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。 |

［例］ハーフトーンの印字方法に自動を指定するコマンド：
lp -o halftone=AUTO <filename>

## □ ブラックオーバープリント

黒色のテキスト、線画をカラー背景上にオーバープリントするかを設定します。有効にした場合はテキストと背景間のすき間やカラーの版ズレを回避できます。
下記オプションを使用してブラックオーバープリントを設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| blackoverprint=0 | | ブラックオーバープリントを無効にします。 |
| blackoverprint=1 | | ブラックオーバープリントを有効にします。 |

［例］ブラックオーバープリントを有効にするコマンド：lp -o blackoverprint=1 <filename>

**注 意**

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

## □ カラーバランス

下記オプションを使用してカラーバランスを設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| CBC=value | | シアントナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定することができます。<br>-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4 |
| CBM=value | | マゼンタトナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定することができます。<br>-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4 |
| CBY=value | | イエロートナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定することができます。<br>-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4 |
| CBK=value | | 黒トナーの印字濃度を指定します。以下の値を設定することができます。<br>-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4 |

［例］黒トナーのカラーバランスを「1」に設定するコマンド：lp -o CBK=1 <filename>

注 意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

## □ 画質調整

下記オプションを使用して画質調整を設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| brightness=value | | 明るさを指定します。以下の値を設定することができます。<br>-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4 |
| contrast=value | | コントラストを指定します。以下の値を設定することができます。<br>-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4 |
| saturation=value | | 彩度を指定します。以下の値を設定することができます。<br>-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4 |
| sharpness=value | | シャープネスを指定します。以下の値を設定することができます。<br>-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4 |
| backgroundadjustment=value | | 下地調整を指定します。以下の値を設定することができます。<br>-4, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4 |

［例］明るさを「1」に設定するコマンド：lp -o brightness=1 <filename>

注 意

この機能は、カラー MFPをお使いの場合にのみ有効となります。

## ■ PCL5e固有オプション

下記オプションは、プレーンテキストまたはPCL5eファイルのみに適用されます。

### □ テキストラップ

下記オプションを使用してテキストラップ機能（テキストをウィンドウサイズや用紙の大きさに合わせて適当な位置で改行する機能）を管理します。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| wrap | | 自動的にテキストラップを実行する。 |
| nowrap | | テキストラップを自動的には実行しない。 |

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］テキストラップ機能を指定するコマンド：lp -o wrap <filename>

### □ 左マージン

下記オプションを使用して左マージン位置を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| lm=value | | 左マージンを入力した［value］に設定します（コラム単位）。 |

左マージンを右マージンの右側に設定した場合、その設定は無視されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］左マージンを5コラムに設定するコマンド：lp -o lm=5 <filename>

### □ 右マージン

下記オプションを使用して右マージン位置を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| rm=value | | 右マージンを入力した［value］に設定します（コラム単位）。 |

右マージンを左マージンの左に設定した場合、または実際のページ幅よりはみ出た位置に設定した場合は、その設定は無視されます。また、負の値も無視されます。入力する［value］は、左マージンからのコラム数を示します。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］Example: 右マージンを50コラムに設定するコマンド：
lp -o rm=50 <filename>

### □ 上マージン

下記オプションを使用して上マージン位置を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| tm=value | | 上マージンを入力した［value］に設定します（行単位）。 |

上マージンを設定すると、極端に高い位置または低い位置にあるテキストはプリンタの非印字領域により印刷されない場合があります。上マージンを実際のページ長より高い位置に設定した場合、その設定は無視されます。上マージンの設定は、ページ長オプションにより指定した行数に影響を及ぼす場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］上マージンを10行に設定するコマンド：lp -o tm=10 <filename>

## □ テキスト長

下記オプションを使用してページの印字行数を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| tl=value | | 印字行数を入力した［value］に設定します。 |

テキスト長の設定が大き過ぎる場合、用紙の印字可能領域に入りきらず印字されないことがあります。本機のページ長の初期設定値から上マージンの設定を引いた数値よりテキスト長の設定が大きい場合は、テキスト長の設定は無効になります。テキスト長は上マージンからの行数を指定します。テキスト長の設定は、ページ長オプションにより指定した行数に影響を及ぼす場合があります。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。
［例］1ページの印刷行数を40行に指定するコマンド：lp -o tl=40 <filename>

## □ バナーページ

バナーページはジョブごとに自動で印刷されます。バナーページは常にPCL5eジョブとして送信され、以下の内容が印刷されます。

- 印刷ジョブを実行したユーザ名
- ジョブ番号とジョブを実行したワークステーション名
- ジョブタイトル（ジョブタイトルは、［-t］オプションで指定することができます。通常は、［lp］コマンドにより指定された同じタイトル名が各ジョブに適用されます。）
- 印刷時に指定したオプション
- 印刷部数
- プリンタ名およびIPアドレス
- 日付と時刻

バナーページはジョブに設定された部数に関係なく各ジョブにつき1部のみ印刷されます。また、バナーページは元々のジョブとは別のジョブとして送信されるため、ステイプル印刷を実行しても、バナーページを一緒にステイプルすることはありません。バナーページは、常に以下の設定で印刷されます。

- 部数＝1
- ステイプル＝オフ
- ホールパンチ＝オフ
- 用紙の向き＝縦
- 両面印刷＝オフ
- 用紙サイズ＝［-o］オプションによるプリンタのデフォルトサイズ指定
- 給紙元＝給紙カセットまたは用紙タイプジョブオプションにより指定可能
- 出力トレイ＝［-o］オプションによるプリンタのデフォルトサイズ指定
- ページ長＝6/インチ
- テキストラップ＝オン

注 意

- バナーページはA5/Statement以上の大きさの用紙に収まるようにデザインされています。
以下の用紙サイズを選択した場合は、1ページに収まりきらないためデフォルト用紙を使用します。
  - Statement
  - A5
  - A6
  - B5
  - はがき
  - 往復はがき
- バナーページはジョブが印刷される前に印刷されます。
- 印刷言語が［raw］に設定されている場合は、バナーページは印刷されません。
- バナーページの給紙カセットまたは用紙タイプによる給紙元の指定は、ジョブの給紙カセットまたは用紙タイプとは別に指定することができます。バナーページ用の給紙元が指定されていない場合は、自動選択が適用されます。用紙タイプが指定されていない場合は、プリンタのデフォルト用紙タイプが適用されます。
- 出力トレイや用紙サイズの印刷情報を含んでいるファイルを印刷した場合、バナーページは異なる出力トレイに出力されたり、異なる用紙サイズを使用して出力されることがあります。
- バナーページはホールパンチ処理されません。

## バナーオプション

下記オプションを使用してバナーページの印刷を設定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| banner=last | | ジョブを印刷した後にバナーページを印刷し、出力されたジョブの一番上（最後）にバナーページを出力します。 |
| banner=first | banner | ジョブを印刷する前にバナーページを印刷し、出力されたジョブの一番下（最初）にバナーページを出力します。 |
| nobanner | nb | バナーページを印刷しません。ただし、管理者によりLPDのバナーページを印刷するよう本機で設定されている場合は、このオプションは無効となりバナーページが印刷されます。 |

このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定（banner=first）が使用されます。
［例］ジョブを印刷した後にバナーページを印刷するコマンド：lp -o banner=last <filename>

## バナー給紙元

下記オプションを使用してバナーページの給紙元を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| bauto-source | | 自動で給紙元を指定します。 |
| bdrawer1 | buuper<br>bcas1 | 1段目カセットを指定します。 |
| bdrawer2 | blower<br>bcas2 | 2段目カセットを指定します。 |
| bdrawer3 | bpedupper<br>bcas3 | 3段目カセットを指定します。 |
| bdrawer4 | bpedlower<br>bcas4 | 4段目カセットを指定します。 |
| blcf | | 大容量給紙装置を指定します。 |

このオプションを指定しない場合、PCL5eの自動給紙元指定コマンド［<esc>&17H］が送信されます。バナーページは手差しトレイから給紙することはできません。また、バナー給紙元の指定より用紙サイズによる給紙元の指定が優先して適用されます。
［例］大容量給紙装置から給紙するコマンド：lp -o blcf <filename>

### バナー用紙タイプ

下記オプションを使用して、用紙タイプを指定することによりバナーページの給紙元を指定できます。

| オプション値 | 代替値 | 説明 |
|---|---|---|
| bmtype=Plain | | 普通紙のセットされた給紙元を指定します。 |
| bmtype=Transparency | | OHPフィルムのセットされた給紙元を指定します。 |
| bmtype=Thick1 | | 厚紙1がセットされた給紙元を指定します。 |
| bmtype=Thick2 | | 厚紙2がセットされた給紙元を指定します。 |
| bmtype=Thick3 | | 厚紙3がセットされた給紙元を指定します。 |

用紙サイズが常に用紙タイプや給紙元より優先されます。このオプションを指定しない場合は、本機の初期設定が使用されます。

［例］普通紙を指定するコマンド：lp -o bmtype=Plain <filename>

5

# 操作パネルから印刷ジョブを管理する

ここでは、操作パネルから行うことのできる、印刷ジョブの管理や本機の状況確認について説明します。

## 印刷ジョブの実行状況を確認する

印刷ジョブは、本機のタッチパネルから、その実行状況を確認できます。確認できる印刷ジョブには、通常印刷、予約印刷、プライベート印刷、ホールド印刷およびお試し印刷などがあり、部門管理機能が有効な場合は、印刷されずに保管された無効ジョブも表示できます。これらジョブは、実行状況の確認だけでなく、必要に応じてその実行や削除、中断／再開、実行順序の変更などもできます。USBメディアを本機に接続すれば、メディア内に保存されたPDF、暗号化PDF、XPS、JPEG、PRNおよびPS形式のファイルを、クライアントコンピュータを介することなくタッチパネルから直接印刷（USBダイレクト印刷）できます。

注 意

- ユーザ管理機能によって本機が管理されている場合は、ユーザ名やパスワードなどのユーザ情報を入力する必要があります。
- 以下の機能は、本機にハードディスクが装着されている場合のみ使用できます。
  - 予約印刷ジョブ
  - お試し印刷ジョブ
  - プライベート印刷ジョブ
  - ホールド印刷ジョブ
  - 無効ジョブ
  - ジョブのスキップ

P.209 「通常印刷／予約印刷ジョブ」
P.214 「お試し印刷ジョブ」
P.217 「プライベート印刷ジョブ」
P.221 「ホールド印刷ジョブ」
P.225 「無効ジョブ」
P.228 「USBメディアからファイルを印刷する（USBダイレクト印刷）」

補 足

操作パネルの［プリント］ボタン→［ホールド印刷（ファクス）］で表示される一覧画面には、ファクス受信印刷機能を有効にしている場合のみ、ファクス受信後に本機に保留された印刷ジョブ（ファクスのホールド印刷ジョブ）が表示されます。ファクス受信印刷機能の詳細については、サービスエンジニアにお問い合わせください。

## ■ 通常印刷／予約印刷ジョブ

タッチパネルの［状況確認］を押すと、状況確認画面の［ジョブ］タブが表示されます。［ジョブ］タブでは、コピージョブとともに通常印刷および予約印刷ジョブが一覧表示され、各ジョブを登録したユーザ名、登録日時、用紙サイズ、ページ数、部数、実行状況を確認できます。これらジョブの削除や中断／再開、実行順序の変更もできます。
また、ジョブスキップ機能が有効な場合、用紙切れなどで印刷できなかったジョブは自動的にスキップされ、次の順番の印刷ジョブが行われます。ジョブスキップ機能の設定方法については、**設定管理ガイド**または**ユーザーズマニュアル 応用機能編**を参照してください。

予約印刷ジョブは、「状態」の欄に「スケジュール」と表示されます。
最大1000件のジョブが表示されます。本機にハードディスクが装着されていない場合は、最大500件のジョブが表示されます。

前後のページに移動するには、［∧］または［∨］を押してください。1ページに表示されるジョブの数は、お使いの機種により異なります。

状況確認を終了する場合は、［閉じる］を押してください。

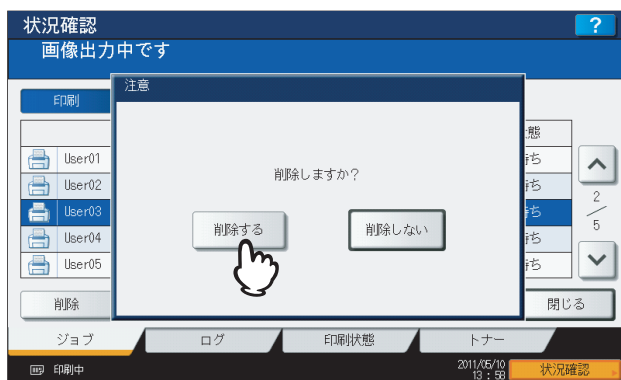
補 足

- ［ジョブ］タブでは、［印刷］、［ファクス］または［スキャン］を押して、どのモードの実行状況を表示するか選択できます。スキャンやインターネットファクスジョブの状況確認については、**スキャンガイド**または**ユーザーズマニュアル 応用機能編**を参照してください。ファクスジョブの状況確認については、**FAXユニット 取扱説明書**または**ユーザーズマニュアル 応用機能編**を参照してください。
- 本機では、ジョブスキップ機能のほかに、できるだけ印刷ジョブが中断されないように設定を変更することができます。たとえば、印刷中に用紙切れが発生した場合、オートカセットチェンジ（印刷中に用紙がなくなったときに別のカセットから自動的に給紙して印刷を続ける機能）を使って印刷を続けることもできます。また、ステイプル針切れや、ホールパンチの屑が満杯になってしまった場合、ステイプルやホールパンチを行わずに印刷だけを続けることもできます。詳しくは、**設定管理ガイド**または**ユーザーズマニュアル 応用機能編**を参照してください。

## □ ジョブを削除する

不要な通常／予約印刷ジョブを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

**1** **印刷ジョブ一覧画面（📖 P.209）で、削除したいジョブを選択し、［削除］を押します。**
**ジョブは複数選択することもできます。**

**2** **「削除しますか？」と表示されたら、［削除する］を押します。**

選択したジョブが削除されます。

## □ ジョブを中断／再開する

状態が「実行待ち」のジョブは、中断（保留）することができます。

### ジョブを中断したい場合は

印刷ジョブ一覧画面（📖 P.209）で、中断したいジョブを選択し、［中断］を押してください。

選択したジョブが中断されます。ジョブを中断すると、次のジョブが先に実行されます。

### 中断したジョブを再開したい場合は

再開したいジョブを選択し、［再開］を押してください。

## □ ジョブの順番を変更する

実行待ちのジョブをリスト内で移動することで、ジョブの実行順序を変更できます。

**注 意**

移動できるのは、実行中のジョブから数えて11番目以降で、状態が「実行待ち」のジョブです。移動先も、実行中のジョブから数えて11番目以降の位置が対象となります。

**1 印刷ジョブ一覧画面（📖 P.209）で、順番を変えたいジョブを選択し、［移動］を押します。**

移動したいジョブが画面に表示されていない場合は、⌃ または ⌄ を押して画面を切り替えてください。

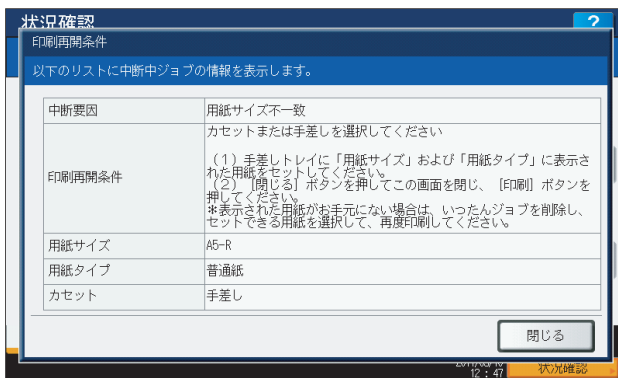
**2 ジョブの移動先を指定します。（ジョブは、ここで指定したジョブの下に移動します。）**

## □ スキップされたジョブの情報を確認する

ジョブスキップ機能によりスキップされたジョブの情報を確認することができます。

**1** **印刷ジョブ一覧画面（📖 P.209）で、スキップされたジョブの情報を確認します。**

1）スキップされたジョブを選択します。
2）［印刷再開条件］を押します。

**2** **画面に表示される情報に従って、スキップの原因を解除します。**

**注 意**

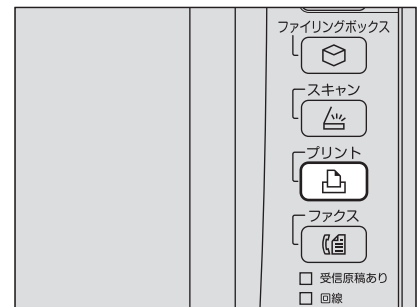
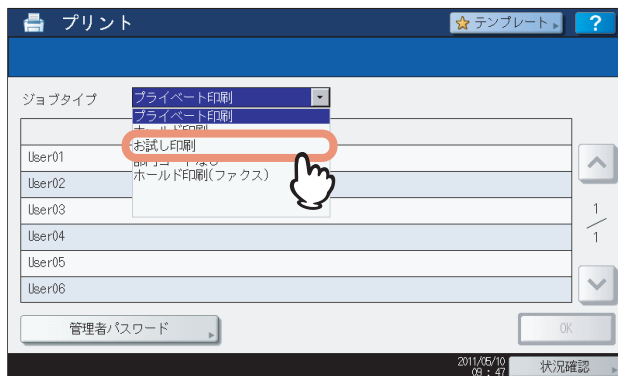
複数の原因が発生している場合は、1つの原因を解除すると次の原因が表示されます。すべての原因を解除してください。

## ■ お試し印刷ジョブ

お試し印刷とは、ネットワーク上のコンピュータから2部以上の印刷を行うときに、全部数を印刷する前に確認用に1部だけサンプルを印刷する機能です。
お試し印刷ジョブ一覧画面では、お試し印刷で出力された最初の一部を確認したうえで、残り部数の印刷を行うか、設定を変更するために印刷を取りやめるかを選択できます。残りの印刷を行う場合は、印刷部数を変更することもできます。
お試し印刷についての詳細は、以下を参照してください。
P.106 「お試し印刷」

### □ お試し印刷ジョブ一覧画面を表示する

お試し印刷ジョブを一覧表示する場合は、以下の手順で行ってください。

**1** **操作パネルの［プリント］ボタンを押します。**

**2** **［お試し印刷］を選択します。**

お試し印刷ジョブ一覧画面が表示されます。

### □ お試し印刷ジョブをそのまま印刷する

最初の一部を確認後、そのまま残り部数を印刷する場合は、以下の手順で行ってください。

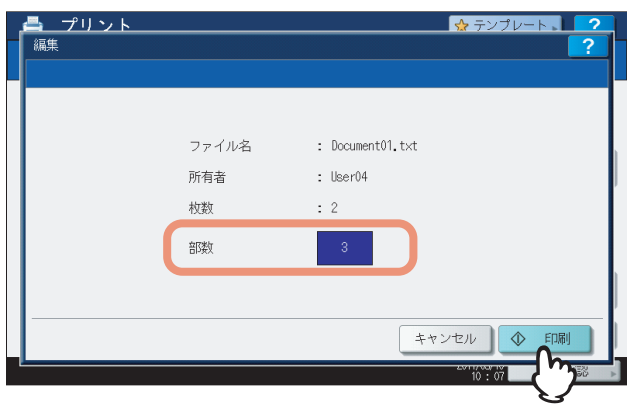
**1** **お試し印刷ジョブ一覧画面（P.214）で、印刷したいジョブを押します。**

目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。

**2** **［印刷］を押します。**

残り部数の印刷が実行されます。
ジョブの実行状況は、状況確認画面の［ジョブ］タブ（P.209）上で確認できます。

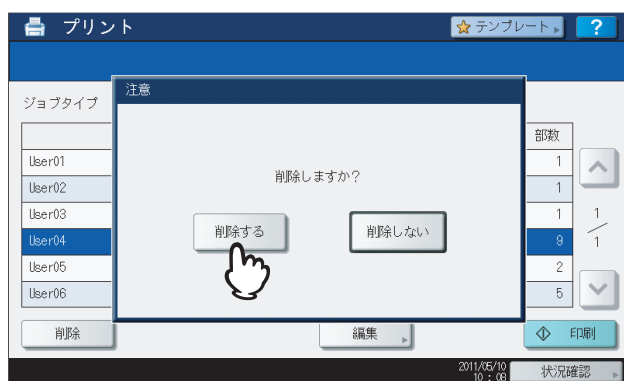
**補 足**

印刷部数を変更するときは、［編集］を押し、部数をテンキーで入力してください。［印刷］を押すと印刷が実行されます。

## □ お試し印刷ジョブを削除する

お試し印刷ジョブを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

**1　お試し印刷ジョブ一覧画面（📖 P.214）で削除したいジョブを選択し、［削除］を押します。**

目的のジョブが画面に表示されていない場合は、∧ または ∨ を押して画面を切り替えてください。

**2　「削除しますか？」と表示されたら、［削除する］を押します。**

選択したジョブが削除されます。

## ■ プライベート印刷ジョブ

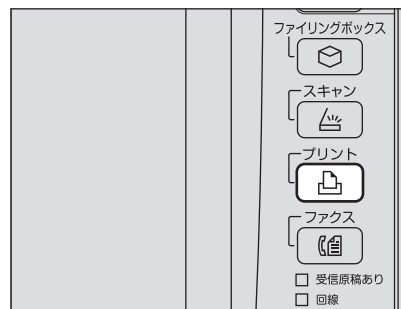
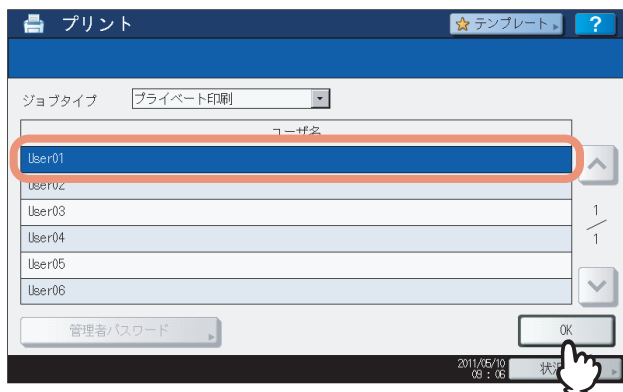
プライベート印刷とは、ネットワーク上のコンピュータから印刷を行うときに、パスワードを設定しておき、本機の操作パネルからそのパスワードを入力するまで印刷を保留する機能です。他人に見られたくない機密文書を印刷するときに有効です。プライベート印刷ジョブ一覧画面では、このようなジョブの実行や削除ができます。
プライベート印刷についての詳細は、以下を参照してください。
P.103「プライベート印刷」

### □ プライベート印刷ジョブ一覧画面を表示する

プライベート印刷ジョブを一覧表示する場合は、以下の手順で行ってください。

**1 操作パネルの［プリント］ボタンを押します。**

補 足

プライベート印刷ジョブ一覧画面が表示されていない場合は、ジョブタイプの選択ボックスで［プライベート印刷］を選択します。

**2 プライベート印刷ジョブ一覧画面で目的のユーザ名を選択し、［OK］を押します。**

注 意

- Windows コンピュータから［カスタム］タブの［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を設定して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がプライベート印刷ジョブ一覧に表示されます。設定しない場合には、初期値のログインユーザ名が表示されます。
- 管理者として操作する場合は、ユーザ名を非選択状態にして［管理者パスワード］を押してください。文字入力画面が表示され、管理者パスワード（6〜64桁）を入力できます。この場合、ジョブの削除はできますが、印刷はできません。

## 3 コンピュータで設定したプライベート印刷のパスワードを入力し、［OK］を押します。

プライベート印刷ジョブ一覧画面が表示されます。

**補 足**

- Windowsコンピュータから印刷ジョブを送信した場合：
  - ［表示ユーザ名］に初期値のログインユーザ名を使用したときには、同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。
  - ［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を設定したときには、同じユーザ名かつ同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。
- Macintoshコンピュータ、またはUNIX/Linuxワークステーションから印刷ジョブを送信した場合：
  同じパスワードが設定されているプライベート印刷ジョブが一覧表示されます。

## □ プライベート印刷ジョブを印刷する

プライベート印刷ジョブをパネルから実行する場合は、以下の手順で行ってください。

**1** **プライベート印刷ジョブ一覧画面（📖 P.217）で、印刷したいジョブを選択します。ジョブは複数選択することもできます。**

- 目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。
- 画面に表示されているすべてのジョブを選択したいときは、［一括選択］を押してください。また、選択を解除したいときは、［選択クリア］を押してください。

**2** **［印刷］を押します。**

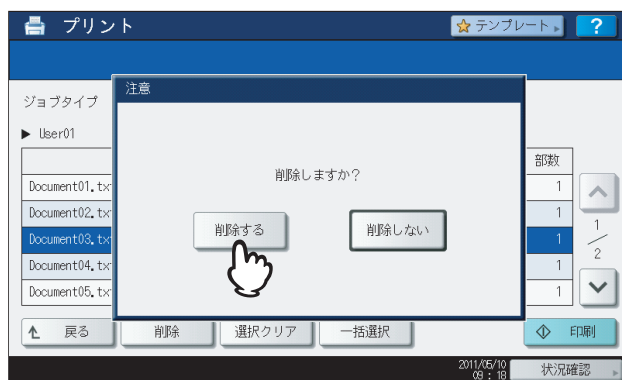
印刷が実行されます。
ジョブの実行状況は、状況確認画面の［ジョブ］タブ（📖 P.209）上で確認できます。

## □ プライベート印刷ジョブを削除する

プライベート印刷ジョブを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

**1** **プライベート印刷ジョブ一覧画面（📖 P.217）で、削除したいジョブを押し、［削除］を押します。ジョブは複数選択することもできます。**

- 目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。
- 画面に表示されているすべてのジョブを選択したいときは、［一括選択］を押してください。また、選択を解除したいときは、［選択クリア］を押してください。

**2** **「削除しますか？」と表示されたら、［削除する］を押します。**

選択したジョブが削除されます。

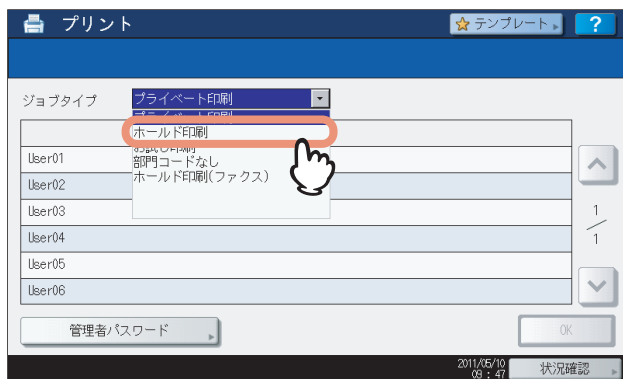
## ■ ホールド印刷ジョブ

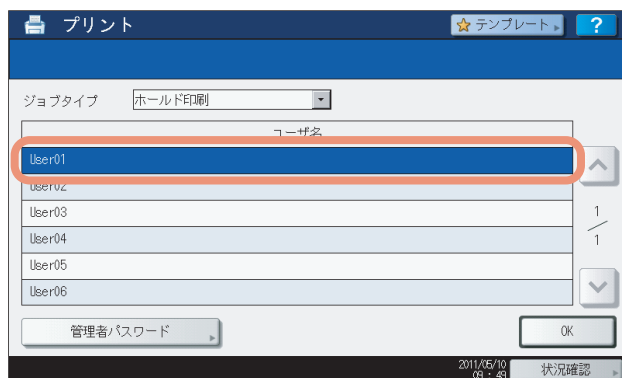
ホールド印刷とは、ネットワーク上のコンピュータから送信したジョブを本機のタッチパネルから印刷を実行するまで保留する機能です。出力紙の取り忘れを防ぐために便利な機能です。ホールド印刷ジョブ一覧画面では、このようなジョブの実行や削除ができます。
ホールド印刷についての詳細は、以下を参照してください。
📖 P.105 「ホールド印刷」

### □ ホールド印刷ジョブ一覧画面を表示する

ホールド印刷ジョブを一覧表示する場合は、以下の手順で行ってください。

**1** **操作パネルの［プリント］ボタンを押します。**

**2** **［ホールド印刷］を選択します。**

ホールド印刷ジョブ一覧画面が表示されます。

## 3 ホールド印刷ジョブ一覧画面で目的のユーザ名を選択します。

ホールド印刷ジョブ一覧画面に印刷待ちのジョブが表示されます。

**注 意**

- Windows コンピュータから［カスタム］タブの［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を設定して印刷ジョブを送信した場合は、そのユーザ名がホールド印刷ジョブ一覧に表示されます。設定しない場合には、初期値のログインユーザ名が表示されます。
- 管理者として操作する場合は、ユーザ名を非選択状態にして［管理者パスワード］を押してください。文字入力画面が表示され、管理者パスワード（6～64 桁）を入力できます。この場合、各ユーザが登録したジョブの削除はできますが、印刷はできません。

**補 足**

- Windowsコンピュータから印刷ジョブを送信した場合：
  - ［表示ユーザ名］に初期値のログインユーザ名を使用したときには、選択したユーザが送信したホールド印刷ジョブが一覧表示されます。
  - ［表示ユーザ名］に任意のユーザ名を設定したときには、同じユーザ名を使って送信されたホールド印刷ジョブがすべて一覧表示されます。
- Macintoshコンピュータ、またはUNIX/Linuxワークステーションから印刷ジョブを送信した場合：
  選択したユーザが送信したホールド印刷ジョブが一覧表示されます。

## □ ホールド印刷ジョブを印刷する

ホールド印刷ジョブをパネルから実行する場合は、以下の手順で行ってください。

**1 ホールド印刷ジョブ一覧画面（📖 P.221）で、印刷したいジョブを選択します。ジョブは複数選択することもできます。**

- 目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。
- 画面に表示されているすべてのジョブを選択したいときは、［一括選択］を押してください。また、選択を解除したいときは、［選択クリア］を押してください。

**2 ［印刷］を押します。**

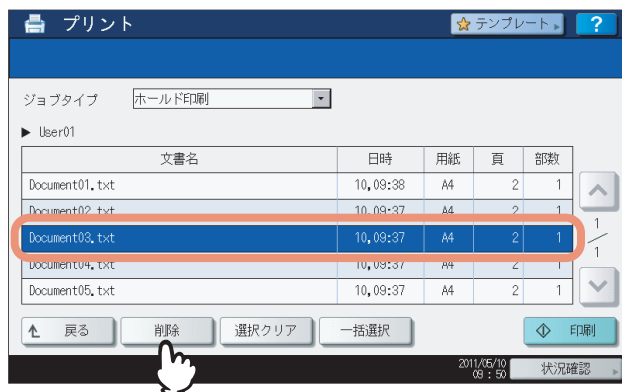
印刷が実行されます。
ジョブの実行状況は、状況確認画面の［ジョブ］タブ（📖 P.209）上で確認できます。

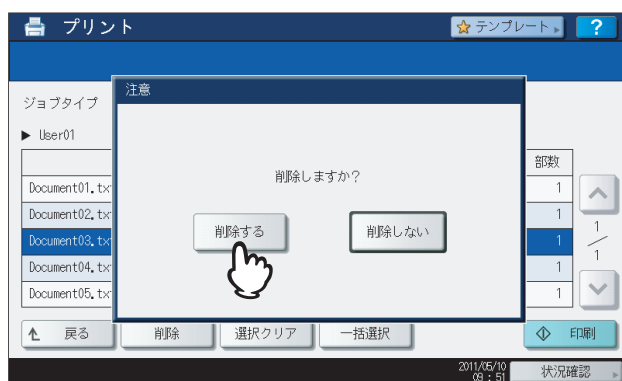
**補 足**

印刷を実行したジョブはホールド印刷ジョブ一覧画面から削除されます。

## □ ホールド印刷ジョブを削除する

ホールド印刷ジョブを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

**1 ホールド印刷ジョブ一覧画面（📖 P.221）で、削除したいジョブを押し、［削除］を押します。ジョブは複数選択することもできます。**

- 目的のジョブが画面に表示されていない場合は、［∧］または［∨］を押して画面を切り替えてください。
- 画面に表示されているすべてのジョブを選択したいときは、［一括選択］を押してください。また、選択を解除したいときは、［選択クリア］を押してください。

**2 「削除しますか？」と表示されたら、［削除する］を押します。**

選択したジョブが削除されます。

**補 足**

印刷ジョブ一覧画面では、ファクス／インターネットファクスジョブおよびEメール受信印刷ジョブは削除できません。

## ■ 無効ジョブ

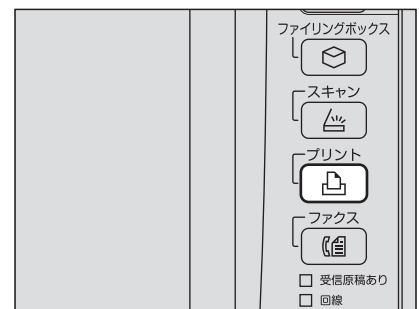
無効ジョブとは、ジョブを実行するために入力した部門コードが間違っていたり、部門コードが入力されないために保留されたジョブのことです。SNMPネットワークサービスを無効にした状態で部門管理機能を使用している場合、ネットワーク上のコンピュータから印刷を行うときに、間違った部門コードを入力すると、ジョブは無効ジョブとして保留され、部門コードなしジョブ一覧に保管されます。この保管された無効ジョブを実行したい場合は、部門コードなしジョブ一覧画面で正しい部門コードを入力し直します。

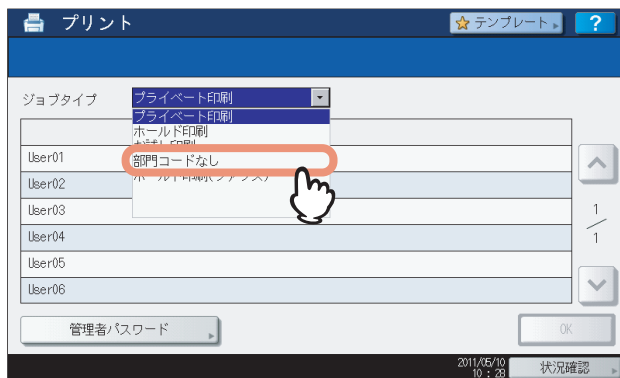
**注 意**

印刷ジョブの印刷枚数が部門コードに設定された制限枚数を超えた場合も印刷されません。この場合は、管理者にご相談ください。

### □ 部門コードなしジョブ一覧画面を表示する

無効ジョブを一覧表示する場合は、以下の手順で行ってください。

**1** 操作パネルの［プリント］ボタンを押します。

**2** 正しい部門コードを文字入力画面およびテンキーで入力し、［OK］を押します。

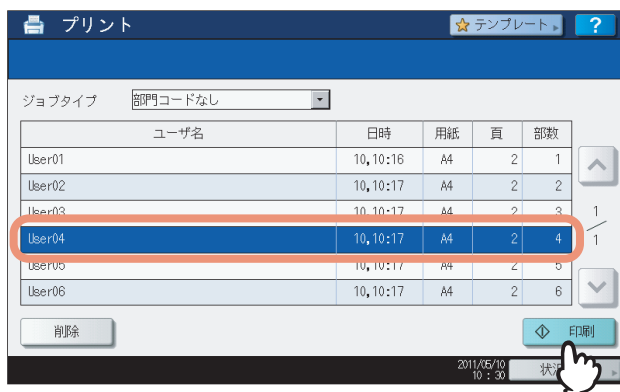
**3** ［部門コードなし］を選択します。

部門コードなしジョブ一覧画面が表示されます。

## □ 無効ジョブを印刷する

印刷時に誤った部門コードを入力した場合は、正しい部門コードを入力し直して印刷します。以下の手順に従ってください。

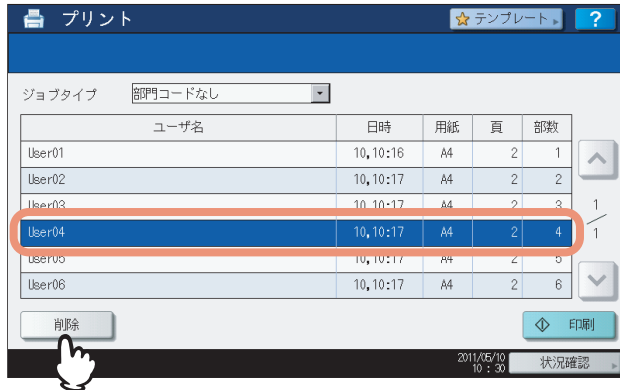
### 1 部門コードなしジョブ一覧画面（📖 P.225）で、印刷したいジョブを選択します。

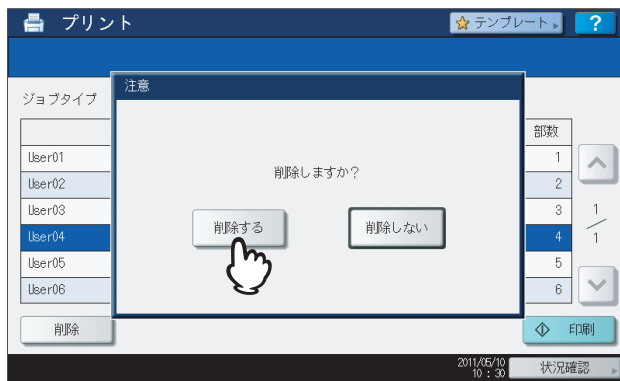
目的のジョブが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。

### 2 ［印刷］を押します。

印刷が実行されます。
ジョブの実行状況は、状況確認画面の［ジョブ］タブ（📖 P.209）上で確認できます。

## □ 無効ジョブを削除する

無効ジョブを削除する場合は、以下の手順で行ってください。

**1** **部門コードなしジョブ一覧画面（📖 P.225）で、削除したいジョブを選択し、［削除］を押します。**

目的のジョブが画面に表示されていない場合は、［∧］または［∨］を押して画面を切り替えてください。

**2** **「削除しますか？」と表示されたら、［削除する］を押します。**

選択したジョブが削除されます。

## ■ USBメディアからファイルを印刷する（USBダイレクト印刷）

USBダイレクト印刷は、本機のUSBポートに接続したUSBメディアに保存してあるファイルを印刷する機能です。印刷できるのは、PDF／暗号化PDFファイル（拡張子が「.pdf」）、XPSファイル（拡張子が「.xps」）、JPEGファイル（拡張子が「.jpg」または「.jpeg」）、PRNファイル（拡張子が「.prn」）およびPSファイル（拡張子が「.ps」）です。

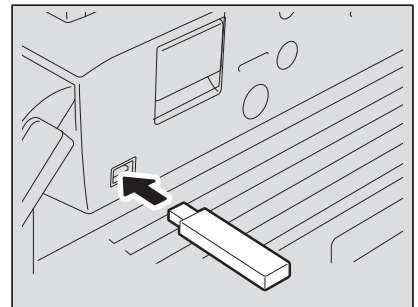
注 意

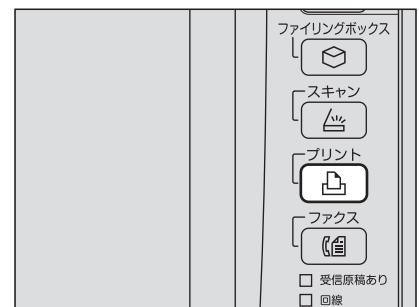
- USBダイレクト印刷を行うには、TopAccessの「USBダイレクト印刷」設定が有効になっている必要があります。詳しくは、**TopAccessガイド**を参照してください。
- 印刷範囲は設定できません。すべてのページが印刷されます。
- 本機能は、PDFファイルバージョンが1.3～1.7のPDFファイルに対応しています。
- 暗号化PDFの場合は、暗号化レベルに「40-bit RC4」または「128-bit RC4」を選択して作成されたファイルに対応しています。
- 本機能は、暗号化レベルに「128-bit AES」を選択して作成された暗号化PDFには対応していません。また、他の暗号化レベルの場合でもまれに印刷できないことがあります。この場合は、クライアントコンピュータから印刷を行ってください。
- PDFファイルの印刷は、PDF原稿に定義されている用紙サイズで印刷されます。定義されている用紙サイズが、その機種でサポートされていない用紙サイズの場合、カスタム用紙サイズで印刷されます。（カスタム用紙サイズのサポートサイズ外だった場合、幅/高さそれぞれをサポートサイズ内に変換して印刷します。）カセットにセットされている用紙で印刷する場合、操作パネルで使用するカセットを選択してください。カセットにセットされている用紙が、指定したサイズよりも小さい場合は、画像の一部が印刷されない場合があります。
- USBダイレクト印刷でPRNファイルを印刷する場合、本機がサポートするページ記述言語は、PostScript 3、PCL5e、PCL5c、PCL6、XPSです。
- USBメディアをUSBポートに接続したまま、本機の電源を入れないでください。
- 使用可能なUSBメディアは、以下の条件を満たしたものに限ります。ただし、USBメディアによっては、条件を満たしていても本機で使用できないことがあります。
  - FAT16、FAT32フォーマット
  - 単一パーティション（複数パーティションのUSBメディアは使用不可）

**1 USBメディアを、本機のUSBポートに接続します。**

数秒後、画面左下に「USBメディアを検知しました」と表示されます。

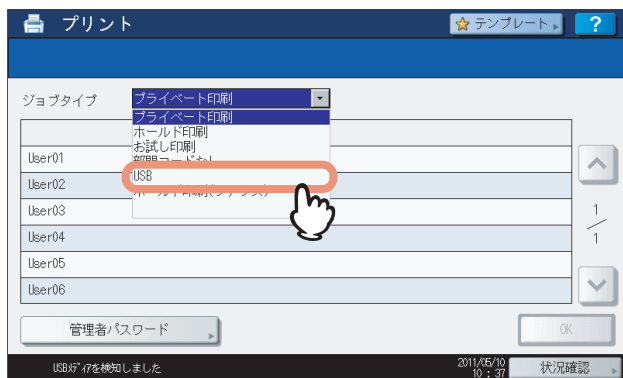
注 意

「USBメディアを読み込み中です　USBメディアを取り外せません」というメッセージが出ている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

**2 操作パネルの［プリント］ボタンを押します。**

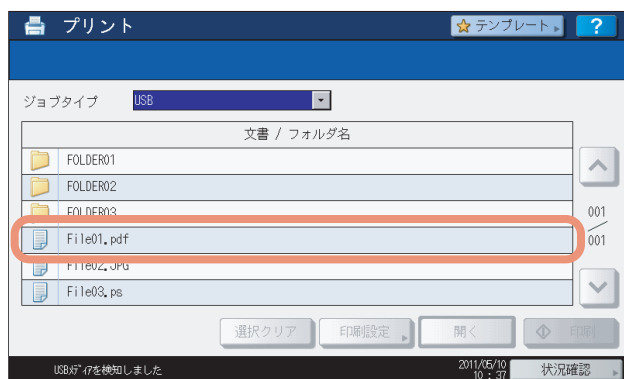
- 本機を部門管理機能で管理していない場合は、手順4に進んでください。

## 3 部門コードを文字入力画面およびテンキーで入力し、［OK］を押します。

**注 意**

本機を部門管理機能で管理していない場合は、上の画面は表示されません。

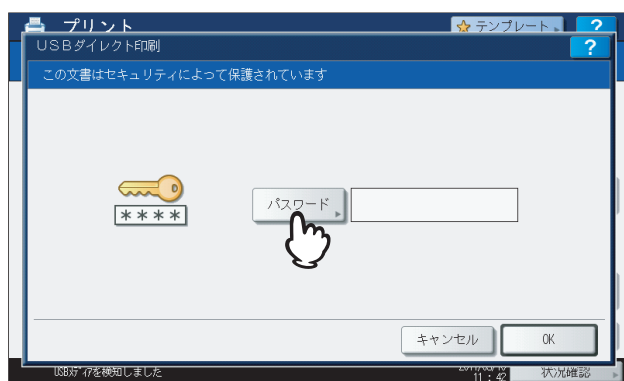
## 4 ［USB］を選択します。

**注 意**

「USBメディアを読み込み中です　USBメディアを取り外せません」というメッセージが出ている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

## 5 「文書/フォルダ名」一覧から印刷したいファイルを選択します。ファイルは複数選択することもできます。

- 目的のファイルが画面に表示されていない場合は、[^] または [v] を押して画面を切り替えてください。
- フォルダの中のファイルを選択したい場合は、印刷したいファイルが入っているフォルダを押し、［開く］を押してください。表示された画面から、印刷したいファイルを選択します。
- 選択したファイルが暗号化PDFで、パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。手順6に進んでください。
- カラーモード、用紙サイズ、ステイプル留め位置、両面印刷設定、およびPDFオーバープリント設定を変更する場合は、手順9に進んでください。これらの設定を変更しないで印刷を開始する場合は、手順10に進んでください。

**注 意**

「USBメディアを読み込み中です　USBメディアを取り外せません」というメッセージが出ている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

## 6 選択したファイルが暗号化PDFでパスワードが設定されている場合は、［パスワード］を押します。

**7** 文字入力画面およびテンキーを使って、暗号化PDFファイルのユーザパスワード（1〜32桁）またはマスタパスワードを入力し、［OK］を押します。

補 足

- Adobe Acrobat 6.0以降で作成した暗号化PDFファイルを印刷する場合は、「文書を開くパスワード」または「権限パスワード」を入力してください。
- Adobe Acrobatで印刷許可権限を「低解像度（150 dpi）」に設定して作成された暗号化PDFファイルを印刷するには、作成時に設定した権限パスワードの入力が必要です。

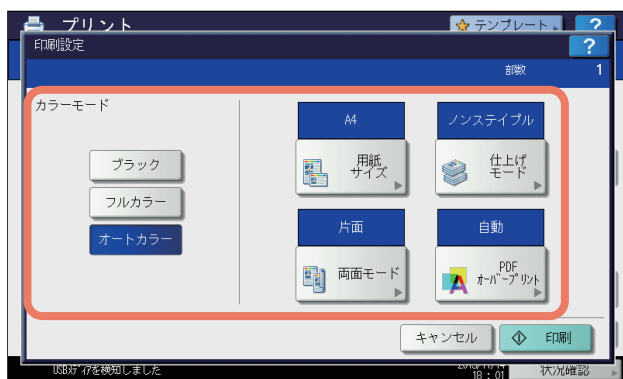
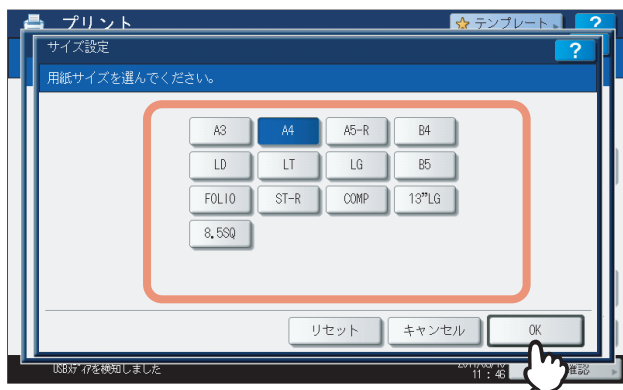
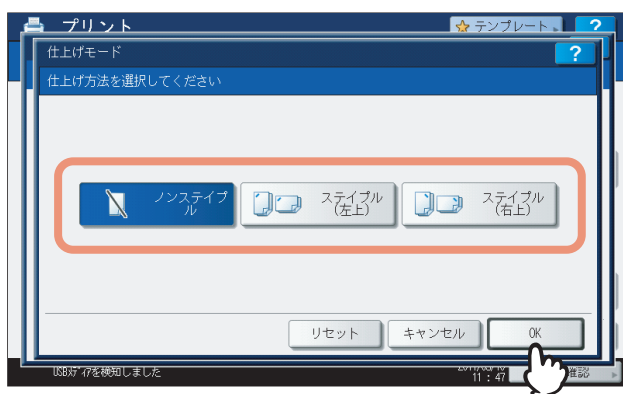
**8** ［OK］を押します。

- カラーモード、用紙サイズ、ステイプル留め位置、両面印刷設定、およびPDFオーバープリント設定を変更する場合は、手順9に進んでください。これらの設定を変更しないで印刷を開始する場合は、手順10に進んでください。

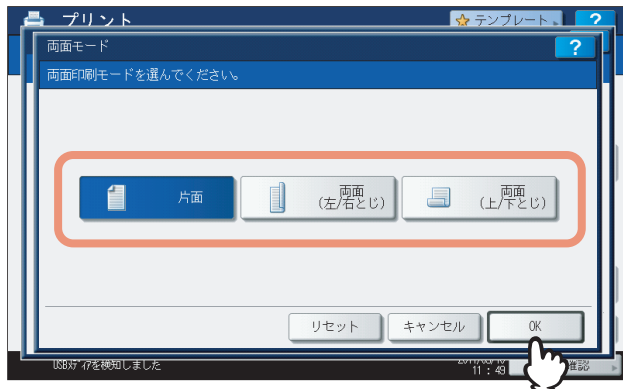
## 9 ［印刷設定］を押し、必要に応じて設定項目を選択します。

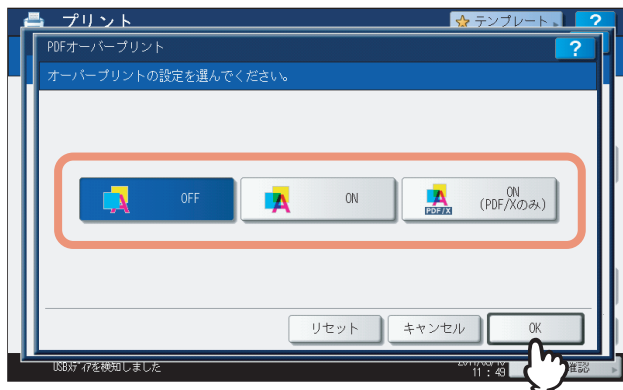
補 足

- JPEGファイルを印刷する場合は、［用紙サイズ］の設定ができます。
- PDFファイルを印刷する場合は、［仕上げモード］［両面モード］［PDFオーバープリント］の設定ができます。
- ［カラーモード］および［PDFオーバープリント］はカラー機のみ表示されます。

1）［カラーモード］、［用紙サイズ］、［仕上げモード］、［両面モード］、または［PDFオーバープリント］を押します。
2）設定したい項目を選択します。
3）設定を終えたら［OK］を押します。

- **用紙サイズ**
  用紙サイズを設定します。

- **仕上げモード**
  ステイプル留めする位置を設定します。

**ノンステイプル**：ステイプル留めをしません。
**ステイプル（左上）**：用紙の左上をステイプル留めします。
**ステイプル（右上）**：用紙の右上をステイプル留めします。

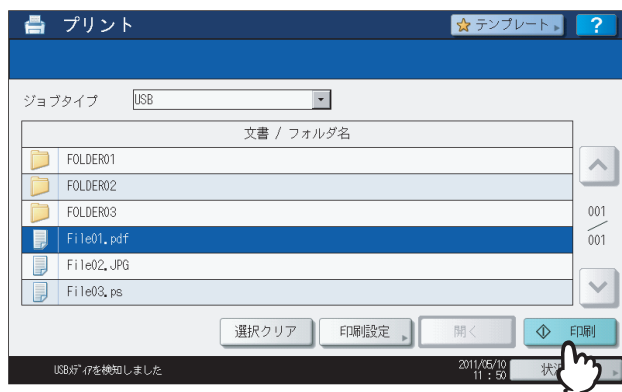
e-STUDIO407CS Series/527S Series：
**ノンステイプル**：ステイプル留めをしません。
**ステイプル**：用紙をステイプル留めします。

- **両面モード**
  両面印刷の設定をします。

**片面**：片面印刷します。
**両面（左／右とじ）**：用紙の垂直方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は左右開きとなります。
**両面（上／下とじ）**：用紙の水平方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は上下開きとなります。

- **PDFオーバープリント**
  PDFファイル内のオブジェクトにオーバープリントが設定されている場合、この機能を有効にするとオブジェクトをオーバープリント印刷することができます。

**OFF**：オーバープリントをしないで印刷します。
**ON**：オーバープリントを有効にして印刷します。
**ON（PDF/Xのみ）**：印刷対象となるPDFファイルがPDF/Xの仕様に準拠している場合のみ、オーバープリントを有効にして印刷します。

**注 意**

- 用紙サイズは、JPEGファイルを印刷する場合のみ指定できます。（続けてJPEGファイルを印刷する場合には、ここで指定した用紙サイズの設定が継続して使用されます。）
- PDFオーバープリントの設定は、PDFファイル内のオーバープリントが設定されたオブジェクトにのみ反映されます。PDFファイルに設定されているオーバープリントの効果をあらかじめ確認したい場合は、Adobe Readerのオーバープリントプレビュー機能などで、プレビュー表示を切り替えて確認することができます。

## 10 ［印刷］を押します。

印刷を開始します。用紙は排紙トレイに排紙されます。
印刷の実行状況は、通常印刷ジョブ一覧画面で確認できます。

**USBメディアを抜くときは**

タッチパネル上に「USBメディアを読み込み中です　USBメディアを取り外せません」というメッセージが表示されていないことを確認してください。このメッセージが表示されている間は、接続したUSBメディアを抜かないでください。USBメディア内のデータが壊れたり、本機が故障したりする原因となります。

# 印刷ジョブの実行履歴を確認する

印刷ジョブの実行履歴を画面上で確認できます。

## 印刷ジョブの実行履歴を確認する

**1** タッチパネルの［状況確認］を押します。

**2** ［ログ］を押して［ログ］タブを表示します。

## 3 ［印刷］を押します。

印刷ログ画面が表示されます。

印刷ログ画面では、ジョブを送ったユーザ名、印刷した日時、用紙サイズ、ページ数および部数が表示されます。最大1000件の履歴が表示されます。本機にハードディスクが装着されていない場合は、最大100件の履歴が表示されます。

前後のページに移動するには、∧ または ∨ を押してください。1ページに表示されるジョブの数は、お使いの機種により異なります。

実行履歴の確認を終了する場合は、［閉じる］を押してください。

**補 足**

印刷機能を使用中にエラーが発生したときは、ユーザ名の欄にエラーコードが記録されます。印刷ジョブエラーの解除方法やエラーコードについての詳細は、**トラブルシューティングガイド**を参照してください。

# 消耗品の状況を確認する

## ■ 給紙カセットの状況を確認する

待機時に［状況確認］＞［印刷状態］を押すと、［印刷状態］タブが表示されます。［印刷状態］タブでは、カセットに設定されている用紙サイズを確認できます。
印刷実行中に［印刷状態］を押すと、給紙しているカセットが反転表示されます。
また、クライアントコンピュータから印刷したときに、指定したサイズの用紙が本機のカセットや手差しトレイにないと、印刷ジョブエラーとなり、［状況確認］が点滅します。この場合に点滅中の［状況確認］を押すと、［印刷状態］タブが表示され、どのカセットに用紙切れが起きたかを確認できます。印刷ジョブエラーの解除方法については、**トラブルシューティングガイド**を参照してください。

## ■ トナー残量を確認する

［状況確認］＞［トナー］タブを選択すると、トナーカートリッジ内のおおよそのトナー残量を確認できます。
トナーの残量が少ない場合は、新しいトナーカートリッジをご用意ください。トナーカートリッジの交換方法については、**かんたん操作ガイド**または**トラブルシューティングガイド**を参照してください。

6

# その他の印刷方法

その他の印刷方法について説明します。

# FTP印刷

FTP印刷は、本機でFTP印刷サービスが有効に設定されている場合にのみ利用できます。FTPプロトコルを使用して本機へ印刷ファイルを送信し、文書を印刷します。以下のファイルを印刷することができます。

- PCLファイル
- PS（PostScript）ファイル
- テキストファイル

**注 意**

本機のユーザ管理設定が有効な場合、FTP印刷により送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。ユーザ認証強制の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。

**補 足**

- Windowsでは、プリンタドライバを使ってPCLファイルおよびPSファイルを作成することができます。PCLファイルまたはPSファイルを作成するには、プリンタドライバのプリンタポートを［FILE:］ポートに変更し、文書を印刷します。ファイルへの出力についての詳細は、Windowsの取扱説明書を参照してください。
- Macintoshでは、プリンタドライバを使ってPSファイルを作成することができます。PSファイルを作成するには、「プリント」ダイアログボックスの［出力対象］ボックスから［ファイル］を選択します。ファイルへの出力についての詳細は、Macintoshの取扱説明書を参照してください。

## FTPコマンドを使用してファイルを印刷する

ここでは、MS-DOSプロンプトからFTPコマンドを入力し、印刷を行う例で説明します。

**1** **MS-DOSプロンプトを起動します。**

**2** **カレントディレクトリを印刷ファイルが保存されているディレクトリに変更します。**

**3** **以下のコマンドを入力し、［Enter］キーを押します。**

```
ftp <IPアドレス>
```

<IPアドレス>の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。

**4** **ユーザ名の入力を要求された場合は、FTPプリントユーザ名を入力し、［Enter］キーを押します。**

**注 意**

FTPプリントユーザ名が管理者によって割り当てられている場合に、ユーザ名の入力が要求されます。FTPユーザ名については、管理者にご確認ください。

**5** **パスワードの入力を要求された場合は、FTPプリントパスワードを入力し、［Enter］キーを押します。**

**注 意**

- FTP 印刷ユーザ名が管理者によって設定されている場合は、パスワードの入力が要求されます。FTP 印刷パスワードについては、管理者にご確認ください。
- FTP 印刷ユーザ名が設定されており、FTP 印刷パスワードが設定されていない場合は、パスワードの入力が要求されたらパスワードを入力せずにそのまま［Enter］キーを押します。

**6** **以下のコマンドを入力し、［Enter］キーを押します。**

```
put <ファイル名>
```

例：印刷ファイル名が［sample.ps］の場合

```
put sample.ps
```

**7** **ファイルが本機へ送信され、印刷キューにスプールされます。**

# Eメール印刷

Eメール印刷は、本機でEメール印刷サービスが有効に設定されている場合にのみ利用できます。メールクライアントソフトウェアを使って、印刷ファイルを本機へEメールの添付ファイルとして送信することにより文書を印刷します。本機では､インターネットファクスのファイルフォーマットであるTIFF-FX(Profile S)､TIFF-FX(Profile F)､TIFFFX(Profile J)ファイル、本機のスキャン機能でモノクロスキャンしたTIFF形式の画像ファイル、およびテキストデータ（プレーンテキスト形式で記述されたメールの本文）を印刷することができます。

受信したEメールに上記以外のファイルが添付されていると、印刷を正常に終了できず、受信ログにエラーコードとしてこれが記録されます。TopAccessでは、「Eメール印刷」設定が管理者に用意され、エラーコードをレポートとして印刷するよう設定できます。また、このようなEメールを別のEメールアドレスに転送するように設定することも可能です。詳しくは、**TopAccessガイド**を参照してください。

注 意

- 本機のユーザ管理設定が有効な場合、Eメール印刷により送信された印刷ジョブは、無効ジョブとしてユーザ認証強制の設定に従って処理されます。ユーザ認証強制の設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- Eメール印刷ジョブは、本機の管理者設定メニューより［ファクス］→［記録モード］を押して表示される画面で設定できる、切り捨て印刷および縮小印刷の設定によって、どのように印刷されるかが異なります。

  切り捨て印刷がONの場合は、印刷範囲を超える長さが10 mm未満の印刷イメージは切り捨てられます。印刷範囲を超える長さが10 mmより長い印刷イメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。
  切り捨て印刷がOFFの場合は、長さが用紙印刷範囲を超える印刷イメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

  縮小印刷がONの場合は、用紙より長い印刷イメージは、用紙に収まるように縦方向に最大で90%まで縮小し印刷します。90%の縮小でも用紙に収まらない場合は、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。
  縮小印刷がOFFの場合は、用紙より長い印刷イメージは、印刷可能な大きいサイズの用紙に印刷されます。

## Eメールクライアントを使用してファイルを印刷する

ここでは、Microsoft Outlook Expressを使って印刷を行う例で説明します。

注 意

本機へEメールメッセージを送信し、ファイルを印刷するときは、メッセージをテキスト形式で送信してください。HTML形式で送信すると、本機はメッセージのHTMLソースコードを印刷します。

**1** **Eメールアプリケーションを開きます。**

**2** **ファイルメニューから［新規作成］－［メールメッセージ］を選択します。または、ツールバーの［メールの作成］をクリックします。**

「メッセージの作成」ダイアログボックスが表示されます。

**3** **［宛先］ボックスに、本機のEメールアドレスを入力します。**

**4** **必要に応じて、［件名］ボックスにEメールの件名を入力します。**

**5** **本文欄にメッセージを入力します。**

**6** **印刷したいファイルを添付します。**

**7** **Eメールを送信します。**

注 意

Eメールの［件名］および［本文］は、本機のEメール印刷サービスで［Eメールヘッダ印刷］および［本文印刷］が有効に設定されているときに印刷されます。

7

# フォントー覧

このセクションには、内蔵フォント一覧が記載されています。

# 内蔵フォント一覧

本機には以下のフォントが内蔵されています。

## ■ 内蔵PCLフォント一覧

| 0 | Courier | 42 | Helvetica-Narrow-Bold |
|---|---|---|---|
| 1 | CG-Times | 43 | Helvetica-Narrow-Oblique |
| 2 | CG-Times Bold | 44 | Helvetica-Narrow-BoldOblique |
| 3 | CG-Times Italic | 45 | Palatino-Roman |
| 4 | CG-Times Bold Italic | 46 | Palatino-Bold |
| 5 | CG Omega | 47 | Palatino-Italic |
| 6 | CG Omega Bold | 48 | Palatino-BoldItalic |
| 7 | CG Omega Italic | 49 | ITC AvantGarde-Book |
| 8 | CG Omega Bold Italic | 50 | ITC AvantGarde-BookOblique |
| 9 | Coronet | 51 | ITC AvantGarde-Demi |
| 10 | Clarendon Condensed | 52 | ITC AvantGarde-DemiOblique |
| 11 | Univers Medium | 53 | ITC Bookman-Light |
| 12 | Univers Bold | 54 | ITC Bookman-LightItalic |
| 13 | Univers Italic | 55 | ITC Bookman-Demi |
| 14 | Univers Bold Italic | 56 | ITC Bookman-DemiItalic |
| 15 | Univers Medium Condensed | 57 | NewCenturySchlbk-Roman |
| 16 | Univers Condensed Bold | 58 | NewCenturySchlbk-Bold |
| 17 | Univers Medium Condensed Italic | 59 | NewCenturySchlbk-Italic |
| 18 | Univers Condensed Bold Italic | 60 | NewCenturySchlbk-BoldItalic |
| 19 | Antique Olive | 61 | Times-Roman |
| 20 | Antique Olive Bold | 62 | Times-Bold |
| 21 | Antique Olive Italic | 63 | Times-Italic |
| 22 | Garamond Antiqua | 64 | Times-BoldItalic |
| 23 | Garamond Halbfett | 65 | ITCZapfChancery-MediumItalic |
| 24 | Garamond Kursiv | 66 | Symbol |
| 25 | Garamond Kursiv Halbfett | 67 | Symbol PS |
| 26 | Mrigold | 68 | Wingdings |
| 27 | Albertus Medium | 69 | ITCZapfDingbats |
| 28 | Albertus Extra Bold | 70 | Courier Bold |
| 29 | Arial | 71 | Courier Italic |
| 30 | Arial Bold | 72 | Courier Bold Italic |
| 31 | Arial Italic | 73 | Letter Gothic Regular |
| 32 | Arial Bold Italic | 74 | Letter Gothic Bold |
| 33 | Times New Roman | 75 | Letter Gothic Italic |
| 34 | Times New Roman Bold | 76 | CourierPS |
| 35 | Times New Roman Italic | 77 | CourierPS Oblique |
| 36 | Times New Roman Bold Italic | 78 | CourierPS Bold |
| 37 | Helvetica | 79 | CourierPS BoldOblique |
| 38 | Helvetica-Bold | | AndaleMonoWTJ *1 |
| 39 | Helvetica-Oblique | | AndaleMonoWTK *1 |
| 40 | Helvetica-BoldOblique | | AndaleMonoWTT *1 |
| 41 | Helvetica-Narrow | | AndaleMonoWTS *1 |

＊1　これらのフォントは、「Unicode Font オプション」を導入した場合に追加可能なフォントです。

## ■ 内蔵PSフォント一覧

| | |
|---|---|
| AlbertusMT-Light | Eurostile-Bold |
| AlbertusMT | Eurostile-ExtendedTwo |
| AlbertusMT-Italic | Eurostile-BoldExtendedTwo |
| AntiqueOlive-Roman | Geneva |
| AntiqueOlive-Italic | GillSans-Light |
| AntiqueOlive-Bold | GillSans-LightItalic |
| AntiqueOlive-Compact | GillSans |
| Apple-Chancery | GillSans-Italic |
| ArialMT | GillSans-Bold |
| Arial-ItalicMT | GillSans-BoldItalic |
| Arial-BoldMT | GillSans-ExtraBold |
| Arial-BoldItalicMT | GillSans-BoldCondensed |
| AvantGarde-Book | GillSans-Condensed |
| AvantGarde-BookOblique | Goudy |
| AvantGarde-Demi | Goudy-Italic |
| AvantGarde-DemiOblique | Goudy-Bold |
| Bodoni | Goudy-BoldItalic |
| Bodoni-Italic | Goudy-ExtraBold |
| Bodoni-Bold | Helvetica |
| Bodoni-BoldItalic | Helvetica-Oblique |
| Bodoni-Poster | Helvetica-Bold |
| Bodoni-PosterCompressed | Helvetica-BoldOblique |
| Bookman-Light | Helvetica-Condensed |
| Bookman-LightItalic | Helvetica-Condensed-Oblique |
| Bookman-Demi | Helvetica-Condensed-Bold |
| Bookman-DemiItalic | Helvetica-Condensed-BoldObl |
| Candid | Helvetica-Narrow |
| Chicago | Helvetica-Narrow-Oblique |
| Clarendon-Light | Helvetica-Narrow-Bold |
| Clarendon | Helvetica-Narrow-BoldOblique |
| Clarendon-Bold | HoeflerText-Regular |
| CooperBlack | HoeflerText-Italic |
| CooperBlack-Italic | HoeflerText-Black |
| Copperplate-ThirtyTwoBC | HoeflerText-BlackItalic |
| Copperplate-ThirtyThreeBC | HoeflerText-Ornaments |
| Coronet-Regular | JoannaMT |
| Courier | JoannaMT-Italic |
| Courier-Oblique | JoannaMT-Bold |
| Courier-Bold | JoannaMT-BoldItalic |
| Courier-BoldOblique | LetterGothic |
| Eurostile | LetterGothic-Slanted |
| LetterGothic-Bold | Univers-Condensed |
| LetterGothic-BoldSlanted | Univers-CondensedOblique |
| LubalinGraph-Book | Univers-CondensedBold |
| LubalinGraph-BookOblique | Univers-CondensedBoldOblique |
| LubalinGraph-Demi | Univers-Extended |
| LubalinGraph-DemiOblique | Univers-ExtendedObl |
| Marigold | Univers-BoldExt |
| Monaco | Univers-BoldExtObl |
| MonaLisa-Recut | Wingdings-Regular |

| | |
|---|---|
| NewCenturySchlbk-Roman | ZapfChancery-MediumItalic |
| NewCenturySchlbk-Italic | ZapfDingbats |
| NewCenturySchlbk-Bold | IPAexGothic |
| NewCenturySchlbk-BoldItalic | IPAexMincho |
| NewYork | |
| Optima | |
| Optima-Italic | |
| Optima-Bold | |
| Optima-BoldItalic | |
| Oxford | |
| Palatino-Roman | |
| Palatino-Italic | |
| Palatino-Bold | |
| Palatino-BoldItalic | |
| StempelGaramond-Roman | |
| StempelGaramond-Italic | |
| StempelGaramond-Bold | |
| StempelGaramond-BoldItalic | |
| Symbol | |
| Taffy | |
| Times-Roman | |
| Times-Italic | |
| Times-Bold | |
| Times-BoldItalic | |
| TimesNewRomanPSMT | |
| TimesNewRomanPS-ItalicMT | |
| TimesNewRomanPS-BoldMT | |
| TimesNewRomanPS-BoldItalicMT | |
| Univers-Light | |
| Univers-LightOblique | |
| Univers | |
| Univers-Oblique | |
| Univers-Bold | |
| Univers-BoldOblique | |

# 索引